

令和5年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
令和 5 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	7
(4) 都市計画税の用途	9
(5) 全会計市債等現在高	9
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障 4 経費 その他社会保障施策に要する経費	10
(7) 令和 5 年度 普通会計決算状況調書	11
(8) 一般会計等における財務書類 4 表	13
部門別決算成果概要	
物価高騰対策関連経費	20
1 危機管理室	21
2 市長公室	23
3 政策企画部	32
4 総務・市民協働部	43
5 産業観光部	55
6 人権環境部	95
7 福祉こども部	110
8 健康長寿部	163
9 建設部	204
10 都市整備部	217
11 教育部	237
12 消防本部	286
13 その他	294
議会事務局	294
選挙管理委員会事務局	296
監査委員事務局	298
公平委員会事務局	298
固定資産評価審査委員会事務局	299
農業委員会事務局	300
14 用品調達基金運用状況表	301

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定により、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模及び総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、令和5年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

令和5年度の決算概要

令和5年度各会計歳入歳出決算の状況は、（1）各会計決算額のとおりとなっている。

また、（2）普通会計決算状況に基づく主な増減は次のとおりとなっている。

歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から1億7,639万7千円（0.7%）の増額となった。国庫支出金は、前年度の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金などの影響により、前年度から9億5,109万6千円（△5.3%）の減額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費は、物価高騰対策給付金事業費などの影響により、15億1,948万7千円（4.6%）、教育費は、（仮）西小倉地域小中一貫校整備事業費や中学校長寿命化事業費などの影響により、19億5,726万8千円（33.8%）の増額となった。一方、総務費は、前年度のJR奈良線複線化事業補助金などの影響により、9億7,444万4千円（△14.1%）、衛生費は前年度の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費や新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの影響により、11億3,181万6千円（△16.6%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から1億4,684万9千円（1.1%）の増額、扶助費は、物価高騰対策給付金事業費などの影響により、前年度から14億7,574万円（6.7%）の増額、公債費は、前年度から1億6,327万3千円（△3.5%）の減額となり、義務的経費全体で、前年度から14億5,931万6千円（3.6%）の増額となった。なお、（仮）西小倉地域小中一貫校整備事業費や中学校長寿命化事業費などの影響により、普通建設事業費は、前年度から11億9,448万1千円（25.9%）の増額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和5年度	73,523,093	72,146,262	1,376,831	498,873	877,958	19,632
	令和4年度	71,698,063	70,348,347	1,349,716	491,390	858,326	25,521
	差引	1,825,030	1,797,915	27,115	7,483	19,362	△5,889
国民健康保険 事業特別会計	令和5年度	17,616,915	17,616,422	493	0	493	△20,731
	令和4年度	18,048,989	18,027,765	21,224	0	21,224	△19,084
	差引	△432,074	△411,343	△20,731	0	△20,731	△1,647
後期高齢者医療 事業特別会計	令和5年度	3,562,184	3,449,235	112,949	0	112,949	106,289
	令和4年度	3,390,609	3,383,949	6,660	0	6,660	265
	差引	171,575	65,286	106,289	0	106,289	106,024
介護保険事業 特別会計	令和5年度	17,508,416	16,771,709	736,707	0	736,707	180,724
	令和4年度	16,694,515	16,138,532	555,983	0	555,983	130,483
	差引	813,901	633,177	180,724	0	180,724	50,241
墓地公園事業 特別会計	令和5年度	45,113	45,113	0	0	0	0
	令和4年度	42,749	42,749	0	0	0	0
	差引	2,364	2,364	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	令和5年度	4,268,362	4,185,491	82,871			
	令和4年度	4,003,758	4,086,370	△82,612			
	差引	264,604	99,121	165,483			
水道事業会計 (資本的収支)	令和5年度	1,936,663	2,699,076	△762,413			
	令和4年度	1,782,940	2,661,511	△878,571			
	差引	153,723	37,565	116,158			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	令和5年度	5,630,934	5,504,691	126,243			
	令和4年度	5,547,968	5,392,282	155,686			
	差引	82,966	112,409	△29,443			
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	令和5年度	3,084,057	4,693,569	△1,609,512			
	令和4年度	3,720,992	5,414,854	△1,693,862			
	差引	△636,935	△721,285	84,350			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,578,123	33.8	24,401,726	34.4	176,397	0.7
うち個人市民税	9,987,779	13.8	9,877,244	13.9	110,535	1.1
うち法人市民税	1,571,485	2.2	1,714,229	2.4	△142,744	△8.3
うち固定資産税	9,934,726	13.7	9,763,982	13.8	170,744	1.7
地方譲与税	362,096	0.5	358,117	0.5	3,979	1.1
利子割交付金	9,792	0.1	10,778	0.1	△986	△9.1
配当割交付金	240,097	0.3	210,778	0.3	29,319	13.9
株式等譲渡所得割交付金	244,016	0.3	145,493	0.2	98,523	67.7
地方消費税交付金	4,033,784	5.5	4,102,577	5.7	△68,793	△1.7
ゴルフ場利用税交付金	29,415	0.1	30,035	0.1	△620	△2.1
自動車取得税交付金	3,812	0.1	1,370	0.1	2,442	178.2
自動車税環境性能割交付金	69,250	0.1	65,296	0.1	3,954	6.1
法人事業税交付金	356,196	0.5	342,703	0.4	13,493	3.9
地方特例交付金	200,134	0.2	179,302	0.2	20,832	11.6
地方交付税	10,165,198	14.0	9,341,291	13.1	823,907	8.8
普通交付税	9,763,665	13.4	8,947,559	12.6	816,106	9.1
特別交付税	401,533	0.6	393,732	0.5	7,801	2.0
交通安全対策特別交付金	15,987	0.1	19,189	0.1	△3,202	△16.7
分担金及び負担金	239,059	0.3	225,702	0.3	13,357	5.9
使用料	1,153,138	1.6	1,103,247	1.5	49,891	4.5
手数料	109,169	0.1	108,728	0.2	441	0.4
国庫支出金	16,912,150	23.3	17,863,246	25.2	△951,096	△5.3
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	77,504	0.1	72,862	0.1	4,642	6.4
府支出金	6,151,475	8.5	5,969,740	8.4	181,735	3.0
財産収入	92,340	0.1	201,684	0.3	△109,344	△54.2
寄付金	150,521	0.2	222,185	0.3	△71,664	△32.3
繰入金	356,310	0.5	269,784	0.4	86,526	32.1
繰越金	1,349,716	1.9	1,057,237	1.5	292,479	27.7
諸収入	2,338,881	3.2	2,502,963	3.5	△164,082	△6.6
地方債	3,375,300	4.6	2,149,700	3.0	1,225,600	57.0
うち臨時財政対策債	389,700	0.5	846,300	1.2	△456,600	△54.0
歳入合計	72,613,463	100.0	70,955,733	100.0	1,657,730	2.3
うち一般財源等	45,878,917	63.2	43,979,834	62.0	1,899,083	4.3
うち経常一般財源等	38,622,748	53.2	37,553,267	52.9	1,069,481	2.8

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	422,430	0.6	452,871	0.7	△30,441	△6.7
総務費	5,939,518	8.3	6,913,962	9.9	△974,444	△14.1
民生費	34,907,031	49.0	33,387,544	48.0	1,519,487	4.6
衛生費	5,683,165	8.0	6,814,981	9.8	△1,131,816	△16.6
労働費	55,709	0.1	59,207	0.1	△3,498	△5.9
農林水産業費	343,209	0.5	326,192	0.5	17,017	5.2
商工費	2,447,368	3.4	2,315,280	3.3	132,088	5.7
土木費	6,625,027	9.3	6,617,993	9.5	7,034	0.1
消防費	2,607,787	3.6	2,306,594	3.3	301,193	13.1
教育費	7,741,507	10.9	5,784,239	8.3	1,957,268	33.8
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費	4,463,881	6.3	4,627,154	6.6	△163,273	△3.5
歳出合計	71,236,632	100.0	69,606,017	100.0	1,630,615	2.3

性質別決算状況

	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	13,451,053	18.9	13,304,204	19.1	146,849	1.1
物件費	6,661,729	9.4	7,405,879	10.6	△744,150	△10.0
維持補修費	611,508	0.9	589,714	0.8	21,794	3.7
扶助費	23,601,525	33.1	22,125,785	31.8	1,475,740	6.7
補助費等	6,295,769	8.8	6,795,290	9.8	△499,521	△7.4
公債費	4,463,881	6.3	4,627,154	6.7	△163,273	△3.5
積立金	710,592	1.0	691,704	1.0	18,888	2.7
投資及び出資金	814,712	1.1	742,932	1.1	71,780	9.7
貸付金	1,854,235	2.6	1,967,293	2.8	△113,058	△5.7
繰出金	6,967,536	9.8	6,746,451	9.7	221,085	3.3
普通建設事業費	5,804,092	8.1	4,609,611	6.6	1,194,481	25.9
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳出合計	71,236,632	100.0	69,606,017	100.0	1,630,615	2.3
うち義務的経費	41,516,459	58.3	40,057,143	57.6	1,459,316	3.6
うち経常的経費	54,893,564	77.1	53,789,003	77.3	1,104,561	2.1

ウ 財政構造

令和5年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3カ年平均）は0.702（4年度0.723）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は2.3%（4年度2.3%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は93.0%（4年度93.6%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は101.4%（4年度100.5%）

エ 基金現在高

基金全体の令和5年度末現在高（普通会計）は、104億5444万円で、前年度から3億7,083万7千円の増額となった。繰入については、公共施設等整備基金を1,770万円繰り入れた。一方、積立については、減債基金に4億5,227万7千円、公共施設等整備基金に9,025万4千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は14億5,396万5千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	17,700	排水路改良事業	11,000
		公園バリアフリー等整備事業	4,000
		木幡緑道整備事業	2,700
国際交流基金	69	カムループス市交流促進事業	69
文化事業基金	1,350	文化会館使用料助成事業	1,350
ふるさと創生基金	1,771	源氏物語ミュージアム企画展示事業	1,198
		源氏物語ミュージアム広報活動事業	573
地域福祉振興基金	2,673	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	2,673
社会福祉事業基金	74	在宅要援護老人対策事業	74
母子福祉基金	18	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	18
玉井高齢者福祉事業基金	67	在宅要援護老人対策事業	67
高齢者活動基金	333	高齢者活動事業	167
		公民館活動事業	166
スポーツ振興基金	5,229	スポーツ大会開催事業	1,330
		スポーツ振興基金活用事業	3,899
中小企業振興基金	202	中小企業振興対策事業	202
大気質測定基金	5,897	自動車排出ガス監視測定局運営事業	5,897
交通安全事業基金	171	交通安全対策事業	171
火災予防等事業基金	151	火災予防等事業基金活用事業	151
ふるさと応援基金	150,025	天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業	2,239
		源氏ろまん事業	10,909
		空き家活用促進まちづくり支援事業	600
		市内産宇治茶PR事業	752
		観光活性化事業補助金	2,550
		放ち鶴飼事業補助金	1,650
		戦略的観光情報発信事業	14,038
		親子で宇治文化の魅力発見事業	667
		紫式部のまち魅力発信プロモーション事業	28,718
		文化財指定推進事業	3,300
		文化的景観保護推進事業	5,000
		歴史文化体験事業	1,500
		地域のつながり促進事業	3,800
高校生文化芸術祭典事業	1,409		

		地域安全・安心見守り事業	3,200
		子育ておうえん環境整備事業	2,900
		高品質茶ブランド力強化事業	2,425
		観光インバウンド推進事業	4,500
		お茶の京都DMO協議会負担金	12,800
		広域観光推進事業	1,275
		全国鵜飼サミット宇治大会開催負担金	6,000
		紫式部のまちにぎわい創出事業	27,200
		小中学校ICT授業アドバイザー設置事業	9,504
		二子山保護推進事業	1,500
		歴史まちづくりサミット開催事業	1,000
		源氏物語ミュージアム特別企画展示事業	589
図書館図書等整備基金	1,500	図書館資料提供事業	1,500
福祉未来基金	4,633	地域福祉活動応援事業	523
		地域ボランティア等担い手育成事業	500
		障害者音訳事業	610
		新生児聴覚スクリーニング検査事業	3,000
合 計	191,863		

オ 地方債現在高

令和5年度末における地方債の現在高は380億3,930万3千円となり、前年度から9億6,769万7千円の減少となった。発行額は、一般債が29億8,560万円、臨時財政対策債が3億8,970万円で、総額33億7,530万円となり、前年度から12億2,560万円の増額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成19年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第5条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	5年度 決算	4年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	-	-	11.51%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標(一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率)
連結実質赤字 比率	-	-	16.51%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や水道、下水道事業などすべての特別会計等を対象として、赤字を判断する指標(全会計の赤字の標準財政規模に対する比率)
実質公債費比率	1.0%	0.4%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率)
将来負担比率	-	-	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率)

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「-」で表示している。

将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「-」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	5年度決算	4年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0%
公共下水道事業会計	-	-	20.0%

資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「-」で表示している。

(4) 都市計画税の用途

令和5年度に実施した都市計画税充当対象事業費 24 億 4,886 万 3 千円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 17 億 2,623 万 8 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	六地蔵地区道路整備事業	44,088
下水道事業	下水道事業	560,464
その他事業	公園整備事業 他	88,597
公債費（下水道事業分含む）		1,033,089
合 計		1,726,238

(5) 全会計市債等現在高

	5 年度末 (千円)	4 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	89,773,347	90,397,198	623,851	0.7
一般会計	38,358,849	39,353,573	994,724	2.5
墓地公園事業特別会計	112,967	129,311	16,344	12.6
水道事業会計	10,480,330	9,394,610	1,085,720	11.6
公共下水道事業会計	40,821,201	41,519,704	698,503	1.7

(6) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和5年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金(社会保障財源化分) 2,352,461千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 21,777,753千円

< 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 > (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,468,028	1,969,407	0	3,222	97,994	397,405
	児童福祉事業	9,240,956	5,063,011	0	472,274	733,010	2,972,661
	母子福祉事業	3,023	0	0	610	477	1,936
	高齢者福祉事業	318,746	5,000	0	27,945	56,534	229,267
	障害者福祉事業	985,508	363,064	0	757	122,974	498,713
	その他社会福祉事業	148,187	14,728	0	1,736	26,056	105,667
	小計	13,164,448	7,415,210	0	506,544	1,037,045	4,205,649
社会保険	国民健康保険事業	1,459,833	825,316	0	0	125,512	509,005
	後期高齢医療事業	2,938,816	435,493	0	0	495,176	2,008,147
	介護保険事業	2,228,913	0	0	0	440,896	1,788,017
	小計	6,627,562	1,260,809	0	0	1,061,584	4,305,169
保健衛生	母子保健事業	534,385	190,650	0	4,936	67,017	271,782
	高齢者医療事業	63,769	33,345	0	16	6,015	24,393
	障害者医療事業	742,059	420,263	0	5,491	62,568	253,737
	疾病予防対策事業	456,934	508	0	2,409	89,808	364,209
	健康増進対策事業	108,979	0	0	1,148	21,330	86,501
	その他保健事業	79,617	322	0	43,431	7,094	28,770
	小計	1,985,743	645,088	0	57,431	253,832	1,029,392
合計	21,777,753	9,321,107	0	563,975	2,352,461	9,540,210	

地方消費税交付金(社会保障財源化分)は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 令和5年度 普通会計決算状況調書

262048	宇治市
市町村類型	- 3
交付税種地	- 5

(単位:千円)

人口	国調	2年	179,630人	2.7%	面積		67.54km ²	産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
		27年	184,678人	2.6%	人口密度	2国調	2,660人/km ²			2国調	682人	22,126人
		22年	189,609人	0.0%		27国調	2,734人/km ²		2国調	0.8%	24.9%	74.3%
	住基	R6.1.1	180,943人	0.7%	人口集中地区人口	2国調	175,891人		27国調	574人	19,292人	55,354人
		R5.1.1	182,144人	0.7%		27国調	180,546人			0.8%	25.6%	73.6%
		R4.1.1	183,510人	0.8%	世帯数	R6.1.1	85,737世帯					

区分		令和5年度	令和4年度	増減率	区分	令和5年度		令和4年度	
歳入総額	A	72,613,463	70,955,733	2.3%	財政力指数(単年/3力年)	0.695	0.702	0.708	0.723
歳出総額	B	71,236,632	69,606,017	2.3%	歳出決算倍率	1.869		1.863	
歳入歳出差引(A-B)	C	1,376,831	1,349,716	2.0%	実質収支比率	2.3 %		2.3 %	
翌年度に繰り越すべき財源	D	498,873	491,390	1.5%	経常一財等比率	101.4 %		100.5 %	
実質収支(C-D)	E	877,958	858,326	2.3%	公債費負担比率	9.4 %		10.2 %	
単年度収支	F	19,632	25,520	23.1%	公債費比率(単年/3力年)	2.9%	3.5%	3.5%	4.2%
積立金	G	1,650	302,626	99.5%	起債制限比率(単年/3力年)	2.2%	2.7%	2.7%	3.4%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	99.8 %		104.4 %	
積立金取崩し額	I	150,000	0	皆増	実質債務残高比率	138.7 %		121.7 %	
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	128,718	328,146	139.2%	経常収支比率	93.0 %		93.6 %	
基準財政収入額		22,049,671	21,725,682	1.5%	経常収支比率(臨財・減収除)	94.0 %		95.7 %	
基準財政需要額		31,730,538	30,673,241	3.4%	健全化判断比率	令和5年度		令和4年度	
標準税収入額等		27,953,762	27,564,562	1.4%	実質赤字比率	-		-	
標準財政規模		38,107,164	37,358,455	2.0%	連結実質赤字比率	-		-	
地方債現在高		38,039,303	39,007,000	2.5%	実質公債費比率(単年/3力年)	1.1%	1.0%	1.1%	0.4%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		14,807,745	6,446,340	129.7%	将来負担比率	-		-	

一般職の状況(R6.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	城南衛生管理組合 淀川・木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構
一般職員	41.83 歳	844 人	324,725 円	市長	967,500 円	H30.4.1より		
教育公務員	46.75 歳	24 人	366,705 円	副市長	823,400 円	"		
消防関係職員	42.08 歳	213 人	334,656 円	教育長	730,050 円	"		
技能労務職員	47.75 歳	183 人	343,919 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		
会計年度任用職員	-	-	-	副議長	585,000 円	"		
合計	42.83 歳	1,264 人	329,974 円	議員	535,000 円	"		
ラスパイレス指数(R5.4.1)			100.7					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	3,458,084	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
22,802,665	8,137,787	3,659,758	減債	3,486,436	国保特会	17,616,915	17,616,422	1,459,981
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,453,965	後期高齢特会	3,573,656	3,460,707	735,818
0	3,439,093	38,039,303	退職手当	11,661	介護特会	17,508,416	16,771,709	2,567,888
減収補てん債		臨時財政対策債		その他	3,498,259			
発行額	0	発行額	389,700	合計	11,908,405			

(単位:千円・%)

歳入							歳出(性質別)					
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比	区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率		
地方税	24,578,123	33.8	22,851,885	59.1	人件費	13,451,053	18.9	12,097,561	11,704,090	30.0		
地方譲与税	362,096	0.5	362,096	0.9	うち職員給	8,683,612	12.2	7,925,647	7,876,395	20.2		
利子割交付金	9,792	0.1	9,792	0.1	扶助費	23,601,525	33.1	8,647,884	6,239,800	16.0		
配当割交付金	240,097	0.3	240,097	0.6	公債費	4,463,881	6.3	4,296,613	4,296,613	11.1		
株式等譲渡所得割交付金	244,016	0.3	244,016	0.6	元利償還金	4,461,664	6.2	4,294,396	4,294,396	11.0		
地方消費税交付金	4,033,784	5.5	4,033,784	10.4	一借利子	2,217	0.1	2,217	2,217	0.1		
ゴルフ場利用税交付金	29,415	0.1	29,415	0.1	(義務の経費計)	41,516,459	58.3	25,042,058	22,240,503	57.1		
自動車取得税交付金	3,812	0.1	3,812	0.1	物件費	6,661,729	9.4	4,785,639	4,208,885	10.7		
自動車税環境性能割交付金	69,250	0.1	69,250	0.1	維持補修費	611,508	0.9	532,493	532,493	1.3		
法人事業税交付金	356,196	0.5	356,196	0.9	補助費等	6,295,769	8.8	5,893,801	3,769,398	9.6		
地方特例交付金	200,134	0.2	200,134	0.5	うち一組負担金	1,838,421	2.6	1,838,421	1,286,409	3.3		
地方交付税	10,165,198	14.0	9,763,665	25.3	積立金	710,592	1.0	555,889	-	-		
普通交付税	9,763,665	13.4	9,763,665	25.3	投資及び出資金	814,712	1.1	663,612	41,224	0.1		
特別交付税	401,533	0.6	-	-	貸付金	1,854,235	2.6	130	85	0.1		
小計	40,291,913	55.5	38,164,142	98.7	繰入金	6,967,536	9.8	5,528,771	5,504,700	14.1		
交通安全対策特別交付金	15,987	0.1	15,987	0.1	前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額			
分担金及び負担金	239,059	0.3	0	0.0	投資の経費	5,804,092	8.1	1,499,693	45,878,917			
使用料	1,153,138	1.6	328,878	0.8	うち人件費	74,493	0.1	68,273	経常一般財源等			
手数料	109,169	0.1	0	0.0	普通建設	5,804,092	8.1	1,499,693	38,622,748			
国庫支出金	16,912,150	23.3	-	-	補助	1,916,580	2.7	102,055	臨時一般財源等			
国有提供施設等交付金	77,504	0.1	77,504	0.2	単独	3,887,512	5.4	1,397,638	7,256,169			
府支出金	6,151,475	8.5	-	-	府営事業負担金	0	0.0	0	経常経費充当一財等			
財産収入	92,340	0.1	32,981	0.1	災害復旧	0	0.0	0	36,297,288			
寄付金	150,521	0.2	-	-	歳出合計	71,236,632	100.0	44,502,086				
繰入金	356,310	0.5	-	-	歳出(目的別)							
繰越金	1,349,716	1.9	-	-	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等			
諸収入	2,338,881	3.2	3,256	0.1	議会費	422,430	0.6	0	421,335			
地方債	3,375,300	4.6	-	-	総務費	5,939,518	8.3	557,371	4,779,260			
歳入合計	72,613,463	100.0	38,622,748	100.0	民生費	34,907,031	49.0	196,422	18,184,887			
市町村税の状況							衛生費	5,683,165	8.0	22,363	4,445,469	
							労働費	55,709	0.1	0	25,161	
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	343,209	0.5	49,815	246,239	
	市民税	個人均等割	298,379	1.2	0.3	302,096	-	商工費	2,447,368	3.4	45,131	790,752
		所得割	9,689,400	39.5	1.2	9,972,721	-	土木費	6,625,027	9.3	1,832,740	4,387,440
		法人均等割	398,676	1.6	0.4	358,143	66,160	消防費	2,607,787	3.6	435,034	2,279,622
		法人税割	1,172,809	4.8	11.0	998,613	334,081	教育費	7,741,507	10.9	2,665,216	4,645,308
	固定資産税	9,934,726	40.4	1.7	9,749,333	-	災害復旧費	0	0.0	-	0	
	うち純固定資産税	9,826,077	40.0	1.8	-	-	公債費	4,463,881	6.3	-	4,296,613	
	軽自動車税	373,965	1.5	2.2	377,088	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	983,930	4.0	0.3	941,017	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	71,236,632	100.0	5,804,092	44,502,086	
計	22,851,885	93.0	0.7	22,699,011	400,241	市税収入率						
目的税	都市計画税	1,726,238	7.0	1.6	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,726,238	7.0	1.6	-	-	現年	98.90%	99.27%	99.07%		
合計	24,578,123	100.0	0.7	22,699,011	400,241	合計	98.09%	97.78%	97.95%			

(8) 一般会計等における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。

本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類を作成してきたが、平成27年1月に総務省より「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」が示され、すべての地方公共団体が「統一的な基準」による財務書類を作成することとされ、平成28年度決算からは「統一的な基準」により財務書類を作成している。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常費用」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分等を計上している。

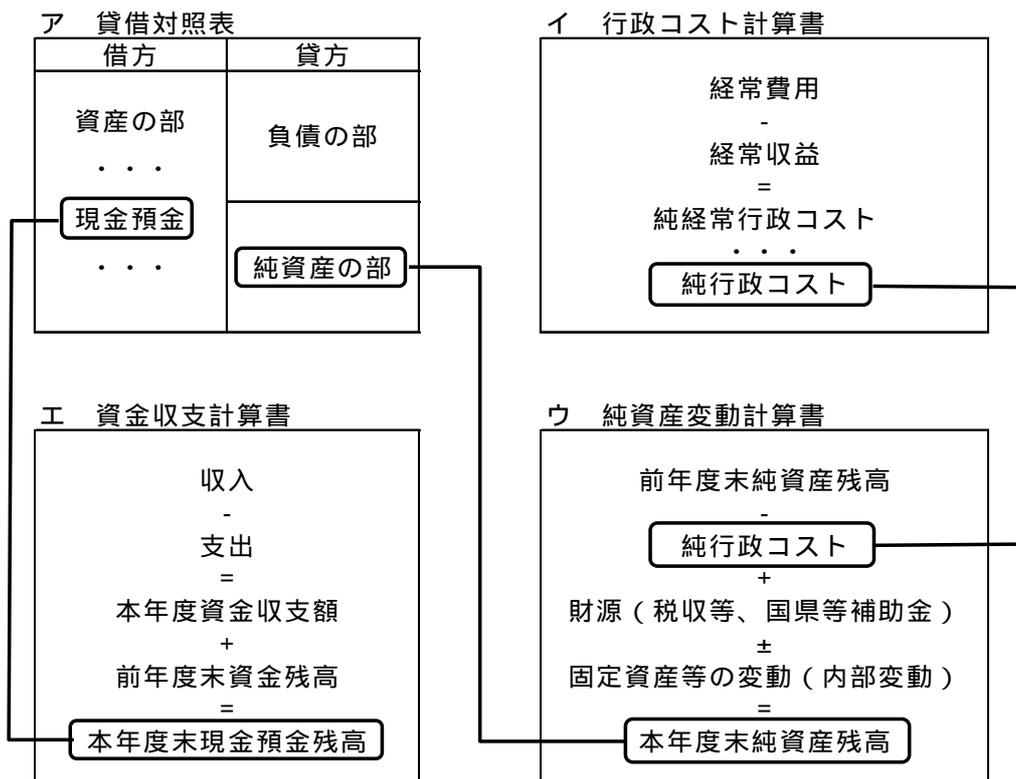
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「税収等」、国・京都府からの「国県等補助金」が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「前年度末資金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「本年度末資金残高」は本年度普通会計の形式収支と一致する。

< 財務書類4表の関連図 >



一般会計等貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	210,525,604	【負債の部】	52,458,457
固定資産	200,473,989	固定負債	44,696,422
有形固定資産	194,712,002	地方債	32,940,834
事業用資産	98,363,491	長期未払金	726,437
土地	69,156,987	退職手当引当金	10,528,267
立木竹	215,819	損失補償等引当金	269,069
建物	72,966,264	その他	231,815
建物減価償却累計額	46,037,714	流動負債	7,762,035
工作物	8,189,559	1年内償還予定地方債	5,098,469
工作物減価償却累計額	7,367,364	未払金	73,467
その他	0	未払費用	0
その他減価償却累計額	0	前受金	0
建設仮勘定	1,239,940	前受収益	0
インフラ資産	94,799,405	賞与等引当金	977,692
土地	54,412,656	預り金	1,482,675
建物	8,182,382	その他	129,732
建物減価償却累計額	4,580,006	負債合計	52,458,457
工作物	103,638,381	【純資産の部】	158,067,147
工作物減価償却累計額	66,999,169	固定資産等形成分	207,430,019
その他	0	余剰分(不足分)	49,362,872
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	145,161		
物品	5,203,820		
物品減価償却累計額	3,654,714		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0		
その他	0		
投資その他の資産	5,761,987		
投資及び出資金	436,091		
有価証券	70,000		
出資金	366,091		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	798,717		
長期貸付金	70,809		
基金	4,481,097		
減債基金	0		
その他	4,481,097		
その他	0		
徴収不能引当金	24,727		
流動資産	10,051,615		
現金預金	2,859,506		
未収金	261,253		
短期貸付金	11,510		
基金	6,944,520		
財政調整基金	3,458,084		
減債基金	3,486,436		
棚卸資産	0		
その他	0		
徴収不能引当金	25,174		
資産合計	210,525,604	純資産合計	158,067,147
		負債及び純資産合計	210,525,604

一般会計等行政コスト計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	66,540,955
業務費用	29,990,449
人件費	14,350,624
職員給与費	11,080,455
賞与等引当金繰入額	100,990
退職手当引当金繰入額	570,045
その他	2,599,134
物件費等	14,313,995
物件費	8,683,244
維持補修費	1,903,205
減価償却費	3,706,528
その他	21,018
その他の業務費用	1,325,830
支払利息	120,885
徴収不能引当金繰入額	3,565
その他	1,201,380
移転費用	36,550,506
補助金等	14,431,202
社会保障給付	16,462,519
他会計への繰出金	5,630,206
その他	26,579
経常収益	2,442,887
使用料及び手数料	1,307,324
その他	1,135,563
純経常行政コスト	64,098,068
臨時損失	29,833
災害復旧事業費	0
資産除売却損	29,833
投資損失引当金繰入額	0
損失補償等引当金繰入額	0
その他	0
臨時利益	50,031
資産売却益	50,031
その他	0
純行政コスト	64,077,870

一般会計等純資産変動計算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	157,991,315	207,684,272	49,692,957
純行政コスト()	64,077,870		64,077,870
財源	63,816,716		63,816,716
税収等	40,753,091		40,753,091
国県等補助金	23,063,625		23,063,625
本年度差額	261,154		261,154
固定資産等の変動(内部変動)		603,561	603,561
有形固定資産等の増加		2,777,907	2,777,907
有形固定資産等の減少		3,746,789	3,746,789
貸付金・基金等の増加		371,777	371,777
貸付金・基金等の減少		6,456	6,456
資産評価差額	99	99	
無償所管換等	342,798	342,798	
その他	5,713	6,609	12,322
本年度純資産変動額	75,832	254,253	330,085
本年度末純資産残高	158,067,147	207,430,019	49,362,872

一般会計等資金収支計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
[業務活動収支]	
業務支出	62,159,827
業務費用支出	25,609,321
人件費支出	13,679,589
物件費等支出	10,607,467
支払利息支出	120,885
その他の支出	1,201,380
移転費用支出	36,550,506
補助金等支出	14,431,202
社会保障給付支出	16,462,519
他会計への繰出支出	5,630,206
その他の支出	26,579
業務収入	65,735,169
税収等収入	40,753,091
国県等補助金収入	22,539,191
使用料及び手数料収入	1,307,324
その他の収入	1,135,563
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	0
臨時収入	0
業務活動収支	3,575,342
[投資活動収支]	
投資活動支出	4,925,359
公共施設等整備費支出	2,777,907
基金積立金支出	713,640
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	1,423,325
その他の支出	10,487
投資活動収入	2,344,829
国県等補助金収入	524,434
基金取崩収入	341,863
貸付金元金回収収入	1,428,501
資産売却収入	50,031
その他の収入	0
投資活動収支	2,580,530
[財務活動収支]	
財務活動支出	4,342,997
地方債償還支出	4,342,997
その他の支出	0
財務活動収入	3,375,300
地方債発行収入	3,375,300
その他の収入	0
財務活動収支	967,697
本年度資金収支額	27,115
前年度末資金残高	1,349,716
本年度末資金残高	1,376,831
前年度末歳計外現金残高	1,476,462
本年度歳計外現金増減額	6,213
本年度末歳計外現金残高	1,482,675
本年度末現金預金残高	2,859,506

重要な会計方針に関する注記

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

(1) 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

(2) 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

2. 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券・・・・・・・・取得原価

(2) 出資金・・・・・・・・出資金額及び市場価格

3. 有形固定資産等の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・定額法

(2) 無形固定資産・・・定額法

(3) リース資産・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

4. 引当金の計上基準及び算定方法

(1) 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

(2) 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

(3) 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

(4) 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

5 . リース取引の処理方法

(1) ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(2) オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

6 . 資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物

なお、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

7 . その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品の計上基準

物品については、取得価額が50万円以上の場合に資産として計上しています。

部門別決算成果概要

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
重点施策	WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心

所管部局
各担当部局

事務事業名	物価高騰対策関連経費	所管課	各担当課
		決算額	3,310,966 千円
事業内容	物価高騰に伴い、大きく影響を受けた市民・事業者等への支援に取り組む。		
成果・実績	物価高騰に伴う市民・事業者等への支援をするための各種施策を実施した。		
	事業	決算額 (千円)	課名
	水道料金等減免事業補助金	156,807	財政課
	物価高騰対策給付金事業費	2,463,540	地域福祉課
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	257,726	こども福祉課
	肥料価格高騰対策事業費	2,376	農林茶業課
	先端設備等導入支援事業費	14,356	産業振興課
	障害福祉施設物価高騰対策事業費	11,474	障害福祉課
	介護保険施設等物価高騰対策事業費	22,070	介護保険課
	民間保育所等物価高騰対策事業費	32,960	保育支援課
	学校給食費高騰対策事業費	30,957	学校管理課
	私立幼稚園物価高騰対策事業費	11,830	学校教育課
	うじの生活おうえんデジタルクーポン事業費	298,863	産業振興課
	商店街等販売促進支援事業費	8,007	産業振興課
			事業者等への経営状況改善支援や補助、給付金の給付等に要した費用
			市内事業者の売上向上等の支援に要した費用
事業評価	物価高騰に伴う市民・事業者等への支援に取り組んだ。引き続き、市民生活や市内経済の状況を踏まえ、水道料金等の減免や学校給食費の値上げ抑制など、市民・事業者等への支援に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
危機管理室

事務事業名	防災事業費	所管課	危機管理室						
		決算額	6,894 千円						
事業内容	災害に備えた防災行政無線の保守及び修繕を行うとともに、市の防災力の維持向上を図るため、防災資機材の充実及び修繕等を行う。								
成果・実績	<p>出水期の大雨及び台風の災害対応に当たるとともに、災害対応に必要な防災行政無線及び防災資機材の保守等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">大雨及び台風の対応に係る経費</td> <td style="text-align: right;">197千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都府震度情報ネットワークシステム点検及び更新</td> <td style="text-align: right;">1,144千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">防災行政無線保守点検</td> <td style="text-align: right;">5,044千円</td> </tr> </table>			大雨及び台風の対応に係る経費	197千円	京都府震度情報ネットワークシステム点検及び更新	1,144千円	防災行政無線保守点検	5,044千円
大雨及び台風の対応に係る経費	197千円								
京都府震度情報ネットワークシステム点検及び更新	1,144千円								
防災行政無線保守点検	5,044千円								
事業評価	防災行政無線及び防災資機材の保守等を行い、宇治市の防災機能を良好に維持することで、安全・安心な市民生活に寄与した。今後も災害に備えた取組を継続し、防災力の向上に努める。								

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理室						
		決算額	4,418 千円						
事業内容	宇治市の防災対策を推進するため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、備蓄品等の計画的な更新を行う。								
成果・実績	<p>防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 10月22日 ・場所 大久保小学校 ・参加者数 約900人 <p>備蓄品等の更新</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・備蓄食料品等の購入</td> <td style="text-align: right;">1,759千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・医薬品の点検、交換</td> <td style="text-align: right;">102千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・職員参集シミュレーションの点検委託</td> <td style="text-align: right;">1,672千円</td> </tr> </table>			・備蓄食料品等の購入	1,759千円	・医薬品の点検、交換	102千円	・職員参集シミュレーションの点検委託	1,672千円
・備蓄食料品等の購入	1,759千円								
・医薬品の点検、交換	102千円								
・職員参集シミュレーションの点検委託	1,672千円								
									
	宇治市防災訓練								
事業評価	防災訓練を実施したことにより、自主防災リーダーや関係機関との連携について確認を行うことができた。今後も様々な取組を通して更なる防災力の向上に努める。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
危機管理室

事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理室
		決算額	632千円
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な経費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度により、自主防災組織の育成を図る。		
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>補助金交付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金交付額 632千円 ・ 交付団体数 16団体 <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: center;">地域の防災訓練</p>		
事業評価	自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、補助金を交付することにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も引き続き、自主防災組織率の向上を図り、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の促進に努める必要がある。		

事務事業名	災害時地域タイムライン作成支援事業費	所管課	危機管理室
		決算額	115千円
事業内容	洪水浸水想定区域にある自主防災組織や町内会等に『災害時地域タイムライン（「いつ」「どこへ」「どのように」避難するかを定めておく計画）』の作成を促すとともに、作成に至るまでの様々な支援を行う。		
成果・実績	<p>タイムライン作成支援の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西大久保地域でのタイムライン作成に向け職員を派遣 ・ 西小倉地域でのタイムライン作成に向け職員を派遣 <p>防災シンポジウム開催（11月11日、約200人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都大学防災研究所長の講演 ・ 東宇治中学校コミュニティスクールの防災活動の報告 ・ 京都子ども記者クラブの防災をテーマとした取材結果の報告 <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: center;">防災シンポジウム</p>		
事業評価	防災シンポジウムにおける東宇治中学校コミュニティスクール及び京都子ども記者クラブの発表を通して、若年層へ防災活動の参画や重要性を訴え、関心を持ってもらうことができた。今後も災害時地域タイムラインの作成支援を継続し、作成率の向上に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	国際交流、平和

所管部局
市長公室

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	8,209千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、市民間の国際交流の発展のため相互の友好親善交流を促進する。		
成果・実績	カムループス市への宇治市訪問団と中学生訪問団の派遣、トンプソン・リバーズ大学の研修生来訪及び咸陽市訪問団来訪などにより、友好都市との交流を深めた。		
	カムループス市交流促進費 7,837千円 ・宇治市訪問団の派遣 7月27日～7月31日 訪問団員 4人 ・中学生訪問団の派遣 7月27日～8月3日 市内在住の中学生 10人 引率者（市職員・中学校教諭） 2人		
			
	・トンプソン・リバーズ大学研修生来訪 5月24日～5月27日 16人		
			
	咸陽市交流促進費 372千円 ・咸陽市訪問団来訪 7月30日 4人		
			
事業評価	宇治市訪問団及び中学生訪問団の派遣などにより、友好都市との交流を図ることができた。今後も引き続き、交流の促進に努めるとともに、社会情勢等を踏まえた国際交流のあり方や手法等を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課						
		決算額	24,650 千円						
事業内容	コミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアであり、その特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。また、災害時において、有効な情報伝達媒体として市民に発信することができる。								
成果・実績	<p>エフエム宇治放送の番組「宇治市探検」において、月曜日から金曜日までの毎日30分間、市政情報を発信したほか、環境問題及び男女共同参画などの啓発スポット放送を流したり、小中学校の児童生徒と保護者をつなぎ、地域にも魅力を発信する「宇治っ子放送部」を月1回程度放送した。その他、災害時等の緊急放送を行うなど、情報発信媒体としてその役割を果たした。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">「宇治っ子放送部」放送回数</td> <td style="text-align: right;">10回</td> </tr> <tr> <td>「宇治市探検」放送回数</td> <td style="text-align: right;">260回</td> </tr> <tr> <td>災害時等緊急時 放送回数</td> <td style="text-align: right;">278回</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>宇治っ子放送部 収録</p> </div>			「宇治っ子放送部」放送回数	10回	「宇治市探検」放送回数	260回	災害時等緊急時 放送回数	278回
「宇治っ子放送部」放送回数	10回								
「宇治市探検」放送回数	260回								
災害時等緊急時 放送回数	278回								
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も引き続き、放送内容のさらなる充実を図るとともに、緊急時における的確かつ効果的な情報の発信手法を検討する必要がある。								

事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課		
		決算額	35,671 千円		
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報誌「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。				
成果・実績	<p>誌面デザインの一部を外部委託するなど、市政情報の効果的な発信を図っている。ポスティングにより、市内全戸へ配布するとともに、市ホームページに掲載するなど広く発信をした。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">1,978,560部</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			年間発行部数	1,978,560部
年間発行部数	1,978,560部				
事業評価	読みやすく分かりやすい紙面構成に努めながら、市政情報を広く市民に伝えることができた。今後も引き続き、紙面の充実を図りながら、市ホームページ及びSNSなどとも連携し、より効果的な市政情報の発信手法を検討する。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,433 千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページ、SNSなどの運用を行う。また、市に関する情報を、動画でわかりやすく発信する。</p>		
成果・実績	<p>市長自らが市政運営のビジョンや施策の考え方など、市政に関する情報を市民に向けて広く届けるため市長記者会見を実施し、宇治日刊記者クラブに対しては、報道資料の提供及び記者発表を行った。</p> <p>また、SNS及びインターネット動画サイトによる効果的な情報発信として、市公式LINEでは、幅広い世代に向け、防災、子育て及びイベント・催し、ごみの出し方などの総合的な市政情報を発信するとともに道路及び公園遊具の損傷などの連絡について、機能を活用し受け付けた。</p> <p>加えて、より多くの人に宇治の魅力を届けるため、市公式Instagramを活用し、宇治の風景及び伝統、イベントなど様々な魅力を発信した。</p>		
事業評価	<p>市長記者会見の実施や市ホームページ、市公式LINE及びInstagramなどを活用した積極的な情報発信を図ることができた。今後も引き続き、より効果的な市政情報の発信手法を検討する。</p>		



事務事業名	情報発信力強化事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	998 千円
事業内容	<p>視覚に障害がある人、識字が困難な人や外国人への情報発信として市政情報を音声化・多言語化する。</p> <p>また、多文化共生の推進に向けて、職員の外国人住民への理解を促進する。</p>		
成果・実績	<p>市ホームページのテキストデータの音声化及び市広報誌等PDFデータの音声化・多言語化を実施した。</p> <p>外国人が暮らしやすいまちづくりを進めるため、外国人住民とのコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の活用・普及促進に向けて、職員を対象に研修を行った。</p> <p>研修名 : やさしい日本語研修会 講師 : 「やさしい日本語」有志の会 受講者数 : 48人</p>		
事業評価	<p>市ホームページやホームページ上の市広報誌等の音声化や多言語化により、障害のある方や外国人等への情報発信を強化することができた。</p> <p>また、外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるため、職員の多文化共生に対する意識啓発や醸成を図ることができた。</p>		



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	戦略的広報推進事業費	所管課	秘書広報課								
		決算額	6,719 千円								
事業内容	ターゲットを定め、わかりやすく、各種メディアの特性を活かした広報と、市民との双方向コミュニケーションの促進を目的とした戦略的広報を推進する。										
成果・実績	<p>戦略的広報を推進するため職員研修等を実施した。また、外部人材である広報戦略プロデューサーを配置し、広報に関することならあらゆる相談が可能な「広報なんでも相談」の実施など、庁内のサポート体制を整備するとともに、情報発信力の強化を図るため、チラシ等のデザイン作成や、SNS広告等を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">職員研修</td> <td style="text-align: right;">6回</td> </tr> <tr> <td>広報なんでも相談</td> <td style="text-align: right;">93件</td> </tr> <tr> <td>チラシ等デザイン作成</td> <td style="text-align: right;">32件</td> </tr> <tr> <td>SNS広告</td> <td style="text-align: right;">55件</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			職員研修	6回	広報なんでも相談	93件	チラシ等デザイン作成	32件	SNS広告	55件
職員研修	6回										
広報なんでも相談	93件										
チラシ等デザイン作成	32件										
SNS広告	55件										
事業評価	研修や広報に関する相談等を通じて、広報活動への意識向上や戦略的広報の推進を図ることができた。今後も、引き続き、職員向け研修、広報に関する相談、SNS等を活用したプロモーションの実施などを通じて、市全体の情報発信力の強化を図る。										

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信

所管部局
市長公室 産業観光部

事務事業名	紫式部のまち魅力発信プロモーション事業費	所管課	秘書広報課・観光振興課
		決算額	53,016 千円
事業内容	2024年大河ドラマ「光る君へ」を契機とした、源氏物語と紫式部ゆかりの地である宇治の歴史・文化・観光の魅力発信及びまちの活性化に向けた各種プロモーションを実施する。		
成果・実績	<p>紫式部ゆかりのまち宇治市・越前市・大津市3市連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3市共同ホームページ制作 ・公式ドラマガイドブックへの共同広告掲載 等 <p>魅力発信プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用ホームページ制作、SNSによる発信 ・PRポスター制作、雑誌記事掲載 ・音声ガイド制作(市内23か所) 等 ・イベント実施 <p>京都アニメーションとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトロゴ、キービジュアル、PR動画作成 <p>響け！ユーフォニアムコラボイラスト作成</p> <p>NHK関連団体との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRポスター、PR冊子制作 <p>交通事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車、駅への広告掲載 		
	 <p>プロジェクトロゴ</p>	 <p>キービジュアル</p>	
事業評価	NHK関連団体、京都アニメーション、紫式部ゆかりの市との連携によるプロモーション及び、交通事業者等と連携した広域プロモーションに加え、SNS等を活用した情報発信、各種イベントを実施することで「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信とまちの活性化を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進
取組の方向	市民・産・学・官等との連携・協働

所管部局
市長公室

事務事業名	市長とにぎわいミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	23千円
事業内容	<p>市民参画・協働によるまちづくりのため、市長が市民の方が活動されている現場へ出向き、その活動を体験等することにより活動に対する理解を深める。 また、意見交換を実施し、活動されている方々の活動に対する思い及び取り巻く状況、意見などを聴き、市政への反映を図る。</p>		
成果・実績	以下のとおり、全7回開催し、地域で活動されている市民等と意見交換を実施した。		
	開催日	対象団体	内容
	9月4日(月)	NPO法人 ちはやぶる宇治の未来をつくる会	市民が発信する宇治の魅力について
	9月30日(土)	地域で活躍する現役世代	それぞれの地域活動について
	12月3日(日)	宇治市消防団あさぎり分団	あさぎり分団の活動について
	12月9日(土)	宇治市国際交流協会日本語教室	外国人が暮らしやすいまちについて
	1月10日(水)	高校生文化芸術祭典 ～FUN×FAN×FES～実行委員会	高校生文化芸術祭典 ～FUN×FAN×FES～について
	3月7日(木)	伝統的ものづくり企業	伝統工芸の挑戦と未来について
	3月10日(日)	子ども記者クラブ	子ども記者クラブでの活動について
			
事業評価	<p>幅広い様々な分野において、地域で活動されている市民等と活発な意見交換を行うことができた。 今後も引き続き、現場に出向いて、市民の思い及び取り巻く状況を把握し、市民協働のまちづくりの推進に努める。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課 決算額	人事課 4,126 千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少や少子高齢社会が進行する中で、市民ニーズを的確に把握しながら、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>求められる職員像 Change「変える・変わる職員」</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) Collaborate「市民と協働する職員」 地域の方々と連携し、市民参画・協働を促進 (2) Catch「ニーズや変化をキャッチする職員」 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知 (3) Create「創造する職員」 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造 (4) Communicate「コミュニケーション能力の高い職員」 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通 (5) Challenge「チャレンジする職員」 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦 <p>基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>特別研修 市長とAfternoonTeaミーティング、新任庶務担当者研修、安全運転研修、人権研修など</p> <p>派遣研修 京都府市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所など</p>		
事業評価	<p>各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上などを行った。引き続き、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を目指し、効率的かつ効果的な研修を実施する。</p>		



市長とAfternoonTeaミーティング

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	人事課
		決算額	2,449千円
事業内容	<p>各部から選出された若手職員がチームを組み、チームごとに政策研究テーマを設定し、課題を自ら発見し、チームで共有、検討しながら課題解決につなげることができる能力の向上を図るワークショップ型の研修を実施する。最終的に研修参加者が幹部職員の前で自ら立案した政策をプレゼンテーションする。</p> <p>各部から選出された若手管理職が柔軟な発想と行動力でイノベーション（変革）を起こせるよう、意識改革を図ることを目的とした研修を実施する。</p>		
成果・実績	<p>チーム型政策研究プログラム 12名の参加者が3チームに分かれ、緊急指令！自衛隊と連携強化せよ、公園のまちうじ、茶づなにおこしやす、と題し、それぞれのテーマについての政策研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織横断的に職員が参加したことにより、職種間の新たな交流や、多様な価値観に触れる機会が生まれた。 市の課題を自ら発見する中で、より広い視野で市の現状を捉える機会が生まれた。 		
	<p>イノベーションリーダー研修 23名の参加者が講義とグループワークを通じて、リーダーに求められる役割、変革を実践するための業務の見直し方法、必要なリーダー力や人材の活かし方（人材育成）について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務見直しの方法、ポイントや実践するためにリーダーに求められる役割について学ぶ機会となった。 自身に求められている役割や部下の育成方法について、組織を超えて交流し、情報共有を図ることで、自身のスキルアップを図る機会となった。 		
事業評価	<p>チーム単位で取り組むテーマを決定し、決定したテーマについて研究・検討を重ねることで、より深い議論のもと政策研究が実施できた。また、行政運営上の課題の解決手法及び重点施策をより推進する手法などについて、知識を吸収するだけでなく、職員の政策立案能力の向上が図れた。</p> <p>若手管理職に求められる役割や人材育成方法などについて組織を超えて交流することで、受研者それぞれの行動や考え方の振り返りができた。</p> <p>今後も職員の自発性及び積極性の向上に留まらず、調査・研究を行った提案の事業化・予算化の実現も視野に入れ、他課との連携をはじめ、より効果的な手法を検討しながら、継続的に事業を実施する。</p>		



チーム型政策研究プログラム発表の様子



イノベーションリーダー研修の様子

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
市長公室

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	22,505 千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断及びメンタルヘルスケアのための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>労働安全衛生法に基づき、職員を対象に定期健康診断を実施した。受診後のフォロー及び職員の健康意識向上のため、生活習慣改善教室、産業医による個別指導などを行った。</p> <p>職場のメンタルヘルスケアを推進するため、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき、予防から再発防止までの対策として、産業医による相談事業、職場復帰訓練（試し出勤）などを実施した。</p> <p>長時間勤務による健康被害を予防するため、超過勤務者等に対して健康調査及び産業医による面接指導を実施した。</p> <p>職員健康管理医師報酬 720千円 産業医による復職相談及び安全衛生管理業務など 産業医による面談 12回（月1回定期的に実施）</p> <p>「こころの健康相談」医師・カウンセラー等謝礼 1,555千円 相談事業の実施、メンタルヘルス対策の推進 産業医による面談 24回（月2回定期的に実施）</p> <p>職員（嘱託含む）各種健診手数料 11,551千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>特殊健康診断等委託料 7,914千円 定期健康診断の有所見者のフォロー（二次健診、生活習慣改善教室など） 頸肩腕・腰痛予防の健診及びVDT作業従事者健診、職業病予防の健康教室、メンタル不調予防のためのストレスチェックなど</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止を行い、メンタルヘルス対策について正しい情報を提供することにより、職員の心身の健康増進を図ることができた。今後も引き続き、職員の健康の保持・増進に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信	

事務事業名	子育てにやさしいまちプロモーション事業費	所管課	政策戦略課
		決算額	192千円
事業内容	<p>子育てにやさしいまち実現プロジェクトの取組により創出された地域の子育て環境やまちの賑わいを、市内外へ戦略的に広報するとともに、子育てにやさしいまち実現プロジェクトの広がりを発信することにより、プロジェクトの取組全体を推進する。</p>		
成果・実績	<p>「子育てにやさしいまちうじ」をテーマにプロモーション動画を公募した。市長を交えて地域で活動されている方々と子育てに関するトークセッションを実施するとともに、公募したプロモーション動画の受賞作品の紹介を行った。</p> <p>プロモーション動画の公募</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集期間：令和5年7月21日～令和5年8月31日 応募数：13作品（市長賞1作品、優秀賞2作品、特別賞3作品） <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>市長賞：「ボクの大好きなまち宇治」 (QRコードから閲覧可能)</p>  </div> </div> <p>トークセッションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和5年10月29日 場所：西宇治体育館芝生広場 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>SNSを活用したプロモーション</p> <p>「#うちの子育て宇治」をキーワードに宇治市で開催されたイベントに参加している様子等をInstagramに投稿してもらい、市内外への情報発信を図った。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>Instagram「#うちの子育て宇治」QRコード</p> </div> </div>		
事業評価	<p>「子育てにやさしいまちうじ」をテーマにプロモーション動画を公募し、情報発信することにより、市民参加によるプロモーションを実施することができた。引き続き、全市域での施策展開に向け、プロジェクトの取組の推進に努める。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
政策企画部

事務事業名	有料広告事業（歳入）	所管課	政策戦略課他		
		決算額	15,495 千円		
事業内容	新たな歳入の創出、財源の確保に関する取組の一環として、市広報媒体への有料広告の掲載を実施しており、広告媒体の拡充及び広告料収入を活用した新たなサービスツールの導入など、業務改善、市民サービスの向上に努める。				
成果・実績	広告料収入実績及び効果額				
	(千円)				
	媒体名	令和4年度		令和5年度	
		歳入	効果額 (歳出減相当)	歳入	効果額 (歳出減相当)
	ホームページバナー	557	-	682	-
	市政だより	3,898	-	4,766	-
	車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,548	-	1,944	-
	トイレ壁面・公共施設マップ	792	-	792	-
	窓口用封筒	-	300	-	300
	源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	-	140	-
	宇治子育て情報誌	-	5,000	-	5,000
	窓口案内システム	104	600	104	600
	総合情報誌（くらしの便利帳）	-	30,000	-	-
	納税通知書送付用封筒	-	276	-	478
	空き家情報誌	-	150	-	292
観光案内所サイネージ	148	5,000	356	41	
高齢者向け情報誌（生きがい探しのすすめ）	119	-	-	-	
小計	7,306	41,326	8,784	6,711	
合計		48,632		15,495	
事業評価	市広告媒体への有料広告の掲載により、歳入の確保及び市民サービスの向上を図ることができた。引き続き、広告媒体の拡充について検討し、新たな歳入の確保に努める。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
政策企画部

事務事業名	ふるさと応援寄附金（歳入）	所管課	政策戦略課																								
		決算額	148,360 千円																								
事業内容	<p>自治体に寄附をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、宇治市では平成20年10月から応援いただけるふるさと宇治の創生に取り組むべく、宇治市の魅力的な返礼品を提供し、市のPR及び魅力発信を行っている。</p> <p>また、自治体に寄附をすると税制上の優遇措置が受けられる企業版ふるさと納税制度について、「地域再生計画」を作成し、国からの認定を受け、寄附受入の取組を行っている。</p>																										
成果・実績	<p>新たな返礼品の追加及び電子商品券の導入などに取り組み、市のPR及び魅力発信に努めた。</p> <p>ふるさと応援寄附金の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>247</td> <td>315</td> <td>356</td> <td>402</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>1,937</td> <td>4,765</td> <td>10,839</td> <td>11,441</td> <td>8,812</td> </tr> <tr> <td>金額（千円）</td> <td>59,433</td> <td>103,057</td> <td>176,901</td> <td>182,098</td> <td>143,360</td> </tr> </tbody> </table> <p>品目数は、各年度3月31日現在</p> <p>電子商品券の導入</p> <p>宇治市での食事や体験、商品購入に利用できる電子商品券を導入し、宇治市を訪れるきっかけづくりを図るとともに、観光客による利用、観光における満足度の増加に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 49件 ・金額 1,370千円 <p>企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 1件 ・金額 5,000千円 			年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	品目数	247	315	356	402	427	件数	1,937	4,765	10,839	11,441	8,812	金額（千円）	59,433	103,057	176,901	182,098	143,360
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																						
品目数	247	315	356	402	427																						
件数	1,937	4,765	10,839	11,441	8,812																						
金額（千円）	59,433	103,057	176,901	182,098	143,360																						
事業評価	<p>多くの方々から寄附をいただき、源氏物語のまちづくりや観光振興、未来を担う子どもたちを育む事業等の推進に資することができた。引き続き、更なる返礼品の充実及び広報により、寄附受入件数、金額の増加を図るとともに、企業版ふるさと納税についても、受入件数、金額が増加するよう制度の周知及び企業へのアプローチを行う。</p>																										



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	政策戦略課							
		決算額	1,198 千円							
事業内容	行政課題に対して、組織的に課題解決の手法を研究、提案、実施することで課題解決能力の向上及び政策立案能力の向上を図る。									
成果・実績	政策研究 庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえ、担当課において大学と連携して共同研究を行った。									
	・採択事業一覧									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅課</td> <td>空き家流通・利活用促進施策の研究</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	住宅課	空き家流通・利活用促進施策の研究			
	担当課	研究テーマ								
住宅課	空き家流通・利活用促進施策の研究									
政策アイデア 17件（テーマ部門7件、フリー部門3件、事務提案アイデア7件） 職員からのアイデア及び事務事業の改善に効果を発揮するアイデアの募集を行い、市政への参加意欲及び政策立案能力の向上を図った。										
優秀政策表彰 3件 市民サービスの向上等に効果を上げた認められる優れた取組を3月1日の市制記念日に表彰し、周知することで、全庁的な取組への波及及び職員の企画立案の意欲向上の促進を図った。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>案件名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危機管理室</td> <td>防災シンポジウム 「ここから創（はじ）める第一歩～大災害に備えた若年層の視点と参画～」</td> </tr> <tr> <td>笠取小学校</td> <td>笠取小学校 「笠取スマイルプロジェクト」～みんなのふる里 これからも～</td> </tr> <tr> <td>予防課</td> <td>企業とのコラボレーションによる火災予防広報</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	案件名	危機管理室	防災シンポジウム 「ここから創（はじ）める第一歩～大災害に備えた若年層の視点と参画～」	笠取小学校	笠取小学校 「笠取スマイルプロジェクト」～みんなのふる里 これからも～	予防課	企業とのコラボレーションによる火災予防広報
担当課	案件名									
危機管理室	防災シンポジウム 「ここから創（はじ）める第一歩～大災害に備えた若年層の視点と参画～」									
笠取小学校	笠取小学校 「笠取スマイルプロジェクト」～みんなのふる里 これからも～									
予防課	企業とのコラボレーションによる火災予防広報									
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> 企業とのコラボレーションにより商品化した「消防車カステラ」 </div> </div>										
事業評価	行政課題を発見し、解決に向けた研究の実施、改善の提案などに取り組むことにより、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、大学との連携により、専門的な知識を活かした研究を行うことができた。引き続き、庁内での積極的な政策研究、政策提案の促進を図り、幅広い行政分野での課題解決に向けた取組を検討する。									

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	ICT活用推進事業費	所管課	デジタル政策課										
		決算額	13,242 千円										
事業内容	ICT活用推進の取組としてタブレット端末、テレワーク端末などを活用し、業務の効率化、充実化を図る。												
成果・実績	<p>タブレット端末（iPad）については、翻訳アプリの活用による窓口での多言語対応を図るとともに、ペーパーレス会議システムの導入による印刷事務の軽減及び避難所開設時の情報共有ツールとして活用を行った。テレワーク端末については、オンライン会議や選挙事務などにおいて活用を行った。</p> <p>公共施設の利用者が、オンライン会議や活動内容の配信などができるように、Wi-Fi設備の活用を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 80%;">タブレット端末関連経費（135台）</td> <td style="text-align: right;">7,643千円</td> </tr> <tr> <td>ペーパーレス会議システム関連経費</td> <td style="text-align: right;">1,550千円</td> </tr> <tr> <td>テレワーク端末関連経費（70台）</td> <td style="text-align: right;">3,297千円</td> </tr> <tr> <td>公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）</td> <td style="text-align: right;">501千円</td> </tr> <tr> <td>オンライン申請環境関連経費</td> <td style="text-align: right;">251千円</td> </tr> </table>			タブレット端末関連経費（135台）	7,643千円	ペーパーレス会議システム関連経費	1,550千円	テレワーク端末関連経費（70台）	3,297千円	公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）	501千円	オンライン申請環境関連経費	251千円
タブレット端末関連経費（135台）	7,643千円												
ペーパーレス会議システム関連経費	1,550千円												
テレワーク端末関連経費（70台）	3,297千円												
公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）	501千円												
オンライン申請環境関連経費	251千円												
事業評価	市民の利便性の向上と業務の効率化を図るための環境の維持更新等を行った。今後も状況に応じて、運用方法の見直しや台数の精査・変更など、更に効果的・効率的な活用を検討する。												

事務事業名	デジタルデバイド対策事業費	所管課	デジタル政策課				
		決算額	3,906 千円				
事業内容	誰もがデジタルの恩恵を受けることのできる社会を目指し、身近なデジタル機器であるスマートフォンの操作講座や市オンライン申請の問合せ対応など、周知・広報などを実施する。						
成果・実績	<p>国のデジタル活用支援推進事業等を活用しながら、電源の入れ方や電話のかけ方といった基礎的な内容や、アプリの使い方、Wi-Fiのつなぎ方といった基本的な操作方法を中心に、各公共施設等においてスマートフォン操作講座を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 80%;">スマートフォン操作講座（85回開催、642人参加）</td> <td style="text-align: right;">953千円</td> </tr> <tr> <td>オンライン申請コールセンター</td> <td style="text-align: right;">2,953千円</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			スマートフォン操作講座（85回開催、642人参加）	953千円	オンライン申請コールセンター	2,953千円
スマートフォン操作講座（85回開催、642人参加）	953千円						
オンライン申請コールセンター	2,953千円						
事業評価	少人数、個別指導形式でテキスト配付等によって講座を実施し、参加者のスマートフォンの操作の理解を深めることができた。アプリインストールやスマホ決済等の中級・応用講座も実施しており、今後も国等の事業を活用しながら積極的な事業実施に努める。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	AI・RPA活用事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	7,150 千円
事業内容	AIによる認識機能や、パソコン操作を自動化するプログラムによる定型作業の自動化により、事務の効率化を図り、業務見直しを促進する。		
成果・実績	9課にてRPAを導入し、各課が自動化プログラムの構築等を行えるよう操作研修やBPR研修を実施した。またAI-OCRについては、操作研修を実施し、6課の各種書類を選定し、各課にて帳票設定・テスト読取を実施した。		
	主なRPA導入業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより原稿編集作業（秘書広報課） ・ 育成学級土曜日通級申請者一覧表作成作業（こども福祉課） ・ 決算資料作成業務作業（営業課） 	 <p>RPA操作研修会</p>	
事業評価	RPA、AI-OCRを本格導入し定型作業を自動化することができた。引き続き庁内の定型作業の自動化に努める。		

事務事業名	デジタル政策推進事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	14,755 千円
事業内容	行政サービスや行政事務、地域社会のデジタル化といった、宇治市全体のデジタル化を推進するため、専門的な支援や助言、人材育成などを行うため、外部人材等を活用した取組を進める。		
成果・実績	外部人材（デジタル政策プロデューサー）を活用して専門的な支援や助言を受けることにより、デジタル化推進指針の取組推進や人材育成に関する取組、デジタル技術を活用した庁内業務効率化等の取組を行った。		
	 <p>デジタル政策プロデューサーによる研修</p>		
事業評価	業務委託の形態で外部人材等を活用することにより、様々な分野に応じた業務支援を受けることができる環境を構築し、階層別・テーマ別の職員研修の実施等を通じて、デジタルリテラシーの向上を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	都市情報デジタル化推進費	所管課	デジタル政策課
		決算額	5,305 千円
事業内容	教育・福祉・都市計画など、様々な情報をGISを使ってデータ共有し、視覚的で横断的な情報取得を可能とすることで、データ活用の促進を図る。		
成果・実績	<p>新たに京都府統合型GISに都市計画縦覧図等を登録することで、住所検索を可能とし、規制情報等を一度に確認しやすい環境をWeb上に構築した。</p> <p style="text-align: right;">統合型GIS都市計画縦覧図等登録業務委託 3,060千円</p>		
事業評価	新たに都市計画縦覧図等をWeb上に公開することにより、市民・事業者の利便性の向上と窓口等対応時間の縮減を図ることができた。今後も適切なシステム運用に努めていく。		

事務事業名	情報システム標準化・共通化対応事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	34,443 千円
事業内容	自治体の情報システムを標準化・共通化することにより、庁舎内外の情報連携を容易にするとともに、システム関連コストの低減を図り、あわせて、行政サービスの向上・行政事務の効率化等を目指す。		
成果・実績	<p>標準化法に基づき、対象20業務について、令和7年度末までにガバメントクラウド上に構築される標準準拠システムへと移行するため、各業務における標準仕様書との比較分析等の移行準備作業を行った。</p> <p style="text-align: right;">対象20業務における標準仕様書との比較分析資料作成業務委託 15,180千円 基幹業務支援システムデータ抽出機能開発業務委託 17,613千円 基幹業務支援システム移行環境構築業務委託 1,650千円</p>		
事業評価	令和7年度末までの標準準拠システムへの移行に向けて、各業務における標準仕様書との比較分析等を実施することができた。今後も計画的に移行作業を実施していく。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	AI議事録作成支援システム導入費	所管課	デジタル政策課														
		決算額	704 千円														
事業内容	AI議事録作成支援システムを導入することにより、AIによる音声認識機能を利用し、録音した音声データをテキストデータ化することにより、職員による会議録作成作業時間等を削減し、業務の効率化を図る。																
成果・実績	<p>令和5年8月よりAI議事録作成支援システムを導入し、AIによる会議録の作成を行った。</p> <p>AI議事録作成支援システム利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">会議回数</th> <th style="width: 15%;">会議時間</th> <th style="width: 15%;">文字起こし等 (時間)</th> <th style="width: 15%;">システム 導入後 (時間)</th> <th style="width: 15%;">削減効果 (時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度 (8月～3月)</td> <td style="text-align: center;">397</td> <td style="text-align: center;">483</td> <td style="text-align: center;">1,932</td> <td style="text-align: center;">644</td> <td style="text-align: center;">1,288</td> </tr> </tbody> </table>					年度	会議回数	会議時間	文字起こし等 (時間)	システム 導入後 (時間)	削減効果 (時間)	令和5年度 (8月～3月)	397	483	1,932	644	1,288
年度	会議回数	会議時間	文字起こし等 (時間)	システム 導入後 (時間)	削減効果 (時間)												
令和5年度 (8月～3月)	397	483	1,932	644	1,288												
事業評価	AI議事録作成支援システムを導入し、会議録の作成を一部自動化したことにより、職員の会議録作成にかかる時間を削減することができた。今後も職員に対して積極的な利用を促し、さらなる業務の効率化を図る。																

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム強靱化推進事業費	所管課	デジタル政策課		
		決算額	16,348 千円		
事業内容	公共施設を繋ぐネットワーク関連機器の更新にあたり、ネットワーク構成を再整備し、有事の際の被害の最小化及び対応の迅速化、維持管理経費の節減を図る。				
成果・実績	<p>公共施設を繋ぐネットワーク構成を再整備した、新たなネットワーク回線の敷設作業、ネットワーク機器等の調達を行った。</p> <p>ネットワーク回線敷設作業、ネットワーク機器調達等 16,348円</p>				
事業評価	令和6年度の回線切り替えに向けて、回線敷設作業、ネットワーク機器等の調達を実施することができた。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	マイナンバーカード普及促進事業費	所管課	デジタル政策課																																								
		決算額	206,623 千円																																								
事業内容	庁舎一階のマイナンバーカード専用窓口でカード交付を行うほか、電子証明書の発行・更新や暗証番号の再設定など関連する手続きを行う。あわせて公共施設をはじめ、商業施設等において出張申請サポート等を実施する。																																										
成果・実績	マイナンバーカード専用窓口において、マイナンバーカードの円滑な交付やカード関連事務を実施するとともに、窓口混雑情報サイト「宇治市なう！」の活用や、完全予約制で月1~2回休日交付を実施した。カードと健康保険証の連携や公金受取口座の登録、マイナポイントの申込支援にも取り組んだ。 あわせて庁外においても出張申請サポートやマイナポイントの申込支援等を行った。																																										
	マイナンバーカード交付状況																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年度</th> <th style="width: 20%;">交付数 (件)</th> <th style="width: 20%;">交付数累計 (件)</th> <th style="width: 20%;">交付率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,665</td> <td>1,665</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>14,694</td> <td>16,359</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3,252</td> <td>19,611</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2,248</td> <td>21,859</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,860</td> <td>25,719</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>25,206</td> <td>50,925</td> <td>27.4</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>26,368</td> <td>77,293</td> <td>41.8</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>45,135</td> <td>122,428</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>18,370</td> <td>140,798</td> <td>77.3</td> </tr> </tbody> </table>			年度	交付数 (件)	交付数累計 (件)	交付率 (%)	平成27年度	1,665	1,665	0.9	平成28年度	14,694	16,359	8.7	平成29年度	3,252	19,611	10.4	平成30年度	2,248	21,859	11.6	令和元年度	3,860	25,719	13.7	令和2年度	25,206	50,925	27.4	令和3年度	26,368	77,293	41.8	令和4年度	45,135	122,428	66.7	令和5年度	18,370	140,798	77.3
年度	交付数 (件)	交付数累計 (件)	交付率 (%)																																								
平成27年度	1,665	1,665	0.9																																								
平成28年度	14,694	16,359	8.7																																								
平成29年度	3,252	19,611	10.4																																								
平成30年度	2,248	21,859	11.6																																								
令和元年度	3,860	25,719	13.7																																								
令和2年度	25,206	50,925	27.4																																								
令和3年度	26,368	77,293	41.8																																								
令和4年度	45,135	122,428	66.7																																								
令和5年度	18,370	140,798	77.3																																								
	出張申請サポート 247回																																										
事業評価	年度当初には、非常に多くの方に来庁いただいたため、カードの受取りや暗証番号の再設定等に時間を要することがあったが、窓口混雑情報サイト等を有効的に活用することで、待ち時間の目途をお伝えするなど、可能な限り混雑緩和に努めた。出張申請サポートでは市内公共施設、商業施設において積極的に事業を展開したことで、多くの申請支援を行うことができた。																																										

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	地方創生の推進

所管部局
政策企画部 福祉こども部

事務事業名	所管課	決算額																																						
デジタル田園都市国家構想交付金（歳入）	財政課・こども福祉課	165,165 千円																																						
事業内容	<p>京都府全域において宇治市の持つ地域資源を国内外へ広く発信するとともに、伝統文化の活用・継承による関係人口の創出及び地域人材・資源の育成・活用による移住定住の促進を図る。</p> <p>また、地域の住民及び企業などの多様な主体がつながり、社会全体で子どもを見守り、子育てを支援する子育て・子育てにやさしいまちづくりや地域の文化・芸術活動を推進する。大津市と連携し、平安文化観光ルートを形成するとともに観光情報を戦略的に発信する。加えて、コンビニ交付やオンライン学習を推進する。</p>																																							
成果・実績	<p>地方創生推進タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らしを」 ～みんなが主役の地域振興事業～ <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO負担金</td> <td>7,407 千円</td> </tr> <tr> <td>活力あふれる地域コミュニティづくり</td> <td>18,503 千円</td> </tr> <tr> <td>地域の魅力ある仕事づくり</td> <td>914 千円</td> </tr> <tr> <td>暮らしやすさ向上による移住定住促進事業</td> <td>150 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,974 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てにやさしいまちの核づくり事業</td> <td>15,369 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 文化庁移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>源氏ろまん事業・地域文化の発信</td> <td>12,021 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PRツールの制作、鉄道広告等を活用した情報発信</td> <td>23,928 千円</td> </tr> <tr> <td>大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施</td> <td>23,532 千円</td> </tr> <tr> <td>デジタル技術を活用したガイド作成、平安時代のまち体験</td> <td>1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48,960 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>デジタル実装タイプ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンビニ交付サービス事業</td> <td>5,085 千円</td> </tr> <tr> <td>小・中学校ICT教育充実事業</td> <td>56,756 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>61,841 千円</td> </tr> </tbody> </table>		対象事業	充当事業費	お茶の京都DMO負担金	7,407 千円	活力あふれる地域コミュニティづくり	18,503 千円	地域の魅力ある仕事づくり	914 千円	暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	150 千円	合計	26,974 千円	対象事業	充当事業費	子育てにやさしいまちの核づくり事業	15,369 千円	対象事業	充当事業費	源氏ろまん事業・地域文化の発信	12,021 千円	対象事業	充当事業費	PRツールの制作、鉄道広告等を活用した情報発信	23,928 千円	大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施	23,532 千円	デジタル技術を活用したガイド作成、平安時代のまち体験	1,500 千円	合計	48,960 千円	対象事業	充当事業費	コンビニ交付サービス事業	5,085 千円	小・中学校ICT教育充実事業	56,756 千円	合計	61,841 千円
対象事業	充当事業費																																							
お茶の京都DMO負担金	7,407 千円																																							
活力あふれる地域コミュニティづくり	18,503 千円																																							
地域の魅力ある仕事づくり	914 千円																																							
暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	150 千円																																							
合計	26,974 千円																																							
対象事業	充当事業費																																							
子育てにやさしいまちの核づくり事業	15,369 千円																																							
対象事業	充当事業費																																							
源氏ろまん事業・地域文化の発信	12,021 千円																																							
対象事業	充当事業費																																							
PRツールの制作、鉄道広告等を活用した情報発信	23,928 千円																																							
大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施	23,532 千円																																							
デジタル技術を活用したガイド作成、平安時代のまち体験	1,500 千円																																							
合計	48,960 千円																																							
対象事業	充当事業費																																							
コンビニ交付サービス事業	5,085 千円																																							
小・中学校ICT教育充実事業	56,756 千円																																							
合計	61,841 千円																																							
事業評価	<p>交付金を活用して、本市の地域資源の積極的な発信をはじめ、子育てに関する交流の場や居場所づくりなどの地域全体で子育て・子育てを支援する施策、文化・観光の魅力発信や体験事業の実施、住民票の写しと印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスによる利便性向上、オンライン学習環境の充実を推進することができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況把握、効果などの分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>																																							

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	上下水道

所管部局
政策企画部

事務事業名	水道料金等減免事業補助金	所管課	財政課
		決算額	156,807 千円
事業内容	物価高騰等の影響を大きく受けた市民及び事業者等の支援を目的とした水道料金の基本使用料、量水器使用料を免除する公営企業上下水道部に対して補助を行う。		
成果・実績	<p>公営企業上下水道部が実施した水道料金等減免事業により減収した給水収益等に対し補助を行った。</p> <p>(参考) 水道料金等減免事業 水道料金の基本使用料、量水器使用料を半額免除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期分 全地区 ・ 第2・3期分 全地区(低所得者減額制度対象者のみ) ・ 第6期分 奇数月検針地区 ・ 延べ免除件数 97,412件 		
事業評価	補助金の交付を行い、物価高騰等により経済的に影響を受けている市民や事業者などの負担軽減を図った。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	877 千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>地域における自主的な防犯活動の支援に取り組んだ。</p> <p>安全・安心まちづくり補助金の交付 地域住民への防犯啓発、通学路の点検、児童・生徒の登下校時の見守り活動、団体内部における防犯情報の共有、地域ぐるみの防犯パトロールの実施などに取り組む防犯推進団体に対して、活動を支援するための補助金を交付した。</p> <p>市民の防犯意識の啓発 12月の市民安全・安心推進旬間に「ドラマよりスゴイ！ワイドショーでは教えてくれない！消費生活センターには、こんな相談が寄せられます」をテーマに防犯講演会を開催した。</p>		
事業評価	防犯推進団体への活動支援等により、安全・安心なまちづくりに資する取組を推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるよう、今後も引き続き「宇治市第4次防犯推進計画」に定める各種施策に着実に取り組む必要がある。		

事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	283 千円
事業内容	犯罪被害者等が置かれた状況が社会に十分理解され、犯罪被害者等が孤立することなくその権利利益が保護されるよう、関係機関等と連携しながら犯罪被害者等への支援を行う。		
成果・実績	<p>犯罪被害者等への支援や、支援の必要性に対する市民理解の浸透に向けた広報・啓発を実施した。</p> <p>犯罪被害者等支援の情報提供 総務課のワンストップ窓口での相談とともに（公社）京都犯罪被害者支援センターをはじめ関係部署等と連携した犯罪被害者支援講演会や研修の開催、広報活動に取り組んだ。</p> <p>「ホンデリングプロジェクト」の実施 犯罪被害者週間を中心とした11月20日から12月1日までの間、古本等の回収箱を市内公共施設17か所に設置し、売却収益を犯罪被害者等の支援に充てる「ホンデリングプロジェクト」に取り組んだ。</p>		
事業評価	犯罪被害者等への支援及び関係機関との連携による啓発の実施等により犯罪被害者支援施策の推進を図った。今後も引き続き適切な支援及び関係機関との連携による効果的な啓発の実施等に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	防犯カメラ設置事業補助金	所管課	総務課
		決算額	1,160 千円
事業内容	街頭での高齢者や子どもの見守り、犯罪発生を抑止及び体感治安の向上を図るため、町内会・自治会などを対象に防犯カメラの設置に係る費用のうち、補助対象経費の1/2（上限10万円/台）を補助する。		
成果・実績	町内会・自治会などが実施する防犯カメラ設置にかかる費用に対し、補助金を交付した。 交付実績 台数 13台 団体数 8団体		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。今後も引き続き、「宇治市第4次防犯推進計画」に基づき、地域における自主的な防犯活動の一層の推進に取り組む必要がある。		

事務事業名	地域安全・安心見守り事業費	所管課	総務課
		決算額	6,816 千円
事業内容	日常生活の中で防犯活動への参加機会を増やす「ながら」防犯の推進を図るとともに、各小学校への防犯カメラの設置を行う。		
成果・実績	京都府宇治警察署・宇治防犯協会・宇治市が市内の事業者との連携による防犯の取組を推進することを目的に、「ながら」防犯パトロール出発式を開催した。 <div style="text-align: center;">  <p>「ながら」防犯パトロール出発式</p> </div> パトラン京都山城チーム・京都府宇治警察署・宇治市が連携し、7月と10月にパトラン（パトロール＋ランニング）で運動し「ながら」地域の安全の見守りを行った。 7月の府民（市民）安全・安心推進旬間と12月の市民安全・安心推進旬間にあわせて、アル・プラザ宇治東店にて「ながら」防犯パトロールの啓発活動を行った。 小学校区ごとの地域安全マップを基にした地域や学校との協働による防犯カメラの設置を行った。 台数 22台 小学校区数 10校区		
事業評価	「ながら」防犯の推進や各小学校区への防犯カメラの設置により、地域における防犯、環境の整備に寄与することができた。今後も引き続き犯罪や非行が起こりにくい地域環境づくりの推進に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	国際交流、平和

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	4,094千円
事業内容	宇治市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、市民平和祈念集会を始め、沖縄への平和訪問団の派遣、戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 平和都市推進協議会補助金 4,094千円		
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も引き続き、さらなる事業効果の向上のため、事業内容の工夫・検討により、平和事業への参加者増加を図るとともに、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	総務課	
		決算額	7,622 千円	
事業内容	「統計法」に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢などについて実態を把握する。			
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。			
	名称 (所管等)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等	決算額 (千円)
	学校基本調査 (文部科学省)	令和5年5月1日 (毎年・全数調査)	幼稚園、小・中学校、専門学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。	12
	経済センサス 調査区管理 (総務省)		調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。追加された事業所情報等について調査区の確認を行う。	3
	住宅・土地 統計調査	令和5年10月1日 (5年・抽出調査)	我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、住生活関連諸施策の基礎資料を得る。	7,561
	国勢調査 準備		調査実施に先立ち、市町村説明会の実施。	1
	農林業センサス 準備		調査実施に先立ち、市町村説明会の実施。	3
		調査員確保対策事業(所管：総務省) 42千円 統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、登録調査員の確保を図った。		
事業評価	調査員と連携し、各種統計調査を適正に実施したことにより、宇治市の人口・経済・社会情勢などの実態を把握することができ、市の各施策へ活用可能な統計資料の基礎資料を作成することができた。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	消費生活振興費	所管課	市民協働推進課												
		決算額	533 千円												
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きにおいて生じた困り事に対し、専門の消費生活相談員が助言・情報提供・あっせんなどを行う。また、市民の消費生活の向上を図るため、情報発信や啓発を行う。														
成果・実績	<p>消費生活センターに相談員3名を配置し、1,259件の相談に応じた。 また、消費生活に関する出前講座や消費者月間ロビー展示・消費生活市民講座などを通じて、市民啓発や消費者団体の育成を図った。</p> <p>啓発事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 20%;">実施時期</th> <th style="width: 30%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座</td> <td style="text-align: center;">通年</td> <td style="text-align: center;">33回596人参加</td> </tr> <tr> <td>消費者月間ロビー展示</td> <td style="text-align: center;">5月22日～26日</td> <td style="text-align: center;">204人参加</td> </tr> <tr> <td>消費生活市民講座</td> <td style="text-align: center;">11月17日</td> <td style="text-align: center;">30人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	成果	出前講座	通年	33回596人参加	消費者月間ロビー展示	5月22日～26日	204人参加	消費生活市民講座	11月17日	30人参加
事業名	実施時期	成果													
出前講座	通年	33回596人参加													
消費者月間ロビー展示	5月22日～26日	204人参加													
消費生活市民講座	11月17日	30人参加													
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善・向上に寄与することができた。今後も、広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、様々な手法により市民啓発を図るとともに、各種研修会等への参加を通じて相談員の一層の資質向上に努める必要がある。														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	市民協働推進課								
		決算額	66千円								
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。										
成果・実績	<p>地域社会貢献者 24回目となる令和5年度は、7件の受賞者であった。</p> <p>受賞者名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・北 昌平 氏</td> <td style="width: 50%;">・新谷 和久 氏</td> </tr> <tr> <td>・関河 嘉賢 氏</td> <td>・田邊 まゆみ 氏</td> </tr> <tr> <td>・松川 照代 氏</td> <td>・中村 カツ子 氏</td> </tr> <tr> <td>・長谷川 笑子 氏</td> <td></td> </tr> </table>			・北 昌平 氏	・新谷 和久 氏	・関河 嘉賢 氏	・田邊 まゆみ 氏	・松川 照代 氏	・中村 カツ子 氏	・長谷川 笑子 氏	
・北 昌平 氏	・新谷 和久 氏										
・関河 嘉賢 氏	・田邊 まゆみ 氏										
・松川 照代 氏	・中村 カツ子 氏										
・長谷川 笑子 氏											
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。今後も引き続き、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図る必要がある。										

事務事業名	菟道ふれあいセンター運営費	所管課	市民協働推進課
		決算額	3,064千円
事業内容	地域のコミュニティ形成の場である菟道ふれあいセンターの管理運営を行う。		
成果・実績	<p>子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった幅広い活動に利用された。</p> <p>菟道ふれあいセンター年間延べ利用人数 9,252人</p>		
事業評価	菟道ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	市民協働推進課								
		決算額	71,921 千円								
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。										
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて11,842件、延べ124,845人の利用があった。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">16,225千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">19,242千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">20,637千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">槇島コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">15,817千円</td> </tr> </table>			西小倉コミュニティセンター運営費	16,225千円	東宇治コミュニティセンター運営費	19,242千円	南宇治コミュニティセンター運営費	20,637千円	槇島コミュニティセンター運営費	15,817千円
西小倉コミュニティセンター運営費	16,225千円										
東宇治コミュニティセンター運営費	19,242千円										
南宇治コミュニティセンター運営費	20,637千円										
槇島コミュニティセンター運営費	15,817千円										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。										

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	市民協働推進課
		決算額	37,440 千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	公立集会所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場として地域コミュニティの活性化を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	民間集会所支援補助金	所管課	市民協働推進課									
		決算額	4,829 千円									
事業内容	町内会・自治会などが自主的に管理運営する民間集会所の新築または修繕などについて補助を行う。											
成果・実績	<p>民間集会所の環境整備として、30件に補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">耐震診断</td> <td style="padding-left: 20px;">1件</td> <td style="padding-left: 20px;">173千円</td> </tr> <tr> <td>耐震改修</td> <td>1件</td> <td>1,525千円</td> </tr> <tr> <td>維持管理</td> <td>28件</td> <td>3,131千円</td> </tr> </table>			耐震診断	1件	173千円	耐震改修	1件	1,525千円	維持管理	28件	3,131千円
耐震診断	1件	173千円										
耐震改修	1件	1,525千円										
維持管理	28件	3,131千円										
事業評価	地域住民の身近な活動の場である民間集会所の改修等に補助することにより、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。今後も継続的に地域のニーズに沿った効果的な補助制度の運用を検討する必要がある。											

事務事業名	コミュニティ助成事業補助金	所管課	市民協働推進課						
		決算額	4,000 千円						
事業内容	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を目的に、募集等を行い、町内会・自治会などに補助金を交付する。								
成果・実績	<p>地域コミュニティ活動の充実・強化を目的に、町内会・自治会2件のコミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に対し、補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">一般コミュニティ助成事業</td> <td style="padding-left: 20px;">2件</td> </tr> <tr> <td>・若葉台自治会</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>・黄檗グリーンタウン自治会</td> <td>2,500千円</td> </tr> </table>			一般コミュニティ助成事業	2件	・若葉台自治会	1,500千円	・黄檗グリーンタウン自治会	2,500千円
一般コミュニティ助成事業	2件								
・若葉台自治会	1,500千円								
・黄檗グリーンタウン自治会	2,500千円								
事業評価	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、町内会・自治会などに対して、制度を周知の上、補助金を交付することで、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	地域のつながり促進事業費	所管課	市民協働推進課																				
		決算額	11,266 千円																				
事業内容	人と人とのつながりが希薄化している中、地域のつながりの促進に向け、「人」と「空間」に着目した各種取組を行う。																						
成果・実績	<p>地域コミュニティ活性化や地域課題の解決に向けて、地域コミュニティ活性化事業補助金を交付するとともに、地域活動支援事業をまとめた、地域活動サポートメニューを作成した。</p> <p>まちのリビング創出促進事業補助金により、モデルエリアの中宇治に加え、木幡・黄檗及び小倉エリアに支援地域を拡充し、交流空間における「きっかけ」の創出や「つながり」の促進に対して支援を行った。</p> <p>また、令和2年度に地域への無償譲渡を行った西浦東集会所の改修等に対し、集会所地域移行支援補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">「人」</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">地域コミュニティ活性化事業補助金</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6件</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,292千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「空間」</td> </tr> <tr> <td>まちのリビング創出促進事業補助金</td> <td style="text-align: center;">18件</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,058千円</td> </tr> <tr> <td>集会所地域移行支援補助金</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td></td> <td style="text-align: right;">645千円</td> </tr> </table>			「人」				地域コミュニティ活性化事業補助金	6件		1,292千円	「空間」				まちのリビング創出促進事業補助金	18件		9,058千円	集会所地域移行支援補助金	1件		645千円
「人」																							
地域コミュニティ活性化事業補助金	6件		1,292千円																				
「空間」																							
まちのリビング創出促進事業補助金	18件		9,058千円																				
集会所地域移行支援補助金	1件		645千円																				
事業評価	「人」と「空間」に着目し、それぞれの観点で支援を行うことで、地域のつながりの促進に寄与することができた。今後も引き続き、地域コミュニティ活性化のため、地域のつながりを促進する支援に努める。																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	中宇治市民協働推進拠点基本ビジョン策定費	所管課	市民協働推進課
		決算額	1,153 千円
事業内容	世代や目的に捉われず、自然と人が集い交流が生まれるような市民協働推進拠点を中宇治地域に整備するにあたり、必要とする機能や整備場所、今後の方向性を示す基本ビジョンを策定する。		
成果・実績	<p>市民等と共に考える機会の創出とニーズの把握等を目的に、事前勉強会とまちあるきを実施した後にワークショップ3回を実施し、令和6年1月に中宇治地域の市民協働推進拠点基本ビジョンを策定した。</p> <p>基本ビジョンの概要 テーマ 中宇治のコミュニティ・リビング ～市民が主役の交流・連携・学習・協働がうまれる、まちなかのリビングスペース～</p> <p>必要とする機能 ・出会いと自由な憩いの場 ・子育て支援の場 ・多世代交流の場 ・趣味・遊び・学びの場</p> <p>整備場所：菟道ふれあいセンター</p>		
事業評価	「市民協働でつくるまちづくりの拠点ワークショップ」には、様々な世代や分野の市民等の参加があり、その成果をもって基本ビジョンの策定につなげることができた。今後も市民等と協働し、基本ビジョンで定めた中宇治地域市民協働推進拠点のテーマである「中宇治のコミュニティ・リビング」の実現に向けた取組に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	広聴事務費	所管課	市民協働推進課
		決算額	130 千円
事業内容	市民の行政に対する意見、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼、要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談・行政懇談会などの内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設27か所に設置している「市民の声」投書箱により、広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩み事、心配事など日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,665件 （市政相談1,359件、他の公共機関等65件、民事相談ほか241件） ・行政懇談会 7回 ・行政相談 12回（毎月第3木曜日） 		
事業評価	市民相談・行政懇談会などを通じて市民ニーズを把握し、市民の要望を市政に反映することができた。今後も、市民に親しまれる身近な相談窓口として、より効果的な広聴手法を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	61,383 千円														
事業内容	小倉、木幡など市内6か所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">9,728</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">11,845</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">6,821</td> </tr> <tr> <td>槇島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">5,974</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">5,397</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: center;">4,339</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	9,728	木幡行政サービスコーナー	11,845	南宇治行政サービスコーナー	6,821	槇島行政サービスコーナー	5,974	東宇治行政サービスコーナー	5,397	開行政サービスコーナー	4,339
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	9,728																
木幡行政サービスコーナー	11,845																
南宇治行政サービスコーナー	6,821																
槇島行政サービスコーナー	5,974																
東宇治行政サービスコーナー	5,397																
開行政サービスコーナー	4,339																
事業評価	諸証明の発行業務を市内6か所で実施することにより、地域住民の利便性向上に努めた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める必要がある。																

事務事業名	諸証明発行事業	所管課	市民課																													
		決算額	13,454 千円																													
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。																															
成果・実績	<p>住民票の写し等諸証明発行数（行政サービスコーナー分を含む）</p> <p style="text-align: right;">(通)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">名称</th> <th style="width: 20%;">交付数</th> <th style="width: 35%;">うちコンビニ交付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書</td> <td style="text-align: center;">46,074</td> <td style="text-align: center;">613</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し</td> <td style="text-align: center;">64,661</td> <td style="text-align: center;">1,054</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等</td> <td style="text-align: center;">21,896</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等</td> <td style="text-align: center;">2,844</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等</td> <td style="text-align: center;">9,193</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票</td> <td style="text-align: center;">3,207</td> </tr> <tr> <td>閲覧</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>諸証明</td> <td style="text-align: center;">6,827</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証</td> <td style="text-align: center;">5,558</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">は件数</td> </tr> </tbody> </table>			名称	交付数	うちコンビニ交付	印鑑登録証明書	46,074	613	住民票の写し	64,661	1,054	戸籍全部事項証明書等	21,896	/	戸籍個人事項証明書等	2,844	除かれた戸籍全部事項証明書等	9,193	除かれた戸籍個人事項証明書等	120	戸籍附票	3,207	閲覧	14	諸証明	6,827	印鑑登録証	5,558	は件数		
名称	交付数	うちコンビニ交付																														
印鑑登録証明書	46,074	613																														
住民票の写し	64,661	1,054																														
戸籍全部事項証明書等	21,896	/																														
戸籍個人事項証明書等	2,844																															
除かれた戸籍全部事項証明書等	9,193																															
除かれた戸籍個人事項証明書等	120																															
戸籍附票	3,207																															
閲覧	14																															
諸証明	6,827																															
印鑑登録証	5,558																															
は件数																																
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。令和6年3月からは人にやさしいデジタル化推進の取組として、印鑑登録証明書と住民票の写しのコンビニ交付サービスを導入した。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める。																															

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	13,500 千円
事業内容	<p>農業者の高齢化が急速に進展する中、新規就農者を確保し農業を持続させるため、経営確立に資する資金及び経営発展に必要な機械・施設導入等に資する資金の交付等により、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。</p>		
成果・実績	<p>次世代を担う農業者となることを目指す者に対して、経営開始時の資金や機械・施設等の導入資金を交付し、経営開始時から早期の経営確立に向けた支援を行った。</p> <p>農業次世代人材投資事業（経営開始型） ・件数 3件</p> <p>新規就農者育成総合対策（経営開始資金） ・件数 1件</p> <p>新規就農者育成総合対策（経営発展支援事業） ・件数 1件</p>		
事業評価	<p>新規就農者に対し、早期の経営確立を支援する資金及び経営発展に必要な機械・施設導入を支援する資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。</p>		

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	600 千円
事業内容	<p>平成26年度から農地利用最適化を進める手法として、各都道府県に一つ農地中間管理機構が設立された。市街化区域外の農地を借り受け、担い手に対して貸出を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。</p>		
成果・実績	<p>農地の借受希望及び貸付希望の公募を支援し、マッチングを行った結果、約0.85haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。</p> <p>農地中間管理事業（貸借） ・マッチング 4件 ・貸付面積 約0.85ha</p>		
事業評価	<p>農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングにより、農地集積を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き当該機構を活用した農業者への支援に努める。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,782 千円
事業内容	鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、シカ及びイノシシの捕獲を進める。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、農林業生産物への被害防止を目的に宇治猟友会に委託して捕獲事業を実施したほか、被害防止のための捕獲及び狩猟によるシカ捕獲に対して捕獲奨励金を交付した。</p> <p>捕獲事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治猟友会による捕獲頭数 72頭 <p>奨励金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害防止捕獲 <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業対象捕獲頭数 72頭 ・ 狩猟 <ul style="list-style-type: none"> 猟期中のシカ捕獲強化事業による奨励金対象捕獲頭数 132頭 		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金の交付などにより、農林業生産物の被害の軽減を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き事業の効果を検証しながら、農林業生産物被害の軽減等に努める。		

事務事業名	農業用施設等導入チャレンジ事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,711 千円
事業内容	高収益作物への転換や生産性の向上を促進して農業者の経営安定を図るため、パイプハウス等の農業用施設の導入等を支援する。		
成果・実績	<p>園芸作物用施設整備 高収益作物の作付を推進するため、園芸作物用施設（パイプハウス等）のリース費用について支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 4件 <p>新規水源確保支援事業 安定的に農業用水を確保するため、農業用井戸の掘削費用等、新規水源確保の整備にかかる経費に対し支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 1件（設置個所 2か所） 		
事業評価	市内農業者の農業用施設整備の負担を軽減し、計画的な農業経営を促進することができた。今後も制度の周知を行い、安定した農業経営の継続を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農業情報発信事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	789 千円
事業内容	市内産農産物を周知し、消費や販路拡大を促進するため、イベント出展や直売の機会創出などを支援する。		
成果・実績	<p>農業者×市内事業者マッチング商談会 飲食業等、市内農産物の新たな直売販路となる業者と、市内農業者の対面方式による商談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 19人（うち農業者8人、飲食等事業者11人） <p>市内農産物等魅力発信事業（宇治めぐりPR委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展 20回 		
事業評価	イベント出展などを通して市内産農産物を消費者に向けて情報発信するとともに、マッチングの機会を設けることで、販路拡大や直売の取組につなげることができた。今後もより効果的な情報発信の方法を検討し、消費・販路拡大の支援に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	27,868 千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の未然防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理を行ったことにより、災害の未然防止を図ることができた。建設後20年近くが経過しており、国、京都府と協議のうえ、適切な時期に改修、更新を図り、施設の維持管理に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	働きやすい農業支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	116 千円
事業内容	市内農業者の労働力不足の解消及び規模拡大を目的に、従業員の雇用環境整備に取り組む農業者に対して、労働環境の整備にかかる費用の一部を支援する。		
成果・実績	<p>働きやすい農業支援事業費補助金 労働力不足の解消及び規模拡大を推進するため、労働環境改善のための施設整備にかかる経費に対し支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 1件（汲取式仮設トイレの設置） 		
事業評価	茶園における仮設トイレの設置により、農作業者の労働環境改善を図ることができた。今後も制度の周知を行い、引き続き労働環境改善を推進する。		

事務事業名	農地利用地域計画策定費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,081 千円
事業内容	高齢化や人口減少による農業者の減少や荒廃農地の拡大を防ぐため、将来目指すべき農地利用の姿として地域農業のあり方をまとめた計画書（本体）と農地の将来の利用者を明確化した目標地図をあわせた地域計画を策定する。		
成果・実績	<p>地域計画の策定に向け、農地所有者（市内・市外）を対象に農地利用の意向調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答数 412通/ 898通（45.9%） 1,726筆/3,119筆（55.3%） 		
事業評価	農地利用の意向調査を実施し、農地所有者の将来意向を一定把握することができた。今後は農地利用の意向調査結果を踏まえ、地域での協議を行い、地域計画の策定を進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	良質米生産奨励支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	4,443 千円
事業内容	<p>やましる産米の特Aランク獲得に向け、特別栽培米やこだわり米などの良質米の生産強化のため、市内農業者を支援するとともに、イベント等で宇治市産米の普及促進・消費喚起の取組を支援する。また、ジャンボタニシ対策支援として農薬購入費の一部を支援する。</p>		
成果・実績	<p>良質米生産強化支援事業 3,704千円 特別栽培米やこだわり米などの良質米の生産強化のため、市内農業者を対象に市内のJAに出荷した米1袋(30kg)あたり500円を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こだわり米 7,321袋 3,660千円 ・特別栽培米 87袋 44千円 <p>宇治市産米普及促進・消費喚起事業 JAまつり等のイベントで宇治市産こだわり米の直接販売を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こだわり米(5kg袋)500袋の制作と販売 590千円 <p>ジャンボタニシ対策支援事業 市内の水稻農家が行う害虫対策費用(農薬購入費)の3分の1を支援(上限10万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 4件(延べ30人) ・補助金額 149千円 		
事業評価	<p>良質米生産に向けた農家支援を実施し、特Aランク獲得への意欲に繋げていくとともに、消費者に向けて宇治市産米のPRと米の消費喚起ができた。また、ジャンボタニシ駆除の取組を支援することができた。今後も引き続き、市内産米の生産強化への支援に取り組む。</p>		

事務事業名	京都フードテック構想連携促進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	42 千円
事業内容	<p>「京都フードテック基本構想」に基づき、京都府が南部総合地方卸売市場内に整備予定の中食等加工食品研究開発拠点について、整備後の効果的な活用に向け、市内生産者を対象に異業種との研修会等を実施する。</p>		
成果・実績	<p>「農園見学・生産者交流会」の開催(市主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月22日 市内3農園(13名参加) <p>栄養・調理等の専門学校の学生・教員が参加し、市内生産者から農産物の特長等について説明を受け、収穫体験等を通じて交流を行った。</p> <p>「新たな付加価値を持つ加工食品開発のためのシンポジウム」の開催(京都府共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月27日 宇治市中央公民館(81名参加) 		
事業評価	<p>市内生産者へ向けて、加工食品開発等への足掛かりとなる取組ができた。引き続き、市内農業者の中食等加工食品研究開発拠点の有効活用に向けて関係機関と連携し、より効果的な支援に努める。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	森林経営管理運営費	所管課	農林茶業課
		決算額	6,837 千円
事業内容	市内の私有人工林における森林経営管理を行う。		
成果・実績	<p>炭山底広に位置する人工林において森林経営管理調査等を実施した。また、経営管理権集積計画を策定し、各森林所有者からの同意を取得した。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18林班1～3小班の現況調査等 対象人工林面積 16.5ha (森林簿面積 12.0ha) うち、スギ：3.37ha、ヒノキ：12.94ha、除地・風倒木：0.25ha 		
事業評価	森林環境譲与税を活用し、森林経営管理調査の実施及び経営管理権集積計画の策定を行った。また、森林所有者に森林経営管理制度の周知を図るとともに計画への同意を取得した。今後は、策定した計画に基づき、私有人工林の森林整備に向けた取組を進める。		

事務事業名	森林保全地域連携活動事業費	所管課	農林茶業課																				
		決算額	6,925 千円																				
事業内容	本市における森林の持つ多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に伝えていくため、森林の整備や保全、森林資源の循環利用、森林の多様な重要性について、市民理解の促進に取り組む。																						
成果・実績	<p>森林の整備及び保全 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>課名</th> <th>事業概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊かな森を育てる事業</td> <td>農林茶業課</td> <td>・危険木伐倒処理に係る補助 1件</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> <tr> <td>森林保全地域連携活動事業</td> <td>農林茶業課</td> <td>・菟道逃谷地区の風倒木処理業務 測量 1.36ha 風倒木処理 0.1ha</td> <td style="text-align: right;">4,315</td> </tr> </tbody> </table> <p>府内産木材の利用促進事業 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>課名</th> <th>事業概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合野外活動センター府内産木製備品等整備事業</td> <td>生涯学習課</td> <td>・総合野外活動センター木質化整備 (テーブルベンチ、すべり台等)</td> <td style="text-align: right;">2,310</td> </tr> </tbody> </table>			事業	課名	事業概要	事業費	豊かな森を育てる事業	農林茶業課	・危険木伐倒処理に係る補助 1件	300	森林保全地域連携活動事業	農林茶業課	・菟道逃谷地区の風倒木処理業務 測量 1.36ha 風倒木処理 0.1ha	4,315	事業	課名	事業概要	事業費	総合野外活動センター府内産木製備品等整備事業	生涯学習課	・総合野外活動センター木質化整備 (テーブルベンチ、すべり台等)	2,310
事業	課名	事業概要	事業費																				
豊かな森を育てる事業	農林茶業課	・危険木伐倒処理に係る補助 1件	300																				
森林保全地域連携活動事業	農林茶業課	・菟道逃谷地区の風倒木処理業務 測量 1.36ha 風倒木処理 0.1ha	4,315																				
事業	課名	事業概要	事業費																				
総合野外活動センター府内産木製備品等整備事業	生涯学習課	・総合野外活動センター木質化整備 (テーブルベンチ、すべり台等)	2,310																				
事業評価	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、森林の整備及び保全などを行うことができた。今後も交付金事業の趣旨を踏まえ、より効果的・効率的に森林整備及び保全などに取り組む必要がある。																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課他
		決算額	1,410 千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川などで行われた稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。</p> <p>放流実績 あゆ : 5万尾 ふな : 5千尾 うなぎ : 4千尾 あまご : 1千尾</p> <p>はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われた。</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業に助成することにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後もより効果的な支援に努める。		

事務事業名	肥料価格高騰対策事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,376 千円
事業内容	海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用などの取組を行う農業者に肥料コスト上昇分の一部を支援する。		
成果・実績	<p>国が行う肥料価格高騰対策事業の自己負担分の1/2を上限として、上乘せ支援を実施した。</p> <p>・件数 73件</p>		
事業評価	持続可能な農業への取り組みを進める農業者の農業経営に及ぼす影響を緩和させ、経営改善への支援をすることができた。今後も国や京都府の動向を注視しながら、農業者が安心して営農を続けることができるよう、市として積極的な支援に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課	
		決算額	6,354千円	
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。			
成果・実績	全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。			
		第77回 全国茶品評会	第75回 関西茶品評会	第56回 宇治市茶品評会
	出品数	41	49	31
	優等数	/		
	1等	5	2	4
	2等	6	10	4
	3等	9	10	7
	農林水産大臣賞	受賞(てん茶の部)	受賞(てん茶の部)	/
	産地賞	受賞(てん茶の部)	受賞(てん茶の部)	/
				
	産地賞受賞セレモニー		第77回全国お茶まつり福岡大会 褒賞授与式	
事業評価	全国茶品評会等各種品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高め、ブランド力の向上に繋げることができた。今後も引き続き質の高い宇治茶が生産されるよう、効果的な支援に努める。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	510 千円
事業内容	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
成果・実績	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月 1日・2日 京都大作戦2023 ・ 8月19日 京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデー ・ 9月 8日 文化庁京都移転記念行事 「きょう ハレの日、」 ・ 11月12日 宇治茶・山城ごちそうフェスタ <p>市主催の会議等において宇治市内産玉露かりがねを提供（254袋）</p> <p>新規採用職員向けにお茶の淹れ方研修を実施</p>		
事業評価	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施することにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後も引き続き、宇治茶、とりわけ宇治市内産宇治茶の効果的・効率的な普及啓発に努める。		

事務事業名	市内産宇治茶PR事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,505 千円
事業内容	市の基幹産業である宇治茶について、動画等の新たな素材を作成し、イベント等で紹介することにより、宇治茶の魅力について広く情報発信を行う。		
成果・実績	<p>市内産宇治茶PR動画の作成 市内産宇治茶のPRと伝統的な「手摘み」を支えるお茶摘みさんの確保に向けた各種動画を作成し、市公式YouTubeへ掲載、発信するとともに、関西万博におけるインバウンドに向け、英語翻訳版の作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内産宇治茶PR動画 市内産宇治茶の特徴である「手摘み」と「覆下栽培」についてPRするとともに、茶工場等の様子を紹介する動画を作成。 全体版：6分 概要版：1分 ・ お茶摘み紹介動画 市内産宇治茶の特徴である「手摘み」に焦点を置き、お茶摘み風景や手元の動きなどを撮影し、お茶の摘み方を解説する動画を作成。 全体版：2分 		
事業評価	市内産宇治茶の特長を紹介する動画を作成し、市公式YouTubeへの掲載やイベントでの情報発信を行うことで、より一層興味を持ってもらえるきっかけを創出することができた。引き続き、市内産宇治茶のPRとお茶摘みさんの確保につながる広報に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	高品質茶ブランド力強化事業費	所管課	農林茶業課																																																				
		決算額	5,286 千円																																																				
事業内容	宇治茶の歴史と伝統を継承し、高品質茶としてのブランド力を維持・発展させるために支援を行う。																																																						
成果・実績	<p>高品質茶推進事業 伝統ある宇治茶製法の特色である「手摘み」・「覆下栽培」を支える取組や環境にやさしい茶生産の取組等を支援した。 手摘み茶推進対策については対象事業費を200万円から300万円に拡充し、「手摘み」を支えるお茶摘みさんの人材確保のための取組への支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">1,676.0</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">221.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">高品質茶 生産振興</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> </tr> <tr> <td>寒冷紗一重式</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>棚整備(永久棚)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">70.0</td> </tr> <tr> <td>被覆張替え</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">12.5</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">30.0</td> </tr> <tr> <td>茶業振興対策</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">12.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">75</td> <td style="text-align: center;">2,027.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>優良茶園振興事業 茶園の新規造成及び優良品種への新植・改植について支援を行った。 また、市が指定する品種の場合には補助率を2分の1から4分の3へ拡充し、宇治種をはじめとした品評会上位種への新植・改植事業の取組への支援強化に取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>新植</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>改植</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">34.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">34.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>お茶摘みさんへの感謝状贈呈 長年手摘みを支えてこられたお茶摘みさんに、3月の市制施行記念式典にて感謝状の贈呈を行った。</p>				実施件数	面積 (a)	環境にやさしい茶生産対策	19	1,676.0	手摘み茶推進対策	30	-	凍霜害対策	0	-	伝統技術継承対策	15	221.8	高品質茶 生産振興	寒冷紗二重式	1	5.5	寒冷紗一重式	0	-	棚整備(永久棚)	5	70.0	被覆張替え	2	12.5	点滴灌水	1	30.0	茶業振興対策	2	12.0	合計	75	2,027.8		事業実施件数	面積 (a)	茶園拡大	0	-	新植	0	-	改植	3	34.7	合計	3	34.7
		実施件数	面積 (a)																																																				
	環境にやさしい茶生産対策	19	1,676.0																																																				
	手摘み茶推進対策	30	-																																																				
	凍霜害対策	0	-																																																				
	伝統技術継承対策	15	221.8																																																				
	高品質茶 生産振興	寒冷紗二重式	1	5.5																																																			
		寒冷紗一重式	0	-																																																			
		棚整備(永久棚)	5	70.0																																																			
		被覆張替え	2	12.5																																																			
点滴灌水		1	30.0																																																				
茶業振興対策	2	12.0																																																					
合計	75	2,027.8																																																					
	事業実施件数	面積 (a)																																																					
茶園拡大	0	-																																																					
新植	0	-																																																					
改植	3	34.7																																																					
合計	3	34.7																																																					
事業評価	高品質茶推進事業においては、伝統的な宇治茶の生産方法の継承を図り高品質な茶の生産振興を図ることができた。また、優良茶園振興事業においては、改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。引き続き、より効果的な支援に努める。																																																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業創業支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	10,644 千円
事業内容	創業初期の経営安定化及び地域経済の活性化等を目的として、新たに創業する者や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助する。		
成果・実績	宇治市創業支援補助金 新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。 ・ 交付件数 10件（うち空き家活用2件）		
事業評価	創業支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」との連携により、「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金を活用した創業支援件数を達成することができた。今後も引き続き、各機関と連携・協働して市内での起業を促進する必要がある。		

事務事業名	企業用地確保推進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	271 千円
事業内容	宇治市産業戦略に位置付けた「新たな工業用地の確保」の実現のため、都市計画マスタープランで示された産業立地検討エリアの「国道24号沿道地区」への産業立地及び土地利用転換に向けて、市内外企業のニーズ把握、関係機関等との調整等を実施する。		
成果・実績	土地利用転換等に向け、地域未来投資促進法に基づく基本計画において重点促進区域として位置付けた国道24号沿道地区の土地利用調整計画について、2月に京都府から変更同意を得るとともに、進出予定企業の「地域経済牽引事業計画」作成の支援を行った。 また、国道24号沿道地区の地区計画の告示及び農振除外の公告を行った。		
事業評価	国道24号沿道地区の企業立地に向けた土地利用転換等の取組を着実に実施することができた。1日も早い産業立地の実現に向けて、引き続き農業、都市計画等の関係者や関係機関等と協議しながら、土地利用転換に向けた取組を進める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	こども未来キャンパス事業費	所管課	産業振興課
		決算額	13,252 千円
事業内容	産業交流拠点「うじらぼ」において、小学生から大学生を対象に、起業・体験スクールを開催し、保護者の理解のもと、多様な働き方が選択できる「にぎわいのあるまちづくり」を推進するとともに、未来を担う人材の育成に努め、ふるさとへの愛着を醸成する。		
成果・実績	宇治市こども未来キャンパス（小・中学生向け） 全22回 10,162千円 こども達が自分の社会の繋がり方を身につけ、共に社会に挑戦するスクール。未来を担うこども達が今後、多様な働き方を選択し、挑戦できる体験を提供。 <ul style="list-style-type: none"> ・体験会9回：参加87名（定員90名 / 申込212名） ・本スクール：参加32名（定員30名 / 申込94名） 		
	宇治市こども未来キャンパスオンライン（小・中学生向け） 全12回 上記スクールへ参加できないこども向けに、オンラインでのスクールを開催。 参加：563名		
成果・実績	宇治市未来キャンパス（高校・大学生向け） 全9回 3,090千円 宇治市を舞台に、多様な働き方を知り、地域課題を解決しながら、「将来こんなこと(事業)をやってみたい」を具現化するスクール。 参加：23名 （高校生11名、大学生12名）		
	地域のお店や商店街の実際に働く現場を知ることによる「学び」、未経験なことに実際に触れ・挑戦してみる「体験」、若い世代が描く将来の夢やビジョンの「実現」の機会を提供するとともに、地域と関わりながら実施することで、地域全体で宇治市の未来を担う子どもたちを育む機運醸成を図ることができた。今後も引き続き、地域事業者等と連携し、「学び」、「体験」、「実現」の機会を提供する。		
事業評価			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	産業振興課																					
		決算額	12,359 千円																					
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながっている。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																							
成果・実績	<p>施設利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">627</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">119</td> <td style="text-align: center;">5,767</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">229</td> <td style="text-align: center;">5,272</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">2,983</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">64</td> <td style="text-align: center;">763</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">643</td> <td style="text-align: center;">15,412</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">産業交流拠点「うじらぼ」 コワーキング利用状況 会員登録者数 294名 延べ利用者数 2,663名</p>				件数	人数	産業情報コーナー	41	627	多目的ホール	119	5,767	第一研修室	229	5,272	第二研修室	190	2,983	茶室	64	763	合計	643	15,412
	件数	人数																						
産業情報コーナー	41	627																						
多目的ホール	119	5,767																						
第一研修室	229	5,272																						
第二研修室	190	2,983																						
茶室	64	763																						
合計	643	15,412																						
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後もさらなる商工業の振興に向けて、新たな交流・起業拠点とするなど、施設の有効活用を図る必要がある。																							

事務事業名	産業振興センター長寿命化事業費	所管課	産業振興課
		決算額	6,331 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施する。</p> <p>産業振興センター改修設計業務委託 6,270千円 (屋上防水、外壁、空調等) アスベスト調査手数料 61千円</p>		
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。今後は、令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	1,510,832 千円															
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であることを条件に融資する。なお、原則として法人代表者以外の連帯保証人は不要としている。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
成果・実績	宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">403</td> <td style="text-align: center;">38,980</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">998</td> <td style="text-align: center;">83,852</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> 融資実行は403件、融資金額は4,632,851千円				件数	金額(千円)	保証料補給	403	38,980	利子補給	998	83,852	損失補償	0	0	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額(千円)																
保証料補給	403	38,980																
利子補給	998	83,852																
損失補償	0	0																
預託金	5金融機関	1,388,000																
事業評価	市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給などを行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。																	

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	産業振興課									
		決算額	2,690 千円									
事業内容	商店街等が行う商店街施設（アーケード・街路灯・防犯カメラ等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業に対して、5団体に対し補助を行い、商店街等の振興に努めた。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1,216</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1,474</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額(千円)	活性化対策事業	2	1,216	情報化対策事業	3	1,474
	件数	金額(千円)										
活性化対策事業	2	1,216										
情報化対策事業	3	1,474										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、各商店街等の特性を活かして自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める必要がある。											

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	うじの生活おうえんデジタルクーポン事業費	所管課	産業振興課
		決算額	298,863 千円
事業内容	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が長引く状況の中、市内事業者の売上向上及び生活者支援を目的に、「うじの生活おうえんデジタルクーポン事業」を実施する。		
成果・実績	事業実施状況		
	券種	共通券	個店券
	販売冊数	70,000冊 1冊あたり5,000円(500円券×13枚)	50,000冊 1冊あたり5,000円(500円券×14枚)
	販売期間	第1期分：令和5年10月2日(月)から令和5年11月29日(水) 第2期分：令和5年12月8日(金)から令和6年2月29日(木)	
	使用期間	令和5年10月2日(月)～令和6年2月29日(木)	
	プレミアム率	30%	40%
	販売金額	350,000,000円	250,000,000円
	換金枚数	906,398枚	695,902枚
	換金額	453,199,000円	347,951,000円
		うち元金部分 348,614,615円	うち元金部分 248,536,429円
		うちプレミアム分 104,584,385円	うちプレミアム分 99,414,571円
	販売方法	デジタル(支払方法：クレジットカードまたは銀行振込)	
	取扱店舗数	686店舗	593店舗
		第1期は宇治市民のみ、第2期は加えて宇治市在学・在勤者が購入可能	
事業評価	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が長引く状況の中、スピード感をもって市内事業者の売上向上及び生活者支援を実施することができた。デジタルクーポンについては、これまでと同様の仕組みで運用したこともあり、大きな混乱もなく、円滑に実施できた。		

事務事業名	商店街等販売促進支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	8,007 千円
事業内容	市内全域の店舗等で実施するデジタルクーポン事業と呼応して、市民に身近な商店街等が実施する消費喚起、販売促進などの取組に要する経費に対する補助を行う。		
成果・実績	事業実施状況		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付額 補助率：3/4、上限額2,000千円 ・ 交付件数 6件 		
事業評価	市民に身近な商店街等が独自に行う消費喚起や販売促進などの取組を支援することにより、子どもから高齢者まで幅広い市民を対象とした市内経済対策の一環として実施できた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治のうまいもん発信事業費	所管課	産業振興課										
		決算額	1,229 千円										
事業内容	地元「宇治」にしかない魅力の再発見や掘り起し、市内経済の活性化を目的として、飲食店等の動画撮影・配信を行う。												
成果・実績	YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 市内飲食店等の一押しの「美味しい」料理と店主の熟練した「上手い」技術など、地域に根付いた「地元飯」を撮影し、動画（YouTube）で発信を行った。 <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td>・撮影店舗数</td> <td style="text-align: right;">17店</td> </tr> <tr> <td>・視聴回数</td> <td style="text-align: right;">201,927回</td> </tr> <tr> <td>・登録者数</td> <td style="text-align: right;">680人</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p style="margin-top: 10px;">宇治飯公式アンバサダー募集キャンペーン 「宇治飯」の認知度を高め、集客促進を図るため、事業のPRをする公式アンバサダーをInstagramにて募集を行い、10名の就任者とともに宇治飯対象店舗の周知・発信を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td>・Instagram投稿件数（店舗来店数）</td> <td style="text-align: right;">133件</td> </tr> <tr> <td>・Instagramアカウントリーチ数</td> <td style="text-align: right;">68,000人</td> </tr> </table>			・撮影店舗数	17店	・視聴回数	201,927回	・登録者数	680人	・Instagram投稿件数（店舗来店数）	133件	・Instagramアカウントリーチ数	68,000人
・撮影店舗数	17店												
・視聴回数	201,927回												
・登録者数	680人												
・Instagram投稿件数（店舗来店数）	133件												
・Instagramアカウントリーチ数	68,000人												
事業評価	YouTubeによる動画配信とキャンペーン（イベント）による飲食店等の魅力発信を行い、撮影店舗の販路開拓や新規顧客獲得につなげることにより、市内経済の活性化を図った。更なる市内経済活性化のため、今後も効果的な発信を図る必要がある。												

事務事業名	企業立地等促進助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	39,710 千円
事業内容	「宇治市企業立地促進条例」に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 交付社数 7社		
事業評価	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、市内経済の活性化を図った。今後も引き続き、企業訪問等で制度を周知していく必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,972 千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内の既存企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	<p>VIF入居企業支援</p> <p>入居企業のニーズに合わせた多様な育成支援活動を展開している（事業計画策定、販路開拓、技術開発、資金調達、業務改善、知財・法務、人事労務など）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数 99件 ・マッチング件数 18件 <p>市内企業支援</p> <p>常駐コーディネーターによる企業訪問及びメール、Web会議などにより資金調達、新規事業などに関する支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 148件 		
事業評価	宇治ベンチャー企業育成工場入居企業だけではなく、市内全体の企業へも支援を拡大することで、市内経済の活性化につながった。 市内経済のさらなる活性化のため、今後も引き続き効果的な支援に努める必要がある。		

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	6,648 千円
事業内容	市内の中小企業（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業とのマッチングを契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、更なる産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等が開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>助成社数 24社</p>		
事業評価	展示会への出展経費を助成することにより、市内企業の新たな営業機会を提供し、企業の新規取引先の開拓による市内企業の活性化を図ることができた。今後もより効果的な助成に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業振興課
		決算額	7,905 千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>同一敷地内にある宇治ベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を図る中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。</p> <p>使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール 81回 4,450人 ・会議室 102回 792人 		
事業評価	市内企業への支援については、貸館業務をはじめとする産業振興の拠点のひとつとして円滑な運営に努めた。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な運営に努める必要がある。		

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業振興課																
		決算額	2,092 千円																
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える課題である人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。																		
成果・実績	<p>令和6年3月7日に京都産業会館ホール（京都経済センター2階）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会」を開催。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr> <td style="text-align: center;">参加企業数</td> <td style="text-align: center;">20社</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">来場求職者数</td> <td style="text-align: center;">14人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2025年3月卒</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2024年3月卒</td> <td style="text-align: center;">1人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 既卒</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> その他</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">企業ブース来場者数</td> <td style="text-align: center;">延べ57人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内定者</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> </table>			参加企業数	20社	来場求職者数	14人	2025年3月卒	7人	2024年3月卒	1人	既卒	4人	その他	2人	企業ブース来場者数	延べ57人	内定者	0人
参加企業数	20社																		
来場求職者数	14人																		
2025年3月卒	7人																		
2024年3月卒	1人																		
既卒	4人																		
その他	2人																		
企業ブース来場者数	延べ57人																		
内定者	0人																		
事業評価	就職活動の早期化や売り手市場の状況下で、対面式の合同企業説明会の来場者数が全国的に減少しており、宇治市主催の合同企業説明会も同様に来場者数の減少が課題となっている。来場者数の増加につながる効果的な取組を検討する必要がある。																		



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業情報発信事業費	所管課	産業振興課
		決算額	4,901 千円
事業内容	市内製造業をPRするため、顧客創出、雇用の確保、魅力的な市内企業情報の発信を目的とした工場見学ツアーを実施する。また、宇治市内企業情報誌を作成し、当該情報誌を用いたプロモーションの実施により、市内企業の情報発信を行う。		
成果・実績	<p>宇治子ども夏まつり ものづくりフェス 協力企業：5社 申込人数：82組181人（うち子ども99人） 来場人数：57組140人（うち子ども71人）</p> <p>宇治子ども夏まつり ものづくりツアー 協力企業：4社 申込人数：78組165人（うち子ども98人） 参加人数：6組16人（うち子ども10人）</p> <p>宇治子ども ものづくりフェス in アルブラ・マルシェ 協力企業：3社 参加人数：44組109人（うち子ども65人）</p> <p>UJI OPEN SITE 宇治モノづくり茶会 協力企業：7社 申込人数：35組73人 参加人数：22組41人</p> <p>企業情報誌 市及び宇治商工会議所の選定により市内製造事業者8社を新たに掲載した「2024宇治市ものづくり企業ガイドブック」を作成し、宇治市内の製造業のPRを行った。</p>		
事業評価	オープンファクトリーに関しては、市内製造業等をPRできた。企業情報誌については、近畿圏内の製造業者等に配布することにより、市内製造業を幅広くPRできた。今後も引き続き効果的な情報発信事業を実施する必要がある。		

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	産業振興課
		決算額	1,869 千円
事業内容	技能労働者の養成と在職者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記講座などを開催した。</p> <p>講座数 30 講座 受講人数 189 人</p>		
事業評価	職業訓練事業に補助することにより、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。今後も同協会において利用者ニーズの把握・分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	産業振興課												
		決算額	222 千円												
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。														
成果・実績	技能功労者 5人 (内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 60%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">職種</th> <th style="width: 50%;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>調理職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>建築塗装職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電気工事職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>製茶工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	大工職	1	調理職	1	建築塗装職	1	電気工事職	1	製茶工職	1
職種	表彰人数														
大工職	1														
調理職	1														
建築塗装職	1														
電気工事職	1														
製茶工職	1														
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運を高めることができた。技能継承等の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する必要がある。														

事務事業名	中小企業事業承継支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,959 千円
事業内容	市内事業者の円滑な事業承継を促し経営者年齢の若返りと廃業件数の抑制を図ることにより、市内事業者の持続的な経営を支援することを目的に、事業承継の早期取組を促すためのイベント・セミナーを実施する。		
成果・実績	製造業に特化した交流会・セミナー 事業承継に向けて課題を持っている次期経営者候補等を対象に、事業承継の実績のある2代目社長等を講師として招き、セミナーと交流会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4回 ・参加人数 延べ21人 小規模で継続的な交流会・セミナー アトツギ仲間とのディスカッションと互いのフィードバックを通じて学ぶHR型の講座を実施。交流を通じて、自分なりのリーダーシップやスタンスを体得していくプログラムを通じて、具体的な行動へ移すためのきっかけづくりを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 5回 ・参加人数 延べ57人 		
事業評価	製造業に特化した交流会・セミナーの開催を通じて参加者主導による交流会が開催されるなど、後継者等のネットワークの構築につながった。引き続き、少人数での実施を強みとして事業連携やマッチング、人材育成につなげる。 小規模で継続的な交流会・セミナーについては、参加者による学びの深化とアトツギコミュニティの強化と拡大を図った。今後も各機関と連携しながら事業の発信に努め、アトツギの掘り起こしと成長の支援に取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	先端設備等導入支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,356千円
事業内容	市内中小事業者の経営力強化を促進するために、労働生産性の向上を目的とした先端設備等の導入を行う事業者に対し、「宇治市先端設備等導入支援補助金」を交付する。		
成果・実績	<p>令和5年4月1日～令和6年1月末に「先端設備等導入計画」の認定を受け、令和6年2月末までに設備導入を行う事業者に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助件数 23件 補助金額 14,356千円 設備数 37件 設備投資金額 63,510千円 		
事業評価	国等の補助金対象とならない設備投資に対して補助金交付を行うことにより、労働生産性向上を支援することができた。引き続き、先端設備等の取得に要する経費やDX推進にかかる経費の一部を補助することで、中小事業者が行う労働生産性の向上や付加価値の増加に対する支援を行い、経営力強化を促進する必要がある。		

事務事業名	中小企業交流促進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,319千円
事業内容	企業や事業者間の交流連携の強化及び新しい事業や商品などの新たな価値の創出を目的に市内事業者を対象とした各種セミナー及び同・異業種交流会などを実施する。		
成果・実績	<p>事業者間の取引拡大、新たな技術開発や商品開発などを旨して、同・異業種交流や各種セミナー事業を実施した。</p> <p>セミナー開催（開催回数24回） 学びを入口に事業者の経営支援とあわせて交流会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> うじ創業セミナー 自分ブランド塾 / 書き方・話し方講座 ほか <p>交流会開催（開催回数5回） 同業種の情報交換や異業種の出会いの場の提供及び起業を目指す方の交流会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域クラウド交流会 うじらば大学デザインゼミ <p>起業家育成プログラム（開催回数1回） 起業前・起業後間もない段階における機運醸成セミナーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> Uji Local Venture Meet-Up 		
事業評価	セミナー及び交流会などの実施により、事業のマッチング及び取引の成立など参加者間の交流連携が強化された。また、創業フェーズ毎のコミュニティも生まれるなど、新たな事業の担い手となる創業者の機運を高めることができた。事業連携及び新たな価値の創出に向けて、効果検証を行うとともに、継続して実施する必要がある。		



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産学連携交流促進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	135 千円
事業内容	理系大学研究室と市内製造業事業者が連携する機会を提供し、市内事業者のイノベーションを促進するとともに、研究室に所属する学生に市内事業者への就職を検討してもらう機会になることも見据え、事業を実施する。		
成果・実績	<p>キャップストーンコンソーシアムへの参画（連携先：京都先端科学大学） 学生が課題解決手法を検討し発表を行う「キャップストーンプロジェクト」へ宇治市内企業から課題提供を行うとともに、発表会等へ参加した。</p> <p>プロダクトデザインセミナーの開催（連携先：京都工芸繊維大学） デザイン思考を用いた新商品・新製品の開発をテーマとした講義とデザイン思考を学ぶブレインストーミングとビジュアルコラージュを作成するセミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 2回 ・参加人数 延べ19人 		
事業評価	セミナー等を開催し、市内企業群と各大学研究室との関係強化を図った。今後は広義の産学連携として幅広く事業者と大学をつなぐ事業展開を検討する必要がある。		

事務事業名	市内企業PR動画作成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,960 千円
事業内容	人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツを制作することで、市内製造業の人材確保支援を行う。		
成果・実績	<p>市内製造業を取材し、求職者向け（高校生・専門大学生、大学生、大学院生及び既卒者）のプロモーション動画の作成を行った。</p> <p>動画制作対象事業者数 12事業者</p> <div style="text-align: center;">  <p>世の中にないものを作る フローケミストリーの自動化で科学に貢献 株式会社DFC</p> </div> <p>作成したPR動画サムネイル</p>		
事業評価	求職者向けのプロモーション動画を作成することにより、市内製造業の人材確保を支援することができた。作成した動画は各事業者のホームページや企業説明の場で活用されており、今後はより効果的な情報発信の支援についても検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	観光振興課・文化スポーツ課
		決算額	21,367 千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式をはじめとした「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての宇治市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>第33回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月18日(土)に紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式及び受賞者講演会を実施した。後日、市公式YouTubeチャンネル「宇治市ちはや茶んねる」にて動画の配信を行った。</p>		
	<p>第 部 贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫式部文学賞(全国から69作品の推薦) 角野 栄子 氏 「イコ トラベリング 1948 - 」 ・紫式部市民文化賞(36作品の応募・推薦) 片桐 望 氏 「宇治でのよしなしごと」 岡田 一敏 氏 「クイズで紡ぐ宇治の今昔400問」 ・紫式部市民文化賞奨励賞 風のクレヨン 「風のクレヨン15号」 わいわいTRY塾 「人生を心豊かに～様々な体験談からのメッセージ～」 ・紫式部市民文化賞ユース賞 稲田 知恵 氏 「乙女の憂鬱」 <p>第 部 紫式部文学賞受賞者講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 「ちいさな話のおおきな世界」 角野 栄子 氏 (第33回紫式部文学賞受賞者) ・参加者数 520人 <p>宇治田楽まつり 平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつりとして復活し、10月14日(土)に宇治田楽まつり実行委員会関係者と市民参加者で盛大に開催した。 雨天のため、宇治市文化会館大ホールにて実施 ・参加者数 900人</p> <p>宇治十帖スタンプラリー 宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21か所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施した。またウォーキングマップを用意し、スマートフォンをお持ちでない方もクイズを楽しみながら参加できるように工夫した。 新たな取組として、スマートフォン等で各スポットの音声ガイドを聞くことができるようにしたほか、抽選賞品に宇治の多様な体験ができる賞品を追加した。 ・開催日数 61日(10月1日～11月30日) ・踏破者数 7,973人(スマートフォン5,434人、ウォーキングマップ2,539人)</p>		
事業評価	<p>『源氏物語』をテーマとするイベントの開催により、地域の文化資源や市民による文化芸術活動に触れる機会の充実とともに、市民の文化芸術活動の活性化と「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。引き続き、若年層を含めた文化芸術活動の活性化の推進を図る。</p>		



紫式部文学賞
角野 栄子 氏

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	観光振興課
		決算額	12,904 千円
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。		
成果・実績	入館者数 : 99,164人 観光案内件数 : 35,858件 貸館状況		
		利用件数	
	展示会場	84（うち有料件数7）	
	和室	5（うち有料件数3）	
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。宇治観光の拠点施設として、より効果的な施設の運営に努める必要がある。		

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	観光振興課
		決算額	18,232 千円
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。		
成果・実績	入席者数 : 14,568人 うち有料券数 : 13,887人 うち招待券数 : 681人 専用利用状況 件数 : 2件（うち有料件数2件）		
事業評価	指定管理者による適切な管理運営を通じて、観光客等に宇治茶を提供し、宇治茶の普及及び観光の振興に努めた。国内外の観光客が戻りつつある中、引き続き国内外に対して施設のPR強化に努めるとともに、より効果的・効率的な宇治茶の普及及び観光の振興を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光おもてなし推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,995千円
事業内容	宇治市観光案内所（JR宇治駅前・近鉄大久保駅・京阪宇治駅前）を運営し、宇治を訪れる観光客への案内業務を行う。（公社）宇治市観光協会を管理運営者としている。		
成果・実績	<p>観光案内所での案内業務件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇治駅前観光案内所 件数：144,189人（うちインバウンド：15,469人） ・近鉄大久保駅観光案内所 件数：5,981人（うちインバウンド：212人） ・京阪宇治駅前観光案内所 件数：48,465人（うちインバウンド：6,442人） <p>タブレット端末の配置 6台 インバウンド受入環境整備のため、JR宇治駅前観光案内所、京阪宇治駅前観光案内所、宇治市観光センターにそれぞれ2台ずつ、翻訳用のタブレットを配置した。</p>		
事業評価	宇治観光の玄関口となる各駅前の観光案内所において、インバウンドの受入体制の強化を図り、必要とされる観光情報を案内することができた。今後も観光客の視点に立った案内業務に努め、おもてなし力の向上に取り組む必要がある。		

事務事業名	宇治のまちあるきガイドツアー事業費	所管課	観光振興課
		決算額	118千円
事業内容	宇治茶や宇治川の合戦をテーマにしたガイドツアーの実施。宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設や宇治川周辺を中心とした施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	<p>宇治茶のルーツを巡る「宇治茶巡りガイドツアー」と宇治川を中心に巻き起こる合戦の舞台を巡る「宇治川合戦絵巻ガイドツアー」を実施した。参加者からは観光客が個人で宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治のルーツを知ることができると好評であった。</p> <p>宇治茶巡りガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：74回 ・参加者数：232人 <p>宇治川合戦絵巻ガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：44回 ・参加者数：73人 		
事業評価	宇治茶を活かした観光振興の取組として、宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。また、宇治川合戦絵巻ガイドツアーにおいても、宇治の歴史を発信することができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する。		

**宇治茶巡り
ガイドツアー**

参加費 無料 当日参加 OK 先着 10名

宇治といえば宇治茶！
宇治茶のルーツを巡る旅に地元ガイドがご案内
宇治茶を知るともっと宇治が楽しくなりますよ！

※実施は土日のみとなります

※所要時間 約2時間～2時間30分

※コース JR宇治駅～宇治川合戦（茶寮、茶寮、茶寮）
～宇治川～茶寮～世界遺産宇治上神社～世界遺産平等院

※ツアーは天候により中止の可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

ツアー詳細

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,000 千円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。また、効果的なPRを行うため、宇治の情報を海外向けの情報誌に掲載する。		
成果・実績	<p>海外の観光動向について調査・分析を行い、海外の旅行代理店及び国内の観光事業者に対して継続的な情報発信を行った。</p> <p>三市連携（宇治・亀岡・舞鶴）台湾FIT誘客事業 海外向け情報誌への記事掲載 海外情報収集・分析業務の実施 インバウンド向けSNS動画制作 インターネット、SNSを通じた海外ユーザーへの魅力発信</p>		
事業評価	海外に向けて宇治の情報発信・魅力発信を継続して行うことにより、外国人観光客の誘客促進を図った。外国人観光客のさらなる誘客のため、引き続き様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める必要がある。		

事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	観光振興課
		決算額	6,587 千円
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶉飼プロジェクトなどに対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行う。		
成果・実績	<p>観光活性化事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光宣伝事業 ・ 鶉飼事業 ・ 観光ボランティアガイド運営事業 ・ 県祭り安全対策事業 <p>放ち鶉飼事業補助金</p> <p>宇治にしかない観光資源としての魅力を発信するため、放ち鶉飼と宇治の魅力を発信する取組について支援を行った。</p>		
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助を通じ、宇治観光のイメージアップを図る取組に努めた。今後も引き続き、（公社）宇治市観光協会等との協働により、さらなる観光振興のための観光コンテンツの強化に向け、各種観光事業に対するより効果的な補助の手法について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	所管課	観光振興課
		決算額	1,186 千円
事業内容	平成28年4月に策定した「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、計画的に観光案内サインの整備を行う。		
成果・実績	<p>サイン整備実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三室戸エリア 新設：1基 <p>サイン整備設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉エリア ・JR宇治駅改札口前 		
	 <p>三室戸地区 新設サイン</p>		
事業評価	多言語での観光案内サイン整備に計画的に取り組むことにより、国内外の観光客に対するおもてなし力の向上に努めた。今後も多様な観光客により長く滞在してもらい、リピーターとして訪問してもらうため、観光案内の充実を図り、必要とされている情報を提供できるよう取り組む。		

事務事業名	お茶と宇治のまち歴史公園運営費	所管課	観光振興課
		決算額	62,422 千円
事業内容	「史跡の保存・活用」「宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信」「宇治茶に関する魅力発信」を目的として整備した、お茶と宇治のまち歴史公園の維持管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>来園者総数 : 103,477人</p> <p>入館者数 : 76,988人</p> <p>ミュージアム入館者数 : 19,018人</p> <p>講座・体験事業参加者数 : 9,745人</p>		
			
事業評価	史跡宇治川太閤堤跡を含む宇治の歴史や、宇治茶を中心とした宇治の文化を分かりやすく伝える施設として、宇治茶の魅力や観光情報の発信を行った。市内周遊観光の拠点として施設への誘客や効果的な施設運営について、引き続き指定管理者と取り組む必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

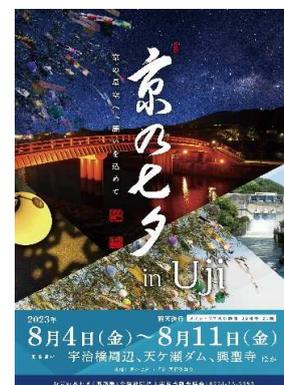
事務事業名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	4,556 千円
事業内容	天ヶ瀬ダム周辺に加え、宇治橋周辺の新たなにぎわい拠点を含め、一体的に観光資源として活用し、宇治川を軸とした回遊性の向上を図ることを目的とする。		
成果・実績	<p>宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 79千円 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、河川等の活用について、地域の合意形成及び民間企業と行政の連携強化による取組の推進を目的として、協議会を開催した。</p> <p>第1回：令和6年2月7日(水) かわまちづくり支援制度、河川空間のオープン化についての説明 ほか</p> <p>第2回：令和6年3月15日(金) 都市・地域再生等利用区域の指定等についての要望書素案 ほか</p> <p>天ヶ瀬ダム周辺地域かわまちづくり整備検討事業 4,477千円 天ヶ瀬ダム周辺の周遊動線の他、ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備及び眺望スポット整備等について検討を行った。</p>		
事業評価	協議会の開催及び整備検討事業の実施により、天ヶ瀬ダムツアーやかわまちづくり計画に基づくダム周辺の活性化等について検討を深めることができた。 引き続き、天ヶ瀬ダム周辺と宇治橋周辺を一体としたにぎわいづくりや河川空間の活用方法を検討するとともにガーデンズ天ヶ瀬跡地整備の詳細設計に取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	「京の七夕 in Uji」事業費	所管課	観光振興課
		決算額	18,000 千円
事業内容	京都各地で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕 in Uji」としてオリジナルの演出で実施する。		
成果・実績	<p>実施期間 8月4日(金)～8月11日(金・祝)</p> <p>参加者数 19,000人 関連イベント21,098人</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ(府立宇治公園、関西電力宇治発電所、天ヶ瀬ダム、興聖寺) ・願いがかなう道(笹飾りと願い事コーナー) ・商店街コラボレーション(灯りのUjiBar、商店街クーポン) ・特別拝観(萬福寺) ・宇治発電所プレミアムツアー、天ヶ瀬ダム特別見学ツアー ・ハッシュタグキャンペーン <p>関連イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶づなde夏祭り&ナイトマルシェ ・茶づなミュージアム夜間営業 ・スマイルサタデー クラフトビール夜市 ・集まれ子どもたち!楽しく学ぼう七夕まつり ・宇治茶のある暮らし～七夕に寄せて～ ・夏休み自由研究プロジェクト 		
事業評価	宇治オリジナルの昼夜の演出により、観光の振興と活性化を図ることができた。引き続き関係機関と連携し、時間のうつろいを感じられる観光の推進に努める。		



事務事業名	広域観光推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	2,475 千円
事業内容	大河ドラマ「光る君へ」の放映や新名神高速道路の延伸、大阪・関西万博の開催などを契機とし、京都府内外の関連地域や地域をつなぐ交通事業者との連携による機会を捉えた誘客促進の取組を進める。		
成果・実績	<p>京都市認定通訳ガイド負担金</p> <p>京都市・宇治市・大津市で連携協定を結び、3市の深い知識と専門性を備えた通訳ガイドを育成することで、外国人観光客の京都市近郊への周遊の促進等を図った。</p> <p>ぶらり街道めぐり～鉄の路編～</p> <p>京阪ホールディングス(株)と協力し、鉄の路をテーマとした歴史講座、展示及び宇治市内の歴史探訪ウォークを実施した。</p> <p>めぐり逢ひて紫式部スタンプラリー(第1弾)</p> <p>宇治市、大津市、越前市等で連携し、源氏物語や紫式部ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施した。</p>		
事業評価	京都府内外の関連地域や交通事業者と連携した取組を実施することにより、広域への観光PRができた。引き続き、多様な主体と連携し、それぞれの魅力的な観光資源を活かすとともに、共同で情報発信を行うことにより、機会を捉えた誘客促進に取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	戦略的観光情報発信事業費	所管課	観光振興課
		決算額	27,438 千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行う。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し、他団体との連携を行う。		
成果・実績	国内でのプロモーション活動（旅行会社への営業、PRイベントへの参加） 「京阪電車×響け！ユーフォニアム2023」への協力 公共交通機関での観光情報の掲示 観光パンフレット、観光ポスター印刷 人流情報の収集、分析 観光大使の活用		
事業評価	様々な観光情報の発信に取り組むことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上を図った。引き続き、国内外への積極的・戦略的な魅力発信を行い、宇治への訪問意欲の喚起に努める。		

事務事業名	全国鵜飼サミット宇治大会開催費	所管課	観光振興課
		決算額	6,000 千円
事業内容	全国の鵜飼関係者が、鵜飼の文化・技術を保存・伝承し、観光資源として発展させるための大会を宇治市において開催する。		
成果・実績	日程 : 10月19日（木）・20日（金） 会場 : 19日 宇治市文化センター 20日 お茶と宇治のまち歴史公園 交流館茶づな 主催 : 第25回全国鵜飼サミット宇治大会実行委員会 内容 : 式典（各地域の鵜飼紹介、講演） 宇治川の鵜飼見学 サミット宣言 放ち鵜飼の講演・実演 式典参加者数：12団体 196人		
事業評価	全国の鵜飼関係者が一堂に会し、意見交換を行うことができた。また、式典に市民の方などにも参加していただくことで、宇治川の鵜飼や放ち鵜飼を含む全国の鵜飼の魅力伝える機会となった。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	親子で宇治文化の魅力発見事業費	所管課	観光振興課
		決算額	2,000 千円
事業内容	宇治の伝統、文化を活かした体験事業のモニターツアーに親子で参加することで、親子ならではの楽しみ方を発見するとともに、参加者自身での魅力発信を通じ、親子目線での新たな宇治の魅力を伝えていくことを目的とする。		
成果・実績	<p>親子で参加できる「宇治ならではの」学びの体験を盛り込んだツアー企画（有料）を夏、秋、冬の年3回実施。</p> <p>夏休み企画「～夏休みの思い出づくり！～ 興聖寺DAYCAMP」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月30日（日）、8月19日（土）、20日（日） ・参加者数 14組36人（大人17人、子ども19人） <p>秋企画「～親子で楽しむ！ものづくり体験in 宇治～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 12月2日（土）3日（日）9日（土）10日（日） ・実施内容 土ひねり体験、手組み体験、お香づくり体験 茶和花のオリジナル造形体験 ・参加者数 24組51人（大人26人、子ども25人） <p>冬企画「親子探偵募集！～動く『十八羅漢像』の謎を解け～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 2月24日（土） ・会場 萬福寺 ・参加者数 20組56人（大人24人、子ども32人） 		
事業評価	親子ならではの体験ができるモニターツアーを実施し、参加者主体の情報発信を通じて、宇治の魅力を市内外にPRすることができた。宇治の魅力をより多くの方に知っていただけよう、引き続き親子目線での新たな魅力発信につながる取組を進める必要がある。		



夏企画の様子



冬企画の様子

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	紫式部のまちにぎわい創出事業費	所管課	観光振興課
		決算額	70,761 千円
事業内容	2024年大河ドラマ「光る君へ」放映を契機にした源氏物語および紫式部ゆかりの地である宇治の歴史・文化・観光の魅力発信及びまちの活性化に向けた誘客促進の取組を実施する。		
成果・実績	<p>「光る君へ スペシャルトークショー in宇治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 : 宇治市文化センター ・開催日 : 3月20日(水・祝) ・参加者数 : 865人 ・第1部『「光る君へ」を彩る平安時代の衣装』 講師 : 諫山恵美氏(「光る君へ」衣装デザイン、日本画家) 聞き手 : 家塚智子(宇治市源氏物語ミュージアム館長) ・第2部『「光る君へ」スペシャルトークショー』 ゲスト : 板谷由夏さん(高階貴子役) 塩野瑛久さん(一条天皇役) 内田ゆきさん(制作統括) <p>「光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ~都のたつみ 道長が築いたまち~」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 : お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな ・会期 : 令和6年3月11日~令和7年1月13日 ・来場者数 : 5,938人(令和5年度末時点) 		
事業評価	宇治を訪れた人に平安時代の歴史・文化を伝えるトークショーや展示を実施することで、紫式部ゆかりの地である宇治の魅力伝えることができた。引き続き、紫式部ゆかりの地である宇治の魅力発信や誘客促進に努める。		

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ長寿命化事業費	所管課	観光振興課
		決算額	5,594 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度に改修工事を実施する。</p> <p>ゆめりあうじ改修設計業務委託 5,533千円 アスベスト調査手数料 61千円</p>		
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。令和6年度に改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	3,900 千円
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。		
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <p>府民総体選手派遣費 ・参加団体数 15団体</p> <p>世界大会等出場者激励金 ・交付件数 149件 ・交付人数 403人</p> <p>生涯スポーツ育成事業 委託先：（一財）宇治市スポーツ協会 ・参加団体数 14団体</p> <p>ジュニア技術講習会 委託先：宇治市中学校体育連盟 ・参加者数 272人</p> <p>宇部・宇治スポーツ交流大会 ・参加者数 203人</p>		
事業評価	基金を活用して各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上と競技人口の拡大を図った。今後も引き続き、基金の有効活用に努めるとともに、より効果をあげられるよう事業内容を精査し、スポーツ交流の促進等を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	文化スポーツ課
		決算額	5,297 千円
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。		
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <p>市長杯等各種競技大会補助金 ・参加者数 6,673人</p> <p>障害者スポーツ大会補助金 ・参加者数 221人</p> <p>宇治川マラソン大会事業補助金 ・参加者数 1,436人</p> <p>地域体育振興事業補助金 ・加盟数 29,525世帯</p> <p>スポーツ少年団育成事業補助金 ・団体数 55団体</p> <p>体育団体設立記念事業補助金 ・団体数 1団体</p>		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、宇治市の競技レベル向上及び市民スポーツの推進を図った。市民ニーズを把握し、宇治市のスポーツ推進に寄与するため、より効果的な支援に努める。		

事務事業名	フライングディスクのまち宇治推進事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	324 千円
事業内容	ワールドマスターズゲームズ2027関西において、宇治市がフライングディスク（アルティメット）競技の開催会場となることを契機に、フライングディスクの活用による地域の活性化、スポーツ実施率の向上を図る。		
成果・実績	<p>宇治市体育振興会連合会を対象に講習会を実施したことに加え、貸出用のフライングディスク用具を充実させたことにより、市内のフライングディスクの認知度向上を図るとともに、スポーツ実施の機会を提供した。</p> <p>フライングディスク貸出用用具の購入</p> <p>フライングディスク講習会実施 ・参加者数 17人</p>		
事業評価	市主催事業だけでなく、身近な学校や地域行事の中でもフライングディスクに触れることができる環境整備を行った。ワールドマスターズゲームズ2027関西に向け、今後も引き続きフライングディスク及びワールドマスターズゲームズの認知度向上を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	つなげる・ひろがるスポーツ振興事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,157 千円
事業内容	スポーツを通じた子育てにやさしいまちづくりの推進を目的に、地域の団体等と連携したスポーツによる多世代の交流や運動機会のための各種イベントを開催する。		
成果・実績	<p>(一財)宇治市スポーツ協会、(公財)宇治市公園公社や地域の団体等と連携し、親子で楽しむことができる各種イベントを開催し、スポーツによる多世代の交流や運動機会の創出を図った。</p> <p>第41回市民スポーツまつり ・参加者数 98人 雨天のため、スケート体験教室のみ実施</p> <p>2023Ujiこどもスポーツフェスタ ・参加者数 延べ1,429人</p> <p>2023多世代スポーツ交流フェスティバル ・参加者数 延べ1,661人</p> <p>ニュースポーツひろば ・参加者数 延べ1,060人</p> <p>ニュースポーツひろば委託事業(宇治市体育振興会連合会) ・参加者数 延べ1,327人</p>		
事業評価	親子で楽しむことができる各種イベントを開催することで、スポーツを開始するきっかけづくりだけでなく、子育て世代を含めた多世代の交流機会を創出できた。今後も各スポーツ団体とより連携を図りながらスポーツを通じた子育てにやさしいまちづくりを推進する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化スポーツ課																		
		決算額	1,800 千円																		
事業内容	市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。																				
成果・実績	<p>市民文化芸術祭では、展示や舞台披露を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業として、市民いけばな展・フェニックスコンサート・市民写真展・市民絵画展を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">市民文化芸術祭</td> <td style="width: 10%;">・開催日</td> <td style="width: 20%;">10月21日、22日</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td></td> <td>・参加者数</td> <td>約760人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・来場者数</td> <td>約4,200人</td> </tr> <tr> <td>同参加事業</td> <td>・参加者数</td> <td>約430人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・来場者数</td> <td>約1,780人</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">市民文化芸術祭</p>			市民文化芸術祭	・開催日	10月21日、22日			・参加者数	約760人		・来場者数	約4,200人	同参加事業	・参加者数	約430人			・来場者数	約1,780人	
市民文化芸術祭	・開催日	10月21日、22日																			
	・参加者数	約760人																			
	・来場者数	約4,200人																			
同参加事業	・参加者数	約430人																			
	・来場者数	約1,780人																			
事業評価	市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表することにより、文化芸術活動者間の交流を促進し、それぞれの活動への理解が深まるきっかけづくりができた。引き続き、さらなる文化意識の高揚と文化活動の促進を図る手法の検討を進める。																				

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	135,530 千円
事業内容	アクティオ株式会社を指定管理者とし、文化センターの健全な管理・運営を行う。多様で質の高い文化芸術事業を提供し、市民文化の振興を図る。また、市民参画の機会を提供し、市内の文化芸術団体を対象に、文化会館の使用に際し使用料の助成を行う。		
成果・実績	<p>源氏物語朗読劇や宇治セレクトシネマ、落語会やコンサート、ピアノリサイタルなど、主催・共催併せて36の事業を実施し、延べ19,328人が鑑賞し、4,220人の市民が事業実施に参加した。</p> <p>参加創造事業を拡大し、プロの交響楽団と市民コーラスのコラボ等、市民が文化芸術に参加できる機会の創出や、市内の学校へ出向くアウトリーチ事業の実施により、市民が日常的に文化芸術に触れる機会の充実に努めた。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及と振興を図るため、21の市民団体等に対して、文化会館の使用料の助成を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	文化センターの適切な管理・運営と多様で質の高い文化芸術事業の提供ができた。また様々なジャンルのプロの公演等を開催し、市民が文化芸術に触れる機会を充実させることができた。今後も引き続き適切な管理・運営に努めるとともに、指定管理者の有するノウハウ等の積極的な活用を検討する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,119 千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事などに出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約20人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行った。</p> <p>主な活動として、京都こども合唱祭、音連ミュージックフェスティバル、全日本少年少女合唱祭全国大会などに参加するとともに、定期演奏会を開催した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>第45回定期演奏会</p> </div>		
事業評価	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、持続可能な運営手法について検討する必要がある。		

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	152 千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回定員（40人）に達した。</p> <p>開催回数 17回 延べ観覧者数 680人</p> <div style="text-align: center;">  <p>市民交流ロビーコンサート</p> </div>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。引き続き市民等が積極的に文化芸術活動に取り組める発表の機会の創出に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	文化芸術活動動画配信事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,310 千円
事業内容	多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。		
成果・実績	<p>YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体などが作成された動画を配信した。</p> <p>また、動画撮影・編集講座を4会場（榎島コミュニティセンター・木幡公民館・菟道ふれあいセンター・小倉公民館）で計8日間開催した。</p> <p>配信動画数 71本 延べ視聴回数 164,979回（令和5年度末時点） 動画撮影・編集講座 ・参加者数 43人</p>		
事業評価	動画配信という新しい生活様式に対応した文化芸術活動の発表の場を提供することにより、市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を創出できた。また、講座を地域展開し、関心がある層が受講しやすい環境を作り、市民の文化芸術活動の活性化を図った。引き続き、多様な媒体を活用した発表の場の提供に努める。		

事務事業名	文化センター長寿命化事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	18,700 千円
事業内容	令和2年6月に策定した「宇治市文化センター改修実施方針」に基づき、施設の長寿命化のための改修等を実施する。		
成果・実績	文化センター高圧受変電設備改修に伴う設計業務、文化センター直流電源装置更新業務を行った。		
事業評価	改修により、施設の耐久性と利用環境の向上を図ることができた。引き続き長寿命化の観点から、計画的な改修について取り組む必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光課

事務事業名	高校生文化芸術祭典事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,780 千円
事業内容	若年層の文化活動者の学校を越えた交流と、文化芸術のさらなる活性化を目的として、市内の高校生による舞台発表や作品展示を行う。		
成果・実績	<p>市内の全9校の高校生約300人が文化センターにて、12月9日(土)・10日(日)の2日間にわたり舞台発表や作品展示を行った。 また、高校生で組織する実行委員会を開催し、企画立案及び当日の運営などを行った。</p> <p>高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES ・参加者数 約300人(19団体) ・入場者数 約2,160人</p> <p>高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES実行委員会 ・開催回数 4回 ・実行委員数 11人</p>		
事業評価	<p>高校生の発表や作品の鑑賞、芸術祭の企画・運営を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供できた。引き続き、高校生が学校・学年・部活動の垣根を越えたさらなる交流の機会を創出し、自主的な活動の促進に努める。</p>		



事務事業名	五感で楽しむ古の文化講座開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	535 千円
事業内容	『源氏物語』及び紫式部ゆかりのまちである宇治の魅力を発信するため、「五感で楽しむ」をコンセプトに、平安時代の文化に触れる体験型講座を実施する。		
成果・実績	<p>季節に合わせて年に4回、誰もが楽しんで参加できる体験型講座を実施し、平安時代の文化・歴史を身近に感じる機会を提供した。</p> <p>春：オリジナル煉香づくり 参加者数 20人</p> <p>夏：平安時代のスイーツ 削り氷を食べよう 参加者数 27人</p> <p>秋：源氏物語の雅楽曲 参加者数 99人</p> <p>冬：貝合わせ 王朝あそび 参加者数 14人</p>		
事業評価	<p>NHK大河ドラマ「光る君へ」を契機に、幅広い世代に平安時代の文化に触れる機会を提供することができた。引き続き、紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、今につながる文化・歴史や宇治の魅力を感じるきっかけづくりに努める。</p>		



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	つむぐみらい文化芸術活動支援事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	244 千円
事業内容	創造性あふれる地域づくりを目指し、市民と文化芸術をつなぐ、自主的かつ創造的な個人・団体の文化芸術活動について、補助金を交付する。		
成果・実績	つむぐみらい文化芸術活動支援事業補助金 市民または構成員に市民を含む団体を対象に、自主的かつ創造的な文化芸術活動に要する経費の一部について、1/2（限度額10万円）を上限に支援した。 ・件数 5件		
事業評価	「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向け、市民の自主的かつ創造的な文化芸術活動に対して補助金を交付し、文化芸術の継承や活動者の育成を図った。今後も、交付団体の増加に向けた周知に努める。		

事務事業名	文化の都・京都プロジェクトin宇治事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	3,006 千円
事業内容	文化庁移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、京都府と連携したイベントを実施する。		
成果・実績	紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する事業を実施した。 文化庁京都移転記念事業 Opening Celebration「きょう ハレの日、」 南部会場（宇治）：黄檗宗大本山 萬福寺 ・開催日 9月8日（金）・9日（土） ・参加者数 約3,400人 平等院で聴く能「融」 - 素謡と舞囃子による上演 - ・開催日 2月11日（日・祝） ・参加者数 94人 市民と創る紫式部ゆかりのアート展 ・展示期間 令和6年3月11日～令和7年1月13日（予定）		
事業評価	京都府と連携し、宇治の文化資源を活かしたテーマ性のある企画を実施することで、宇治の文化の魅力発信に努めた。今後もアーティスト等とのコラボレーションにより、地域の文化資源を活用した事業に取り組み、アートを通じて、新たなネットワークの形成や地域の活性化を図る。		



平等院で聴く能「融」

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	人権教育・啓発

所管部局
人権環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課																																			
		決算額	2,608千円																																			
事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組む。																																					
成果・実績	人権強調月間（8月）の取組																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和 ひゅうまん夏フェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>700人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民交流ロビー</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	平和 ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	700人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	-																							
	事業名	実施場所	成果等																																			
	平和 ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	700人参加																																			
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																			
	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	-																																			
	人権週間（12/4～12/10）の取組																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタうじ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>500人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民交流ロビー</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタうじ	生涯学習センター周辺一帯	500人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	-																							
	事業名	実施場所	成果等																																			
	ひゅうまんフェスタうじ	生涯学習センター周辺一帯	500人参加																																			
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																				
人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	-																																				
その他の取組																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月・1月</td> <td>-</td> <td>各号約8万部</td> </tr> <tr> <td>身近に感じる人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>428人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月～11月</td> <td>市内小学校</td> <td>4校で実施</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>4,400個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年26本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5・8・12月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>啓発教材上映会</td> <td>年2回</td> <td>市役所庁舎</td> <td>36人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月・1月	-	各号約8万部	身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	428人参加	人権の花運動	10月～11月	市内小学校	4校で実施	人権啓発物品配布	年間	各種催し	4,400個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年26本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-	人権啓発懸垂幕掲示	5・8・12月	市役所庁舎	-	啓発教材上映会	年2回	市役所庁舎	36人参加
事業名	実施時期	実施場所	成果等																																			
情報紙「jinken」配布	8月・1月	-	各号約8万部																																			
身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	428人参加																																			
人権の花運動	10月～11月	市内小学校	4校で実施																																			
人権啓発物品配布	年間	各種催し	4,400個配布																																			
啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年26本貸出																																			
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-																																			
人権啓発懸垂幕掲示	5・8・12月	市役所庁舎	-																																			
啓発教材上映会	年2回	市役所庁舎	36人参加																																			
<p>山城地区広域連携事業 山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましる）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																																						
 <p>人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）</p>																																						
事業評価	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。																																					

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	人権教育・啓発

所管部局
人権環境部

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	14,503 千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るため、事業及び各種人権啓発交流事業に取り組む。		
成果・実績	<p>コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,927千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 3,576千円 人権尊重理念の普及及び様々な人権問題の解決に向け、交流講座の開催及び人権啓発事業を実施した。</p>		
	 <p>人権問題講演会（うじ館）</p>	 <p>人権問題講演会（こはた館）</p>	
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。利用者が徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	男女共同参画

所管部局
人権環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																				
		決算額	15,057 千円																				
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、「宇治市男女生き生きまちづくり条例」及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。また、女性・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																						
成果・実績	広報・啓発																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">実施時期</th> <th style="width: 15%;">実施場所</th> <th style="width: 30%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>6・9・11・1月</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td style="text-align: center;">年間</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>年36回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画UJIのつどい講演会</td> <td>6月25日</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">男女共同参画支援センター</td> <td>115人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>9月30日・10月1日</td> <td>延べ1,000人参加</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・1月	-	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年36回掲載	男女共同参画UJIのつどい講演会	6月25日	男女共同参画支援センター	115人参加	UJIあさぎりフェスティバル	9月30日・10月1日	延べ1,000人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・1月	-	各2,000部																			
	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年36回掲載																			
	男女共同参画UJIのつどい講演会	6月25日	男女共同参画支援センター	115人参加																			
	UJIあさぎりフェスティバル	9月30日・10月1日		延べ1,000人参加																			
	学習機会の提供・市民活動支援																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">実施時期</th> <th style="width: 15%;">実施場所</th> <th style="width: 30%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全9回）</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">年間</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">男女共同参画支援センターほか</td> <td>延べ498人参加（オンライン含む）</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回）</td> <td>延べ108人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（2件）</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">延べ308人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（4件）</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジマルシェ</td> <td>6・10・11・3月</td> <td style="text-align: center;">JR宇治駅前広場</td> <td>延べ158ブース</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全9回）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ498人参加（オンライン含む）	ここからチャレンジ相談（全24回）	延べ108人参加	市民企画事業奨励事業（2件）	延べ308人参加	市民企画サポート事業（4件）	ここからチャレンジマルシェ	6・10・11・3月	JR宇治駅前広場	延べ158ブース		
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
各種セミナー（全9回）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ498人参加（オンライン含む）																				
ここからチャレンジ相談（全24回）			延べ108人参加																				
市民企画事業奨励事業（2件）			延べ308人参加																				
市民企画サポート事業（4件）																							
ここからチャレンジマルシェ	6・10・11・3月	JR宇治駅前広場	延べ158ブース																				
女性問題アドバイザー派遣実績 12件 行政7件、民間5件																							
女性のための相談事業実績																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="width: 60%;">相談区分</th> <th style="width: 40%;">件数 (うち主訴がDV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">140 (25)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">171 (26)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">311 (51)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">76</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">119</td> </tr> </tbody> </table>				相談区分		件数 (うち主訴がDV)	一般相談	来館相談	140 (25)	電話相談	171 (26)	合計	311 (51)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	76	こころとからだの相談	6	法律相談	37	合計	119	
相談区分		件数 (うち主訴がDV)																					
一般相談	来館相談	140 (25)																					
	電話相談	171 (26)																					
	合計	311 (51)																					
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	76																					
	こころとからだの相談	6																					
	法律相談	37																					
	合計	119																					
男性のための相談事業実績 21件																							
事業評価	女性のための相談、男性のための電話相談や女性問題アドバイザーの派遣、各種セミナーの実施に加え、市民企画事業の実施などにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めた。今後も市民・事業者等と協働・連携し、より効果的な事業実施に努める。																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費	所管課	環境企画課
		決算額	426 千円
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者へ温室効果ガス排出削減の効果的な取組の普及啓発を行う。		
成果・実績	<p>緑のカーテン推進費 201千円 小学校（3校）、中学校（3校）、幼稚園（2園）、その他公共施設（7か所）がゴーヤ等のつる性植物を用いた「緑のカーテン」の設置に取り組み、建物の蓄熱を抑える等の対策を行った。また、取組状況をホームページへ掲載する等、市民への啓発に努めた。</p> 		
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発事業を実施することにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。引き続き普及啓発に取り組む。		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	275 千円
事業内容	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の3/4（上限2万円）を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 16件 ・交付金額 275千円 		
事業評価	雨水タンクの設置費用の一部を補助することにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。今後も京都府の動向等を注視し、設置促進に向けたより効果的な手法について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	4,912 千円
事業内容	家庭におけるエネルギーの自立化を促進するため、個人が所有する住宅に住宅用太陽光発電及び蓄電設備を同時設置した者に対し、設置に要した費用の一部を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる住宅用太陽光発電及び蓄電設備の設置費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電 最大出力値1kWあたり1万円（上限4万円） ・ 蓄電設備 蓄電容量1kWhあたり2万円（上限12万円） <p>補助件数 32件 交付金額 4,912千円</p>		
事業評価	家庭におけるエネルギーの自立化と再生可能エネルギーの普及を促進することができた。今後も温室効果ガス削減に向け、再生可能エネルギーの普及啓発を図る。		

事務事業名	ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,200 千円
事業内容	住宅の省エネルギー対策の強化を図るため、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅、ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入費用の一部を補助し、ZEHの普及促進を行う。		
成果・実績	<p>補助対象となるZEH導入費用に対して、費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1件あたり30万円 <p>補助件数 4件 交付金額 1,200千円</p>		
事業評価	ZEHの導入費用の一部を補助し、普及促進を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。今後も、国の動向等を注視し、より普及促進ができる効果的な手法について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	エコ・アクション推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	389 千円
事業内容	環境省が推奨する全国共通のポイントプログラム「エコ・アクション・ポイント」を活用することで地球温暖化対策への関心を深めるとともに、市民の環境に対する意識改革、行動変容を促し、市域の温室効果ガス排出量削減を目指す。		
成果・実績	<p>市域で「エコ・アクション・ポイント」アプリの利用推進を行い、宇治市民限定のエコ・アクションに取り組んだ方にポイントを付与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 1,851人（前年度末比+576人） ・総ポイント付与数 125,152ポイント ・ポイント付与に要した金額 125千円 ・システム使用料 264千円 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">   </div>		
事業評価	エコ・アクション・ポイントを活用することにより、市民一人ひとりが日々の暮らしの中で継続してエコ活動を行うきっかけとすることができた。さらに多くの市民が参加できるよう、今後も効果的な取組を検討し、利用啓発に努める。		

事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	8,686 千円
事業内容	生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。		
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境監視費 1,934千円 発生源監視費 813千円 自動車排出ガス監視測定局運営費 5,939千円 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、今後も引き続き環境測定及び発生源監視測定を行い、環境保全の推進に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課								
		決算額	2,136 千円								
事業内容	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付などを行う。										
成果・実績	犬の登録業務において、新たに584頭の登録を行い、総登録数8,374頭となった。										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 85%;">犬の登録頭数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">8,986頭</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">8,812頭</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">8,374頭</td> </tr> </tbody> </table>			年度	犬の登録頭数	令和3年度	8,986頭	令和4年度	8,812頭	令和5年度	8,374頭
年度	犬の登録頭数										
令和3年度	8,986頭										
令和4年度	8,812頭										
令和5年度	8,374頭										
事業評価	狂犬病予防のため、予防注射の推進及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。今後も公衆衛生の更なる向上を図るため、引き続き効果的・効率的な啓発を行う必要がある。										

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課														
		決算額	1,655 千円														
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。																
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">そ族及び衛生害虫対策費</td> <td style="width: 60%;">1,360千円</td> </tr> <tr> <td>・トビケラ駆除薬剤散布</td> <td>年5回（宇治川両岸）</td> </tr> <tr> <td>・電撃殺虫機の稼働</td> <td>春から秋にかけて稼働（宇治川両岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td>295千円</td> </tr> <tr> <td>・通知件数</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>〔うち処理済件数</td> <td>46件〕</td> </tr> <tr> <td>〔うち未処理件数</td> <td>0件〕</td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	1,360千円	・トビケラ駆除薬剤散布	年5回（宇治川両岸）	・電撃殺虫機の稼働	春から秋にかけて稼働（宇治川両岸）	あき地雑草等除去費	295千円	・通知件数	46件	〔うち処理済件数	46件〕	〔うち未処理件数	0件〕
そ族及び衛生害虫対策費	1,360千円																
・トビケラ駆除薬剤散布	年5回（宇治川両岸）																
・電撃殺虫機の稼働	春から秋にかけて稼働（宇治川両岸）																
あき地雑草等除去費	295千円																
・通知件数	46件																
〔うち処理済件数	46件〕																
〔うち未処理件数	0件〕																
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。住宅周辺的生活環境を改善するため、今後も引き続き環境衛生対策に努める必要がある。																

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課
		決算額	97,555 千円
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。		
成果・実績	日本管財・五輪グループを指定管理者として、葬祭場・有料待合室・安置室については、利用料金制により運営した。		
	斎場利用実績 ・火葬場 4,033件 ・葬祭場 122件 ・待合室 545件 ・安置室 315件		
			
事業評価	民間事業者の専門性や実績を活かし、利便性の向上を図るなど、適切に管理運営ができた。近年の火葬数の増加に対応すべく、必要な箇所の迅速な修繕など、今後も適切な施設管理に努める。		

事務事業名	斎場長寿命化事業費	所管課	環境企画課
		決算額	14,058 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度に改修工事を実施する。		
	斎場施設改修費 14,058千円		
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。今後は、令和6年度に改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課																																																
		決算額	28,532 千円																																																
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、公営の墓地として公平性・永続性を踏まえた運営を行い、使用者が永代にわたり安心して墓参できる墓園環境を保持する。																																																		
成果・実績	<p>日本管財・五輪グループを指定管理者として、管理運営を行った。</p> <p>墓所 墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。 これにより総使用区画数は、2,943区画となった。</p> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <caption>新規使用許可数（墓所）</caption> <tr><td>2m²</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>3m²</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>4m²</td><td>2 件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>8 件</td></tr> </table> <p>合葬式墓地 令和3年7月から供用を開始し、令和5年度の使用許可件数は120件であった。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <caption>合葬式墓地使用許可件数 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設の区分</th> <th rowspan="2">申請数</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> </tr> <tr> <th>焼骨有</th> <th>生前予約</th> <th>焼骨有</th> <th>生前予約</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合葬室</td> <td>115</td> <td>65</td> <td>40</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10年</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120</td> <td>67</td> <td>42</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>記名板</td> <td>62</td> <td>32</td> <td>24</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			2m ²	3 件	3m ²	3 件	4m ²	2 件	合計	8 件	施設の区分	申請数	市内		市外		焼骨有	生前予約	焼骨有	生前予約	合葬室	115	65	40	9	1	10年	1	1	0	0	0	20年	4	1	2	1	0	合計	120	67	42	10	1	記名板	62	32	24	6	0
2m ²	3 件																																																		
3m ²	3 件																																																		
4m ²	2 件																																																		
合計	8 件																																																		
施設の区分	申請数	市内		市外																																															
		焼骨有	生前予約	焼骨有	生前予約																																														
合葬室	115	65	40	9	1																																														
10年	1	1	0	0	0																																														
20年	4	1	2	1	0																																														
合計	120	67	42	10	1																																														
記名板	62	32	24	6	0																																														
事業評価	今までの墓所に加え、令和3年度から合葬式墓地を供用開始したが、指定管理者によって適切に管理された。今後も引き続き、適切な墓地公園管理に努めるとともに、墓地に関する市民意識を踏まえた運用を検討する必要がある。																																																		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	地球環境保全活動推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	3,192 千円
事業内容	持続可能な社会の実現に向け、総合的な環境施策に取り組む必要があるため、宇治市の環境分野における最も基本となる計画である宇治市第3次環境保全計画の策定を行う。		
成果・実績	<p>宇治市第3次環境保全計画 2024（令和6）年度から2033（令和15）年度の10年間を計画期間として、環境全般の計画である環境保全計画とその下位計画である地球温暖化対策地域推進計画を統合し、地域気候変動適応計画を盛り込んだ内容として策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス排出量の削減目標 2030（令和12）年度に2013（平成25）年度比46%以上削減 2050（令和32）年度にゼロカーボンシティの実現 		
事業評価	今後10年間の宇治市の環境分野における最も基本となる計画を策定した。今後は本計画に基づき環境施策を推進する。		

事務事業名	親子で学ぶゼロカーボンツアー事業費	所管課	環境企画課																
		決算額	1,125 千円																
事業内容	市内在住の小学5・6年生とその保護者を対象としたゼロカーボンツアーを実施し、地球温暖化の原因やカーボンニュートラルについて学ぶことで、環境にやさしい行動ができるよう、意識の向上を図る。																		
成果・実績	<p>夏休み期間中に小学5・6年生とその保護者を対象としたゼロカーボンツアーを3回実施した。</p> <p>各コース2日間で実施し、1日目には専門講師による脱炭素についての学習会、2日目には下記施設訪問と振り返りを行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>日程</th> <th>目的地</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>8月 2日、 7日</td> <td>あいとうエコプラザ菜の花館</td> <td>3組 7人</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>8月 9日、10日</td> <td>おおさかATCグリーンエコプラザ</td> <td>4組 9人</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>8月21日、22日</td> <td>さすてな京都</td> <td>8組16人</td> </tr> </tbody> </table>			コース	日程	目的地	参加者	A	8月 2日、 7日	あいとうエコプラザ菜の花館	3組 7人	B	8月 9日、10日	おおさかATCグリーンエコプラザ	4組 9人	C	8月21日、22日	さすてな京都	8組16人
コース	日程	目的地	参加者																
A	8月 2日、 7日	あいとうエコプラザ菜の花館	3組 7人																
B	8月 9日、10日	おおさかATCグリーンエコプラザ	4組 9人																
C	8月21日、22日	さすてな京都	8組16人																
事業評価	地球温暖化について学ぶ機会を設けることにより、脱炭素に関する理解を深めることができた。今後も引き続き、環境学習の充実に努める。																		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	猫の避妊等手術補助金	所管課	環境企画課				
		決算額	498 千円				
事業内容	殺処分される猫を減少させるとともに、飼い主のいない猫による糞尿などの被害の軽減のため、飼い主のいない猫への避妊・去勢手術を実施する市民に対し、手術費用を支援する。						
成果・実績	飼い主のいない猫への避妊・去勢手術 1件あたり5千円を上限に補助 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">受付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">110件</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受付件数	令和5年度	110件
年度	受付件数						
令和5年度	110件						
事業評価	飼い主のいない猫の繁殖を抑制することで、市民の動物愛護と適正な管理に関する意識を啓発するとともに、人と猫との調和のとれた共生社会の実現と市民の快適な生活環境を保持することにつながった。今後も引き続き、市民の動物愛護と適正な管理の意識啓発を図る。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	不法投棄防止対策事業費	所管課	まち美化推進課
		決算額	1,981 千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみなどの回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	パトロール実施状況 延べ566人、309日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。今後も不法投棄の発生を抑止するため、効果的な手法について検討する必要がある。		

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	まち美化推進課																																
		決算額	312 千円																																
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、製造業者等が指定した引取場所や国の認定を受けた事業者の再資源化施設に運搬し、適切な処理を図る。																																		
成果・実績	<p style="text-align: center;">不法投棄分処理台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">品目 \ 年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テレビ</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td>21</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>洗濯機・衣類乾燥機</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>エアコン</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>パソコン</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>79</td> <td>60</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>			品目 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	テレビ	47	45	38	冷蔵庫(冷凍庫含む)	21	8	13	洗濯機・衣類乾燥機	9	6	7	エアコン	2	1	1	パソコン	0	0	0	その他	0	0	0	合計	79	60	59
品目 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																
テレビ	47	45	38																																
冷蔵庫(冷凍庫含む)	21	8	13																																
洗濯機・衣類乾燥機	9	6	7																																
エアコン	2	1	1																																
パソコン	0	0	0																																
その他	0	0	0																																
合計	79	60	59																																
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、不法投棄された廃家電について、適切に処理することができた。今後は、不法投棄の減少に向け、発生の抑止に向けた効果的な手法を検討する必要がある。																																		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	まち美化推進課		
		決算額	353,325千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。				
成果・実績	可燃物等収集運搬委託費	209,944千円			
	不燃物収集運搬委託費	98,406千円			
	びん・ペットボトル収集運搬委託費	39,985千円			
	溝土収集運搬委託費	4,990千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			収集方法等
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	可燃ごみ	23,650	22,981	21,755	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	5,749	5,310	5,168	委託 (一部地域除く)
	プラマーク	1,742	1,807	1,720	直営
	缶	389	319	258	直営 (一部委託)
	びん	1,059	1,034	965	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	586	583	576	委託 (一部地域除く)
	紙パック	14	13	16	直営
	溝土	25	32	21	委託
家電リサイクル法 対象家電製品	269台	285台	364台	直営	
死獣	1,011頭	957頭	930頭	直営 (一部委託)	
小型家電	11	17	38	直営	
	ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数515世帯(令和5年度末現在)				
事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。今後も適切な収集に努める中で、ごみの減量化に向けた効果的な手法を検討する必要がある。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	まち美化推進課																			
		決算額	26,629 千円																			
事業内容	宇治市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会などに対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																					
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>古紙回収報償金 26,252千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">種別</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">各年度の回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">5,240</td> <td style="text-align: center;">6,275</td> <td style="text-align: center;">5,250</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">222</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td style="text-align: center;">226</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">5,462</td> <td style="text-align: center;">6,512</td> <td style="text-align: center;">5,476</td> </tr> </tbody> </table>			種別	各年度の回収量 (t)			令和3年度	令和4年度	令和5年度	集団回収	5,240	6,275	5,250	直営回収	222	237	226	合 計	5,462	6,512	5,476
種別	各年度の回収量 (t)																					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																			
集団回収	5,240	6,275	5,250																			
直営回収	222	237	226																			
合 計	5,462	6,512	5,476																			
事業評価	市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。集団回収の状況の把握・分析に努める中で、より効果的な手法について検討する必要がある。																					

事務事業名	リサイクル事業費	所管課	まち美化推進課																												
		決算額	2,662 千円																												
事業内容	第6次総合計画で掲げる「ごみの減量化・資源化の促進」として、ごみの発生抑制並びに再使用を市民と協働で取り組むため、使わなくなった状態の良い「かばん、くつ、ぬいぐるみ、衣類等」を集め、海外で再使用してもらう取組である「海外リユース事業」を実施する。																														
成果・実績	<p>海外リユース事業 令和2年7月から市役所庁舎と木幡公民館に、令和5年12月から西小倉・槇島コミュニティセンターに常設の回収ボックスを設置（合計4箇所）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">実績</th> <th style="text-align: center;">回収量</th> <th style="text-align: center;">売却収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">約75 t</td> <td style="text-align: center;">375千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">約71 t</td> <td style="text-align: center;">341千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">約61 t</td> <td style="text-align: center;">298千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>多くの市民に参加いただける啓発事業として、ドライブスルーによるリサイクル・リユース品を回収するイベント「ドライブスルーdeリサイクル」を実施した。</p> <p>ドライブスルーdeリサイクル実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">実績</th> <th style="text-align: center;">開催回数</th> <th style="text-align: center;">回収量</th> <th style="text-align: center;">来場台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約31 t</td> <td style="text-align: center;">1,590台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約27 t</td> <td style="text-align: center;">1,420台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約23 t</td> <td style="text-align: center;">1,016台</td> </tr> </tbody> </table> <p>回収した海外リユースの品物は単にリユース業者へ提供するだけでなく、1kg当り5円（雑貨、食器については1kg当り1円）で売却することで新たな収入を創出した。</p>			実績	回収量	売却収入	令和3年度	約75 t	375千円	令和4年度	約71 t	341千円	令和5年度	約61 t	298千円	実績	開催回数	回収量	来場台数	令和3年度	2回	約31 t	1,590台	令和4年度	2回	約27 t	1,420台	令和5年度	2回	約23 t	1,016台
実績	回収量	売却収入																													
令和3年度	約75 t	375千円																													
令和4年度	約71 t	341千円																													
令和5年度	約61 t	298千円																													
実績	開催回数	回収量	来場台数																												
令和3年度	2回	約31 t	1,590台																												
令和4年度	2回	約27 t	1,420台																												
令和5年度	2回	約23 t	1,016台																												
事業評価	ごみの発生抑制並びに再使用を市民と協働で取り組み、ごみ処理費の抑制と収入の確保につながった。今後も本事業を市民と協働して取組を進めるため、引き続き広報を行い、市民周知を図る中で、回収量の増加に努める。																														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境教育充実事業費	所管課	まち美化推進課							
		決算額	617千円							
事業内容	循環型社会の構築に向けて、将来の中心世代である幼児から中学生を対象に環境教育を実施する。									
成果・実績	環境教育実施状況									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度 対象</th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所・幼稚園</td> <td style="text-align: center;">34園</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">21校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">4校</td> </tr> </tbody> </table>			年度 対象	令和5年度	保育所・幼稚園	34園	小学校	21校	中学校
年度 対象	令和5年度									
保育所・幼稚園	34園									
小学校	21校									
中学校	4校									
										
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児への環境教育 紙芝居の読み聞かせやキャラクター参加のクイズ、教育絵本等の配布 ・ 小学生への環境教育 学習冊子を用いた座学、スケルトンパッカー車での実演 ・ 中学生への環境教育 パワーポイントを用いた座学、職業体験 									
事業評価	環境問題について楽しく学んでもらえるよう、子どもの成長段階に応じた学習内容を設定した他、体験型メニューを取り入れることにより、ごみ分別の大切さ等についてより身近に感じてもらうことができた。今後も循環型社会の構築に向け、次世代を担う子どもたちに対する環境教育を継続して実施する必要がある。									

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
人権環境部

事務事業名	ごみ処理手数料キャッシュレス決済推進費	所管課	まち美化推進課											
		決算額	49千円											
事業内容	市民サービス向上及びごみの有料収集業務の効率化を図るため、ごみ処理手数料の収受にスマートフォンを用いたキャッシュレス決済を実施する。													
成果・実績	利用実績													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td style="text-align: center;">73件</td> <td style="text-align: center;">72件</td> <td style="text-align: center;">46件</td> </tr> <tr> <td>手数料収入</td> <td style="text-align: center;">299千円</td> <td style="text-align: center;">175千円</td> <td style="text-align: center;">167千円</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	利用件数	73件	72件	46件	手数料収入	299千円	175千円
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度											
利用件数	73件	72件	46件											
手数料収入	299千円	175千円	167千円											
事業評価	キャッシュレス決済により、利用者の利便性の向上及び業務の効率化を図ることができた。今後も引き続き利用件数の増加に努める。													

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳幼児教育・保育推進事業費	所管課	乳幼児教育・保育支援センター準備室
		決算額	398 千円
事業内容	就学前施設職員等の中で、乳幼児期における子どもたちの状況・課題を共有し、連携・協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成並びに就学前施設における施設類型を越えたネットワークの構築を図る。		
成果・実績	<p>民間・私立・公立の就学前施設職員等で構成する乳幼児教育・保育推進協議会及び専門部会を設置・開催し、開設予定の(仮称)乳幼児教育・保育支援センターで取り組む施策の検討を実施した。</p> <p>乳幼児教育・保育推進協議会等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育・保育推進協議会 3回 ・保幼小連携専門部会 3回 ・発達・子育て支援専門部会 3回 ・合同部会 1回 		
	<p>全ての就学前施設、小学校及び療育施設の職員を対象として、施設類型を越えて学び合う乳幼児教育・保育推進事業研修を実施した。</p> <p>乳幼児教育・保育推進事業研修 ・3分野11研修 延べ419名参加</p>		
事業評価	協議会（専門部会）における議論や研修におけるグループワークなどを通じて、施設類型を越えたネットワークの構築を図ることができた。今後も引き続き(仮称)乳幼児教育・保育支援センターで取り組む「研究・研修」「保幼小連携」「発達・子育て支援」の機能の具体化に向けた更なる検討が必要である。		



乳幼児教育・保育推進事業研修

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	311 千円
事業内容	「宇治市地域福祉計画」及び「宇治市自殺対策計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。		
成果・実績	<p>地域福祉推進委員会において、令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」の進行管理方法の検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 		
事業評価	令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」及び「宇治市自殺対策計画」に基づき地域福祉の取組状況等について、地域福祉推進委員会を開催し、進行管理を行った。引き続き、進行管理を行うとともに次期自殺対策計画の策定に取り組む。		

事務事業名	宇治市社会福祉協議会活動助成金	所管課	地域福祉課														
		決算額	68,082 千円														
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金</td> <td style="text-align: right;">56,194千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">979千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,665千円</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金	56,194千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	2,665千円	災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金	56,194千円																
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円																
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979千円																
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円																
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円																
学区福祉委員会活動事業補助金	2,665千円																
災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円																
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後も引き続き、連携・協働して地域福祉の推進に取り組む必要がある。																

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	39,735 千円						
事業内容	<p>「民生委員法」・「児童福祉法」に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,963千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">2,412千円</td> </tr> </table>			民生児童委員活動費補助金	36,963千円	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,412千円
民生児童委員活動費補助金	36,963千円								
民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,412千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動を助成し、地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展による老老介護や8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化している中で、民生児童委員の確保と相談などに的確に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課						
		決算額	31,198 千円						
事業内容	<p>(福)宇治市社会福祉協議会を指定管理者として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。</p>								
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">総合福祉会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">30,877千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物定期点検・調査業務委託</td> <td style="text-align: right;">145千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">アスベスト調査</td> <td style="text-align: right;">176千円</td> </tr> </table>			総合福祉会館指定管理料	30,877千円	建物定期点検・調査業務委託	145千円	アスベスト調査	176千円
総合福祉会館指定管理料	30,877千円								
建物定期点検・調査業務委託	145千円								
アスベスト調査	176千円								
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営が執行された。施設の経年劣化や利用者ニーズの多様化に対応するため、引き続き指定管理者と連携してサービスの向上に努めつつ、宇治市の福祉拠点施設としての役割を果たせるよう、管理運営に努める。</p>								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	地域福祉活動応援事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	1,047 千円
事業内容	子どもの貧困、ひきこもり、地域福祉の担い手確保などの今日的課題の解決並びに地域共生社会の実現を目指し、(福)宇治市社会福祉協議会による間接助成として、地域における主体的な取組を行う団体等の支援により地域福祉の推進を図る。		
成果・実績	補助団体数 11団体(令和4年度 3団体)		
事業評価	地域課題の解決に向けて既に活動している団体を支援し、地域福祉活動のさらなる充実を図った。制度の周知に努めた結果、令和4年度よりも多くの団体に補助を行うことができた。今後も、地域共生社会の実現に向け、引き続き、今日的課題の解決等に取り組む団体等を支援する必要がある。		

事務事業名	地域共生社会実現サポート事業補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	2,486 千円
事業内容	地域において社会福祉法人等が実施する社会貢献活動並びに福祉サービスの質の向上を促進し、共に生き、共に支え合う社会の実現を図るため、京都府が実施する「地域共生社会実現サポート事業」と協調して実施する。		
成果・実績	社会福祉法人に対し補助を行い、小規模法人の処遇改善、災害時の対応力向上を図った。 補助実績(延べ)：16法人 32事業所		
事業評価	京都府と連携し、社会福祉法人等が行う地域課題の解消に向けた取組等の支援を実施した。今後も地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人等と連携し、地域福祉の推進を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	自殺対策計画推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	102 千円
事業内容	平成28年4月に改正された「自殺対策基本法」に基づき、宇治市において「宇治市自殺対策計画」を策定し、「自殺者ゼロ」を目標に誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指す。		
成果・実績	自殺対策関連セミナーの開催		
	・ゲートキーパー養成研修（行政職員向け）		
	日 時	令和5年4月25日（火） 参加人数：26人	
	場 所	宇治市生涯学習センター第1ホール	
	・宇治市ゲートキーパー養成講座		
	日 時	令和6年1月13日（土） 参加人数：35人	
	場 所	宇治市生涯学習センター第2ホール	
	講 師	NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事 岩崎 豊 氏	
	・男性のストレス対策セミナー		
	日 時	令和6年2月3日（土） 参加人数：24人 (会場：20人、オンライン：4人)	
	場 所	宇治市産業会館第一研修室	
	講 師	一般社団法人 日本男性相談フォーラム 相談員 福江 敬介 氏	
・若年層向け自殺予防啓発事業			
日 時	令和6年3月23日（土） 参加人数：25人 (会場：15人、オンライン：10人)		
場 所	宇治市男女共同参画センター会議室1		
講 師	京都府立洛南病院 医師 石川 千明 氏		
事業評価	各種研修・講座を通じて、市民や民生児童委員、行政職員などに対して、自殺に悩む人を1人でも救うために重要な“気づき”や傾聴方法について、理解を深めることができた。今後は、ゲートキーパー講座の受講者や支援者を対象としたフォローアップも行うことで、計画の更なる推進を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	ひきこもり対策事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	5,109 千円
事業内容	ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置をはじめ、支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業などを通して、ひきこもりの悩みを抱える人が相談しやすい環境を作り、専門の窓口や必要な支援に繋がるとともに、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深める。		
成果・実績	<p>ひきこもり相談窓口を令和2年10月1日に開設。事業の委託を行い、ひきこもり状態にある人や家族などに対する相談、支援や居場所づくりなどを行った。また、今年度は新たにひきこもりサポーター養成講座を行った。</p> <p>ひきこもり相談窓口設置 相談回数 : 99回 相談人数 : 39人 居場所活動 : 5回 (参加者6人) 研修・会議 : 4回 (うち、2回はサポーター養成講座を兼ねる)</p> <p>ひきこもりサポーター養成講座 参加人数 : 20人 講座回数 : 全3回</p>		
事業評価	宇治市ひきこもり支援ネットワークに参加している団体がどのような支援を行っているかが一目で分かるひきこもり支援マップを作成し、市内各所へ配架するとともに、ひきこもりサポーター養成講座の開催により、ひきこもり対策を推進した。今後とも、悩みを抱える本人や家族にとって相談しやすい環境整備、ひきこもり支援ネットワークの強化、窓口周知などに取り組む必要がある。		

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																													
		決算額	2,950 千円																																													
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20か月返済で貸し付ける。																																															
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。</p> <p>くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>14</td> <td>1,400</td> <td>15</td> <td>1,500</td> <td>15</td> <td>1,500</td> <td>13</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>23</td> <td>2,250</td> <td>13</td> <td>1,300</td> <td>25</td> <td>2,450</td> <td>11</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>3,650</td> <td>28</td> <td>2,800</td> <td>40</td> <td>3,950</td> <td>24</td> <td>2,400</td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	14	1,400	15	1,500	15	1,500	13	1,300	冬期	23	2,250	13	1,300	25	2,450	11	1,100	合計	37	3,650	28	2,800	40	3,950	24	2,400
	令和2年度		令和3年度			令和4年度		令和5年度																																								
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																																								
夏期	14	1,400	15	1,500	15	1,500	13	1,300																																								
冬期	23	2,250	13	1,300	25	2,450	11	1,100																																								
合計	37	3,650	28	2,800	40	3,950	24	2,400																																								
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。前年度と比べて令和5年度は貸付件数が減少しており、市民ニーズ等を確認の上、必要な支援に努める。																																															

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	地域福祉課
		決算額	3,062 千円
事業内容	離職・廃業後2年以内、または自己の責や都合によらない理由で収入が減少し、離職や廃業と同程度の状況にある者のうち、住宅を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当額の住居確保給付金を支給する。		
成果・実績	支給状況等 ・支給対象者数 34人 ・支給額合計 3,062千円 ・支給決定者数 34人 ・不支給決定者数 6人		
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、失業者に対する住居確保のセーフティネットとして適正に支援を実施した。就労要件の緩和や再支給などの新型コロナウイルス感染症に関する特例が終了したことにより、支援対象者数が前年度と比較し大幅に減少した。今後も引き続き国、京都府の動向に注視し、生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業費	所管課	地域福祉課																					
		決算額	4,979 千円																					
事業内容	生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行う。																							
成果・実績	支援状況等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">実施拠点</th> <th style="width: 15%;">事業回数</th> <th style="width: 45%;">事業利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">総合福祉会館</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">109</td> <td>中学1年生 2人</td> </tr> <tr> <td>中学2年生 8人</td> </tr> <tr> <td>中学3年生 8人</td> </tr> <tr> <td>合計 18人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">大久保青少年センター</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">94</td> <td>中学1年生 4人</td> </tr> <tr> <td>中学2年生 7人</td> </tr> <tr> <td>中学3年生 7人</td> </tr> <tr> <td>合計 18人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">槇島コミュニティセンター (令和5年7月25日開設)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">73</td> <td>中学1年生 8人</td> </tr> <tr> <td>中学2年生 8人</td> </tr> <tr> <td>中学3年生 1人</td> </tr> <tr> <td>合計 17人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">大久保青少年センターは11月より支援時間を1時間拡大 うち4人(中学3年生は2名)は年度途中で支援終了 中学3年生14人が希望する高校へ進学</p>			実施拠点	事業回数	事業利用者数	総合福祉会館	109	中学1年生 2人	中学2年生 8人	中学3年生 8人	合計 18人	大久保青少年センター	94	中学1年生 4人	中学2年生 7人	中学3年生 7人	合計 18人	槇島コミュニティセンター (令和5年7月25日開設)	73	中学1年生 8人	中学2年生 8人	中学3年生 1人	合計 17人
実施拠点	事業回数	事業利用者数																						
総合福祉会館	109	中学1年生 2人																						
		中学2年生 8人																						
		中学3年生 8人																						
		合計 18人																						
大久保青少年センター	94	中学1年生 4人																						
		中学2年生 7人																						
		中学3年生 7人																						
		合計 18人																						
槇島コミュニティセンター (令和5年7月25日開設)	73	中学1年生 8人																						
		中学2年生 8人																						
		中学3年生 1人																						
		合計 17人																						
事業評価	学習支援を行うことにより、学習習慣の定着、居場所づくり、家庭の教育力の醸成を進めることができた。令和5年度は、槇島地区への新たな学習支援拠点の開設や、大久保青少年センターにおける支援時間の拡大など、生徒がより参加しやすい環境づくりを行った。今後も、より効果の高い実施手法を検討しつつ支援を継続する。																							

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活困窮世帯等の家計改善支援事業費	所管課	地域福祉課		
		決算額	940 千円		
事業内容	<p>家計収支の均衡が取れていない等、家計に課題を抱える相談者からの相談に応じ、相談者自身が置かれている家計状況を理解できるよう家計の「見える化」を図る。また「家計表」や「家計再生プラン」などを作成し支援の方向性を提案し、生活の再生に向けた意欲を高めるとともに、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言などを行い、相談者の家計管理の力を高めていく支援を行う。</p>				
成果・実績	支援状況等				
	支援内容		人数	R5年度末までの状況	
				対応中	終結
	支援対象者		29人	15人	14人
	うち、 具体的 支援の 内容	家計管理に関する支援	20人	9人	11人
		滞納の解消や給付制度利用支援	12人	8人	4人
債務整理に関する支援		19人	10人	9人	
貸付のあっせん		2人	2人	0人	
<p>延べ支援回数：97回 1人の対象者が複数の具体的支援を受けている場合あり</p> <p>支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者からの聞き取りや書類の確認により家計表を作成する ・家計の見える化や家計を改善するために必要な支援を行う ・来庁が困難な相談者に対し、アウトリーチによる支援を行う ・法テラスや弁護士事務所に同行し、債務整理に関する手続きの支援を行う 					
事業評価	<p>生活困窮者の家計の状況を把握し、中長期的な生活設計を図るために、家計に関する課題のより踏み込んだ相談に対応することができた。今後も専門性を生かし、生活保護受給者を含め自ら家計管理ができることを目標として、支援に取り組む。</p>				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活困窮者自立支援事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	8,795 千円
事業内容	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者に対して包括的な支援を行い、自立を促進する。		
成果・実績	<p>生活困窮者に対して、自立支援計画を作成し自立に向けた支援を行った。</p> <p>自立相談支援事業 延べ相談者数 846人 相談者の抱える課題に応じ、必要な情報提供、助言及びプランを作成し、支援を行った。</p> <p>就労準備支援事業 延べ支援回数 59回 雇用による就業が著しく困難な生活困窮者に対し、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行った。</p> <p>一時生活支援事業 利用者数 13人 一定の住居を持たない生活困窮者に対し、宿泊場所の供与、食事の提供を行った。</p>		
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者の自立に向けて支援を行った。国、京都府の動向に注視し、引き続き生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	物価高騰対策給付金事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	727,433 千円
事業内容	電力・ガスを始めとするエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するための支援として、特に影響の大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、臨時的な措置として1世帯当たり3万円の現金を支給する。		
成果・実績	<p>費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費（給付金） 690,330千円 ・事務費 37,103千円 <p>給付世帯数 23,011世帯</p>		
事業評価	給付対象と見込まれる世帯に、順次、確認書を送付し、円滑に給付を行うことができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	物価高騰対策給付金事業費（追加分）	所管課	地域福祉課														
		決算額	1,736,107 千円														
事業内容	物価高に最も切実に苦しんでいる低所得者世帯への支援として実施した「物価高騰対策給付金3万円」を支給した世帯に対し、追加で7万円（合計10万円）の現金を給付するほか、住民税均等割のみ課税される世帯への現金給付（10万円）や、低所得世帯の子育て世帯に対する加算給付（5万円/子）を行う。																
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">費用</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 事業費（給付金）</td> <td style="text-align: right;">1,702,050千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 事務費</td> <td style="text-align: right;">34,057千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給付世帯数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 7万円給付</td> <td style="text-align: right;">21,705世帯</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 10万円給付</td> <td style="text-align: right;">1,827世帯</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ こども加算</td> <td style="text-align: right;">0世帯（繰越により6年度に開始）</td> </tr> </table>			費用		・ 事業費（給付金）	1,702,050千円	・ 事務費	34,057千円	給付世帯数		・ 7万円給付	21,705世帯	・ 10万円給付	1,827世帯	・ こども加算	0世帯（繰越により6年度に開始）
費用																	
・ 事業費（給付金）	1,702,050千円																
・ 事務費	34,057千円																
給付世帯数																	
・ 7万円給付	21,705世帯																
・ 10万円給付	1,827世帯																
・ こども加算	0世帯（繰越により6年度に開始）																
事業評価	給付対象と見込まれる世帯に、順次、確認書を送付し、円滑に給付を行うことができた。給付が完了していないものについては、令和6年度へ予算を繰り越し、早期給付に向けて事業を実施する。																

事務事業名	総合福祉会館長寿寿命化事業費	所管課	地域福祉課				
		決算額	14,786 千円				
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施する。</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">設計業務委託費</td> <td style="text-align: right;">14,786千円</td> </tr> </table>			長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施する。		設計業務委託費	14,786千円
長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施する。							
設計業務委託費	14,786千円						
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。今後は、令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																										
		決算額	4,690,229 千円																										
事業内容	「日本国憲法」第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。																												
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は令和5年度中の月平均で2,098世帯、被保護人員は2,814人であった。</p> <p style="text-align: center;">(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>扶助の種類</th> <th>扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td>1,373,687</td></tr> <tr><td>住宅</td><td>775,321</td></tr> <tr><td>教育</td><td>16,675</td></tr> <tr><td>介護</td><td>96,044</td></tr> <tr><td>医療</td><td>2,367,086</td></tr> <tr><td>出産</td><td>67</td></tr> <tr><td>生業</td><td>15,792</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td>12,799</td></tr> <tr><td>施設事務費</td><td>29,417</td></tr> <tr><td>就労自立給付金</td><td>1,441</td></tr> <tr><td>進学準備給付金</td><td>1,900</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,690,229</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,373,687	住宅	775,321	教育	16,675	介護	96,044	医療	2,367,086	出産	67	生業	15,792	葬祭	12,799	施設事務費	29,417	就労自立給付金	1,441	進学準備給付金	1,900	合計	4,690,229
扶助の種類	扶助費																												
生活	1,373,687																												
住宅	775,321																												
教育	16,675																												
介護	96,044																												
医療	2,367,086																												
出産	67																												
生業	15,792																												
葬祭	12,799																												
施設事務費	29,417																												
就労自立給付金	1,441																												
進学準備給付金	1,900																												
合計	4,690,229																												
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図った。今後も濫給・漏給の防止等、法令遵守を徹底した生活保護運営に努めるとともに、受給者の自立に向けた支援を実施する。																												

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	907 千円				
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">貸付件数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">77件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">907千円</td> </tr> </table>			貸付件数	77件	貸付額合計	907千円
貸付件数	77件						
貸付額合計	907千円						
事業評価	適正に貸付を実施し、対象者の生活安定を図ることができた。今後も、申請者の状況に応じた一時的な支援として、関連施策との連携を図りながら、適正な実施手法を検討する。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	被保護者自立支援事業費	所管課	生活支援課
		決算額	9,344 千円
事業内容	生活保護世帯の自立支援を図るため、就労支援体制を強化し、就労準備支援、家計改善支援と一体的に実施する。		
成果・実績	<p>被保護者就労支援事業 就労支援員2名を配置し、ハローワークや就労支援事業所と連携した就労支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労支援対象者数 198名 <li style="padding-left: 20px;">うち就職（増収）者数 58名 （うち保護廃止者数 6名） <p>被保護者就労準備支援事業 延べ支援回数 255回 雇用による就業が著しく困難な生活保護受給者に対し、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行った。</p> <p>被保護者家計改善支援事業 家計に課題を抱える被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言を行い、家計管理の力を高めるための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実支援対象者数 8人 ・ 延べ支援回数 32回 		
事業評価	就労支援員を配置し、ハローワーク等との連携を強化するとともに、就労準備支援、家計改善支援の各事業を活用することができた。生活保護受給者の課題解決に向けて、引き続き一体的実施を図る必要がある。		

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課														
		決算額	28,097 千円														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容はこれまでの生活保護費に代わるものである。																
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <p style="text-align: right;">中国残留邦人等支援給付費 25,060千円（対象：8世帯、10人） (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">支援の種類</th> <th>生活</th> <th>住宅</th> <th>介護</th> <th>医療</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: right;">7,845</td> <td style="text-align: right;">1,638</td> <td style="text-align: right;">349</td> <td style="text-align: right;">15,228</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">25,060</td> </tr> </tbody> </table> <p>中国残留邦人等支援事務費 974千円 中国残留邦人日本語教室等委託料 2,063千円</p>			支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	7,845	1,638	349	15,228	0	25,060
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計											
支援給付費	7,845	1,638	349	15,228	0	25,060											
事業評価	国制度に基づき、対象者の生活支援を実施した。今後も引き続き適正な事務執行に努める。																

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,450 千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害支援区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害支援区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p>審査会開催数 28 回 審査判定件数 516 件 （宇治田原町分19件を含む）</p>		
事業評価	「障害者総合支援法」に基づき、引き続き適正な運営に努める。		

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	273,026 千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	<p>自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去または軽減し、日常生活及び職業生活に適應するように改善するため、医療費の一部を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院 485人 ・入院外 631人 <p>自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療及び、ぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者に対し、医療費の一部を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給人数 18人 		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、身体の機能障害を除去または軽減させる治療を促進することができた。今後も安心して医療が受けられるよう努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課						
		決算額	141,241 千円						
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。								
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">特別障害者手当支給延べ人数</td> <td style="text-align: right;">3,693 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">障害児福祉手当支給延べ人数</td> <td style="text-align: right;">2,496 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">経過的福祉手当支給延べ人数</td> <td style="text-align: right;">30 人</td> </tr> </table>			特別障害者手当支給延べ人数	3,693 人	障害児福祉手当支給延べ人数	2,496 人	経過的福祉手当支給延べ人数	30 人
特別障害者手当支給延べ人数	3,693 人								
障害児福祉手当支給延べ人数	2,496 人								
経過的福祉手当支給延べ人数	30 人								
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努める。								

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課		
		決算額	3,625,088 千円		
事業内容	「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。				
成果・実績	「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費の給付を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">障害者介護給付利用延べ人数</td> <td style="text-align: right;">31,372 人</td> </tr> </table>			障害者介護給付利用延べ人数	31,372 人
障害者介護給付利用延べ人数	31,372 人				
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努める。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,710,872 千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者訓練等給付利用延べ人数 11,595 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努める。</p>		

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	59,506 千円
事業内容	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。</p>		
成果・実績	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。</p> <p style="text-align: center;">給付件数 5,165 件</p>		
事業評価	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与し、障害児・者が在宅で日常生活を送れるよう支援した。今後も適正な事業運営に努める。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	48,453 千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	<p>義肢・装具・車いすなどの補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。</p> <p>支給延べ件数 487 件</p>		
事業評価	国制度に基づき適正に事務を執行し、引き続き障害児・者の福祉の推進に努める。		

事務事業名	障害者意思疎通支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	6,510 千円
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行う。		
成果・実績	<p>聴覚障害者の意思疎通支援を行うため、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。</p> <p>手話通訳者派遣延べ件数 261 件</p> <p>要約筆記者派遣延べ件数 497 件</p>		
事業評価	手話通訳者・要約筆記者を派遣し、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進した。聴覚障害以外の障害者に対しても意思疎通を円滑に行い、社会参加を促進できるよう、ニーズの把握・分析に努め、今後の事業実施の手法を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,732 千円
事業内容	聴覚障害者の意思疎通支援を行う手話奉仕員を養成する講座を開催する。		
成果・実績	手話奉仕員を早期に養成するため、市内在住・在勤・在学の方を対象とし、1か年の講座課程で手話奉仕員養成講座を実施した。 受講者数 27 人		
事業評価	講座課程を1か年で実施することにより、早期に手話奉仕員を養成し、京都府の養成講座につながられている。手話通訳者の高齢化が進んでおり、人数が減っている中、養成した受講者が聴覚障害者の意思疎通支援に携わることができるような環境を構築するなど、さらに成果が高まる手法を検討する必要がある。		

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	77,210 千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害児・者に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	屋外での移動が困難な障害児・者に対して、外出を支援した。 利用時間 26,262 時間		
事業評価	屋外での移動が困難な障害児・者に対して外出のための支援を実施し、障害児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、利用者ニーズの把握・分析などに努め、支援に取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	95,171 千円
事業内容	障害児・者の家族の就労支援及び障害児・者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に障害児・者に活動の場を提供し、社会に適應するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	日中に障害児・者の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援及び一時的な休息を図った。		
	利用時間	86,431 時間	
事業評価	屋外での移動が困難な障害児・者に対して外出のための支援を実施し、障害児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、利用者ニーズの把握・分析を行い支援に取り組む。		

事務事業名	福祉タクシー・ガソリン料金助成事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	28,010 千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部を助成する。		
成果・実績	1か月あたり1,000円の福祉タクシー利用券又は1か月あたり700円の福祉ガソリン利用券を交付し、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部助成を行った。		
	交付件数	3,481 件	
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券及び令和2年度より福祉ガソリン券を交付し、外出困難な重度心身障害者の社会参加の促進を図った。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者施設等通所交通費助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	10,311 千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。 延べ助成者数 630 人		
事業評価	施設に通所する障害者に交通費の一部助成を実施することにより、経済的な負担の軽減を図るとともに、障害者の自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、障害者の社会参加や負担軽減に取り組む。		

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,599 千円
事業内容	在宅において心身障害児・者を介護している介護者に対して、一時的に心身障害児・者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している障害者施設にて介護支援を行い、介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害児・者の一時的な介護を実施した。 利用回数 2,019 回		
事業評価	在宅障害児・者の一時的な介護支援を行い、介護に従事する家族等の負担軽減を図った。今後も引き続き、セーフティネットとしての役割を踏まえ、支援に取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	937 千円
事業内容	「児童福祉法」第4条第2項に規定する障害児(障害に係る医療を行わないときは将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、その身体障害を除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。		
成果・実績	生活の能力を得るために必要な医療費の一部を22人に支給した。		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、障害児の身体障害を除去及び軽減させる治療を促進することができた。的確かつ円滑な事務の遂行に努めるとともに、今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		

事務事業名	障害福祉施設物価高騰対策事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	11,474 千円
事業内容	物価高騰の影響に関わらず、安全・安心で質の高い障害福祉サービスを継続して提供できるよう、障害福祉施設等を運営する法人に対し交付金を交付する。		
成果・実績	物価の高騰の影響を受けた障害福祉施設等の運営法人に対し、補助金を交付した。 補助対象法人 63法人		
事業評価	障害福祉施設等の運営法人に対して光熱費の高騰分を補助し、物価高騰による施設運営の負担緩和を図ることができた。引き続き物価高騰の状況や施設等のニーズの把握に努め、必要に応じて支援を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者福祉基本計画関連事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,447 千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催し、障害福祉施策及び障害者福祉基本計画の推進などについての意見交換・調整及び「第3期宇治市障害者福祉基本計画」・「第7期宇治市障害福祉計画・第3期宇治市障害児福祉計画」の策定を行う。		
成果・実績	<p>宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催し、「障害の有無によって分け隔たられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生することができる社会（インクルーシブコミュニティ）の実現を目指す」ことを基本理念とする「第3期宇治市障害者福祉基本計画」及び「第7期宇治市障害福祉計画・第3期宇治市障害児福祉計画」を策定した。</p> <p>第3期宇治市障害者福祉基本計画</p> <p>計画期間 令和6年度～令和11年度</p> <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的人権の尊重と社会参加の機会確保 2. 差別の禁止と必要かつ合理的な配慮の提供による社会的障壁の解消 3. 市民相互の理解と支え合いによる共生社会の実現 <p>第7期宇治市障害福祉計画・第3期宇治市障害児福祉計画</p> <p>計画期間 令和6年度～令和8年度</p> <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域生活を支援するサービス提供体制の整備 2. 働く意欲を持った障害のある人に対する就労支援の充実 3. 相談支援体制の充実 4. 障害種別にかかわらず包括的な支援体制の整備 5. 障害のある児童の支援の提供体制の整備 6. 地域共生社会の実現、社会参加を支える取組 7. 差別解消と権利擁護の推進 8. 障害のある人による情報の取得利用・意思疎通の推進 <p>障害福祉計画策定費 1,752千円</p> <p>障害者福祉基本計画推進事業費 695千円</p>		
事業評価	「障害者総合支援法」・「児童福祉法」などに基づきつつ、基本理念を反映した「第3期宇治市障害者福祉基本計画」及び「第7期宇治市障害福祉計画・第3期宇治市障害児福祉計画」の策定ができた。今後は進捗管理を行いつつ、障害福祉施策の推進に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者音訳事業費	所管課	障害福祉課
事業内容	視覚障害者または文字による情報の取得が困難な方に、宇治市の広報等、市民生活を営むうえで必要度の高い情報を音訳により定期的に提供することにより、福祉の向上と社会参加の促進を図る。		
成果・実績	音訳事業の利用希望者に対し、市政だより等の録音物を作成し、情報提供を行った。 利用者数 54人		
事業評価	視覚に障害がある方や識字が困難な方などに定期的に市政情報を提供し、福祉の向上と社会参加の促進を図った。今後も利用者ニーズの把握・分析に努めながら実施する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	584 千円
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童の養育・保護を行う。		
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。令和5年度よりヴェインテを新たに実施施設として追加した。</p> <p>実施施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町） 平安養育院（京都市東山区） 和敬学園（京都市上京区） メリーアティックボンド（京都市伏見区） ヴェインテ（京都市山科区） <p>利用日数 86日</p>		
事業評価	新たな実施施設の追加を行い、より利用しやすい環境づくりを行った。一定数の利用があり、今後も引き続きセーフティネットとしての機能を維持するとともに、必要な方に必要な支援を活用してもらえよう、制度の周知に努める。		

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	10,610 千円
事業内容	子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあ うじ」に事務所を設置している。		
成果・実績	<p>事業委託先（社会福祉法人宇治福祉園）においてファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を支援した。</p> <p>援助会員数 131人</p> <p>依頼会員数 1,069人</p> <p>両方会員数 11人</p> <p>利用件数 796件</p>		
事業評価	市民等で構成される会員組織による地域における相互援助活動を支援し、安心して働くことのできる環境づくりを推進した。今後も引き続き、委託事業者と連携しながら、ファミリー・サポート・センター事業の充実に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																												
		決算額	79,610 千円																																												
事業内容	地域子育て支援拠点において、子育て世代や親子が気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習などの実施を行う。																																														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運営</th> <th>延べ利用者数</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 西部地域子育て支援センター</td> <td>直営</td> <td>3,985 人</td> <td>117 件</td> </tr> <tr> <td>2 げんきひろば</td> <td>委託</td> <td>15,902 人</td> <td>860 件</td> </tr> <tr> <td>3 南部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>2,186 人</td> <td>113 件</td> </tr> <tr> <td>4 東部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>4,946 人</td> <td>99 件</td> </tr> <tr> <td>5 北部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>6,690 人</td> <td>85 件</td> </tr> <tr> <td>6 りぼん</td> <td>委託</td> <td>9,690 人</td> <td>1,196 件</td> </tr> <tr> <td>7 ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>委託</td> <td>5,661 人</td> <td>143 件</td> </tr> <tr> <td>8 ひあ にしおぐら</td> <td>委託</td> <td>1,870 人</td> <td>593 件</td> </tr> <tr> <td>9 toridori (とりどり)</td> <td>委託</td> <td>7,696 人</td> <td>504 件</td> </tr> <tr> <td>10 ぼけっと</td> <td>委託</td> <td>3,580 人</td> <td>438 件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">延べ利用者数・相談件数は出張ひろば分を含む。</p>			名称	運営	延べ利用者数	相談件数	1 西部地域子育て支援センター	直営	3,985 人	117 件	2 げんきひろば	委託	15,902 人	860 件	3 南部地域子育て支援センター	委託	2,186 人	113 件	4 東部地域子育て支援センター	委託	4,946 人	99 件	5 北部地域子育て支援センター	委託	6,690 人	85 件	6 りぼん	委託	9,690 人	1,196 件	7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	5,661 人	143 件	8 ひあ にしおぐら	委託	1,870 人	593 件	9 toridori (とりどり)	委託	7,696 人	504 件	10 ぼけっと	委託	3,580 人	438 件
名称	運営	延べ利用者数	相談件数																																												
1 西部地域子育て支援センター	直営	3,985 人	117 件																																												
2 げんきひろば	委託	15,902 人	860 件																																												
3 南部地域子育て支援センター	委託	2,186 人	113 件																																												
4 東部地域子育て支援センター	委託	4,946 人	99 件																																												
5 北部地域子育て支援センター	委託	6,690 人	85 件																																												
6 りぼん	委託	9,690 人	1,196 件																																												
7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	5,661 人	143 件																																												
8 ひあ にしおぐら	委託	1,870 人	593 件																																												
9 toridori (とりどり)	委託	7,696 人	504 件																																												
10 ぼけっと	委託	3,580 人	438 件																																												
事業評価	各施設において身近で気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気づくりに努めており、多くの子育て世代や親子の利用があった。今後も各施設の特色を活かすとともに、互いに情報共有しながらより良い拠点作りに努める。																																														

事務事業名	虐待児童等見守り強化事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	9,866 千円						
事業内容	児童虐待のリスクを軽減するため、地域の中で支援を必要とする子どものいる家庭を訪問し、食事の提供等を通じて、子どもの状況の把握や他の支援につなぐ等の見守り強化を行う。								
成果・実績	<p>訪問による声かけ、食事の提供等により児童の現認、家庭との関係構築を行い児童虐待防止に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">訪問家庭数</td> <td>32家庭</td> </tr> <tr> <td>対象児童数</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>訪問回数</td> <td>194回 (延べ対象児童数419人)</td> </tr> </table>			訪問家庭数	32家庭	対象児童数	65人	訪問回数	194回 (延べ対象児童数419人)
訪問家庭数	32家庭								
対象児童数	65人								
訪問回数	194回 (延べ対象児童数419人)								
事業評価	見守りが必要な家庭や今まで接触しづらかった家庭等について、本事業を実施することで児童の現認、必要な支援へのつながりを行うことができた。今後も引き続き、訪問を続けることにより見守りが必要な家庭の状況を把握し支援につなげる。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育ておうえん環境整備事業費	所管課	こども福祉課		
		決算額	6,859 千円		
事業内容	子育て世代が安心して外出し周遊できるよう、中宇治地域(宇治中学校区)、小倉地域(北宇治中学校・西宇治中学校・西小倉中学校区)、木幡・黄檗地域(木幡中学校・黄檗中学校・東宇治中学校区)の店舗や団体が実施する環境整備等に対する支援を行う。				
成果・実績	新規拡充エリア 小倉地域、木幡・黄檗地域				
		施設整備		子育て支援	
	対象経費	授乳室、子ども用トイレ等の設置		幼児用玩具、子育て世代イベント等	
	補助上限	200万円		20万円	
	補助率	2/3		2/3	
		件数	補助金額	件数	補助金額
	既存エリア (中宇治)	2件	2,784千円	10件	1,337千円
拡充エリア (小倉、木幡・黄檗)	1件	2,000千円	7件	738千円	
合計	3件	4,784千円	17件	2,075千円	
事業評価	対象エリアの拡充を行い、店舗等において子育て世代が利用しやすいスペースの整備、イベント等を実施し、気軽に外出し、安心して過ごせる取組により、子育てにやさしまちづくりの推進に努めた。引き続き取組を行うとともに、成果・実績などを踏まえて更なる制度周知のための広報方法や、今後の全市展開に向けての検討を行う。				

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課	
		決算額	19,186 千円	
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の就労の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の2か所で開催している。			
成果・実績	児童の病気回復期における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。			
		実施施設		延べ利用者数
		浅妻医院パピールーム（浅妻医院）		460人
		宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）		416人
	合計		876人	
事業評価	医療機関での病児保育を実施し、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援した。緊急時に対応する子育て支援施策として、今後も国の制度改正に対応しつつ適正に実施する。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	ヤングケアラー対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,564 千円
事業内容	ヤングケアラーに関する相談・支援を実施するため、子ども家庭総合支援拠点にヤングケアラー・コーディネーターを配置し、相談窓口を設置して相談・支援を行う。		
成果・実績	<p>コーディネーターによる相談・支援を実施するとともに、関係者向けの研修会等を実施した。</p> <p>相談窓口開設 電話相談の他、家庭訪問や保護者面談、関係機関と連携し支援を行った。</p> <p>研修会の実施 学識経験者やNPO法人等から講師を招いた研修会の企画運営や、市主催の出張研修会を実施した。</p> <p>その他 関係団体の会議等での広報活動やオレンジリボン・パープルリボンキャンペーンにあわせた啓発活動を実施するとともに、京都府ヤングケアラー総合支援センターとの連携を図った。</p>		
事業評価	ヤングケアラーに関する理解を深めるための研修会等を継続して実施するとともに、個別ケースに対しては、それぞれの家庭環境に寄り添いながら必要な相談・支援を行うことで、ヤングケアラーの早期発見及び環境改善を図った。今後も引き続き相談・支援に取り組むとともに、関係機関との連携しながら啓発に努める。		

事務事業名	子育て世帯訪問支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	208 千円
事業内容	食事や生活環境が不適切な状態にある家庭、出産前において支援が特に必要な妊婦のいる家庭、ヤングケアラーのいる家庭などに対し、訪問支援員による家事・育児等の支援や助言等を行う。		
成果・実績	<p>各家庭に寄り添い、家事・育児支援等を行うことで養育環境の改善を図り、児童虐待等のリスクの防止に努めた。</p> <p>支援家庭数 7家庭 支援件数 25回</p>		
事業評価	支援を必要とする家庭に訪問し、それぞれの家庭が抱える不安や悩みに傾聴するとともに、食事の準備等の家事支援及び育児支援を行い養育環境の改善を図ることができた。今後も引き続き支援を実施し、児童虐待等のリスク防止に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	子育て支援総合コーディネート事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	6,852 千円
事業内容	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日）</p> <p>利用人数 預かり 1,043人 相談 1,114人</p>		
事業評価	来庁者の子どもの一時預かり及び子育て全般に関する相談を実施し、子育て家庭への支援の充実を図った。今後も利用状況の分析に努めながら、気軽に相談しやすい環境づくりを行う。		

事務事業名	子ども・子育て会議運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	560 千円
事業内容	宇治市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
成果・実績	<p>「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の進捗状況の管理・評価などを行うため、会議を開催した。</p> <p>子ども・子育て会議 委員数 24人 第1回：令和5年7月24日 第2回：令和6年2月5日 第3回：令和6年3月4日</p>		
事業評価	「宇治市子ども・子育て会議」を開催し、令和5年度の取組状況の報告、令和4年度の取組成果等の報告を行うとともに、現計画が令和6年度末で計画期間満了となることに伴い、ニーズ調査の調査項目の検討等を行った。令和6年度も引き続き現計画の進捗管理を図るとともに、新たな計画策定に向けての検討を行う。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（その他世帯分）	所管課	子ども福祉課
		決算額	133,397 千円
事業内容	食費等の物価高騰等に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（ひとり親世帯を除く）に対し、特別給付金を支給する。		
成果・実績	<p>食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（ひとり親世帯を除く）に対し、特別給付金を支給した。</p> <p>支給金額 児童一人当たり一律5万円 支給件数 1,391世帯 支給総額 128,150千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・支給を行い、食費等の物価高騰の影響を受けた子育て世帯への支援を図った。		

事務事業名	奨学金返還支援事業費	所管課	子ども福祉課
		決算額	14,068 千円
事業内容	若年層の宇治市への定住促進、「子育てしやすいまちづくり」を目的に、日本学生支援機構等の奨学金の返還に対する支援金を最長5年間交付する。子育て世帯を優先とし、対象年度に結婚や出産のライフイベントがあった年度は支援額を増額する。		
成果・実績	<p>対象者（申請前年度の3月31日時点で、満35歳未満で、今後5年以上宇治市に在住予定、就労していること、前年中の合計所得金額が276万円以下であること、宇治市に納付すべき市税等を滞納していないことなどの要件をすべて満たす者）に支援金を交付した。</p> <p>返還支援額 前年度10月から1年間の奨学金返還額の1/2（85,000円上限） ライフイベント時は返還額の3/4（130,000円上限）</p> <p>支援者数 163人 うち令和5年度新規登録者数 50人 （うち子育て世帯30人・ライフイベント該当者10人）</p>		
事業評価	奨学金の返還支援事業により、若年層の宇治市への定住促進を図るとともに、子育て世帯を優先とし、結婚や出産のライフイベントがあった年度は増額することで「子育てしやすいまちづくり」の実現に努めた。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	382,718 千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労等の理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <p>開設学校数 20校</p> <p>学級数 20学級（44クラス） 令和5年5月1日現在</p> <p>入級児童数 1,996人 令和5年5月1日現在</p> <p>医療的ケア児受入実績 1人 令和5年5月1日現在</p>		
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。また、今年度より医療的ケアを必要とする児童の受け入れを開始した。今後子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,377 千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営に努めた。引き続き安全確保を図りつつ、今後の実施手法について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	15,045 千円
事業内容	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。		
成果・実績	<p>1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p>補助対象民間事業者数 3法人</p> <p>補助対象児童数 延べ3,009人</p>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行い、待機児童の解消と放課後の児童の健全育成を図った。利用ニーズの把握に努め、今後の事業実施を検討する。		

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,400 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修のための実施設計を行った。令和6年度に改修工事を実施する。</p> <p>委託料 4,400千円</p> <p>対象施設 4施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平盛育成学級 ・北檜島育成学級 ・岡屋育成学級 ・南部育成学級 		
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。今後は、令和6年度に改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	公立保育所運営経費		所管課	保育支援課
			決算額	1,519,712 千円
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。			
成果・実績	公立保育所数	7園	延べ入所数	10,277人
	・定員	940人		
	保育所運営費		57,188千円	
	保育所維持修繕費		9,514千円	
	会計年度任用職員費		201,466千円	
	保育所児童健康管理費		6,367千円	
	保育所給食費		80,693千円	
	パート保育士設置費		120,589千円	
	障害児特別保育費（報酬・旅費）		65,953千円	
	保育士等職員給		956,385千円	
	保育所施設整備費		21,557千円	
	木幡保育所および北木幡保育所の屋上防水ほか改修工事を実施			
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境などを確保したことにより、子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図ることができた。今後も引き続き、保育ニーズに対応した適正な運営に努める。			

事務事業名	保育所等緊急安全対策事業費		所管課	保育支援課
			決算額	31,366 千円
事業内容	安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園においても保育所等安全運営支援員の配置等に対して補助を行う。			
成果・実績	公立保育所		8,208千円	
	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等			
	民間保育所（園）・民間認定こども園		23,158千円	
	保育所等安全運営支援員の配置			
事業評価	保育所等安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた。今後も引き続き安全確保に努めるとともに、効果的な安全対策の実施方法について検討する必要がある。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民間保育所等運営経費	所管課	保育支援課																
		決算額	4,042,238 千円																
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所（園）5園・民間認定こども園14園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">民間保育所（園）・民間認定こども園数</td> <td style="text-align: right;">19園</td> </tr> <tr> <td>・定員</td> <td style="text-align: right;">3,060人</td> </tr> <tr> <td>延べ入所数</td> <td style="text-align: right;">36,152人</td> </tr> <tr> <td>民間保育所等運営費</td> <td style="text-align: right;">3,457,272千円</td> </tr> <tr> <td>延長保育促進基盤整備事業費</td> <td style="text-align: right;">34,498千円</td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）</td> <td style="text-align: right;">85,768千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和5年度より、認定こども園を利用する1号認定（教育標準時間認定）に対する補助区分を創設し、児童を受入れる施設への支援を拡充</td> </tr> <tr> <td>民間保育所等運営補助金</td> <td style="text-align: right;">464,700千円</td> </tr> </table>			民間保育所（園）・民間認定こども園数	19園	・定員	3,060人	延べ入所数	36,152人	民間保育所等運営費	3,457,272千円	延長保育促進基盤整備事業費	34,498千円	障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）	85,768千円	令和5年度より、認定こども園を利用する1号認定（教育標準時間認定）に対する補助区分を創設し、児童を受入れる施設への支援を拡充		民間保育所等運営補助金	464,700千円
民間保育所（園）・民間認定こども園数	19園																		
・定員	3,060人																		
延べ入所数	36,152人																		
民間保育所等運営費	3,457,272千円																		
延長保育促進基盤整備事業費	34,498千円																		
障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）	85,768千円																		
令和5年度より、認定こども園を利用する1号認定（教育標準時間認定）に対する補助区分を創設し、児童を受入れる施設への支援を拡充																			
民間保育所等運営補助金	464,700千円																		
事業評価	民間保育所（園）・民間認定こども園19園の運営及び各種保育事業に対する補助を実施することにより、児童の安全と良好な保育環境の確保に努め、子育て支援を進め児童の健全な心身の発達を図った。今後も国の制度変更等の動向に留意しながら、各種保育ニーズに対応する必要がある。																		

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育支援課																						
		決算額	40,829 千円																						
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所（園）・認定こども園の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。																								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">実施施設（民間認定こども園10園）</td> </tr> <tr> <td>・（福）あけぼの会（登りこども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）あけぼの会（第2登りこども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）宇治福祉園（みんなのき三室戸こども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）宇治福祉園（みんなのき黄檗こども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）心華会（ひいらぎこども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）同胞会（同胞こども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）同胞会（こひつじこども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）宇治明星園（明星っ子こども園）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（福）心華会（榎島ひいらぎこども園）</td> <td></td> </tr> </table>			実施施設（民間認定こども園10園）		・（福）あけぼの会（登りこども園）		・（福）あけぼの会（第2登りこども園）		・（福）宇治福祉園（みんなのき三室戸こども園）		・（福）宇治福祉園（みんなのき黄檗こども園）		・（福）心華会（ひいらぎこども園）		・（福）同胞会（同胞こども園）		・（福）同胞会（こひつじこども園）		・（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）		・（福）宇治明星園（明星っ子こども園）		・（福）心華会（榎島ひいらぎこども園）	
実施施設（民間認定こども園10園）																									
・（福）あけぼの会（登りこども園）																									
・（福）あけぼの会（第2登りこども園）																									
・（福）宇治福祉園（みんなのき三室戸こども園）																									
・（福）宇治福祉園（みんなのき黄檗こども園）																									
・（福）心華会（ひいらぎこども園）																									
・（福）同胞会（同胞こども園）																									
・（福）同胞会（こひつじこども園）																									
・（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）																									
・（福）宇治明星園（明星っ子こども園）																									
・（福）心華会（榎島ひいらぎこども園）																									
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間認定こども園に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図った。利用状況を把握し、今後も国制度を活用しながら事業を実施する。																								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課																		
		決算額	102,123 千円																		
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																				
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・木幡花揃</td> <td style="width: 40%;">（福）あけぼの会（登りこども園）</td> <td style="width: 30%;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>・神明石塚</td> <td>（福）心華会（ひいらぎこども園）</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>・木幡赤塚</td> <td>（福）あけぼの会（登りこども園）</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>・開町</td> <td>（福）心華会（ひいらぎこども園）</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>・木幡陣ノ内</td> <td>（福）あけぼの会（登りこども園）</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>・伊勢田町ウトロ</td> <td>（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）</td> <td>定員5人</td> </tr> </table>			・木幡花揃	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人	・神明石塚	（福）心華会（ひいらぎこども園）	定員5人	・木幡赤塚	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人	・開町	（福）心華会（ひいらぎこども園）	定員5人	・木幡陣ノ内	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人	・伊勢田町ウトロ	（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）	定員5人
・木幡花揃	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人																			
・神明石塚	（福）心華会（ひいらぎこども園）	定員5人																			
・木幡赤塚	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人																			
・開町	（福）心華会（ひいらぎこども園）	定員5人																			
・木幡陣ノ内	（福）あけぼの会（登りこども園）	定員5人																			
・伊勢田町ウトロ	（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）	定員5人																			
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。																				

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課																		
		決算額	121,473 千円																		
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																				
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・六地藏奈良町</td> <td style="width: 40%;">（福）あけぼの会 （登りこども園、第2登りこども園）</td> <td style="width: 30%;">定員15人</td> </tr> <tr> <td>・広野町西裏</td> <td>（福）同胞会（同胞こども園）</td> <td>定員18人</td> </tr> <tr> <td>・五ヶ庄梅林官有地</td> <td>（福）白菊福祉会（いずみこども園）</td> <td>定員15人</td> </tr> <tr> <td>・伊勢田町若林</td> <td>（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）</td> <td>定員15人</td> </tr> <tr> <td>・槇島町南落合</td> <td>（福）同胞会（こひつじこども園）</td> <td>定員15人</td> </tr> <tr> <td>・広野町西裏</td> <td>（福）同胞会（同胞こども園）</td> <td>定員9人</td> </tr> </table>			・六地藏奈良町	（福）あけぼの会 （登りこども園、第2登りこども園）	定員15人	・広野町西裏	（福）同胞会（同胞こども園）	定員18人	・五ヶ庄梅林官有地	（福）白菊福祉会（いずみこども園）	定員15人	・伊勢田町若林	（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）	定員15人	・槇島町南落合	（福）同胞会（こひつじこども園）	定員15人	・広野町西裏	（福）同胞会（同胞こども園）	定員9人
・六地藏奈良町	（福）あけぼの会 （登りこども園、第2登りこども園）	定員15人																			
・広野町西裏	（福）同胞会（同胞こども園）	定員18人																			
・五ヶ庄梅林官有地	（福）白菊福祉会（いずみこども園）	定員15人																			
・伊勢田町若林	（福）かおり福祉会（伊勢田こども園）	定員15人																			
・槇島町南落合	（福）同胞会（こひつじこども園）	定員15人																			
・広野町西裏	（福）同胞会（同胞こども園）	定員9人																			
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について家庭的保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。																				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	保育支援課
		決算額	26,760 千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化により、保育要件のある世帯に対し、幼保連携型認定こども園の預かり保育、また、認可外保育施設や一時預かり事業（一般型）、ファミリーサポート事業を利用した際に、各種基準額を上限として、給付を行う。		
成果・実績	延べ申請件数 626件 ・幼保連携型認定こども園 預かり保育事業 411件 6,495千円 ・認可外保育事業 197件 19,956千円 ・一時預かり保育事業（一般型） 16件 304千円 ・ファミリーサポート事業 2件 5千円		
事業評価	幼児教育・保育の無償化の対象施設を利用した際に、補助を実施し、各施設に通う保護者負担の軽減を図った。今後も国制度を活用し、様々な保育ニーズに対応しながら実施する。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	保育支援課
		決算額	2,135 千円
事業内容	各施設において安全・安心な保育・教育の提供を行うため、施設において新型コロナウイルス感染症の罹患者発生後、消毒等の対応に必要な備品・消耗品の購入等に対して補助を行う。		
成果・実績	感染症対策事業補助金 実績件数 15施設 ・公立保育所 7施設 ・民間保育園・認定こども園 6施設 ・地域型保育事業 2施設		
事業評価	各保育施設での備品等の購入に対して補助を行うことにより、安全・安心な保育・教育の提供に努めた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	宇治茶ふれあい事業費	所管課	保育支援課
		決算額	818 千円
事業内容	宇治茶を通じて宇治への愛着を醸成するため、保育所等に通う児童を対象に宇治茶に触れる機会を創出する。		
成果・実績	<p>保育所等に通う5歳児を対象に宇治茶の作り方や淹れ方について触れる機会を創出し、事業実施に要した講師費用（謝礼）や、お茶代などについての補助を行った。</p> <p>実績件数 23施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立保育所 7施設 ・ 民間保育園・認定こども園 16施設 		
事業評価	茶摘み体験をはじめ、茶匠を講師として招いての授業、宇治茶の試飲などを通じて、宇治茶と触れ合い、住んでいるまちの伝統産業を身近に感じる体験を創出することができた。今後も引き続き、宇治茶を通じた宇治への愛着醸成に向けて取組を進める必要がある。		

事務事業名	保育士確保対策強化事業費	所管課	保育支援課
		決算額	31,552 千円
事業内容	保育人材の確保等に必要措置を講じることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行うため、保育士確保対策強化事業を実施する民間保育施設に対して、必要な経費を補助する。		
成果・実績	<p>これまで保育体制強化事業費補助金の対象施設は、民間保育所及び認定こども園としていたが、令和5年度から保育体制強化事業については、小規模保育施設及び家庭的保育施設も補助対象とし、必要な経費の補助を行った。</p> <p>保育体制強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 8施設 8,701千円</p> <p>保育補助者雇上強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 6施設 22,851千円</p>		
事業評価	保育補助者、又は保育支援者の配置や雇用に必要な費用の補助を行うことで待機児童の解消をはじめ、保育士の業務負担の軽減、保育士の離職防止に取り組んだ。今後も引き続き、適切な支援に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民間保育所等物価高騰対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	32,960 千円
事業内容	物価高騰の影響に関わらず、安全・安心で質の高い保育サービスを継続して提供できるよう、民間保育所等を運営する事業者に対し交付金を交付する。		
成果・実績	民間保育所等物価高騰対策事業費 交付施設 34施設 交付金額 32,960千円 ・民間保育園・認定こども園 22施設（分園含む） ・地域型保育事業 12施設		
事業評価	物価高騰対策については、今年度より助成型（プッシュ型）による支援を行い、法人運営の負担軽減を図ることができた。		

事務事業名	民間保育所等安全対策強化事業費	所管課	保育支援課
		決算額	1,986 千円
事業内容	保育施設において、保育・教育を行う際に使用するバス車中への児童の置き去り防止のため、安全装置（ブザー等）の設置に対する支援を行う。		
成果・実績	民間保育所等安全対策強化事業費 交付施設 9施設 交付金額 1,986千円 ・民間保育園・認定こども園 9施設 ・施設間移動用バス 12台		
事業評価	令和5年度中に、市内保育施設における全対象バスに安全装置の取付が完了し、利用児童の安全の確保に繋がった。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部 健康長寿部

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康づくり推進課																																														
		決算額	468,657 千円																																														
事業内容	「予防接種法」に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																																
成果・実績	<p>「予防接種法」に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関などで実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種健診時、市政だより、市ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">予防接種名</th> <th style="width: 20%;">接種者数（人）</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">979</td> <td>健やかセンター（うじ安心館内）</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="18" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td style="text-align: center;">4,126</td> </tr> <tr> <td>3種混合</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td style="text-align: center;">1,047</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">2,213</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">4,743</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td style="text-align: center;">2,310</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td style="text-align: center;">3,859</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">3,859</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td style="text-align: center;">1,902</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td style="text-align: center;">2,895</td> </tr> <tr> <td>口タ</td> <td style="text-align: center;">2,487</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td style="text-align: center;">28,730</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">1,847</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風しん（成人）</td> <td>抗体検査</td> <td style="text-align: center;">396</td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td style="text-align: center;">129</td> </tr> </tbody> </table>			予防接種名	接種者数（人）	実施場所	BCG	979	健やかセンター（うじ安心館内）	不活化ポリオ	2	協力医療機関等	4種混合	4,126	3種混合	0	2種混合	1,047	麻しん風しん混合	2,213	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	4,743	子宮頸がん	2,310	ヒブ	3,859	小児用肺炎球菌	3,859	水痘	1,902	B型肝炎	2,895	口タ	2,487	BCG	8	高齢者インフルエンザ	28,730	高齢者肺炎球菌	1,847	風しん（成人）	抗体検査	396	予防接種	129
	予防接種名	接種者数（人）	実施場所																																														
	BCG	979	健やかセンター（うじ安心館内）																																														
	不活化ポリオ	2	協力医療機関等																																														
	4種混合	4,126																																															
	3種混合	0																																															
	2種混合	1,047																																															
	麻しん風しん混合	2,213																																															
	麻しん	0																																															
	風しん	0																																															
	日本脳炎	4,743																																															
	子宮頸がん	2,310																																															
	ヒブ	3,859																																															
	小児用肺炎球菌	3,859																																															
	水痘	1,902																																															
	B型肝炎	2,895																																															
	口タ	2,487																																															
	BCG	8																																															
	高齢者インフルエンザ	28,730																																															
	高齢者肺炎球菌	1,847																																															
風しん（成人）	抗体検査	396																																															
	予防接種	129																																															
<p>子宮頸がんは、令和4年度より定期接種対象者（小学校6年生を除く）とキャッチアップ接種対象者のうち未接種者に個別通知にて接種勧奨を実施 また、令和5年度より従来2価・4価ワクチンでカバーできない遺伝子型に有効な9価ワクチンの接種を開始</p> <p>風しん（成人）は接種機会がなかった世代（昭和37～53年度生まれの男性）を対象に令和6年3月31日まで延長して実施</p>																																																	
事業評価	「予防接種法」に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図った。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める。																																																

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	妊産婦健康診査費	所管課	保健推進課						
		決算額	97,060 千円						
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上及び産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、受診券を交付し、妊産婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産・子育てに支障を及ぼす疾病等の早期発見・早期治療を推進する。</p>								
成果・実績	<p>妊娠・出産・子育てに支障を及ぼす疾病等の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。また、多胎妊婦健康診査支援では、基準回数を超える健康診査に助成を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">母子健康手帳交付件数</td> <td style="text-align: right;">993件</td> </tr> <tr> <td>多胎妊婦健診受診券交付件数</td> <td style="text-align: right;">13件</td> </tr> <tr> <td>産婦健康診査助成件数</td> <td style="text-align: right;">1,778件</td> </tr> </table>			母子健康手帳交付件数	993件	多胎妊婦健診受診券交付件数	13件	産婦健康診査助成件数	1,778件
母子健康手帳交付件数	993件								
多胎妊婦健診受診券交付件数	13件								
産婦健康診査助成件数	1,778件								
事業評価	<p>妊娠早期に母子健康手帳の発行と合わせ、健診費用の助成を行うことにより、妊産婦の健康管理の促進と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き実施し、健やかな母体と胎児の保健管理や、健診において支援が必要と判断された母子について早期に情報提供されるよう、医療機関との連携に努める。</p>								

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課		
		決算額	15,029 千円		
事業内容	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。</p>				
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び先進医療について、1年度につき6万円（先進医療を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不妊治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">404件</td> </tr> </table>			助成件数	404件
助成件数	404件				
事業評価	<p>不妊治療等経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めた。今後も京都府との連携により、引き続き助成を実施する。</p>				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	21,627 千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	乳幼児期の健康の保持・増進を図った。																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">健診名</th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（％）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健診</td> <td>965</td> <td>98.6</td> <td rowspan="3">健やかセンター 月3回</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td>1,090</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>1,180</td> <td>98.9</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td>972</td> <td>94.4</td> <td>（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td>82</td> <td></td> <td>健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table>			健診名	受診数（人）	受診率（％）		3か月児健診	965	98.6	健やかセンター 月3回	1歳8か月児健診	1,090	98.4	3歳児健診	1,180	98.9	10か月児健診	972	94.4	（一社）宇治久世医師会委託	10か月児経過健診	82		健やかセンター月1回
健診名	受診数（人）	受診率（％）																							
3か月児健診	965	98.6	健やかセンター 月3回																						
1歳8か月児健診	1,090	98.4																							
3歳児健診	1,180	98.9																							
10か月児健診	972	94.4	（一社）宇治久世医師会委託																						
10か月児経過健診	82		健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階に合わせた健診を実施し、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援などにつなぐことができた。また、3歳児健診において、「フォトスクリーナー（スポットビジョンスクリーナー）」を活用した精度の高い視覚検査を実施し、幼児の視覚異常の早期発見・早期治療に努めた。引き続きさらなる受診率の向上に向けて、市民への周知を行っていく。																								

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課						
		決算額	449 千円						
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。								
成果・実績	親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">開催回数</td> <td style="width: 30%;">24回</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>140人</td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	24回		参加者数	140人	
開催回数	24回								
参加者数	140人								
事業評価	教室の開催やYouTubeによる動画配信により、子どもの健康づくりの促進を図った。今後も引き続き、発達年齢に応じた支援を行う必要があるため、子どもの食生活に関する知識の普及について、効率的な手法を検討する必要がある。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	112 千円
事業内容	子育て支援を図ることを目的に、3か月児健康診査受診児保護者と1歳8か月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作りとし、パンフレットを配付するなど絵本とのふれあい体験の機会を提供する。		
成果・実績	3か月児健診時及び1歳8か月児健診時に絵本に関するパンフレットを配付し、幼少期における読み聞かせの重要性についての周知啓発を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 3か月児健診受診児数 965人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1歳8か月児健診受診児数 1,090人 </div>		
事業評価	健やかな親子の関係を育むために絵本の読みきかせの効果について周知啓発を行った。今後も引き続き図書館等と連携した事業内容のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課															
		決算額	23,342 千円															
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において子ども及び保護者に対し、指導・訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会、NPO法人アジュール舎及び(福)不動園に、障害児通所給付費のほかに市単費補助金を交付する。																	
成果・実績	障害児通園(児童発達支援)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら入園にいたらなかった子どもに対し、親子サポート事業(教室)等に対応した。 <div style="text-align: right;">(人)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">児童発達支援事業所等</th> <th style="width: 20%;">療育通所児数</th> <th style="width: 20%;">療育延べ通所児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童デイころぼっくる幼児期親子療育(アジュール舎)</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">559</td> </tr> <tr> <td>みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">561</td> </tr> <tr> <td>かおり之園(かおり福祉会)</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">477</td> </tr> <tr> <td>子ども発達さぼーとセンターあゆみ園(不動園)</td> <td style="text-align: center;">65</td> <td style="text-align: center;">767</td> </tr> </tbody> </table>			児童発達支援事業所等	療育通所児数	療育延べ通所児数	児童デイころぼっくる幼児期親子療育(アジュール舎)	50	559	みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)	48	561	かおり之園(かおり福祉会)	44	477	子ども発達さぼーとセンターあゆみ園(不動園)	65	767
児童発達支援事業所等	療育通所児数	療育延べ通所児数																
児童デイころぼっくる幼児期親子療育(アジュール舎)	50	559																
みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)	48	561																
かおり之園(かおり福祉会)	44	477																
子ども発達さぼーとセンターあゆみ園(不動園)	65	767																
事業評価	心身障害児支援のため、通園施設が行う親への支援に対して適正に補助を執行し、心身障害児等の育成に努めた。発達支援が必要な子どもの割合は増加傾向にあり、利用状況の把握、分析に努める必要がある。																	

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,581 千円
事業内容	1歳8か月児健康診査の中で、発達面で経過観察の必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師及び保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p>開催数 1クール全8回を2クラス 1クール全10回を3クラス 1クール全11回を2クラス</p> <p>処遇児数 70人</p>		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援を図った。発達支援が必要な子どもの割合は増加傾向であり、利用ニーズの把握・分析に努め、より効果的な運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	360 千円
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p>助成者数 60人</p>		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種にかかる費用の助成を行い、ワクチン接種を促進した。今後も国や京都府の制度に対応し実施する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部 健康長寿部

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	9,486 千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。</p> <p>給付決定児数 43人 給付延べ件数 92件 給付延べ日数 1,417日</p>		
事業評価	国制度に基づき、適正に医療給付を行った。今後も国の制度改正等に対応し、適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	妊婦歯科健診費	所管課	保健推進課
		決算額	1,215 千円
事業内容	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、妊婦の健康及び安全な分娩と健康な子の出産を支援するため、歯科健診にかかる費用を助成することで、健診の受診を推進する。		
成果・実績	<p>妊婦と胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるため、歯科健診にかかる費用の助成を行った。</p> <p>助成件数 346件 受診率 34.8%</p>		
事業評価	妊婦の歯科健診にかかる費用助成により、受診を促進し、妊婦及び胎児の健康保持を支援した。受診率の向上を図るため制度の周知に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	834 千円
事業内容	生後4か月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスにつなげる。		
成果・実績	親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげた。 訪問件数 66件		
事業評価	生後4か月未満の子どもがいる家庭を訪問することで、子育ての孤立化を防ぐとともに、子育て支援に関する情報提供を行い、適切な支援の提供を図った。今後は新生児訪問をはじめ、訪問事業全体の効率的な実施手法について検討する必要がある。		

事務事業名	妊婦面談事業費	所管課	保健推進課
		決算額	816 千円
事業内容	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、行政とのファーストタッチとして保健推進課の地区担当保健師を紹介し、安心して相談できる場を提供する。		
成果・実績	母子健康手帳の交付時に、保健師による面談を行い、必要に応じて子育て支援サービスが利用しやすいように、支援プランを作成し、利用の手助けを行う。また、絵本を配付することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとする。 面談等件数 1,028件（転入妊婦含む） 郵送等で届出のあった妊婦には電話による体調確認と情報提供等を実施		
事業評価	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで安心して相談でき、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートができるよう、関係性の構築を図った。令和元年度から開始した産後ケア事業により、妊婦面談後の関わりも増えてきており、引き続き、切れ目のない子育て支援を継続していくよう努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	妊娠・産後支援事業費	所管課	保健推進課																																				
		決算額	3,311 千円																																				
事業内容	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、妊娠・出産・子育てに関する悩みなどの相談支援を行い、不安及び困りごとなどの軽減並びに孤立感の解消を図る。																																						
成果・実績	妊娠、出産及び子育てに関する悩みを専門職が傾聴し、妊娠期から母親に寄り添った相談支援を行えるよう、これまでの乳幼児相談事業及びパパママスタート事業を再編し、「講座・指導」形式から、一部事業に「交流」形式を取り入れ、母親の孤立感の軽減・解消を図った。																																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">ストレッチでボディケア</td> <td style="width: 15%;">12 回開催</td> <td style="width: 20%;">参加人数</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">60 人</td> </tr> <tr> <td>産後のママのための育児相談会</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">65 人</td> </tr> <tr> <td>お世話体験</td> <td>7 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">180 人</td> </tr> <tr> <td>プレママの食事</td> <td>11 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">79 人</td> </tr> <tr> <td>沐浴</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">273 人</td> </tr> <tr> <td>妊婦訪問</td> <td></td> <td>面談人数</td> <td style="text-align: right;">延べ212 人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児相談</td> <td>51 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">905 人</td> </tr> <tr> <td>ママのためのおはなし会</td> <td>11 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">224 人</td> </tr> <tr> <td>あんしんかんDEお話タイム</td> <td>15 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">381 人</td> </tr> </table>			ストレッチでボディケア	12 回開催	参加人数	60 人	産後のママのための育児相談会	12 回開催	参加人数	65 人	お世話体験	7 回開催	参加人数	180 人	プレママの食事	11 回開催	参加人数	79 人	沐浴	12 回開催	参加人数	273 人	妊婦訪問		面談人数	延べ212 人	乳幼児相談	51 回開催	参加人数	905 人	ママのためのおはなし会	11 回開催	参加人数	224 人	あんしんかんDEお話タイム	15 回開催	参加人数	381 人
ストレッチでボディケア	12 回開催	参加人数	60 人																																				
産後のママのための育児相談会	12 回開催	参加人数	65 人																																				
お世話体験	7 回開催	参加人数	180 人																																				
プレママの食事	11 回開催	参加人数	79 人																																				
沐浴	12 回開催	参加人数	273 人																																				
妊婦訪問		面談人数	延べ212 人																																				
乳幼児相談	51 回開催	参加人数	905 人																																				
ママのためのおはなし会	11 回開催	参加人数	224 人																																				
あんしんかんDEお話タイム	15 回開催	参加人数	381 人																																				
	参加人数には、妊産婦以外の配偶者やその他家族などを含む																																						
	以下の事業で、「交流」形式を実施 ストレッチでボディケア 産後のママのための育児相談会 ママのためのおはなし会 あんしんかんDEお話タイム																																						
事業評価	これまで実施してきた事業を再編し、講座・指導による形式から交流形式を取り入れることで、今まで以上に育児不安等の解消に向けた取組を推進した。今後もより効果的な事業実施となるよう、利用状況等の把握に努め、適切な事業実施に努める。																																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	出産・子育てあんしんサポート事業費	所管課	保健推進課									
		決算額	91,165 千円									
事業内容	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産・子育てあんしんサポート給付金の支給による経済的支援を一体的に実施する。											
成果・実績	伴走型相談支援 妊娠届提出時・妊娠8か月時・出生後面談等を実施 対象人数 923人 経済的支援 令和5年4月1日以降に妊娠又は出生の届出を行った子育て世帯に対し、出産・子育てあんしんサポート給付金を支給し、出産・子育て用品購入等の費用助成を実施											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">申請日</th> <th style="width: 50%;">給付内容</th> <th style="width: 25%;">給付実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年12月31日以前</td> <td>申請のあった対象世帯へ、給付金（各5万円）を支給</td> <td>1,665件</td> </tr> <tr> <td>令和6年 1月 1日以降</td> <td>申請のあった対象世帯へ、子育て用品等の購入ができるWEBカタログ用のポイント（5万円相当）を付与</td> <td>352件</td> </tr> </tbody> </table>			申請日	給付内容	給付実績	令和5年12月31日以前	申請のあった対象世帯へ、給付金（各5万円）を支給	1,665件	令和6年 1月 1日以降	申請のあった対象世帯へ、子育て用品等の購入ができるWEBカタログ用のポイント（5万円相当）を付与	352件
申請日	給付内容	給付実績										
令和5年12月31日以前	申請のあった対象世帯へ、給付金（各5万円）を支給	1,665件										
令和6年 1月 1日以降	申請のあった対象世帯へ、子育て用品等の購入ができるWEBカタログ用のポイント（5万円相当）を付与	352件										
事業評価	妊娠8か月ごろの面談とあわせて、妊婦・子育て世帯への経済的支援を実施した。今後は面談体制の充実を図るとともに、経済的支援の手法についても国の動向を見定めて見直していく必要がある。											

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	長寿生きがい課
		決算額	90,682 千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者等について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。		
	措置延べ人数	494人	
	措置人数	41人 (令和5年度末現在)	
事業評価	老人福祉法に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施した。今後も引き続き高齢者福祉の推進に向け、適正な事務運営に努める。		

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,737 千円
事業内容	寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者などが、地域社会で日常生活を送れるよう、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供する。		
成果・実績	在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。		
	一人暮らし高齢者等訪問活動事業	1,675千円	
	おむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。		
	・対象者数	1,719人	
	福祉電話の設置費・基本通話料の助成	1,053千円	
	所得税非課税の65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯で電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の設置費及び基本通話料などを助成した。		
	・助成対象者数	35人	
	家具等転倒防止金具等購入の助成	9千円	
	家具等転倒防止金具等を設置する高齢者(65歳以上の市民税非課税世帯)に、購入費用を助成した。		
	・助成件数	2件	
事業評価	社会的支援が必要な高齢者の見守りを行うなど在宅生活を支援した。今後も市民ニーズや社会情勢の把握・分析に努め、地域・他団体と連携しながら、支援内容の改善を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,359 千円
事業内容	運動機能が低下しても安心して在宅での生活を送り続けられるよう、在宅での転倒事故を未然に防ぐための住宅改修工事経費の一部を支援する。		
成果・実績	生活機能に関する「安心住まいチェックリスト」による運動器の機能低下が見られ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅の介護保険給付対象工事に要する経費の一部を助成した。 助成件数 10件		
事業評価	介護保険給付対象工事となる住宅改造費を助成し、転倒事故の防止対策を図ることにより、介護予防の促進に努めた。今後も転倒等の事故を未然に防ぎ、運動機能が低下しても安心して在宅生活を送り続けられるよう支援する。		

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	長寿生きがい課																								
		決算額	3,426 千円																								
事業内容	高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材を養成するため、京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。																										
成果・実績	<p>プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。</p> <p>入学者数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1期生</td><td>2期生</td><td>3期生</td><td>4期生</td><td>5期生</td><td>6期生</td><td>7期生</td><td>8期生</td><td>9期生</td><td>10期生</td> </tr> <tr> <td>22人</td><td>21人</td><td>14人</td><td>23人</td><td>37人</td><td>13人</td><td>15人</td><td>12人</td><td>10人</td><td>16人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>11期生</td><td>合計</td> </tr> <tr> <td>16人</td><td>199人</td> </tr> </table>			1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	10人	16人	11期生	合計	16人	199人
1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生																		
22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	10人	16人																		
11期生	合計																										
16人	199人																										
事業評価	卒業生グループがアカデミーで培ったノウハウを活かして、市役所8階の喫茶スペースを活用したコミュニティカフェをオープンするなど、アカデミーへの参加をきっかけとして地域で活躍する高齢者の養成ができた。今後も、京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講生が卒業後に地域で、自身の特技を活かしつつ活躍・貢献できる仕組みづくりを進める。																										

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	認知症総合センター機能強化事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	5,000 千円
事業内容	包括的な医療・介護サービスを提供する「京都認知症総合センター」の運営を通し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、京都認知症総合センターの初期支援プログラム等の他地域への普及を推進する。		
成果・実績	<p>就労・社会参加支援のための体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携の充実・強化（推進協議会） 4回 ・ 医療・介護施設スタッフ向けの研修会開催 2回 ・ 一般市民向けの講座の開催 2回 <p>若年性認知症の就労・社会参加支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期支援プログラムの開発 12種類 合計163回 ・ 支援活動の検証会議 12回 ・ 就労支援、就労活動の実践 68回 <p>若年性認知症等の普及啓発（本人発信）・ピアサポート活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症本人・家族・支援者教室 24回 ・ ピアサポートの実施 23回 ・ 認知症当事者実践活動 21回 <p>認知症カフェ運営者・スタッフの人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修 5回 		
事業評価	「京都認知症総合センター」の運営を通し、認知症に係る医療・介護連携の枠組みの構築をはじめとする各種施策を推進した。より発展的な施策展開となるよう事業内容を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者生きがい・助け合い活動応援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,000 千円
事業内容	住民主体による介護予防・生活支援等の基盤整備を促進するため、活動拠点の整備等に必要な費用を助成する。		
成果・実績	<p>高齢者の役割創出と地域課題を解消するため、高齢者等が「得意なこと」を活かして主体的に取り組む活動の立上げを支援した。</p> <p>補助金交付団体 はにかむカフェ（伊勢田町名木）</p> <p>補助対象経費 立ち上げ準備経費（拠点整備費、備品購入費、需用費など）</p>		
	 <p>はにかむカフェ外観</p>	 <p>「得意」を活かしたそば打ち実演</p>	
事業評価	住民主体による介護予防・生活支援などの基盤整備を促進するため、多世代交流拠点の立上げを支援した。今後も継続して活動を支援するとともに、さらなる基盤整備の促進に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域福祉センター運営費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	58,390 千円
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内6か所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4か所は管理者を指定し、管理・運営した。 また、地域福祉センターの老朽化への対応や、介護予防教室を実施するために必要な改修を計画的に実施した。		
	木幡地域福祉センター管理運営費 ・直営	7,163千円	
	開地域福祉センター管理運営費 ・直営	7,881千円	
	西小倉地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	18,280千円	
	東宇治地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	7,089千円	
	広野地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	7,166千円	
	槇島地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（福）山城福祉会	7,907千円	
	地域福祉センター等再整備事業費 ・平盛デイホーム 空調設計委託	2,904千円	
事業評価	各センターの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行うなど、高齢者福祉の向上を図った。地域福祉の拠点としての役割等を踏まえ、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	訪問型サービスB	所管課	長寿生きがい課
		決算額	760 千円
事業内容	要支援者等の居宅において、住民ボランティア等が主体となり、住民相互の助け合いにより、買い物やゴミ出し、掃除の代行などの生活支援サービスを提供する。		
成果・実績	住民主体（住民ボランティア）の生活支援サービス 実施団体数 3 団体 うちR5年度に立ち上がった団体 1 団体 支援実績 ・実人数 24 人 ・延べ人数 210 人		
事業評価	ボランティア、後継者不足という各団体に共通する課題が生じている。担い手養成の開催方法・内容等を見直し活動につながるよう工夫する必要がある。さらに活動を広げていけるよう、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

事務事業名	訪問型サービスC	所管課	長寿生きがい課
		決算額	3,307 千円
事業内容	要支援又は介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、訪問型サービスCの利用がふさわしいと判断された者を対象に、理学療法士又は作業療法士、歯科衛生士、栄養士、保健師などのいずれかが、居宅を訪問して指導を行う。		
成果・実績	最大10回、3～6か月間、居宅を訪問し、必要な相談・指導等を実施 支援実績 ・実人数 65 人 ・延べ人数 168 人		
事業評価	国制度に基づく事業として、訪問指導を通じ、利用者の生活課題に対し適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう適正に支援した。今後も専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	通所型サービスB	所管課	長寿生きがい課
		決算額	3,709 千円
事業内容	住民主体による要支援者、事業対象者を中心とする自主的な通いの場。定期的に介護予防のための体操、レクリエーション、趣味活動、茶話等を行う。		
成果・実績	週1回の住民主体（住民ボランティア）による通所型サービス 実施団体数 9 団体 うちR5年度に立ち上がった団体 1 団体 支援実績 ・実人数 87 人 ・延べ人数 2,313 人		
事業評価	多様な住民主体の活動が少しずつ広がっているが、ボランティア、後継者不足という各団体に共通する課題が生じている。担い手養成の開催方法・内容等を見直し活動につながるよう工夫する必要がある。		

事務事業名	通所型サービスC	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,829 千円
事業内容	要支援又は介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、通所型サービスCの利用がふさわしいと判断された者を対象に、個々の心身の状態等に応じて通所によるサービスを実施する。		
成果・実績	週1回、全10回の複合型（口腔指導・栄養指導・運動指導・健康管理）サービス 支援実績 ・実人数 40 人 ・延べ人数 356 人		
事業評価	国制度に基づく事業として、通所による指導を通じ、利用者の生活課題に対し適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう適正に支援した。今後も専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	長寿生きがい課										
		決算額	12,841 千円										
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。												
成果・実績	認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">128人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">2,907人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">1,500人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）</td> <td style="text-align: right;">22,706人</td> </tr> <tr> <td>キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">35人</td> </tr> </table>			認知症予防教室参加者数（実人数）	128人	脳活性化教室参加者数（延べ人数）	2,907人	認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	1,500人	認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）	22,706人	キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	35人
認知症予防教室参加者数（実人数）	128人												
脳活性化教室参加者数（延べ人数）	2,907人												
認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	1,500人												
認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）	22,706人												
キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	35人												
事業評価	認知症の改善や進行の防止を図るための教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発を行うための講座を開催し、認知症関連施策の推進を図った。他事業との連携を深め、より効果的な事業実施となるよう、引き続き手法を検討する必要がある。												

事務事業名	地域支援型介護予防教室開催費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	22,618 千円						
事業内容	65歳以上の市民に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。また、地域で介護予防を継続できるように仲間づくりを目的に教室を実施する。								
成果・実績	通所により介護予防を目的とした地域支援型介護予防教室を市内14会場で行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">実人数</td> <td style="text-align: right;">390人</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td style="text-align: right;">6,403人</td> </tr> <tr> <td>自主グループの立ち上げ</td> <td style="text-align: right;">6団体</td> </tr> </table>			実人数	390人	延べ人数	6,403人	自主グループの立ち上げ	6団体
実人数	390人								
延べ人数	6,403人								
自主グループの立ち上げ	6団体								
事業評価	複合型プログラムを実施し、対象者の生活機能の改善を図った。教室終了後も地域において自主的な介護予防活動ができるよう取組を続ける。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	159,361 千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、地域包括支援センターを市内8か所の日常生活圏域に設置。高齢者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、第一号介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員）の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。 新規相談者数（実人数） 3,854人 地域包括支援センター運営協議会 年2回開催		
事業評価	国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援した。高齢者数が増加している状況において、包括的支援の充実に向け、引き続き地域包括ケアの推進に努める。		

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	596 千円
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」、「小地域包括ケア会議」及び「自立支援型ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。		
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。 延べ人数 ・宇治市地域包括ケア会議 40人 ・小地域包括ケア会議 285人 ・自立支援型ケア会議 117人 ・資質向上研修 65人		
事業評価	地域包括ケア会議を開催して地域ネットワークの構築を図るとともに、ケアマネジャー等の資質向上研修を実施し地域包括ケアの推進を図った。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携強化に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,566 千円
事業内容	要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、各種事業を実施する。		
成果・実績	紙おむつ等給付事業 2,760千円 要介護4・5の在宅高齢者の家族等に紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等を5千円を上限に給付する。本人及び本人を扶養する親族が市民税非課税） ・ 給付件数 840件	 <p style="text-align: center;">介護者リフレッシュ事業</p>	
	介護者リフレッシュ事業 2,429千円 要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等の交流事業を行う。 ・ 参加者数 116人		
	介護知識・技術習得教室 640千円 要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術の習得や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する。 ・ 参加者数 55人		
	家族介護慰労事業 0千円（対象者なし） 要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。		
	認知症等高齢者家族安心事業 737千円 認知症等により行方不明となるおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。 ・ 利用者数 74人		
事業評価	介護者同士の交流やGPS機器の貸与など、ソフト・ハード両面の支援により、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減を図った。要介護・要支援者数が増えている状況において、在宅生活を支える家族への支援も重要性を増しており、今後もニーズの把握及び取組の啓発に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	12,977 千円						
事業内容	判断能力が不十分な認知症等高齢者のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にある者について、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難である者に対して、後見人等の報酬等を市が助成する。								
成果・実績	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症等高齢者に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成などを行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">申立相談件数</td> <td style="text-align: right;">12件</td> </tr> <tr> <td>申立件数</td> <td style="text-align: right;">7件</td> </tr> <tr> <td>報酬助成件数</td> <td style="text-align: right;">71件</td> </tr> </table>			申立相談件数	12件	申立件数	7件	報酬助成件数	71件
申立相談件数	12件								
申立件数	7件								
報酬助成件数	71件								
事業評価	判断能力が十分でない高齢者の支援のため、申立の代行及び報酬補助を実施できた。今後も引き続き、成年後見制度の利用促進に努める。								

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	409 千円						
事業内容	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。								
成果・実績	<p>介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">延べ人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 認知症家族支援プログラム</td> <td style="text-align: right;">26人</td> </tr> <tr> <td>・ OB会支援</td> <td style="text-align: right;">71人</td> </tr> </table>			延べ人数		・ 認知症家族支援プログラム	26人	・ OB会支援	71人
延べ人数									
・ 認知症家族支援プログラム	26人								
・ OB会支援	71人								
事業評価	認知症介護者等によるピアサポートを通じ、認知症の人を介護する家族を支援した。プログラムの構成や他事業との連携など、より効果的な事業実施となるよう内容の改善に努める必要がある。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	緊急通報装置（シルバーホン）設置事業費	所管課	長寿生きがい課				
		決算額	16,655 千円				
事業内容	高齢者の自立した生活の継続を支援するため、消防本部等との緊急時の連絡手段として緊急通報装置（シルバーホン）を貸与、設置し、家庭内の事故等に随時対応できる体制を整備する。						
成果・実績	<p>本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。 令和2年度からモバイル型シルバーホンを導入</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">新規設置数</td> <td style="text-align: right;">117台</td> </tr> <tr> <td>年度末設置数</td> <td style="text-align: right;">1,009台</td> </tr> </table>			新規設置数	117台	年度末設置数	1,009台
新規設置数	117台						
年度末設置数	1,009台						
事業評価	一人暮らし高齢者の住居にシルバーホンを設置し、高齢者が自立して生活を続けられるよう支援した。引き続き、安心して自立した生活を続けられるよう、見守り等の体制を充実させる必要がある。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,956 千円
事業内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、城陽市・久御山町と連携して地域における医療・介護の関係機関の連携体制を構築する。		
成果・実績	<p>在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討会議</p> <p>切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携センター運営委員会 <p>医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとによる情報発信 <li style="padding-left: 20px;">ココカラまるごとねっとは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるように宇治市、城陽市、久御山町に係る医療・介護・くらしの情報を提供するwebサイト ・意見交換会 <p>在宅医療・介護連携に関する相談支援（19回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅サポート医制度勉強会 ・地域包括支援センターからの各種困難支援事例の相談対応 <p>医療・介護関係者の研修（9回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種事例検討会 ・出張講座 <p>地域住民への普及啓発（18回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療についての住民向け講演会の実施 ・出張講座 ・人生会議（ACP）について住民向け啓発の実施 		
事業評価	高齢者が、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅療養者の生活の場において、地域における医療・介護の関係機関との連携体制の構築に努めた。今後は医療機関と連携を図りながら、人生会議等の市民周知など、特に看取りに関する情報提供について取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	生活支援体制整備事業費	所管課	長寿生きがい課										
		決算額	18,007 千円										
事業内容	<p>生活支援コーディネーターを配置し、身近な地域で、多様な生活支援のニーズに対応できる支援体制の整備や、地域における支え合い・助け合いの支援体制の充実を図る。</p>												
成果・実績	<p>地域の支え合い仕組みづくり会議を開催し、構成メンバーである関係団体と、事業の進捗状況や各地の地域活動などの情報共有を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 <p>地域住民を中心とした、地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）を引き続き開催し、地域課題の解決に向けて勉強会や意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8団体 <p>健康長寿サポーターを担い手とした住民主体活動の立ち上げ支援及び継続的な運営支援に取り組んだ。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・訪問B立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right; padding-left: 20px;">1団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・訪問B運営支援</td> <td style="text-align: right; padding-left: 20px;">2団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・通所B立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right; padding-left: 20px;">1団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・通所B継続運営支援</td> <td style="text-align: right; padding-left: 20px;">8団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・その他、通いの場団体立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right; padding-left: 20px;">2団体</td> </tr> </table> <p>住民主体型サービスや地域活動の担い手となる人材を養成するため、健康長寿サポーター養成講座（宇治源輝人講座）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座開催数 2回 ・健康長寿サポーター新規登録者数 42人（累計 256人） <p>サロンや自治会などに出向き、地域の支え合いやつながりの大切さについて意識醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気にかけて地域づくり勉強会（出前講座） 14回 ・参加人数 延べ 236人 			・訪問B立ち上げ支援	1団体	・訪問B運営支援	2団体	・通所B立ち上げ支援	1団体	・通所B継続運営支援	8団体	・その他、通いの場団体立ち上げ支援	2団体
・訪問B立ち上げ支援	1団体												
・訪問B運営支援	2団体												
・通所B立ち上げ支援	1団体												
・通所B継続運営支援	8団体												
・その他、通いの場団体立ち上げ支援	2団体												
事業評価	<p>生活支援コーディネーターを中心に、各地域包括支援センターと情報共有・連携しながら、地域住民を中心とした話し合いの場や勉強会を設けることができた。各地域からの相談も増加しており、地域課題を自分事とする意識や主体性などは着実に向上している。また、民間企業との連携による買い物支援の取組など今ある資源を活用した取組みも実施できた。今後はさらに積極的に地域に出向き、地域住民、民間企業に働きかけ地域づくりを地域全体で進める。</p>												

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	19,887 千円						
事業内容	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図る。								
成果・実績	<p>認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内8圏域で36回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">499人</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム対象事例数</td> <td style="text-align: right;">49例</td> </tr> <tr> <td>認知症フォーラム参加者数</td> <td style="text-align: right;">132人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">令和6年3月20日 宇治市生涯学習センターにて開催</p>			認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	499人	認知症初期集中支援チーム対象事例数	49例	認知症フォーラム参加者数	132人
認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	499人								
認知症初期集中支援チーム対象事例数	49例								
認知症フォーラム参加者数	132人								
事業評価	初期認知症の人とその家族に早期の支援を行い、認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるような体制の構築を図った。地域住民に対する正しい知識の普及啓発にも積極的に取り組み、地域全体で支援できるよう引き続き連携強化等に努める必要がある。								

事務事業名	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	所管課	長寿生きがい課				
		決算額	894 千円				
事業内容	平成27年3月に宣言した「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。						
成果・実績	<table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">れもねいど新規加盟企業</td> <td style="width: 50%;">3団体（令和5年度末時点 86団体）</td> </tr> <tr> <td>れもねいだー（ボランティア）</td> <td>新規登録者数 3人 （令和5年度末時点 110人）</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者等の情報を事前に登録し、事前登録者に対して「身元確認シール」を交付する</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">新規登録者数 66人(更新登録者15人含む)</p>			れもねいど新規加盟企業	3団体（令和5年度末時点 86団体）	れもねいだー（ボランティア）	新規登録者数 3人 （令和5年度末時点 110人）
れもねいど新規加盟企業	3団体（令和5年度末時点 86団体）						
れもねいだー（ボランティア）	新規登録者数 3人 （令和5年度末時点 110人）						
事業評価	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。今後も一般企業や市民との連携に努め、より一層の施策推進を図る必要がある。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	552 千円
事業内容	「健康づくり推進プラン」と「食育推進計画」を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて、各種団体で構成する協議会において市民の健康づくりと食育の推進に関して宇治市を含めた各団体の取組の共有、協議・検討を行った。現行の計画が令和6年度で計画期間の満了を迎えるため、令和5年度から約2年間をかけて次期計画の策定を行う。</p> <p>次期計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの実施（令和5年11月～12月） ・最終評価の実施（令和6年3月） <p>協議会開催回数 4回（次期計画策定のため通常年2回開催を年4回開催に変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（令和5年7月7日） ・第2回（令和5年9月13日） ・第3回（令和5年11月17日） ・第4回（令和6年3月7日） 		
事業評価	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向け、健康づくりと食育を一体的に推進した。協議結果を各種施策に反映できるよう、引き続き取り組む必要がある。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	439 千円																		
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。																				
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>65歳未満 決算額：240千円 65歳以上 決算額：199千円</p> <p>「若葉の会」活動状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th></th> <th style="width: 33%;">65歳未満</th> <th style="width: 33%;">65歳以上</th> </tr> <tr> <td>支援活動回数</td> <td style="text-align: center;">25回</td> <td style="text-align: center;">23回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: center;">181人</td> <td style="text-align: center;">194人</td> </tr> </table> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th style="width: 33%;">65歳未満</th> <th style="width: 33%;">65歳以上</th> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">2回</td> </tr> <tr> <td>参加会員数</td> <td style="text-align: center;">41人</td> <td style="text-align: center;">41人</td> </tr> </table>				65歳未満	65歳以上	支援活動回数	25回	23回	参加者数	181人	194人		65歳未満	65歳以上	実施回数	2回	2回	参加会員数	41人	41人
	65歳未満	65歳以上																			
支援活動回数	25回	23回																			
参加者数	181人	194人																			
	65歳未満	65歳以上																			
実施回数	2回	2回																			
参加会員数	41人	41人																			
事業評価	ボランティアの活動を支援し、地域での健康増進活動を推進した。会員の高齢化及び会員数の減少などの課題を踏まえ、支援内容を検討する必要がある。																				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	1,051 千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼並びにイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>(65歳未満) 決算額：604千円 ・実施回数 89回 ・実施人数 1,480人</p> <p>(65歳以上) 決算額：447千円 ・実施回数 73回 ・実施人数 1,439人</p>		
事業評価	各種健康教室を開催し、健康に関する正しい知識の普及を行い、健康の保持増進を図った。今後も、アンケートの実施による市民ニーズの把握に努め、生活習慣病の予防や介護予防など健康に関する正しい知識を普及するための手法を検討する必要がある。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	151 千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>(65歳未満) 決算額：35千円 ・実施回数 40回 ・実施人数 341人</p> <p>(65歳以上) 決算額：116千円 ・実施回数 58回 ・実施人数 508人</p>		
事業評価	心身の健康に関する相談に個別対応し、健康の促進を図った。今後も多くの市民の健康増進に向け、広報の見直し及び実施手法の改善に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康づくり推進課																																																																				
		決算額	110,473 千円																																																																				
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。																																																																						
成果・実績	<p>対象者に個別検診及び集団検診を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診名</th> <th rowspan="2">受診者数 (人)</th> <th colspan="2">市健(検)診</th> <th rowspan="2">人間ドック</th> <th rowspan="2">決算額 (千円)</th> </tr> <tr> <th>市健(検)診</th> <th>人間ドック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査</td> <td style="text-align: center;">351</td> <td style="text-align: center;">351</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4,555</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td style="text-align: center;">3,552</td> <td style="text-align: center;">1,634</td> <td style="text-align: center;">1,918</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">14,207</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td style="text-align: center;">4,263</td> <td style="text-align: center;">3,563</td> <td style="text-align: center;">700</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">24,386</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td style="text-align: center;">3,436</td> <td style="text-align: center;">3,436</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">23,709</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td style="text-align: center;">5,266</td> <td style="text-align: center;">3,211</td> <td style="text-align: center;">2,055</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">5,218</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td style="text-align: center;">10,974</td> <td style="text-align: center;">8,927</td> <td style="text-align: center;">2,047</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">23,415</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診</td> <td style="text-align: center;">194</td> <td style="text-align: center;">194</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">741</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td style="text-align: center;">1,101</td> <td style="text-align: center;">1,101</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4,616</td> </tr> <tr> <td>結核健診</td> <td style="text-align: center;">2,379</td> <td style="text-align: center;">2,379</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">5,610</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td style="text-align: center;">1,767</td> <td style="text-align: center;">1,767</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4,016</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">令和5年度より国保・後期人間ドック受診者のがん検診精密検査管理を開始したことにより、人間ドック分も受診者数に計上している。</p>			検診名	受診者数 (人)	市健(検)診		人間ドック	決算額 (千円)	市健(検)診	人間ドック	健康診査	351	351	-	-	4,555	胃がん検診	3,552	1,634	1,918	-	14,207	子宮頸がん検診	4,263	3,563	700	-	24,386	乳がん検診	3,436	3,436	-	-	23,709	肺がん検診	5,266	3,211	2,055	-	5,218	大腸がん検診	10,974	8,927	2,047	-	23,415	成人歯科健診	194	194	-	-	741	肝炎ウイルス検診	1,101	1,101	-	-	4,616	結核健診	2,379	2,379	-	-	5,610	前立腺がん検診	1,767	1,767	-	-	4,016
検診名	受診者数 (人)	市健(検)診				人間ドック	決算額 (千円)																																																																
		市健(検)診	人間ドック																																																																				
健康診査	351	351	-	-	4,555																																																																		
胃がん検診	3,552	1,634	1,918	-	14,207																																																																		
子宮頸がん検診	4,263	3,563	700	-	24,386																																																																		
乳がん検診	3,436	3,436	-	-	23,709																																																																		
肺がん検診	5,266	3,211	2,055	-	5,218																																																																		
大腸がん検診	10,974	8,927	2,047	-	23,415																																																																		
成人歯科健診	194	194	-	-	741																																																																		
肝炎ウイルス検診	1,101	1,101	-	-	4,616																																																																		
結核健診	2,379	2,379	-	-	5,610																																																																		
前立腺がん検診	1,767	1,767	-	-	4,016																																																																		
事業評価	検診等を実施し、疾病等の早期発見・治療につなげるとともに、受診率向上のため、広報等の強化を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、市民の意識啓発・周知活動など、更なる効果的な事業実施手法を検討する必要がある。																																																																						

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	383 千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
成果・実績	<p>骨粗しょう症予防講座を開催し、骨密度の測定及び生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。</p> <p>令和5年度より、乳幼児相談と同時開催を行う日程を設け、乳幼児相談の参加者が、骨粗しょう症予防講座に参加しやすい環境づくりを行い、出産後の骨密度が低下しやすい時期における骨粗しょう症予防の啓発を行った。</p> <p>骨粗しょう症予防講座 決算額：383千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 20歳から64歳の宇治市民 ・実施回数 4回（うち2回は乳幼児相談と同日に開催） ・実施人数 92人（うち54人は同時開催の日程における参加者） 		
事業評価	教室の実施により、市民の食や運動を始めとした生活習慣の改善等を図るための動機付けを行った。市民全体に向けた普及・動機付けが課題であり、引き続き効果的な実施手法について検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	11,722 千円
事業内容	山城北医療圏において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	<p>4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。宇治市が事務局となり、11病院等へ補助を行った。</p> <p>医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 社会医療法人岡本病院（財団） 京都岡本記念病院 医療法人社団一心会 都倉病院 宇治武田病院 医療法人啓信会 京都きづ川病院 医療法人徳洲会 六地藏総合病院 独立行政法人国立病院機構南京都病院 医療法人八仁会 久御山南病院 社会医療法人美杉会 男山病院 医療法人社団医聖会 八幡中央病院 医療法人社団石鎚会 京都田辺中央病院</p>		
事業評価	他自治体と広域的に連携し、休日における二次救急医療体制の確立に努めた。今後も医療機関と協力・連携しながら引き続き医療の確保に努める。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	7,094 千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている者及び特別児童扶養手当の対象児童に、毎週水曜日（年末年始除く）に、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	<p>歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。</p> <p>診療日数 51日 受診者数 350人</p>		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の健康維持・増進を図った。診察時に利用者からの要望や意見を聞きとり、より効果的な事業実施手法を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康アライアンス事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	4,056 千円
事業内容	地域での健康づくり・食育活動を活性化と普及を図るため、地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組む団体同士を結びつけ、団体同士の交流を深める新たなネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」を構築する。		
成果・実績	総会の開催（5月） ZOOMでのオンライン併用開催 ホームページ、Instagram、Facebookなどでの広報 うーちゃミーティング（加入団体交流会）の開催（計6回） 役員会議の開催（計5回） ZOOMでのオンライン開催 コラボ事業（小学生の親子向け講座 うーちゃ学校）の開催（計5回） うーちゃ弁当の販売（計2回 全984食） 食育ラジオリレーへの出演（計9回） 市役所食堂での適塩ランチの提供（1回） （京都文教短大、若葉の会協力） アライアンスへの加入促進 加入団体数 健康づくり49団体 食育48団体 合計97団体（R6.3.31時点）		
事業評価	健康長寿日本一の実現に向けて「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」の活動を通じて、市民の健康意識の醸成をはじめ、健康行動の変容促進を図るとともに、加入団体相互の有機的な連携を目的とした交流支援を行った。今後も引き続き、アンケート等により市民ニーズを把握し、効果的な支援を図れるよう、事業実施の手法について検討する必要がある。		

事務事業名	未来をつくる食育推進事業	所管課	健康づくり推進課
		決算額	3,363 千円
事業内容	「子育てにやさしいまち実現プロジェクト」の一環として、食生活を取り巻く状況が変化する中、次世代の健全な食生活の実践につなげ、子どもの生きる力を育む環境づくりを図る。		
成果・実績	木幡・黄檗エリア及び小倉エリアにおいて調理実習や実験などの体験型講座を実施した。 保育所、小学校体験型講座 （実施回数）4回 （参加者）152人 いちから作る体験教室 （実施回数）10回 （参加者）321人 うーちゃ学校（地域版） （実施回数）4回 （参加者）118人		
事業評価	食材・食文化に関する教室及び調理実習などの体験型講座を通じて、食について考える機会の創出と、地域における食のコミュニケーションの促進を図ることができた。今後も引き続き、健全な食生活の実践と、子どもの生きる力を育む環境づくりの推進に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	健康づくり推進課									
		決算額	37,935 千円									
事業内容	日曜、祝日、振替休日及び年末年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数（人）</th> <th>診療日数（日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,970</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">413</td> <td style="text-align: center;">73</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数（人）	診療日数（日）	内科・小児科	1,970	71	歯科	413	73
	受診者数（人）	診療日数（日）										
内科・小児科	1,970	71										
歯科	413	73										
事業評価	休日急病診療所において休日、年末年始における応急診療を行い、市民の健康保持に努めた。第一次救急医療機関として感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制の維持に努める。											

事務事業名	健康診査費（後期高齢者医療事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	108,629 千円		
事業内容	疾病の早期発見・治療及び医療費の適正化を図るため、後期高齢者に対し、健康診査及び歯科健診を実施する。健診事業は後期高齢者医療制度において努力目標として明記されているもので、保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して行う。				
成果・実績	<p>6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会及び宇治久世歯科医師会に委託して実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 健康診査 ・受診者数 10,006人 ・健診委託料 103,191千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 歯科健診 ・受診者数 29人 ・健診委託料 110千円 </td> </tr> </table>			健康診査 ・受診者数 10,006人 ・健診委託料 103,191千円	歯科健診 ・受診者数 29人 ・健診委託料 110千円
健康診査 ・受診者数 10,006人 ・健診委託料 103,191千円	歯科健診 ・受診者数 29人 ・健診委託料 110千円				
事業評価	後期高齢者を対象に健康診査及び歯科健診を実施し、被保険者の健康の保持増進を図った。今後も高齢者人口の増加及び医療費の増加が見込まれるため、疾病の早期発見・治療につなぐための制度周知等に努める。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金（後期高齢者医療事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課
		決算額	3,694 千円
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の一部を後期高齢者医療事業特別会計から助成する。		
成果・実績	受診者数 315人 人間ドック受診委託料 3,465千円（1人あたり11,000円を助成）		
事業評価	令和3年度から定員制を廃止し、人間ドック受診にかかる経費を一部助成しており、希望者全員が受診できる体制を整備している。今後も利用状況等の把握に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	特定健康診査等事業費（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	105,303 千円																		
事業内容	生活習慣病の予防による医療費の適正化を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																				
成果・実績	特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 特定健康診査委託の支払件数と支払額																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 15%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>10,568</td> <td>9,970</td> <td>10,164</td> <td>9,558</td> <td>8,793</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td>106,282</td> <td>102,173</td> <td>104,007</td> <td>98,224</td> <td>90,377</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	件数	10,568	9,970	10,164	9,558	8,793	支払額(千円)	106,282	102,173	104,007	98,224	90,377
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																
件数	10,568	9,970	10,164	9,558	8,793																
支払額(千円)	106,282	102,173	104,007	98,224	90,377																
事業評価	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めた。対象者へ受診勧奨通知を送付し、周知の充実に努めるとともに、電話勧奨を実施した。また特定保健指導未利用者に対し、電話勧奨を行うとともに、ICT等を活用するなど、利用率向上の取組を実施し、保健指導を行った。引き続き、特定健診受診率向上及び特定保健指導利用率向上に取り組む。																				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課																										
		決算額	72,805 千円																										
事業内容	35歳以上75歳未満の国民健康保険の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。令和5年度より半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助定員の拡充を行った。</p> <p>（人間ドック定員）1,700人 2,000人 （脳ドック定員）800人 1,400人</p> <p>ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td>1,582</td> <td>1,306</td> <td>1,490</td> <td>1,570</td> <td>1,777</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td>747</td> <td>684</td> <td>737</td> <td>737</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>62,514</td> <td>53,071</td> <td>59,860</td> <td>62,315</td> <td>69,925</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	人間ドック(人)	1,582	1,306	1,490	1,570	1,777	脳ドック(人)	747	684	737	737	812	決算額(千円)	62,514	53,071	59,860	62,315	69,925
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																								
人間ドック(人)	1,582	1,306	1,490	1,570	1,777																								
脳ドック(人)	747	684	737	737	812																								
決算額(千円)	62,514	53,071	59,860	62,315	69,925																								
事業評価	令和5年度より半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助の定員を拡充し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図った。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。																												

事務事業名	健康データ分析・地区診断事業費	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	14 千円		
事業内容	医療・介護・保健等のデータを統合して分析用ソフト（LIFEDB）を活用することで、地域ごとの健康課題を明確にする。また、市民・地域・行政が一体となって健康づくりを進めるため、分析結果を活用し、その地域特性に合わせた健康づくりの推進を行う。				
成果・実績	<p>健康データ分析に必要なデータを収集し、分析機関である九州大学へを提供し、分析を行った。今年度よりモデル地域として榎島地域を選定し、健康データの説明や取り組みの調整、地域イベントへの出展など顔の見える関係づくりを行った。</p> <p>実施内容</p> <p>4月 : 分析機関より健康データ分析結果（令和4年度分）説明</p> <p>5月 : 健康データ分析結果の確認作業</p> <p>6月～7月 : モデル地域として榎島地域を選定 市内圏域ごとの地域健康かるて作成と公開</p> <p>8月～11月 : 健康データ収集及び分析機関への分析依頼（令和5年度分）</p> <p>8月～翌3月 : 地域調整、榎島地域の既存イベントへの参加、顔の見える関係づくり</p>				
事業評価	医療・介護・保険データを統合し、宇治市の健康状態の経年的な傾向や、地域ごとの健康課題について把握・分析し、市民と共有することができた。引き続き、地域と健康データを共有し、根拠と地域の特性及びニーズに基づいた健康づくりを推進していく必要がある。				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業費（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課
		決算額	628 千円
事業内容	<p>国民健康保険の被保険者を対象に、QOLの向上と医療費の適正化等を目的に、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者又は治療中断者に対し、受診勧奨と保健指導を行う。また糖尿病で通院中であるが血糖コントロール不良のハイリスク者に対し、主治医の了解を得て保健指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>未受診者及び治療中断者に対し、受診勧奨の個別通知を行った後、レセプト確認を行い、改善されていない者に対し、市専門職による電話勧奨及び保健指導を実施した。</p> <p>ハイリスク者に対しては、個別通知にて利用勧奨を行い、主治医と適切に連携し、市専門職と京都府栄養士会による並走型の保健指導を実施した。</p> <p>今年度より前年度のハイリスク者保健指導利用者のうち、希望者に対しては、継続支援を実施した。</p> <p>実施者数 (計) 135人 ・未受診者 : 66人 ・中断者 : 58人 ・ハイリスク者 : 10人 ・ハイリスク者(継続) : 1人</p> <p>ハイリスク者保健指導委託料 478千円</p>		
事業評価	<p>糖尿病性腎症の重症化を予防することによって、人工透析への移行を防止し、被保険者のQOL向上と医療費適正化を図った。今後も、支援対象者の拡大と継続支援に努め、引き続き実施する。</p>		

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種関連事業費	所管課	健康づくり推進課										
		決算額	593,843 千円										
事業内容	<p>新型コロナウイルスワクチン接種券等の印刷・発送、コールセンターの開設・運営、集団接種会場の運営、協力医療機関での個別接種の実施など接種体制を確保して、円滑なワクチン接種の実施を図る。</p>												
成果・実績	<p>接種体制 市が運営する集団接種と協力医療機関での個別接種の併用により実施</p> <p>集団接種会場 ・宇治市役所 ・宇治武田病院 ・宇治徳洲会病院</p> <p>個別接種会場 市内70以上の協力医療機関及び城陽市、久御山町の協力医療機関</p> <p>主な事業費</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・集団接種会場運営委託</td> <td style="text-align: right;">42,409千円</td> </tr> <tr> <td>・コールセンター運営委託</td> <td style="text-align: right;">220,405千円</td> </tr> <tr> <td>・ワクチン配送委託</td> <td style="text-align: right;">61,451千円</td> </tr> <tr> <td>・集団接種従事者報償費</td> <td style="text-align: right;">21,005千円</td> </tr> <tr> <td>・医療機関への個別接種委託料</td> <td style="text-align: right;">180,055千円</td> </tr> </table>			・集団接種会場運営委託	42,409千円	・コールセンター運営委託	220,405千円	・ワクチン配送委託	61,451千円	・集団接種従事者報償費	21,005千円	・医療機関への個別接種委託料	180,055千円
・集団接種会場運営委託	42,409千円												
・コールセンター運営委託	220,405千円												
・ワクチン配送委託	61,451千円												
・集団接種従事者報償費	21,005千円												
・医療機関への個別接種委託料	180,055千円												
事業評価	<p>宇治久世医師会等と連携・協力し、集団接種や個別医療機関での接種体制を構築して市民への新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施できた。</p>												

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険利用者負担軽減助成費	所管課	介護保険課											
		決算額	587 千円											
事業内容	介護保険の現物給付を受ける著しく生活が困難な低所得の者の介護保険利用者負担について、社会福祉法人等が減免した場合に法人負担の一部を助成する。													
成果・実績	社会福祉法人等が行った利用者負担減額分について、当該法人に対して助成金を交付した。													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">認定者数</td> <td style="width: 20%;">82人</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>軽減額等</td> <td>563千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費等</td> <td>24千円</td> <td></td> </tr> </table>	認定者数	82人			対象経費	軽減額等	563千円			事務費等	24千円		
認定者数	82人													
対象経費	軽減額等	563千円												
	事務費等	24千円												
事業評価	国制度に基づき低所得者の経済的負担の軽減を図った。今後も国制度に基づき適正に助成するとともに、広報啓発に努める。													

事務事業名	介護認定審査会費	所管課	介護保険課																																
		決算額	128,946 千円																																
事業内容	公平・公正に要介護・要支援認定申請者の認定を行うため、認定調査及び介護認定審査会の運営を行う。																																		
成果・実績	認定調査員及び介護認定審査会委員への研修を行い、適正な認定を図った。																																		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">申請件数</td> <td style="width: 25%;">9,354件</td> <td style="width: 25%;">審査会開催回数</td> <td style="width: 25%;">289回</td> </tr> <tr> <td>介護認定審査会委員報酬</td> <td></td> <td></td> <td>18,675千円</td> </tr> <tr> <td>介護認定審査会運営費</td> <td></td> <td></td> <td>6,480千円</td> </tr> <tr> <td>認定調査事務費</td> <td></td> <td></td> <td>103,791千円</td> </tr> </table>	申請件数	9,354件	審査会開催回数	289回	介護認定審査会委員報酬			18,675千円	介護認定審査会運営費			6,480千円	認定調査事務費			103,791千円																		
申請件数	9,354件	審査会開催回数	289回																																
介護認定審査会委員報酬			18,675千円																																
介護認定審査会運営費			6,480千円																																
認定調査事務費			103,791千円																																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7">認定者数（令和5年度末現在）</td> <td style="text-align: right;">（人）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">要支援1</td> <td style="border: 1px solid black;">要支援2</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護1</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護2</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護3</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護4</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護5</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,969</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,463</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2,925</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,887</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,386</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,077</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">751</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">合計</td> <td style="text-align: center;">11,458人（宇治市独自集計値）</td> </tr> </table>			認定者数（令和5年度末現在）							（人）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		1,969	1,463	2,925	1,887	1,386	1,077	751		合計							11,458人（宇治市独自集計値）
認定者数（令和5年度末現在）							（人）																												
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																													
1,969	1,463	2,925	1,887	1,386	1,077	751																													
合計							11,458人（宇治市独自集計値）																												
事業評価	「介護保険法」に基づき、適正に認定調査及び認定審査の運営を行った。今後も引き続き、適正な認定事務の執行に努める。																																		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	15,186,003 千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
	保険給付費	令和5年度	令和4年度
	介護サービス等諸費	14,805,439	14,375,634
	居宅介護サービス	6,170,573	5,877,433
	地域密着型介護サービス	2,287,620	2,269,406
	施設介護サービス	4,698,032	4,632,244
	特定入所者介護サービス	255,335	260,394
	その他	1,393,879	1,336,157
	介護予防サービス等諸費	362,906	352,467
	介護予防サービス	254,604	246,112
	地域密着型介護予防サービス	262	437
	特定入所者介護予防サービス	227	395
	その他	107,813	105,523
	その他諸費	17,658	17,020
	審査支払手数料	17,658	17,020
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護サービス相談員派遣事業費	所管課	介護保険課															
		決算額	1,262 千円															
事業内容	<p>申し出のあったサービス事業者に介護サービス相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質の向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。</p>																	
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、多くの事業所で介護サービス相談員の訪問による相談活動を再開した。引き続き訪問を中止している事業所については、文書及びオンラインによる相談活動を継続した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">派遣事業所種別</th> <th style="width: 20%;">派遣事業所数 (カ所)</th> <th style="width: 30%;">派遣人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>指定地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>文書による相談活動は8事業所 オンラインによる相談活動は1事業所において実施</p>			派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)	特別養護老人ホーム	8	18	介護老人保健施設	3	6	グループホーム	18	18	指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)																
特別養護老人ホーム	8	18																
介護老人保健施設	3	6																
グループホーム	18	18																
指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2																
事業評価	<p>施設利用者の疑問及び不安を解消するとともに、サービスの質の向上を図った。介護サービス相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っているため、今後も介護サービス相談員の資質の向上に努める。</p>																	

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	730 千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。		
成果・実績	公益財団法人介護労働安定センターに委託し、介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。		
	研修名	参加 (人)	対象
	気づきの感度UP研修 「ヤングケアラー支援と児童虐待について学ぼう！」	36	ケアマネ ジャー 介護サービス 事業所職員
	アセスメント力UP研修 「認知症の人を支える連携や支援に対する当事者の思いについて学ぼう！」	46	
	介護と医療連携について考えよう 「退院時支援と在宅療養支援のポイントについて学ぼう！ (～お一人さまシリーズ～)」	31	
	「生活期・維持期のリハビリテーションを行う介護職だからできること、出来たらうれしいことを考えよう」 「お互い体に負担の少ない介護技術と最新の福祉用具とその活用について学ぼう！」	35	
	～働きやすい、働きがいのある職場づくり～ 「介護現場における雇用管理の基礎知識」	22	
	介護スキルUP研修（おさらい編） 「感染対策に配慮した介護技術実践」 「外国出身の同僚と共に働くことについて学ぼう！」	19	
	多職種連携スキルUP研修 「専門職に求められる、『自立支援』のための多職種連携の実践について学ぼう！」	34	
	「経過措置が終了する法改正、予測不可の災害に備えよう！」 「BCP（事業継続計画）や各種マニュアルで実際に行動を求められる専門職自身が見て、考えて、取るべき行動を具体的に把握してみよう！」	38	
	ライフ・ワークバランス研修 「専門職だからこそ、自分自身も大切にしてほしい！ライフ・ワークバランスについて考えよう！」	12	
事例発表「宇治市の事業所が行った看取り支援」 居宅介護支援事業所 認知症対応型共同生活介護 小規模多機能型居宅介護	30	上記に加え、 宇治久世医師 会圏域医療機 関連携室職員	
事業評価	介護サービス事業所職員に対して研修を実施し、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図った。今後も介護サービス事業所の質をより高めるための支援・指導の手法について、引き続き検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課	
		決算額	3,395,831 千円	
事業内容	令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料は、第8期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15段階の設定としている。			
成果・実績	第1号被保険者数	54,378人（令和5年度末現在）		
	保険料収納率	現年度分	99.62 %	
		滞納繰越分	14.56 %	
		合計	98.63 %	
	【令和5年度の保険料段階別年間保険料額】			
		保険料段階	年間保険料額(円)	
		第1段階	17,010	
		第2段階	23,820	
		第3段階	44,220	
		第4段階	54,430	
		第5段階	68,030	（基準額）
		第6段階	74,840	
		第7段階	88,440	
		第8段階	112,250	
		第9段階	132,660	
	第10段階	142,870		
	第11段階	153,070		
	第12段階	163,280		
	第13段階	173,480		
	第14段階	183,690		
	第15段階	200,690		
	保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている			
事業評価	第8期介護保険事業計画期間における保険給付費等を見通し、保険料収入を確保する原則に基づき適切な事業運営を行った。今後もケースに応じた納付指導等により収納率の向上を図り、安定的な事業運営に努める。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険施設等物価高騰対策事業費	所管課	介護保険課
		決算額	22,070 千円
事業内容	物価高騰の影響に関わらず、安全・安心で質の高い介護保険サービスを継続して提供できるよう、介護保険施設等を運営する法人に対し交付金を交付する。		
成果・実績	<p>申請のあった法人に対し、物価高騰対策に係る交付金を交付した。</p> <p>交付対象法人 74 法人</p>		
事業評価	各事業者に対して交付金を交付し、物価高騰による施設運営の負担緩和を図ることができた。引き続き物価高騰の状況や法人ニーズの把握等に努め、必要に応じて支援を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域密着型サービス等整備費補助金	所管課	介護保険課
		決算額	131,488 千円
事業内容	「宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域において適切に介護サービスを提供できるよう、施設整備を計画的に進める。		
成果・実績	<p>地域密着型サービス等整備等助成事業（面的整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護小規模多機能型居宅介護 36,600 千円 <p>施設開設準備経費等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護小規模多機能型居宅介護 8,060 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 医療法人 徳洲会 整備施設名称 医療法人徳洲会 看護小規模多機能型居宅介護 巨椋の郷 施設場所 宇治市槇島町一ノ坪26-3 <p>介護施設等の大規模修繕の際に併せて行う介護ロボット・ICTの導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人福祉施設 29,099 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 社会福祉法人 あじろぎ会 整備施設名称 笠取ふれあい福祉センター 特別養護老人ホーム 施設場所 宇治市西笠取下荘川西7-2 ・ 介護老人保健施設 36,984 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 社会福祉法人 あじろぎ会 整備施設名称 平成老人保健施設 施設場所 宇治市五ヶ庄芝ノ東54-2 <p>簡易陰圧装置設置経費支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症対応型共同生活介護 1,248 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 株式会社 オールウェーズ 整備施設名称 グループホームおりーぶ 施設場所 宇治市神明宮北22-38 ・ 認知症対応型共同生活介護 2,497 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 株式会社 オールウェーズ 整備施設名称 グループホームすみれ 施設場所 宇治市神明石塚25-21 <p>介護施設等における多床室の個室化に要する改修費支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設 17,000 千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備法人 医療法人 尼崎厚生会（財団） 整備施設名称 志津川五和の園老人保健施設 施設場所 宇治市志津川南詰12 		
事業評価	計画に定める施設整備を計画的に進めるほか、事業所におけるICTの導入、新型コロナウイルス感染症対策を支援した。今後も介護サービスのニーズを的確に把握し、効果的かつ計画的な施設整備に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
健康長寿部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																																																						
		決算額	650,033 千円																																																						
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式又は償還給付方式で助成を行う。																																																								
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 19,766人 扶助費 629,961千円</p> <p>令和5年8月まで 一部負担金（1医療機関 月200円負担）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>0歳</td><td>1歳</td><td>2歳</td><td>3歳</td><td>4歳</td><td>5歳</td><td>小学校卒業まで</td><td>中学校卒業まで</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td colspan="8">府制度</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">市独自</td> </tr> </table> <p>令和5年9月から 一部負担金（1医療機関 月200円負担）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>0歳</td><td>1歳</td><td>2歳</td><td>3歳</td><td>4歳</td><td>5歳</td><td>小学校卒業まで</td><td>中学校卒業まで</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7">府制度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="6"></td> <td colspan="2">市独自</td> </tr> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	府制度								外来				市独自						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	府制度								外来							市独自	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																																																	
入院	府制度																																																								
外来				市独自																																																					
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																																																	
入院	府制度																																																								
外来							市独自																																																		
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。子育てに要する経済的負担の軽減については、引き続き国等に要望する。																																																								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	63,769 千円
事業内容	安心して医療を受けられるように、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額（自己負担限度額の区分が、一般と市民税非課税世帯は2割負担、現役並み所得者は3割負担）を除いた額を助成する。		
成果・実績	対象となる医療費について助成を行った。 受給者数 1,613人 扶助費 61,257千円		
事業評価	京都府制度に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図った。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き適正な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課																	
		決算額	2,744,598 千円																	
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、令和4・5年度保険料については、均等割額が53,420円に、所得割率が10.46%に改定された。																			
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">被保険者数</td> <td colspan="3">30,580人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">保険料収納率</td> <td style="width: 20%;">現年度分</td> <td style="width: 10%;">99.61%</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>36.92%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98.96%</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 保険料 (限度額66万円) </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">=</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 均等割額 (被保険者一人当たり) 53,420円 </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額) × 10.46% </td> </tr> </table> 保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の均等割額が軽減される。 また、制度加入の前日まで会社の健康保険や協会けんぽ、共済組合の被扶養者である場合も、資格取得から2年間に限り保険料の均等割額が軽減される。			被保険者数	30,580人			保険料収納率	現年度分	99.61%	}	滞納繰越分	36.92%	合計	98.96%	保険料 (限度額66万円)	=	均等割額 (被保険者一人当たり) 53,420円	+	所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額) × 10.46%
被保険者数	30,580人																			
保険料収納率	現年度分	99.61%	}																	
	滞納繰越分	36.92%																		
	合計	98.96%																		
保険料 (限度額66万円)	=	均等割額 (被保険者一人当たり) 53,420円	+	所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額) × 10.46%																
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めた。今後も安定した事業運営のため、制度周知や収納事務の適正化に努める必要がある。																			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課																		
		決算額	463,836 千円																		
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親などに対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち自己負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。																				
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">ひとり親家庭・重度障害者</td> <td style="width: 50%;">療育手帳Bのみ</td> </tr> <tr> <td>・重度障害者</td> <td>・療育手帳Bのみ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">1,682人</td> <td style="text-align: right;">255人</td> </tr> <tr> <td>・ひとり親家庭児</td> <td>・扶助費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">2,100人</td> <td style="text-align: right;">20,727千円</td> </tr> <tr> <td>・ひとり親家庭児の親</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">1,395人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">435,950千円</td> <td></td> </tr> </table>			ひとり親家庭・重度障害者	療育手帳Bのみ	・重度障害者	・療育手帳Bのみ	1,682人	255人	・ひとり親家庭児	・扶助費	2,100人	20,727千円	・ひとり親家庭児の親		1,395人		・扶助費		435,950千円	
ひとり親家庭・重度障害者	療育手帳Bのみ																				
・重度障害者	・療育手帳Bのみ																				
1,682人	255人																				
・ひとり親家庭児	・扶助費																				
2,100人	20,727千円																				
・ひとり親家庭児の親																					
1,395人																					
・扶助費																					
435,950千円																					
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。																				

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課										
		決算額	140,733 千円										
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人等に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。												
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">重度障害者</td> <td style="width: 50%;">療育手帳Bのみ</td> </tr> <tr> <td>・受給者数</td> <td>・受給者数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">1,472人</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> <tr> <td>・扶助費</td> <td>・扶助費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">139,115千円</td> <td style="text-align: right;">65千円</td> </tr> </table>			重度障害者	療育手帳Bのみ	・受給者数	・受給者数	1,472人	1人	・扶助費	・扶助費	139,115千円	65千円
重度障害者	療育手帳Bのみ												
・受給者数	・受給者数												
1,472人	1人												
・扶助費	・扶助費												
139,115千円	65千円												
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。												

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																					
		決算額	2,984,012 千円																					
事業内容	宇治市の国民健康保険料については、制度改革に伴い、京都府が示す標準保険料率に基づき設定することを基本としつつ、宇治市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、設定する。																							
成果・実績	加入世帯数 22,006世帯（一般22,006世帯、退職0世帯） 被保険者数 32,461人（一般32,461人、退職0人）（令和5年度末現在） 保険料収納率 現年度分 96.31% 滞納繰越分 33.99% 合計 90.26% 令和5年度 国民健康保険料率 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>所得割</th> <th>均等割</th> <th>平等割</th> <th>賦課限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療給付費分</td> <td style="text-align: center;">7.57 %</td> <td style="text-align: center;">27,700円</td> <td style="text-align: center;">17,700円</td> <td style="text-align: center;">65万円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者支援金分</td> <td style="text-align: center;">2.87 %</td> <td style="text-align: center;">9,600円</td> <td style="text-align: center;">6,500円</td> <td style="text-align: center;">22万円</td> </tr> <tr> <td>介護納付金分</td> <td style="text-align: center;">2.89 %</td> <td style="text-align: center;">12,300円</td> <td style="text-align: center;">6,000円</td> <td style="text-align: center;">17万円</td> </tr> </tbody> </table>					所得割	均等割	平等割	賦課限度額	医療給付費分	7.57 %	27,700円	17,700円	65万円	後期高齢者支援金分	2.87 %	9,600円	6,500円	22万円	介護納付金分	2.89 %	12,300円	6,000円	17万円
	所得割	均等割	平等割	賦課限度額																				
医療給付費分	7.57 %	27,700円	17,700円	65万円																				
後期高齢者支援金分	2.87 %	9,600円	6,500円	22万円																				
介護納付金分	2.89 %	12,300円	6,000円	17万円																				
事業評価	国民健康保険事業特別会計においては、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、京都府と連携しながら適切な事業運営を行った。																							

事務事業名	傷病手当金	所管課	国民健康保険課	
		決算額	223 千円	
事業内容	国民健康保険の被保険者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染したこと、または感染が疑われることにより、就労ができず給与を受けられない被用者に対し、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間について、直近3か月間の平均日額の3分の2の額に就労を予定していた日数を乗じた額を支給する。			
成果・実績	事業主から給与等の全部、又は一部を受けることができなかった場合に傷病手当金を支給した。 支給件数 11件（適用期間：令和5年5月7日まで）			
事業評価	新型コロナウイルス感染症に感染したこと、または発熱等の症状があり、感染が疑われることにより、就労ができず給与を受けられない国民健康保険に加入している被用者に対し、傷病手当金の支給を実施することで支援を行った。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	地籍調査事業費	所管課	建設総務課						
		決算額	10,491 千円						
事業内容	土地の地目・面積・所有者など、土地の実態を正確に把握することを目的とし、地権者立会いのもと、官民境界および民民境界を決める「一筆地調査」を行う。これにより災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進・課税の適正化などの効用が期待できる。								
成果・実績	<p>小倉町において、地籍調査を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">調査実施箇所</td> <td style="width: 30%;">小倉町西浦、神楽田の一部（0.02km²）</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">7,128千円</td> </tr> <tr> <td>調査実施箇所</td> <td>小倉町南浦の一部（0.02km²）</td> <td style="text-align: right;">3,363千円</td> </tr> </table>			調査実施箇所	小倉町西浦、神楽田の一部（0.02km ² ）	7,128千円	調査実施箇所	小倉町南浦の一部（0.02km ² ）	3,363千円
調査実施箇所	小倉町西浦、神楽田の一部（0.02km ² ）	7,128千円							
調査実施箇所	小倉町南浦の一部（0.02km ² ）	3,363千円							
事業評価	一筆地調査の実施により、土地の実態を正確に把握し、地籍図、地籍簿を作成することができた。今後も、災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進等に資するため、調査を継続していく必要がある。								

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	17,798 千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、防護柵、歩道の設置、段差解消などを実施する。		
成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 市内全域を対象として交通安全施設の設置を行うなど、歩行者等の安全確保の取組を進めた。		
	<p>安全施設設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡設置 14 基 ・防護柵設置 21 m ・薄層カラー舗装 180 m² ・区画線設置 1,038 m 	<p>安全施設設置 榎島町73号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>	
事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も各地域の歩行者等の交通安全対策を実施するとともに、宇治市通学路交通安全プログラムの取組を継続して進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	99,565 千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	地元町内会等からの要望を受け、宇治五ヶ庄線（瓦塚）ほか4路線の道路改良工事及び4路線の測量等を実施した。		
	<p style="text-align: center;">宇治五ヶ庄線（瓦塚）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現況（令和6年3月末時点）</p> </div> </div>		
事業評価	市民の要望等を受け、道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網を確保できた。今後も事業箇所を精査し、道路整備を実施する。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	32,007 千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	平出中畑線の一部区間で、取り組んできた道路拡幅工事が完成した。また、梅谷大平線では、一部区間の道路拡幅のための用地売買契約を締結した。		
	<p style="text-align: center;">平出中畑線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る取組を進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	JR六地蔵駅前広場整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	161,290 千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業におけるJR六地蔵駅の改良に伴い、駅前広場の再整備を行う。		
成果・実績	JR六地蔵駅駅舎移転に伴い、駅前広場の新駅舎付近の再整備及び関係機関との調整に取り組んだ。 <div style="text-align: center;"> JR六地蔵駅前広場  完成後 </div>		
事業評価	JR六地蔵駅の改良事業との工程調整を行いながら、駅前広場の新駅舎付近の再整備を行った。引き続き関係機関及び地域などとの調整を図りながら、再整備に取り組む。		

事務事業名	宇治白川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	101,909 千円
事業内容	宇治白川線と下居大久保線の交差点において、宇治白川線の左折レーン延伸工事を実施し、交通渋滞の緩和を図る。		
成果・実績	左折レーンの延伸に向け、道路改良工事に着手した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 宇治白川線  着工前 </div> <div style="text-align: center;">  現況（令和6年3月末時点） </div> </div>		
事業評価	関係機関等と調整を行いながら、道路改良工事を実施した。引き続き左折レーンの延伸に向けた整備を進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	道路	

事務事業名	近鉄小倉駅西口整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	18,213 千円
事業内容	近鉄小倉駅西口における駐輪場の整備にあわせて、利用者の利便性と安全性の向上を図るため、歩道整備を実施するとともに、駅西側の駅前広場整備予定地について、暫定的な広場を整備する。		
成果・実績	歩道及び暫定広場整備工事を実施した。		
	近鉄小倉駅西口暫定広場		
	 <p style="text-align: center;">着工前</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	
事業評価	隣接する駐輪場工事との工程調整を行いながら、暫定広場整備を進めることができた。		

事務事業名	六地藏地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	141,701 千円
事業内容	JR六地藏駅北周辺地区地区計画に基づき、交通利便性の向上を図るため、区画道路及び自転車歩行者専用道路を整備する。		
成果・実績	六地藏33号線の道路改良工事、自転車歩行者専用道路整備工事を実施した。		
	自転車歩行者専用道路		
	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	
事業評価	隣接する開発工事との工程調整を行いながら、六地藏33号線の道路改良工事、自転車歩行者専用道路整備工事を行った。引き続き関係機関及び地域などとの調整を図りながら、区画道路の整備を進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	道路インフラ長寿命化事業費	所管課	維持課
		決算額	156,154 千円
事業内容	道路（舗装、小規模附属物）、橋梁、トンネル等の道路施設について長寿命化を図るため、計画的な点検や修繕などを実施する。		
成果・実績	道路（舗装、小規模附属物）、橋梁、トンネル等の長寿命化計画に基づき、定期点検や長寿命化計画改定業務及び岩分第一トンネルの修繕設計業務などを行った。また、大師橋の修繕工事、乙方三番割線ほか2路線の舗装修繕工事などを行った。		
事業評価	定期的な点検や長寿命化計画改定業務及び修繕工事により、道路施設の長寿命化を図ることができた。引き続き、個別施設の長寿命化計画を更新し、長寿命化に向けて計画的に取り組む。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	13,106 千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良・補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>実施数 4件 補助金額 13,106千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、要望に応えつつ、適正な運営に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	572,002 千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（1,804m）及び舗装補修（2,464㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕351件、道路保全601件、交通安全施設の補修等115件、防災関係91件、溶接関係42件で、全体では1,818件であった。このうち特に緊急対応が必要な出勤回数は17件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>道路維持修繕事業費 530,328千円</p> <p>街灯設置保全事業費 41,674千円</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>大久保町58号線（歩道改修工事）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による作業状況</p> </div> </div>		
事業評価	<p>道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	菟道榎島線橋梁耐震化事業費	所管課	維持課
		決算額	27,661 千円
事業内容	<p>「宇治市国土強靱化計画」に基づき、災害時における早期復旧や物資の輸送道路を確保するため、菟道榎島線の橋梁及び緊急輸送路を跨いでいる跨道橋を順次、耐震化（耐震補強）を実施する。</p>		
成果・実績	<p>菟道榎島線(宇治川橋)橋梁耐震化工事委託 (対象橋梁) 宇治川橋</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇治川橋の下部工は、緊急輸送路である一般国道1号(京滋バイパス)と構造が一体的となっているため、西日本高速道路(株)(NEXCO西日本)に耐震工事を委託して実施。 令和5年度より、下部工の掘削工事から施工開始。 		
	  <p style="text-align: center;">宇治川橋</p>	<p>菟道榎島線ほか橋梁耐震補強予備設計業務 (対象橋梁) 榎島高架橋 他5橋</p>	
事業評価	<p>関係機関と調整を図り、菟道榎島線の橋梁耐震化に着手することができた。引き続き、災害時における早期復旧や物資の輸送道路を確保するため、菟道榎島線の耐震化を進める必要がある。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
建設部

事務事業名	排水路改良事業費	所管課	治水対策課
		決算額	78,839 千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	<p>排水路の流下能力の向上を図るため、老朽化施設の改良工事や調査、測量設計業務を行った。</p> <p style="text-align: right;">78,727千円</p> <p>改良工事等 ・ 榎島16号系統排水路改良工事 工事延長 L=32.0m ・ 他8件</p> <p style="text-align: center;">榎島16号系統排水路改良工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。引き続き、治水能力の向上に向け、計画的に実施する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
建設部

事務事業名	河川改修事業費	所管課	治水対策課
		決算額	14,087 千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	<p>河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川改修工事や調査、測量業務を行った。</p> <p style="text-align: right;">14,087千円</p> <p>改修工事等 ・山王ヶ谷川改修工事（その2） 工事延長 L=104.1m ・他1件</p> <p style="text-align: center;">山王ヶ谷川改修（その2）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現況（令和6年3月現在）</p> </div> </div>		
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	市営住宅長寿命化計画策定費	所管課	住宅課
		決算額	2,472 千円
事業内容	公営住宅の安全性確保、ライフサイクルコスト縮減の観点から、効率的な修繕・改築を実施するための長寿命化計画を改定する。		
成果・実績	公営住宅等ストックの状況を把握し、予防保全的な観点から修繕や改善の計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図ることを目的とした長寿命化計画の改定を行った。		
事業評価	「宇治市公営住宅等長寿命化計画」を策定したことにより、令和15年度までの計画修繕等のスケジュールを示すことができた。今後は、計画修繕等の進行管理を行い、施設の予防保全に取り組む必要がある。		

事務事業名	市営住宅施設改修事業費	所管課	住宅課				
		決算額	136,452 千円				
事業内容	市営住宅の入居者の居住性の向上やストックの長寿命化を図るため、「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改修事業を実施する。						
成果・実績	<p>各計画に基づき、事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">五ヶ庄福角市営住宅1・2号棟外壁ほか改修工事</td> <td style="text-align: right;">132,802千円</td> </tr> <tr> <td>榎島吹前市営住宅7号棟外壁ほか改修設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">2,926千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>五ヶ庄福角市営住宅1・2棟外壁ほか改修工事</p> </div>			五ヶ庄福角市営住宅1・2号棟外壁ほか改修工事	132,802千円	榎島吹前市営住宅7号棟外壁ほか改修設計業務委託	2,926千円
五ヶ庄福角市営住宅1・2号棟外壁ほか改修工事	132,802千円						
榎島吹前市営住宅7号棟外壁ほか改修設計業務委託	2,926千円						
事業評価	「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改修工事及び設計業務などを実施することができた。今後も引き続き、施設の長寿命化に向けて取り組む必要がある。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	善法・東山地区住環境改善基本計画等策定事業費	所管課	住宅課
		決算額	11,362 千円
事業内容	宇治東山市営住宅のあり方を検討し、安全で安心して暮らせる善法・東山地区のまちづくりの方向性等に係る基本構想・基本計画を策定する。		
成果・実績	<p>宇治東山市営住宅建替推進委員会において、建替え候補地の検討等を行った。また、関係者との意見交換や地質調査等を実施し、善法青少年センター及び善法保育所敷地を建替え候補地に決定した。</p> <p>宇治東山市営住宅建替推進委員会開催数 3回 善法青少年センター及び善法保育所敷地 地質調査・境界確定等業務委託</p>		
事業評価	善法青少年センター及び善法保育所敷地を宇治東山市営住宅建替え候補地に決定したことから、今後、基本構想・基本計画を策定し、具体的な配置計画等の取りまとめを行う。		

事務事業名	空き家等対策関連事業費	所管課	住宅課
		決算額	2,191 千円
事業内容	「宇治市空き家等対策計画」に基づき、管理が行われていない空き家等の発生を抑止し、地域住民の生活環境の保全を図るとともに、併せて空き家等の利活用に取り組み、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市空き家等対策計画（第2期）」の策定 管理不全な空き家等への対応 ・管理不全な空き家等の解決件数 27件 管理不全な空き家等の発生抑止 ・空き家等アドバイザーの派遣 17件 ・空き家情報誌（ハンドブック）の作成 900部 ・固定資産税納税通知への啓発チラシの同封 約70,000通 流通・利活用の促進 ・空き家活用促進まちづくり支援補助金（アドバイザー業務） 1件 ・空き家活用促進まちづくり支援補助金（コミュニティスペース創生） 1件</p>		
事業評価	事業を通じて、空き家の流通・利活用に対する市民理解と啓発につながった。また、管理不全空き家等への対応として、関係各課と連携をとり効果的に取り組むことができた。令和6年度からは「宇治市空き家等対策計画（第2期）」に基づき、より効果的に事業を進めていく必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	10,169千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化及び入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。 交付件数 1件 補助金額 10,169千円		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に、入居者の家賃減額分に対する補助を交付することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。今後も国及び京都府の制度の動向を注視しつつ、引き続き実施する。		

事務事業名	ウトロ地区住環境改善事業費	所管課	住宅課他														
		決算額	87,445千円														
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、平成26年度に策定した「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき、国・京都府・宇治市の三者の連携のもとウトロ地区小規模住宅地区改良事業を推進する。																
成果・実績	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき各事業を実施した。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>担当課</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南山蔭田線 用地補償</td> <td rowspan="3">道路建設課</td> <td>6,862</td> </tr> <tr> <td>南山蔭田線 整備工事</td> <td>39,851</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町191号線 歩道整備工事</td> <td>10,933</td> </tr> <tr> <td>不良住宅等除却工事</td> <td rowspan="2">住宅課</td> <td>26,164</td> </tr> <tr> <td>住宅移転協力金</td> <td>3,300</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	担当課	事業費(千円)	南山蔭田線 用地補償	道路建設課	6,862	南山蔭田線 整備工事	39,851	伊勢田町191号線 歩道整備工事	10,933	不良住宅等除却工事	住宅課	26,164	住宅移転協力金
事業名	担当課	事業費(千円)															
南山蔭田線 用地補償	道路建設課	6,862															
南山蔭田線 整備工事		39,851															
伊勢田町191号線 歩道整備工事		10,933															
不良住宅等除却工事	住宅課	26,164															
住宅移転協力金		3,300															
	<p style="text-align: center;">伊勢田町191号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>																
事業評価	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき事業を実施することにより、ウトロ地区における住環境を改善する取組を進めることができた。																

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,108 千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園や歩道などの一部をボランティア団体等の活動により、花及び木を植えて花壇化する。		
成果・実績	<p>町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料などの支給を行った。</p> <p>花壇箇所数 59か所（令和5年度末時点）</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	公共施設の敷地の一部を花壇として維持管理して頂き、市内の緑化推進及び地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる仕組みづくりに努める必要がある。		

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	116 千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心として啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>「緑のウォークラリー」を実施するとともに、宇治市緑化ボランティア「みどりの会」が植物公園において展示を行い、緑化啓発活動を行った。</p> <p>緑のウォークラリー 開催日：令和5年4月29日(土・祝) 開催場所：宇治市植物公園及び太陽が丘</p> <p>みどりの会春展 開催時期：令和5年4月15日～5月7日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <p>みどりの会秋展 開催時期：令和5年10月1日～10月29日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、ウォークラリー及び展示会の実施により、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後もイベント内容等を工夫し、緑化啓発に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,195 千円
事業内容	宇治市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>ボランティア登録数 63人(令和5年度末時点)</p> <div style="text-align: right;">  <p>活動の様子</p> </div>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

事務事業名	公園バリアフリー等整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	34,425 千円
事業内容	安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。		
成果・実績	<p>安全で安心して利用できる公園とするため、遊具の更新を行った。</p> <p>遊具更新公園数 1公園(西宇治公園) 遊具更新数 1基(インクルーシブ遊具) インクルーシブ遊具...障害や年齢に関係なく、誰もが一緒になって遊ぶことができる遊具</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
事業評価	西宇治公園の遊具を、障害や年齢に関係なく、誰もが一緒になって遊ぶことができるインクルーシブ遊具に更新することができた。引き続き、公園施設の状況を把握し計画的に整備する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	130,100 千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	公園の運営管理等、利用しやすい環境整備を行った。 公園施設の除草・樹木剪定及び修繕・維持改良などを実施 地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び業者委託により、適正な管理に努め、利用しやすい環境を維持することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況などを踏まえ、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	234,091 千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを指定管理者である（公財）宇治市公園公社が行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用促進、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。 指定管理者である（公財）宇治市公園公社による利用者へのサービス向上の取組として、植物公園は年間入園券、16時以降の入園料金の値下げ等を行い、運動公園はテニスコート、野球場の夏季早朝利用枠の設定等を行った。 指定管理料 234,091千円		
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営ができた。今後も利用者の利便性向上のため、引き続き効果的・効率的な管理運営に努めるとともに、さらなる魅力増進に向けた施設づくりに努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課				
		決算額	152,276 千円				
事業内容	黄檗公園は、多世代が交流できるスポーツ・レクリエーション活動の場であり、宇治市地域防災計画において東宇治地域の防災拠点として位置付けられていることから、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。						
成果・実績	<p>災害発生時に避難者と緊急車両がすれ違いができるよう、園路の改修工事を実施するとともに、野球場スタンド改修及び外周フェンスの改良工事等を実施。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">園路改修工事</td> <td style="text-align: right;">86,054千円</td> </tr> <tr> <td>野球場スタンド改修及び外周フェンス改良工事</td> <td style="text-align: right;">58,834千円</td> </tr> </table>			園路改修工事	86,054千円	野球場スタンド改修及び外周フェンス改良工事	58,834千円
園路改修工事	86,054千円						
野球場スタンド改修及び外周フェンス改良工事	58,834千円						
事業評価	防災拠点としての機能強化と野球場施設の改修を実施することができた。今後も国庫補助の交付状況や市の財政状況などを考慮しながら、防災機能の向上に向けて適正な整備を行う必要がある。						

事務事業名	植物公園施設改修事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	13,275 千円
事業内容	植物公園の長寿命化対策として施設改修（空調設備）を実施する。		
成果・実績	<p>令和5～6年度の債務負担行為により、宇治市植物公園の緑の館及び温室の空調設備を改修しており、令和5年度は、パッケージエアコン等の機器の製作を実施。</p> <p>宇治市植物公園空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑の館：パッケージエアコン機器、動力盤 ・ 温室：空調熱源機器 		
事業評価	令和5～6年度に空調設備を改修するため、設置機器の製作に着手することができた。引き続き、改修に向け、工事の進捗管理を適正に行う必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	木幡緑道整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	27,115 千円
事業内容	JR木幡駅沿線にある木幡緑道について、緑道の拡幅を行うことにより、市街地の貴重な緑地の保全を行うとともに、脱炭素化の推進を図る。		
成果・実績	<p>JR複線化事業に伴う木幡緑道の拡幅及び再整備を実施。</p> <p>木幡緑道整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい花壇付近の再整備（広場整備、花壇の増設） ・拡幅箇所の園路及び広場の整備 ・照明柱の建て替え及び照明をLEDに改修 ・ベンチ改修 ・植栽の再整備（樹木の剪定、伐採、植樹） 		
事業評価	市街地の貴重な緑道の整備を行い、地域の散歩道としての役割を充実させることができた。		

事務事業名	公園照明LED化事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	35,598 千円
事業内容	市内の公園にある公園灯をLED化することにより、省電力化による地球温暖化対策に寄与するとともに維持管理の低減を図る。		
成果・実績	<p>市内の公園にある公園灯をLEDに変更した。</p> <p>市内児童遊園、街区公園の水銀灯をLED化 102公園で交換実施</p> <p>植物公園室内照明LED化</p> <p>黄檗公園テニスコート照明LED化</p>		
事業評価	市内の公園にある公園灯をLED化することにより、CO ₂ 排出量削減や電気代、修繕費の縮小を図ることができた。また、LED化により従来より明るくなり安全性の向上にも寄与した。引き続き、公園灯の設置状況を把握し計画的に整備する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	10,286 千円
事業内容	<p>子育て世代が安全で安心して暮らせる「子育てにやさしいまち」を推進するため、植物公園、黄檗公園及び西宇治公園において、利用環境を整備するとともに、様々な団体と連携し、各種イベントや体験の取組を実施する。</p>		
成果・実績	<p>子育て応援プラットフォームの運営</p> <p>子育て家庭のサポートをしているグループを対象に「子育て応援プラットフォーム」を形成し、グループ間の交流を創出したほか、子育て応援プラットフォームが子育て関連の情報発信ができるように、宇治市公園公社ホームページ内に情報発信ツールとして活用できるページを設けた。</p> <p>子育て応援イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（ゆめりあうじ：「子どもの遊びってどんなこと？」フォーラム） ・親子スポーツ広場（西宇治公園：ヨガ、水遊び体験、体操等） ・親子スポーツ教室（黄檗公園：ダンス、英語体操、リトミック等） ・こどもスポーツフェスタ（西宇治公園：移動式の鉄棒や滑り台等の遊具体験） ・スポーツ交流フェスタ（黄檗公園：親子ラジオ体操体験会） ・キッズフェスタ（植物公園：「キッズフェスタ2023」） ・こども花壇植付け体験（植物公園：こども用花壇で花苗や球根の植付け体験） ・インクルーシブ遊具の遊び初め（西宇治公園） <p>「子どもの遊び」環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市植物公園にキッズスペース（植物公園ライブラリー）を整備 ・子どもが利用しやすいよう宇治市植物公園のトイレに洋式便器等を設置 ・黄檗公園体育館授乳室の内装等を改修 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>植物公園ライブラリー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>親子スポーツ教室（ダンス）</p> </div> </div>		
事業評価	<p>子どもが安心して遊べる空間を整備するとともに各種イベント等を通じ、親子で交流する場を創出することができた。今後も引き続き、子育てにやさしいまちの実現に向けて、子育て環境の整備を推進する必要がある。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	681 千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動へのさまざまな支援を行い、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を進め、まちづくりの実現を目指す。		
成果・実績	うじまちパネル展 ・開催期間 10月30日～11月2日 ・目的 まちの魅力を再発見し地域（うじ）に対する興味・愛着を深めてもらう ・内容 協議会の活動内容のパネルや地域の写真を展示		
	まち協交流会 ・開催日 12月4日 ・目的 他の協議会と交流し、互いの活動を知ることによって今後の活動の参考にする ・内容 協議会の活動状況及び共通して抱える課題について意見交換		
事業評価	宇治市まちづくり審議会 3回開催（委員14人） ・宇治市まちづくり審議会景観部会 3回開催（委員4人）		
事業評価	うじまちパネル展では、協議会、まちづくりマイスター、市職員が来場者と協議会活動、交通、空き家、防災などについて意見交換を行うとともに、まち協交流会では協議会間でまちづくり情報及び課題の共有ができた。今後も地域のまちづくり活動が継続できるよう支援に努める。		



事務事業名	近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画策定費	所管課	都市計画課
		決算額	16,348 千円
事業内容	「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」に示すまちの将来像などの実現に向け、具体的な整備手法や実現方策を示す基本計画を策定する。		
成果・実績	近鉄小倉駅周辺地区におけるまちづくりの将来像を示した「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」を踏まえつつ、都市基盤の整備方針などについて、より具体的な整備内容を提示する基本計画策定に向け検討を行った。		
	地権者ヒアリング、企業ヒアリングの実施 駅東口、駅西口の駅前広場の規模・機能配置検討や土地利用計画の検討など、駅周辺地区におけるまちづくりの方向性について検討 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議 2回開催（委員14人）		
事業評価	地権者ヒアリングをはじめとしたまちづくりプランの検討を進めることで、まちづくりに対する理解を深めることができた。令和6年度も検討を継続し、基本計画の策定に取り組む必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	(仮) 未来につなぐ都市づくりプラン策定費	所管課	都市計画課
		決算額	10,066 千円
事業内容	人口減少・少子高齢化が進行するなか、人口密度と都市サービスの維持・確保を図る効率的な土地利用を進めるため、都市計画マスタープランのアクションプランである計画の策定を行う。		
成果・実績	<p>本市の現状と都市が抱える課題の分析、まちづくりの方針、災害のハザードの整理と分析を行った。その後、検討委員会で誘導すべき区域の考え方の検討を行い、令和6年3月に「宇治市未来につなぐ都市づくりプラン」を策定した。</p>		
事業評価	<p>検討委員会で専門的な議論を重ねることで、本市の課題やまちづくりの方向性を整理することができた。また、策定にあたり、パブリックコメントをはじめ、説明会、パネル展示、公聴会、まちづくりオープンハウス等様々な形での、市民の方々との対話等を通じて、より良い計画を策定することができた。今後は計画に基づき、持続可能なまち・宇治市の実現に努める。</p>		



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	23 千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成するため、市民参加による違反広告物の除却を行うとともに、関係機関と協働して違反広告物の一斉撤去を年1回実施する。		
成果・実績	<p>違反広告物追放推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行うとともに、令和5年10月4日には関係機関による違反広告物の一斉撤去を行った。</p> <p>違反広告物撤去枚数 14枚</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">違反広告物の例</p>		
事業評価	市民や関係機関と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、関係機関と連携し地域の目による抑止力の向上及び啓発による景観意識の向上に努める必要がある。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,397 千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行うとともに、景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進する。		
成果・実績	<p>景観計画の改定</p> <p>令和3年度から令和5年度の3か年で、景観計画に定める地区のうち、G地区（市街地・田園・山麓・山間）の景観特性に応じた細分化及び地区ごとの景観特性を生かした誘導指針の見直しを行った。</p>		
事業評価	景観計画の改定によりきめ細やかな誘導が可能となり、さらに良好な景観形成の推進を図ることができた。令和5年度は、景観形成助成制度の活用がなかったことから、十分な周知を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,604 千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、宇治市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>重要文化財松殿山荘修礼講堂等の保存修理や、市指定文化財大幣神事など、17件の事業に対して補助を行った。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">大幣神事</p>		
事業評価	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き、重要性や緊急性など優先順位を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6,083 千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>国庫補助事業としては一里山遺跡（広野廃寺）、二子塚古墳の発掘調査を実施し、遺構の分布状況など遺跡の状況把握に努めた。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、受託事業として宇治市街遺跡の発掘調査を実施した。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">一里山遺跡 発掘調査</p>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録を作成することにより、文化財の保存を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	歴史文化体験事業	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,558 千円
事業内容	宇治の重層的な歴史の体感、魅力を再発見できるよう、中宇治まち歩きツアーを行う。各種体感ポイントにおいて、中宇治地域での発掘成果の説明やARによる、平安時代の宇治のまち並みや生活を疑似体験するツアーを行う。		
成果・実績	<p>令和6年度のまち歩きツアー実施に向け、関係機関と連携し、ツアープランの作成やまちなみ再現ARを作成した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>平安時代の宇治のまち並み再現AR</p> </div>		
事業評価	令和6年度のツアー実施に向け、メインとなるARの作成を行うことができた。今後はARを活用し、宇治の歴史の魅力発信に努める。		

事務事業名	第7回 近畿歴史まちづくりサミット in 宇治市	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,065 千円
事業内容	近畿地方における歴史的風致維持向上計画の認定都市や歴史まちづくりに取り組む都市の関係者が一堂に会し、各都市の歴史、文化、伝統を活かした特徴的なまちづくりに関する取組や成果などの情報発信、意見交換を行うことで、歴史まちづくりに関する取組を強化し、都市の健全な発展と文化の向上、観光振興を図る。		
成果・実績	<p>12月2日（土）に宇治市文化センター小ホールにて、第7回近畿歴史まちづくりサミットin宇治市を開催した。宇治市歴史的風致維持向上協議会委員長である京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授清水重敦氏による基調講演、宇治市長を含む3都市首長によるパネルディスカッション、宇治っ子朗読劇団Genjiによる源氏物語朗読劇「紫さんを待ちながら」の上演、加盟都市紹介パネルの掲示、パンフレットの配架などを行った。</p> <p>来場者数 162名</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	サミットの開催により、宇治市の歴史まちづくりについて紹介するなど、魅力の発信に努めることができた。また、他都市の取組状況について、情報交換を行うことができた。今後も引き続き、他都市の事例を活かしながら歴史・文化を活かしたまちづくりに努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
都市整備部

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	22,009 千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>旧耐震住宅の多い地域を中心に、順次、啓発チラシの配布や個別訪問を実施した。また、防災フェア、その他防災関係のイベント等でパネル展示、耐震化への啓発、リーフレット・チラシ配布等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">木造住宅耐震診断 55件 木造住宅耐震改修 24件（本格改修16棟、簡易改修8棟）</p>		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。また、令和6年1月の能登半島地震以降、啓発活動に力を入れており、相談・問い合わせ件数が急増し、耐震診断の申込が増えた。今後も補助対象の拡大等、より有効な取組となるよう検討し、建築物の耐震化を図る必要がある。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	684千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全で安心な、環境にやさしい建築物の供給、法的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>建築確認等申請件数（計画通知を含む・計画変更含まず）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td style="text-align: center;">534</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">567</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">543</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">582</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>違反建築物対策（行政指導件数 28件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。 また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>長期優良住宅の認定（認定件数 161件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>建設リサイクル法に基づく業務（届出324件・通知126件 合計 450件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。</p> <p>都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく業務（認定件数 7件） 市街化区域内における低炭素化等の措置が講じられている建築物について、その措置に係る基準に適合していることについて認めた。</p> <p>建築物省エネルギー法に基づく届出（届出件数 15件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出の受理を行った。</p> <p>建築物省エネルギー法に基づく省エネ性能向上計画認定（認定件数 2件） 一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置以上の基準（誘導基準）に適合することについて認めた。なお、規模要件は無い。</p> <p>京都府地球温暖化対策条例 兼 京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例に基づく業務（届出件数 6件）（変更件数3件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、2,000㎡以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。</p> <p>京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例 に基づく完了届出受理（届出件数 18件） 当該条例に基づき、300㎡以上2,000㎡未満の準特定建築物に対して義務付けられる再生可能エネルギー設置完了について届出の受理を行った。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	9	2	4	15	民間確認検査機関	534	26	7	567	合計	543	28	11	582
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	9	2	4	15																			
民間確認検査機関	534	26	7	567																			
合計	543	28	11	582																			
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。 今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	596 千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーの普及に努めた。併せて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体と連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動を始めとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p>交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 91回 ・参加者数 約6,600人 <p>啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 53回 		
事業評価	交通安全教室及び啓発活動の実施により、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、関係機関とより一層の連携を図りながら、多様な取組手法による交通安全対策に努める必要がある。		

事務事業名	高齢者運転免許証自主返納支援事業費	所管課	交通政策課
		決算額	800 千円
事業内容	高齢者の運転による交通事故の抑制を図るため、高齢者の運転免許証の自主返納を支援する。		
成果・実績	<p>対象者に対して、ICOCA 2,000円分（デポジット 500円を含む）を支援した。また、市民への支援事業の周知については、街頭啓発活動時のチラシ配布や、FMうじでの放送等により行った。</p> <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効な運転免許証を自主的に返納（全部取消）した人 ・自主返納及び申請時点で宇治市に住民登録がある人 ・自主返納した時点で65歳以上の人 ・返納した日から起算して1年以内に支援事業の申請をした人 <p>申請状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数 430人 		
事業評価	事業を実施することで、自身の運転に不安を感じている高齢者の運転免許証自主返納を支援することができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	135 千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年の国の基本方針の見直しを受け、全体構想を見直すとともに、新たに木幡駅・黄檗駅・伊勢田駅周辺地区の基本構想を策定し、更なる市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	基本構想をもとに、JR黄檗駅のバリアフリー化工事に向けた調整を行い、バリアフリー化工事を行った。引き続き、令和7年度完成に向けて事業を推進する。		
事業評価	駅のバリアフリー化事業に取り組むことにより、高齢者・障害者等の移動の円滑化を進めることができた。引き続き、関係機関と連携しながら駅周辺のバリアフリー対策を進める必要がある。		

事務事業名	山間地域移動支援事業費	所管課	交通政策課												
		決算額	300 千円												
事業内容	地域の協力体制のもと山間地域の移動手段確保のため、持続的な交通を提案し普及させることを目的とし、炭山助け合い移動支援事業を公共交通空白地有償運送の登録を行い、その運行等について支援を行うとともに、持続可能な交通の検討を行う。														
成果・実績	<p>炭山区町内会において、令和4年2月1日から公共交通空白地有償運送の運行を開始し、運行への支援を行うとともに地域の持続的な交通について協議を行った。</p> <p>経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年11月29日 宇治市地域公共交通会議開催 ・ 令和3年12月2日 地域が京都運輸支局へ公共交通空白地有償運送の登録申請提出 ・ 令和4年1月24日 京都運輸支局より登録証発行 ・ 令和4年2月1日 公共交通空白地有償運送運行開始 <p>運行実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行回数</td> <td>20回</td> <td>118回</td> <td>51回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>22人</td> <td>129人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">令和3年度は2月から運行</p>				令和3年度	令和4年度	令和5年度	運行回数	20回	118回	51回	延べ利用者数	22人	129人	59人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
運行回数	20回	118回	51回												
延べ利用者数	22人	129人	59人												
事業評価	定期的に炭山区町内会と協議を行い、持続可能な移動手段確保の検討を進めるとともに、地域に対し支援を行うことにより、移動手段確保に寄与した。今後も引き続き地域と協働して持続可能な移動手段確保の検討を行う。														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課
		決算額	3,593 千円
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島町の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な公共交通の利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。		
成果・実績	<p>明星町・西小倉・槇島町の3地域を対象に創設した「宇治市のりあい交通事業」の活用により、明星町で運行を継続することができた。</p> <p>また、公共交通の利用促進の取組として、イベントでの啓発やお出かけマップの配布などを行うことで、公共交通の理解を深めることができた。</p> <p>宇治市のりあい交通事業 明星町地区のりあい交通事業 利用者数：39,846人</p> <p>公共交通の利用促進の取組 市内各種イベントでの主な利用啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年10月28日 「宇治橋通り笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」 ・令和5年11月26日 「宇治環境フェスタ」 ・小中学生を対象としたバスの乗り方教室を実施 <p>お出かけマップ配布数 約16,000枚</p>		
事業評価	宇治市のりあい交通事業では地域住民と協働して利用促進に取り組み、公共交通の確保に努めることができた。また、公共交通の利用促進の取組として、イベントでの啓発、お出かけマップの配布等を行い、公共交通の活性化を図ることができた。今後も公共交通の確保、公共交通の利用促進に努めるとともに、利用実態に応じた持続可能な移動手段確保を検討する必要がある。		

事務事業名	高齢者買物移動支援事業費	所管課	交通政策課
		決算額	206 千円
事業内容	駅やバス停留所から距離のある地域を対象に、移動ニーズの特性を把握する中で、既存公共交通との整合性を図りながら、公共交通に限らない移動手段を含めた検討を行う。		
成果・実績	駅やバス停留所から距離のある地域において、高齢者の買い物支援のための必要最小限の移動手段を確保するために、槇島町紫ヶ丘地域において、地域、病院との協働の取組を進め、令和5年1月20日から宇治徳洲会病院が運行する送迎車両を活用した実証運行を開始し、令和5年8月1日から本格運行を開始した。		
事業評価	長寿生きがい課と連携し、槇島町紫ヶ丘地域で病院送迎車両を活用した実証運行及び本格運行を実施し、高齢者の買い物支援に限定した移動手段の確保に努めた。今後、他の地域においても地域と協働した新たな取組を検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課			
		決算額	160,370 千円			
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に16か所の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学などで利用される自転車等を収容する。					
成果・実績	自転車等駐車場利用台数 (台)					
	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	自転車	一時利用	73,527	80,945	101,599	103,685
		定期利用	9,850	10,246	10,395	10,272
	原動機付自転車等	一時利用	18,293	21,396	25,962	26,839
定期利用		2,191	2,083	2,011	2,004	
事業評価	施設の適切な管理運営により、市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止に努め、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があり、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の利便性の向上や施設規模の適正化を図る必要がある。					

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課			
		決算額	3,200 千円			
事業内容	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。					
成果・実績	118台の自転車を撤去し、40台を所有者に返還した。他の自転車はリサイクル自転車として活用するため福祉施設に無償譲渡したほか、有価物として売却を行った。					
	放置自転車撤去台数等 (台)					
	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	撤去台数		98	110	151	118
	返還台数		30	36	68	40
売却処理台数		49	70	47	51	
事業評価	自転車放置防止対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施し、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車数は減少しており、引き続き事業の効率化を図りつつ、放置防止対策に努める必要がある。					

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課															
		決算額	6,267 千円															
事業内容	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車を設置し、管理・運営を行う。																	
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等に利用されている。</p> <p>自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td>21,806</td> <td>22,630</td> <td>24,620</td> <td>25,480</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td>101,701</td> <td>137,042</td> <td>173,607</td> <td>169,652</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	JR宇治駅前	21,806	22,630	24,620	25,480	近鉄大久保駅前	101,701	137,042	173,607	169,652
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度														
JR宇治駅前	21,806	22,630	24,620	25,480														
近鉄大久保駅前	101,701	137,042	173,607	169,652														
事業評価	指定管理者によって適切な管理運営ができた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。																	

事務事業名	自転車等駐車場再整備事業費	所管課	交通政策課
		決算額	256,840 千円
事業内容	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」及び「宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、駅毎の稼働率や施設老朽化の状況などに応じた自転車等駐車場の再整備を実施する。		
成果・実績	<p>JR六地蔵駅前自転車等駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等駐車場再整備のための用地購入及び詳細設計を実施 ・ 長寿命化改修のための詳細設計を実施 <p>JR新田駅前自転車等駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化改修のための詳細設計を実施 <p>近鉄小倉駅西第1自転車等駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築及び移転を実施 		
事業評価	「宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、JR六地蔵駅前及びJR新田駅前自転車等駐車場において長寿命化改修の詳細設計を実施するとともに、近鉄小倉駅西第1自転車等駐車場においては新築・移転を実施することで、自転車等駐車場の利便性向上及び規模適正化を進めることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	285,865 千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業については、京都府・宇治市を含む沿線市町・JR西日本で締結された「基本協定書」「実施等に関する協定書」及びこれらの変更協定書に基づき、補助金をJR西日本に支出し、事業の推進を図っている。		
成果・実績	<p>令和元年度末に「変更基本協定書」及び「実施等に関する変更協定書」が締結され、労務賃金の上昇、環境対策の追加等による総事業費の増加、開業後の環境アセスメント対応などにより、令和6年度まで1年間の工事期間延長を行っている。</p> <p>令和5年3月18日にJR奈良線の高速化・複線化第二期事業を開業、令和5年度においては環境影響評価法に基づく手続きや残工事等が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複線化区間 <li style="padding-left: 20px;">JR藤森～宇治間、新田～城陽間、山城多賀～玉水間 		
事業評価	第二期複線化開業後の環境影響評価法に基づく調査や残工事等が行われた。引き続き、事業完了に向け適切な補助を実施する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	緊急安全対策関連事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	16,607 千円
事業内容	安全対策に向けて、幼稚園・小学校に地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児・児童の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 15,752千円 25校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視を行った。</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 855千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	各校園において安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策に対して適切に補助を行うなど、安全確保に努めた。適切な安全対策の構築を行うため、今後も検討を行うとともに、他の地域安全活動との連携も図りながら、安心して学べる環境づくりに努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校管理課												
		決算額	113,411 千円												
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。														
成果・実績	<p>園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">結核予防対策費</td> <td style="text-align: right;">29千円</td> </tr> <tr> <td>小学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">69,235千円</td> </tr> <tr> <td>小学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">5,273千円</td> </tr> <tr> <td>中学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">32,594千円</td> </tr> <tr> <td>中学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">2,711千円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園保健管理費</td> <td style="text-align: right;">3,569千円</td> </tr> </table>			結核予防対策費	29千円	小学校保健管理費	69,235千円	小学校心臓検診充実費	5,273千円	中学校保健管理費	32,594千円	中学校心臓検診充実費	2,711千円	幼稚園保健管理費	3,569千円
結核予防対策費	29千円														
小学校保健管理費	69,235千円														
小学校心臓検診充実費	5,273千円														
中学校保健管理費	32,594千円														
中学校心臓検診充実費	2,711千円														
幼稚園保健管理費	3,569千円														
事業評価	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。														

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校管理課・学校教育課						
		決算額	18,896 千円						
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。								
成果・実績	<p>笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童等の送迎を含む）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">71千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">492千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">18,333千円</td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費	71千円	笠取地区通学バス等維持管理費	492千円	笠取地区通学バス等運行委託料	18,333千円
特認入学パンフレット印刷費	71千円								
笠取地区通学バス等維持管理費	492千円								
笠取地区通学バス等運行委託料	18,333千円								
事業評価	スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要なとなっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する必要がある。								



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校管理課									
		決算額	846 千円									
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。											
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業実施児童数</td> <td style="width: 30%;">3,417人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td>約39.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td>29回</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			事業実施児童数	3,417人		事業実施率	約39.9%		平均実施回数	29回	
事業実施児童数	3,417人											
事業実施率	約39.9%											
平均実施回数	29回											
事業評価	乳児から永久歯に生え変わる時期に、フッ素化合物による洗口を実施することで、児童の健全な発育を図るとともに、児童の健康に対する自己管理を推進した。京都府の動向を注視しつつ、効果的な実施手法について引き続き検討する必要がある。											

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校管理課									
		決算額	256,509 千円									
事業内容	小学校給食運営の中で、宇治市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の環境整備を行う。											
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">調理業務委託料</td> <td style="width: 20%;">14校委託</td> <td style="width: 30%;">222,011千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員（学校栄養士）配置</td> <td>10校</td> <td>29,933千円</td> </tr> <tr> <td>給食用食器・トレイ購入費（更新）など</td> <td></td> <td>4,565千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託	222,011千円	非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	29,933千円	給食用食器・トレイ購入費（更新）など		4,565千円
調理業務委託料	14校委託	222,011千円										
非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	29,933千円										
給食用食器・トレイ購入費（更新）など		4,565千円										
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、食器の更新等、学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進した。今後も円滑な業務遂行に努める。											

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	6,564 千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	利用実績 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td>2.2%</td> <td>西宇治中学校</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td>0.5%</td> <td>広野中学校</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td>0.8%</td> <td>東宇治中学校</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td>0.6%</td> <td>木幡中学校</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>槇島中学校</td> <td>1.1%</td> <td>黄檗中学校</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	2.2%	西宇治中学校	0.4%	西小倉中学校	0.5%	広野中学校	0.4%	宇治中学校	0.8%	東宇治中学校	0.2%	北宇治中学校	0.6%	木幡中学校	0.3%	槇島中学校	1.1%	黄檗中学校	1.0%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	2.2%	西宇治中学校	0.4%																								
西小倉中学校	0.5%	広野中学校	0.4%																								
宇治中学校	0.8%	東宇治中学校	0.2%																								
北宇治中学校	0.6%	木幡中学校	0.3%																								
槇島中学校	1.1%	黄檗中学校	1.0%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。中学校給食の実施までの間、より効率的な事業実施方法を引き続き検討する必要がある。																										

事務事業名	給食配膳室整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	42,738 千円
事業内容	心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた完全給食を中学校で実施するため、各校における給食配膳室を整備する。		
成果・実績	中学校給食を給食センター方式で実施するにあたり、各校に必要となる給食配膳室の設置について、設計業務を進める。 給食配膳室設置業務委託料等 42,738千円		
事業評価	令和8年4月からの中学校給食開始に向けて、各校に必要となる給食配膳室の設計を完了し、配膳室工事の準備を整えることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	給食センター整備事業費	所管課	学校管理課								
		決算額	42,768 千円								
事業内容	中学校給食の実施に向け、給食センターの用地確保に向けた調整をはじめ、設計・施工の一括発注であるデザインビルド方式による整備を進める。										
成果・実績	<p>中学校給食検討委員会の意見を踏まえ策定した「宇治市中学校給食基本構想」に基づき、給食センターの建設候補地となる用地の確保に向けて関係機関（法務省・財務省）との協議、調整を行った。</p> <p>また、デザインビルド方式による給食センター整備事業の発注、業者選定を行い、給食センター整備事業に着手した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">給食センター整備支援業務委託料</td> <td style="text-align: right;">21,835千円</td> </tr> <tr> <td>DB事業設計委託料（前払分）</td> <td style="text-align: right;">20,000千円</td> </tr> <tr> <td>不動産鑑定手数料</td> <td style="text-align: right;">725千円</td> </tr> <tr> <td>学校給食センター検討委員会委員報償費等</td> <td style="text-align: right;">208千円</td> </tr> </table>			給食センター整備支援業務委託料	21,835千円	DB事業設計委託料（前払分）	20,000千円	不動産鑑定手数料	725千円	学校給食センター検討委員会委員報償費等	208千円
給食センター整備支援業務委託料	21,835千円										
DB事業設計委託料（前払分）	20,000千円										
不動産鑑定手数料	725千円										
学校給食センター検討委員会委員報償費等	208千円										
事業評価	建設候補地について2月末に処分等相手方としての決定を受け、工事着手までに用地取得の目途を立てることができた。あわせて、給食センター整備事業について、設計に着手し、令和8年4月の給食提供開始に向けて事業を進捗することができた。										

事務事業名	学校給食費高騰対策事業費	所管課	学校管理課				
		決算額	30,957 千円				
事業内容	原油価格や食料品の価格が上昇している中でも、保護者の給食費負担額を変えずに、これまで通りの学校給食が実施できるよう宇治市学校給食会に対して給食費の補助を行う。						
成果・実績	<p>宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">補助対象期間</td> <td>令和5年4月12日～令和6年3月18日</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td style="text-align: right;">30,957千円（給食1食あたり20円）</td> </tr> </table>			補助対象期間	令和5年4月12日～令和6年3月18日	補助金額	30,957千円（給食1食あたり20円）
補助対象期間	令和5年4月12日～令和6年3月18日						
補助金額	30,957千円（給食1食あたり20円）						
事業評価	本補助金を適用することで、食料品等の価格が上昇している中でも、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施することができた。令和6年度も、引き続き、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施できるように学校給食会に対して給食費の補助を行う。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校、幼稚園維持整備事業	所管課	学校管理課
		決算額	607,191 千円
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、体育館非構造部材の耐震改修及びプール施設の改築など大規模改造事業を実施する。		
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。		
	事業名	主な内容	事業費(千円)
	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	74,926
	小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	21,455
	小学校大規模改造事業費	大開小学校、平盛小学校、菟道小学校、三室戸小学校、伊勢田小学校、大久保小学校、笠取小学校、笠取第二小学校体育館 非構造部材耐震改修工事他	329,665
		小倉小学校プール施設改築工事	135,196
	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	34,119
	中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	9,562
	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	2,268
事業評価	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童・生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。		

事務事業名	学校照明LED化事業費	所管課	学校管理課
		決算額	81,491 千円
事業内容	児童・生徒の学習環境の維持向上及び学校施設の脱炭素化を進めるため、照明のLED化を実施する。		
成果・実績	小学校・中学校の照明設備について、LED照明器具への更新を実施		
	小学校	事業費(千円)	中学校
	菟道小学校	44,280	宇治中学校
	神明小学校		広野中学校
	榎島小学校		南宇治中学校
	北榎島小学校		37,211
岡屋小学校			
事業評価	照明器具のLED化により学校環境の向上を実現できた。今後も引き続き、電力使用量の実績を確認しながら、温室効果ガス排出量削減効果の検証を行う。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	学校長寿命化事業費	所管課	学校管理課
		決算額	307,304 千円
事業内容	児童・生徒の安全を確保し、円滑な学習を進めるため、「学校施設長寿命化計画」に基づく長寿命化改修を進める。		
成果・実績	西宇治中学校及び東宇治中学校の改修工事等を実施		
	実施内容	実施校	事業費(千円)
	長寿命化改修設計	東宇治中学校	13,640
		菟道小学校	2,970
	長寿命化改修工事	西宇治中学校 その1	56,661
東宇治中学校 その1		234,033	
事業評価	長寿命化改修工事として屋上防水及び外壁改修などの工事を行いより長期的に施設の機能を維持できるようになった。また、内装のリニューアル工事を行い、改修実施校の教育環境を向上させた。		

事務事業名	感染防止用資材等整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	19,259 千円
事業内容	小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策として、教室等において効果的に換気を実施することができるよう換気対策にかかる備品等の整備を行う。		
成果・実績	CO2モニター、サーキュレーター、空気清浄機などの消耗品及び備品の購入費用等 10,035千円		
	網戸設置等にかかる委託費用 9,224千円		
事業評価	国の補助金を活用し、各学校に予算配分を行う中で、学校長の意見を聞きながら物品購入等を行い、児童生徒及び教職員の感染症対策を実施した。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課										
		決算額	2,125 千円										
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、地域住民が学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。												
成果・実績	<p>利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">視聴覚室</td> <td style="width: 20%;">音楽室</td> <td style="width: 20%;">美術室</td> <td style="width: 20%;">調理室</td> <td style="width: 20%;">図書室</td> </tr> <tr> <td>62件</td> <td>183件</td> <td>49件</td> <td>0件</td> <td>342人</td> </tr> </table> <p>西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス及び楽器の演奏など、日頃の活動の成果を発表する場であり、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、3年ぶりに開催し、利用団体や在校生、地域住民の交流の機会となった。</p>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	62件	183件	49件	0件	342人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室									
62件	183件	49件	0件	342人									
事業評価	地域住民のニーズに応じて特別教室を開放し、地域の生涯学習活動の場を提供した。新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ前と同程度まで利用件数が回復した。今後も運営委員会との連携を図る中で、より効果的な事業実施ができるよう検討する。												

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課												
		決算額	64 千円												
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。														
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら教室及び講座を開催し、延べ134人の参加があった。</p> <p>各障害者教室開催状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 30%;">対象者</th> <th style="width: 30%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級</td> <td>心身障害者</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>合同社会見学</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>合同講座（一般含む）</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	やまぶき学級	心身障害者	74	合同社会見学	市内在住・在勤	27	合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	33
内容	対象者	人数													
やまぶき学級	心身障害者	74													
合同社会見学	市内在住・在勤	27													
合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	33													
事業評価	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、全ての事業を再開することができた。障害がある人・ない人が共に学び、共生社会の形成に向けて市民の共通理解が進むよう、今後も障害者団体及びボランティアと連携しながら効果的な事業運営に努める。														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	1,432 千円	
事業内容	公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など学習機会を提供する。			
成果・実績	決算額内訳 中央公民館 497千円 宇治公民館 15千円 木幡公民館 308千円 小倉公民館 334千円 広野公民館 278千円			
	子どもを対象とした事業、公民館まつりなど			
	公民館名	事業名	回数	参加延べ人数
	中央	子どもの遊び場	12回	222人
		夏休み親子木工教室	3回	38人
		人形劇フェスティバル	1回	150人
		成人講座（フラダンス入門）	3回	29人
		宇治の形・学びの広場	1回	67人
		春を呼ぶサタデーコンサート	1回	126人
		中央公民館まつり（2日間）	1回	600人
	宇治	トマトケチャップづくり講習会	1回	8人
		味噌づくり講習会	2回	30人
	木幡	こはた大発見	1回	30人
		親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4回	53人
		チャレンジ・やってみよう	4回	78人
		夏休みはなまる工作教室	1回	12人
		楽しい小学生科学実験教室	1回	15人
		手づくりみそづくり	2回	20人
		木幡公民館まつり（3日間）	1回	260人
	小倉	おぐらクッキングクラブ	5回	90人
子ども教室（親子農業体験）		3回	160人	
夏休み子どもふれあい広場		1回	10人	
お茶を使ったスイーツづくり		2回	16人	
子ども教室（書き初め教室）		1回	40人	
手づくり味噌講習会		3回	30人	
小倉公民館まつり（2日間）		1回	367人	
広野	子ども茶道教室	8回	84人	
	科学の教室	3回	28人	
	サークル活動展（水彩画・水墨画）	1回	141人	
	夏休み親子木工教室	1回	14人	
	音楽の広場	1回	55人	
	手づくり味噌講習会	2回	20人	
	広野公民館まつり（1日間）	1回	600人	

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	1,432 千円	
成果・実績	高齢者を対象とした事業（公民館高齢者教室）			
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数
	中央	宇治鳳凰学級	6回	371人
	木幡	木幡許乃国教室	6回	377人
	小倉	小倉蓮の実教室	6回	461人
	広野	広野久里古教室	6回	410人
事業評価	高齢者教室において、講師がオンラインで講義し高齢者が公民館で受講する講座を初めて実施した。今後も社会環境の変化に応じて、高齢者の外出及び学習の機会となる講座や子どもへの体験活動の提供、各館の立地を生かした事業などを行い、市民の学びの場の確保に取り組む。			

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課			
		決算額	121,418 千円			
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。					
成果・実績	野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から令和5年度までの延べ利用者数は約212万人となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施した休所・利用制限の影響で、大幅に減少していた利用者数については、コロナ禍以前の状況に戻りつつある。					
	利用者数	（人）				
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	宿泊	30,787	8,401	11,516	24,655	30,450
	日帰り	66,178	53,732	34,385	53,194	59,641
	合計	96,965	62,133	45,901	77,849	90,091
事業評価	指定管理者により、適切に管理運営を実施した。コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復傾向にある中で、近年高まっている野外活動のニーズに応えられるよう指定管理者との連携を深めながら事業実施に努める。また、教育施設として利用者自身が学び考える力を育む活動や笠取地域の地域振興につながる事業に取り組む。					

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課				
		決算額	45,109 千円				
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕を計画的に実施する。						
成果・実績	<p>老朽化が進んでいた管理棟や周辺施設の放送設備を更新した。併せて管理棟厨房の給排気ファンの更新に係る改修設計を実施した。</p> <p>施設改修費</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">管理棟厨房用給排気ファン改修設計</td> <td style="text-align: right;">2,338千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">管理棟ほか放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">42,771千円</td> </tr> </table>			管理棟厨房用給排気ファン改修設計	2,338千円	管理棟ほか放送設備改修工事	42,771千円
管理棟厨房用給排気ファン改修設計	2,338千円						
管理棟ほか放送設備改修工事	42,771千円						
事業評価	緊急時の放送等を確実にを行うため、老朽化が進んでいた放送設備を更新した。引き続き、安全・安心な施設利用を継続できるよう修繕計画を立て、計画的な改修等に着実に取り組む。						

事務事業名	総合野外活動センター府内産木材備品等整備事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	2,310 千円
事業内容	令和4年度に総合野外活動センター管理棟内に設置した子ども読書コーナー「えほんの森」等に木材備品等を配置し、環境の充実及び利用者へのサービス向上を図る。		
成果・実績	<p>京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用して、子ども読書コーナー「えほんの森」に京都府内産の木材を使用したキッズハウスや絵本棚、子どもベンチなどを配置した。</p> <p>あわせて、子どもたちが室内でも楽しめるドミノや積み木、幼児用滑り台などの室内用木製遊具を整備した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
事業評価	備品整備により、「えほんの森」及び室内遊具の充実を図ることができた。引き続き子どもの読書環境の充実に努めるとともに、室内遊具を有効に活用し、利用者へのサービス向上に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
教育部

事務事業名	幼稚園預かり保育事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,997 千円
事業内容	市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後に、在籍園児のうち希望する者を対象に預かり保育を行う。 平成30年度より神明幼稚園、木幡幼稚園の2園、令和3年度より東宇治幼稚園を含め、市立幼稚園全3園で実施している。		
成果・実績	<p>市立幼稚園3園において、園の開園日に預かり保育を試行実施した。</p> <p>実施時間：月・火・木・金 14:00～17:00 水 11:45～17:00</p> <p>利用料：1時間200円（上限1,000円/日）</p> <p>利用人数（延べ）：神明幼稚園 377人 東宇治幼稚園 1,830人 木幡幼稚園 415人</p>		
事業評価	開園日において保育の必要性がある園児に対する預かり保育を試行実施した。引き続き利用状況や手法などを確認する中で、新たな幼稚園（ひがしうじ幼稚園）での預かり保育事業の内容等について検討する必要がある。		

事務事業名	私立幼稚園物価高騰対策事業費	所管課	学校教育課
		決算額	11,830 千円
事業内容	物価高騰の影響に関わらず、安全・安心で質の高い教育サービスを継続して提供できるよう電力・ガス・食料品など価格高騰重点支援地方交付金を活用し、私立幼稚園に支援金を交付する。		
成果・実績	物価高騰相当額として、7月1日現在の在籍園児数×1万円の支援金を申請のあった市内の私立幼稚園全9園に対して交付した。		
事業評価	各幼稚園への支援金の交付を適正に執行し、幼稚園における教育サービスの継続提供に役立てることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課
		決算額	105,283 千円
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。		
成果・実績	小学校就学援助費	70,954千円	
	中学校就学援助費	34,329千円	
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会の確保を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課
		決算額	8,714 千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	小学校20校45学級、中学校10校24学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
	小学校特別支援教育費	4,324千円	
	うち扶助費	3,429千円	
	うち備品等	895千円	
成果・実績	中学校特別支援教育費	2,382千円	
	うち扶助費	1,995千円	
	うち備品等	387千円	
成果・実績	小学校特別支援学級開設費	1,141千円	
	中学校特別支援学級開設費	867千円	
事業評価	就学奨励費の支給を適正に執行し、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会の確保を図った。また、特別支援教育にかかる物品の購入により教育環境の充実を図った。引き続き、すべての子どもが均等に義務教育を受けられるよう、適正な事業実施に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
教育部

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	学校教育課
		決算額	433,716 千円
事業内容	<p>令和元年10月から開始された幼児教育保育の無償化により、宇治市に居住する満3～5歳の幼稚園就園児の保育料が無償化（上限25,700円/月）され、就園する私立幼稚園等に保育料分として給付し、保育の必要性があると宇治市から認定を受けた保護者に対して、公立及び私立幼稚園の預かり保育料を給付する（3歳児以上：上限11,300円/月、市民税非課税世帯の満3歳児：上限16,300円/月）。また、年収約360万円未満相当世帯や小学生3年生以下の第3子以降の子どもの副食材料費を補助する。</p>		
成果・実績	<p>子育て支援施設等利用給付費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料・入園費分 413,681千円 ・ 預かり保育事業利用料 13,056千円 ・ 副食材料費補助 6,979千円 		
事業評価	<p>幼児教育保育の無償化にかかる事務を適正に執行した。引き続き、保育を必要とする保護者に対して預かり保育事業の利用料の給付、低所得世帯や多子世帯に対して副食材料費の補助を適正に行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	6,331 千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	<p>小学校「総合的な学習の時間」推進費 3,386千円 主な学習内容 ・キャリア教育</p> <p>中学校「総合的な学習の時間」推進費 2,945千円 主な学習内容 ・キャリア教育 ・国際(異文化)理解</p>		
事業評価	社会人講師等の外部人材の活用により、従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、自主的・実践的な態度を育成する教育振興を図った。今後も、探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、総合的な学習を推進する。		

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	29,244 千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	<p>図書館教育充実事業費 29,215千円 令和元年度より各中学校ブロックに学校司書を配置し、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。</p> <p>図書館ボランティア養成事業費 29千円 ・ボランティア登録者数 270人 学校図書館ボランティア養成講座を1回開催（令和5年5月19日）</p>		
事業評価	学校司書の定期巡回によって、児童・生徒・教員の学習ニーズに応じた資料準備・提供をするなど、授業支援を行うことができた。今後も児童・生徒の基礎学力の定着・向上のための取組をより一層推進する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	教育だより発行費	所管課	学校教育課				
		決算額	665 千円				
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、保育所などの保護者及び市民に対して、本市の教育施策及び特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。						
成果・実績	<p>第94・95・96号を発行し、西小倉地域における小中一貫校の整備、小中一貫教育の取組、学力向上の取組、読書活動推進の取組、幼稚園児及び小・中学生の活躍の様子、各幼稚園・小学校・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、宇治市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">発行回数</td> <td style="text-align: center;">3回</td> </tr> <tr> <td>発行部数</td> <td style="text-align: center;">18,000部（1回につき）</td> </tr> </table>			発行回数	3回	発行部数	18,000部（1回につき）
発行回数	3回						
発行部数	18,000部（1回につき）						
事業評価	教育だよりを発行し、保護者等に対し、西小倉地域における小中一貫校の整備、コミュニティ・スクールの取組、小中一貫教育の取組、園児、児童・生徒の活動の様子など、教育行政情報の周知を行った。今後も掲載情報の充実に努める。						

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	学校教育課																				
		決算額	36,814 千円																				
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、英語教員の研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>																						
成果・実績	<p>JETプログラムの英語指導助手を市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。ふれあい教室にも要請に応じて派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">派遣日数</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">人員配置</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">学 校</td> <td style="text-align: center;">日 数</td> <td style="text-align: center;">学 期</td> <td style="text-align: center;">J E T</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小学校</td> <td style="text-align: center;">962日</td> <td style="text-align: center;">1学期（6月～）</td> <td style="text-align: center;">8人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中学校</td> <td style="text-align: center;">630日</td> <td style="text-align: center;">2～3学期</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幼稚園</td> <td style="text-align: center;">62日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			派遣日数		人員配置		学 校	日 数	学 期	J E T	小学校	962日	1学期（6月～）	8人	中学校	630日	2～3学期	10人	幼稚園	62日		
派遣日数		人員配置																					
学 校	日 数	学 期	J E T																				
小学校	962日	1学期（6月～）	8人																				
中学校	630日	2～3学期	10人																				
幼稚園	62日																						
事業評価	小・中学校、幼稚園への派遣を行い、園児、児童・生徒の国際理解とコミュニケーション能力の向上を図った。引き続きAETの効果的な活用を検討し、事業を推進する。																						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,993 千円
事業内容	通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実を図る。		
成果・実績	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>いきいき学級支援員配置校 小学校 15校 中学校 9校 (京都府特別支援教育充実事業対象校を除く小・中学校に配置)</p> <p>通常学級における特別な教育的支援が必要な児童・生徒数及び割合 1,513人(11.9%)</p>		
事業評価	支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。発達障害への対応について学校の役割は大きくなる傾向にあり、引き続き効果的な支援体制について検討する必要がある。		

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	31,944 千円
事業内容	義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。		
成果・実績	<p>全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、令和元年度より全ての中学校に「ラーニングコーディネーター」及び教科連携教員を配置し、系統的・継続的指導を進め、各中学校ブロックでの広報・啓発等を行った。</p> <p>また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。</p> <p>小中一貫教育取組推進教員の配置 31,800千円 小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーターの後補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>宇治市小中一貫教育推進協議会 144千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、年間2回会議を開催、宇治市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。また、中学校ブロックへの視察を4回実施し、意見交換及び協議を行った。</p>		
事業評価	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、特に学力定着・向上に向けた取組を進めることができた。引き続き、小中一貫教育の取組を推進する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	5,778 千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。		
成果・実績	<p>学びを保障する観点から、引き続き中学校において、少人数授業の指導方法の改善を図るとともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	児童・生徒の基礎学力の定着、学習意欲の向上を図るとともに、家庭と連携した取組を進めることにより、学びを止めず希望進路の実現につながる支援を図ることができた。今後も児童・生徒の実態に応じて、学習相談を進めたり、指導方法の工夫改善に向けた手法を検討する。		

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,482 千円
事業内容	宇治市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての市立小学校3年生から中学校3年生の7学年で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、「宇治学」副読本及び指導の手引きを作成し、対象児童・生徒全員と教員に貸与する。また、すべての市立小学校3年生の宇治抹茶体験学習への支援を実施する。		
成果・実績	<p>改訂版の発行から4か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き（小学校6年生）、同じく3か年が経過した同副読本（中学校1年生）を改訂し、指導の手引きを担当教員に貸与した。</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと宇治」の魅力大発信（小学校6年生） ・そして「ふるさと宇治」を守る～私たち中学生としてできること～（中学校1年生） <p>市立小学校22校の全ての3年生の児童が宇治抹茶（お点前）体験を実施できるよう、年に2回抹茶を配付した。</p>		
事業評価	「宇治学」副読本及び指導の手引きを改訂し、児童・生徒及び各担当教員に貸与することにより、新情報・新制度に対応できるよう内容の充実を図った。今後も各校での「宇治学」の探究的学習がさらに充実したものとなるよう支援・広報に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課
		決算額	838 千円
事業内容	宇治市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小・中学校に還元する。		
成果・実績	4部会で教育研究を実施した。また、成果を教職員研修講座の開催、実践発表及び研究冊子などの配布により報告する等、周知を図った。		
	教育研究員部会と研究内容		
	部会名	部員数	主な研究内容
	学力向上研究部	7	家庭学習を生かした授業改善 学習用タブレット端末を活用した授業改善
	学校図書館研究部	4	学校図書館の3つの機能を生かした読解力の向上
	ICT活用研究部	6	各種ツールの使用技能取得や活用例の紹介
	幼小接続研究部	7	学びに向かう力をはぐくむ保育改善とその力を生かすための授業改善を通じた「架け橋期のカリキュラム」の開発
事業評価	教育研究員が各々創意工夫し、教育実践に基づき研究を行い、宇治市の学校教育における課題解決を図った。研究成果を学校現場にフィードバックするため、報告会等を開催し、宇治市における教育力の向上につなげられるよう取り組んだ。今後も、宇治市の教育課題に対応するべく部会の設定を行い、教育力の向上に努める。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	学校教育課
		決算額	160 千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	職務及び教職経験年数別研修 開催数 4回（実施予定4講座） 受講者数 108人 管理職研修講座、初任者研修講座、人権教育研修講座		
	専門研究研修 開催数 9回（実施予定9講座） 受講者数 331人 学力向上研究研修講座、学校図書館活用研修講座 特別支援教育研修講座、保幼小合同研修講座 ICT活用研修講座 など		
事業評価	社会が変化する中、今後も宇治市が重点とする目標の達成に向け、また、求められる教員の資質能力の向上を図るため、内容の充実に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	188 千円								
事業内容	京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める事業として、京都大学宇治キャンパスによる小学生対象の親子理科教室、中学校科学（理科）部員対象の実験実習、小・中学校への出前講座、施設見学などの取組を進める。										
成果・実績	<p>下記3事業を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業名（実施場所）</th> <th style="width: 40%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）</td> <td>小学校5・6年児童及び保護者</td> </tr> <tr> <td>京都大学出前講座（木幡小学校）</td> <td>5年生</td> </tr> <tr> <td>宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）</td> <td>中学校科学（理科）部員</td> </tr> </tbody> </table>			事業名（実施場所）	対象者	夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年児童及び保護者	京都大学出前講座（木幡小学校）	5年生	宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）	中学校科学（理科）部員
事業名（実施場所）	対象者										
夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年児童及び保護者										
京都大学出前講座（木幡小学校）	5年生										
宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）	中学校科学（理科）部員										
事業評価	京都大学宇治キャンパスとの連携により、児童・生徒の興味や関心、学びへの意欲を高める取組を実施できた。とりわけ夏休み親子理科教室は、保護者、児童に好評であった。今後も同キャンパスとの連携を図り、児童・生徒の学習意欲の向上につながる取組を検討する。										

事務事業名	学びのステップアップ事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,030 千円
事業内容	宇治市における学力の課題を解決するため、小学校2・3年生を対象に学力調査を実施し、子ども一人ひとりの、学校及び家庭での学習を充実させ、学力調査による学力分析データを活用し、低学年から強みと弱みを把握して授業改善に生かし、基礎学力の定着と家庭での学習習慣を確立する。		
成果・実績	<p>言語能力や認識力が高まる低学年に課題を確認し、授業改善を行うなど、有効な手立てを早い段階から継続的に講じることができた。</p> <p>また、調査結果をAIドリルと連携して活用し、学力定着に向け、個に応じた課題に取り組みせることができた。</p> <p>令和5年11月9日 : 教職員向け事前説明会 11月20～27日 : 調査実施 令和6年1月19日 : 各校へ結果データ返却 1月30日 : 児童・保護者へ個人票返却 2月16日 : 教職員向け事後説明会</p>		
事業評価	低学年段階で実施することで、早期に児童の学習でのつまづきを見出し、児童、保護者、学校が把握することとなり、早期に学力向上への対策を行うことができた。日常の学習記録データと併せて分析を行い、個別の指導及び授業改善を行うとともに、個別最適な学習課題に取り組むことで、確かな学力をはぐくむことができるよう努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	「宇治学」デジタル化事業費	所管課	学校教育課
		決算額	948 千円
事業内容	本市小中一貫教育の特色ある教育活動である「宇治学」（総合的な学習の時間）で、市独自に作成している副読本を、令和5年度更新に併せてデジタル教材化してタブレット端末で活用し、より分かりやすくかつ、充実したICT教育の推進を図る。		
成果・実績	小学校6年生及び中学校1年生(7年生)用副読本を改訂にあわせてデジタル教材化し、令和6年度よりタブレット端末で活用できるようにした。 今後3年間で、改訂にあわせて全学年デジタル教材化予定。		
事業評価	児童生徒の宇治学での探究的な学びをより深めるため、令和6年度において小学校6年と中学校1年で宇治学副読本のデジタル教材を使用できるよう、準備を進めることができた。今後も更新にあわせてデジタル教材化を行い、「宇治学」（総合的な学習の時間）の充実につなげる。		

事務事業名	安心子育て支援事業費	所管課	学校教育課
		決算額	3,847 千円
事業内容	医療的ケア児に対する保育及び教育の拡充に係る施策を実施することにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、就学前施設との連携により、切れ目のない支援を行うことによりその家族を支援し、安心して子育てできる環境をつくる。		
成果・実績	該当校への学校看護師配置（4月） 10月宿泊学習への看護師対応のため民間派遣業者を活用 医療的ケア検討会議開催 ・第1回（令和5年11月開催） 令和6年度医療的ケア児の受け入れについて検討 （医療的ケア実施の可否、認定基準に基づく区分認定等について） ・第2回（令和6年1月開催） 令和6年度学校看護師配置等について検討 京都府主催の医療的ケア児支援者養成研修への参加（令和6年1月開催）		
事業評価	4名の学校看護師を配置し、医療的ケア児への必要な医療行為を行うことにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに保護者が安心して子育てや就労が行える環境を確保できた。今後も児童が安心して教育を受けることができるよう事業を進める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	アイススケートチャレンジ事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,518 千円
事業内容	「木下アカデミー京都アイスアリーナ」と連携して、府内唯一の通年型スケート場を活用し、市立小学校在籍児童への多様な運動経験の機会として、アイススケート体験・見学会等を実施し、生涯スポーツにつながる運動習慣の定着を図る。		
成果・実績	<p>市立小学校第4学年に在籍する全児童を対象とし、約2時間のアイススケート体験を実施</p> <p>スケート体験にあわせて事前の出前授業及びトップ選手の練習見学会を実施</p> <p>学校～施設間のバス代、施設利用料（滑走料）、出前授業等に係る講師派遣手数料を全額補助</p>		
事業評価	体験実施後にも保護者とともにスケート場を訪れるケースがあり、体験を通して、アイススケートに興味・関心を持ち、アイススケートに親しむことで、生涯スポーツにつながる機会とすることができた。今後も、適切にスケート体験事業を進め、児童の多様な運動経験の創出に努める。		

事務事業名	多様な学びの場創造事業費	所管課	学校教育課
		決算額	8,456 千円
事業内容	インクルーシブ教育システムの構築を目指し、障害のある子ども一人ひとりに適切な支援及び学びの場を保障するため、多様な教育的ニーズに対応できる支援体制づくりを行うとともに、教員の専門性を高め、支援の充実を図る。		
成果・実績	<p>モデル校に元教員で特別支援教育について専門性の高いインクルーシブサポーターを配置し、まずは特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援及び指導、支援体制の構築などについて研究を進めた。</p> <p>研究員、インクルーシブサポーター及びモデル校の管理職を対象にインクルーシブ教育における先進校へ視察を2回実施した。</p> <p>視察先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立大空小学校 ・厚木市立毛利台小学校 <p>研究内容の検討や進捗状況などを確認するため、研究協議会、プロジェクト会議及びインクルーシブサポーター会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブサポーター会議（月1回開催） ・宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会（令和5年6月開催） ・プロジェクト会議（令和6年3月開催） 		
事業評価	インクルーシブ教育は、通常の学級も含めた学校全体で行うものだという教員の意識改革を研修等を通して行い、授業のUD化等の授業改善に取り組んだ。多角的な視点から児童生徒の実態把握を行い、よりよい支援方法及び支援の場の検討を行うとともに特別支援学級での授業形態を見直し、小集団での一斉授業を充実させることで、互いを知り認め合う関係づくりを進めることができた。今後も多様な児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	部活動指導員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	6,641 千円
事業内容	国ガイドラインの策定等を踏まえ、子ども達が様々なスポーツ及び文化に触れることができる充実した部活動環境の構築を目指すため、学校の働き方改革の一環として、休日部活動の持続に向けた部活動指導員を配置する。		
成果・実績	<p>部活動指導員の任用状況 休日の部活動において、各校1～4部指定し、令和5年6月から順次指導員を配置</p> <p>運動部活動 ・10校すべてで実施 ・設置部活動数 21部活動（競技種目は様々） ・部活動指導員 22人（1部活動に2人配置あり）</p> <p>文化部活動（吹奏楽部） ・5校で実施 ・部活動指導員 5人</p> <p>部活動指導員の活動時間 ・運動部活動 2,897時間 ・文化部活動（吹奏楽部） 519時間</p>		
事業評価	生徒は活動機会が確保されることに加え、部活動指導員による専門的な指導を受けることにより、専門的な技術を身に付けることができた。部活動指導員が教員の代わりとなって指導を行うことで、教員の時間外勤務の削減につながった。今後も、充実した部活動環境の構築に向けて取り組む。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課								
		決算額	63,283 千円								
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図るとともに、学校図書館図書を充実させて、教育環境の充実を図る。										
成果・実績	<p>小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品、学校図書などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">31,651千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">16,164千円</td> </tr> <tr> <td>小学校図書館図書充実費</td> <td style="text-align: right;">7,778千円</td> </tr> <tr> <td>中学校図書館図書充実費</td> <td style="text-align: right;">7,690千円</td> </tr> </table>			小学校教材充実費	31,651千円	中学校教材充実費	16,164千円	小学校図書館図書充実費	7,778千円	中学校図書館図書充実費	7,690千円
小学校教材充実費	31,651千円										
中学校教材充実費	16,164千円										
小学校図書館図書充実費	7,778千円										
中学校図書館図書充実費	7,690千円										
事業評価	教材を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。また、学校図書標準達成校の増加など、図書館環境整備を進めることができた。ICT教育にかかる教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。										

事務事業名	小・中学校ICT教育充実事業費	所管課	学校教育課												
		決算額	177,321 千円												
事業内容	小・中学校のICT環境を整備し教育環境の充実を図るとともに、効果的に活用することにより学習活動の充実や学習意欲の向上を目指す。														
成果・実績	<p>教室に設置している大型提示装置を更新し、無線で一人一台端末の画面を転送して提示できるよう機能向上を図り、ICT利活用推進のための環境整備を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">小・中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借</td> <td style="text-align: right;">3,254千円</td> </tr> <tr> <td>小・中学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借</td> <td style="text-align: right;">11,950千円</td> </tr> <tr> <td>通信料等</td> <td style="text-align: right;">5,722千円</td> </tr> <tr> <td>ネットワーク保守委託料等</td> <td style="text-align: right;">3,894千円</td> </tr> <tr> <td>フィルタリングソフト等ライセンス料</td> <td style="text-align: right;">31,843千円</td> </tr> <tr> <td>大型提示装置更新</td> <td style="text-align: right;">120,658千円</td> </tr> </table>			小・中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借	3,254千円	小・中学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借	11,950千円	通信料等	5,722千円	ネットワーク保守委託料等	3,894千円	フィルタリングソフト等ライセンス料	31,843千円	大型提示装置更新	120,658千円
小・中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借	3,254千円														
小・中学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借	11,950千円														
通信料等	5,722千円														
ネットワーク保守委託料等	3,894千円														
フィルタリングソフト等ライセンス料	31,843千円														
大型提示装置更新	120,658千円														
事業評価	大型提示装置の更新及び機能向上を図り、ICT利活用推進のための環境整備を実施した。今後も各校の活用状況や国の動向も注視しながら、引き続き環境整備に努めるとともに、ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けて取り組む。														



令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	ICT授業アドバイザー設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,008 千円
事業内容	ICT利活用に専門的知識及び先進事例を有するICT授業アドバイザーを配置し、授業で効果的にICTを活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、子ども主体の学びを実現する。		
成果・実績	ICT授業アドバイザーが各学校を訪問し、授業でのICTの使いどころの提案及び教科書に合わせた活用事例の紹介を行うことで、ICTを使いやすい環境づくりを実施した。毎月、市教委や各学校のICT担当教員との担当者会議にも出席し、活用事例の紹介及び課題の共有を行い、市内全体のICT活用を底上げしている。 1校あたり 月2回訪問		
事業評価	ICT授業アドバイザーの授業支援により、授業及び家庭学習の様々な場面で日常的なICT活用が進んでいるが、学校間、教員間の活用状況に差が生じている。引き続き、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、ICTを効果的に活用し、授業改善に取り組むとともに、ICT授業アドバイザーの活用及び研修の充実など教員の活用支援に取り組む。		

事務事業名	小・中学校教員用教科書・指導書	所管課	学校教育課
		決算額	3,047 千円
事業内容	小・中学校で使用する教員用の紙媒体の教科書・指導書を整備する。		
成果・実績	教員用の紙媒体の教科書・指導書を学級数及び担当教員数に応じて購入した。 小学校 1,602千円 中学校 1,445千円		
事業評価	教員用の教科書・指導書を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	10,462 千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>校長OBである学校教育指導主事による市立小・中学校への相談対応などの日常的な支援を行うとともに、学校だけでは解決が困難な事象や、解決にあたり時間を要する問題について、社会福祉士、臨床心理士、弁護士、精神科医、警察官、児童相談所員といった専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を行った。</p> <p>さらに、顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った。</p> <p>支援チーム会議開催数 8回</p>		
事業評価	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。今後も効果的な学校支援に努める。		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課								
		決算額	1,366 千円								
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備などを行う。</p> <p>また、「いじめ防止啓発月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。</p>										
成果・実績	<p>児童・生徒の問題行動に対して適切な指導を行うために、生徒指導主任会議を開催して事例交流等を行い、学校の組織としての対応力の向上を図った。</p> <p>11月の「いじめ防止啓発月間」に啓発活動として、市政だよりへの掲載等の広報活動を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">問題行動</td> <td style="width: 20%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 20%;">小学校</td> <td style="width: 40%;">206人（前年比 37人減）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>352人（前年比 76人増）</td> </tr> </table>			問題行動	延べ指導人数	小学校	206人（前年比 37人減）			中学校	352人（前年比 76人増）
問題行動	延べ指導人数	小学校	206人（前年比 37人減）								
		中学校	352人（前年比 76人増）								
事業評価	生徒指導の事例研究や研修により児童・生徒の問題行動に対する個々の対応力の向上が図れるとともに、校内での指導体制の整備を図ることにより、問題行動に対する適切な指導が行えた。今後とも、個人、組織の対応力を高めるための取組が重要である。										

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	不登校児童生徒自立支援教室運営費	所管課	教育支援課																	
		決算額	4,751 千円																	
事業内容	不登校の児童・生徒に対して、社会的自立ができるように教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。また、家庭に引きこもった状態やその傾向があり、友人などとの接触が困難である児童・生徒には個別支援を行う。																			
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて不登校児童生徒自立支援教室(Ujiふれあい教室)で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">在籍数</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">28人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>・学校復帰</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・部分登校</td> <td style="text-align: right;">12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・好転</td> <td style="text-align: right;">10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・変化なし</td> <td style="text-align: right;">1人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍数		28人		改善状況	・学校復帰	5人		・部分登校	12人		・好転	10人		・変化なし	1人	
在籍数		28人																		
改善状況	・学校復帰	5人																		
	・部分登校	12人																		
	・好転	10人																		
	・変化なし	1人																		
事業評価	不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童・生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を図った。今後も学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な教室運営に努める。																			

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課				
		決算額	1,269 千円				
事業内容	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、生徒が身近に感じる大学(院)生、教員志望者などの若い世代、若しくは教職経験者などの相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。						
成果・実績	<p>別室登校及び不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員を「心と学びのパートナー」として、市内5中学校に派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">延べ対応人数</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">929人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>			延べ対応人数		929人	
延べ対応人数		929人					
事業評価	生徒が悩みを気軽に相談できる若い世代等の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める。						

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	不登校児童支援強化費	所管課	教育支援課
		決算額	2,183 千円
事業内容	登校はできるものの、教室に入ることが難しい児童に、学びの場の選択肢を広げるため、小学校5校に不登校児童を支援する不登校児童支援員を配置し、校内におけるもう一つの居場所を確保する。		
成果・実績	<p>小学校の別室へ常駐できる支援員を配置することで安定した別室運営を行うことができた。</p> <p>また、支援員を配置した5校においては、ほとんど登校できなかった児童が別室へ登校できるようになった事例や、別室から所属学級へ入ることができはじめた等の事例があり、不登校児童への支援に資することができた。</p> <p>配置校 北槇島小学校、西小倉小学校、西大久保小学校、岡屋小学校、木幡小学校</p> <p>別室登録児童数 5校計 20人</p>		
事業評価	来室児童への学習補助及び悩みや不安を聞くなど、児童に寄り添った対応を実施した。引き続き、関係職員と連携し、通常学級への復帰をはじめ、不登校の未然防止及び欠席日数の減少を図るなど、来室児童への支援に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働

所管部局
教育部

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,326 千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	POSTコロナ時代の中、これまで中止していた県祭りの街頭補導及び地域懇談会を実施することができた。また、社会環境浄化活動、ブロック補導、年末の一斉補導活動、年始補導出発式も計画通り実施できた。さらに、7月に「青少年の非行被害防止全国強調月間」の啓発パネル展、10月には講師を招いた研修会を開催した。加えて、各校区の少年補導委員ができる範囲でパトロールを実施した。		
事業評価	徐々に事業や取組が再開される中で、各委員ができる範囲でパトロールをはじめとする活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	313 千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを自己の主張として発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第42回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。また、会場では宇治支援学校の取組の紹介及び中学部生徒の作品展示を行った。開催後、市長との懇談会の実施や大会のまとめ冊子を作成し、学校関係者やその他の施設に配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「中学生の主張」大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市長との懇談会</p> </div> </div>		
事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。本年度は入場制限をなくし、文化センター小ホールで開催した。今後も社会状況に応じて開催する。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働

所管部局
教育部

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	1,693 千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	<p>市内の青少年健全育成を目的に組織されている宇治市青少年健全育成協議会の活動に対して支援を行った。今年度は、次世代の地域活動を担う人材を育成するためコロナ禍以前に実施していたジュニアリーダー宿泊研修会、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会をほぼ従来どおり実施できた。また、毎年実施の「宇治市青少年健全育成推進大会」は生涯学習センター第1ホールで集会形式で実施することができた。</p> <p style="text-align: center;">青少年健全育成協議会補助金 1,260千円</p>		
事業評価	当協議会の大きな事業であるジュニアリーダー養成（ふる里）学習会をはじめ、青少年健全育成推進大会などはほぼ従来どおり実施でき、地域の取組は徐々に事業を再開することができた。今後もコミュニティ・スクールを推進していく中で、各種関係団体と連携を深めつつ、青少年の健全育成に向けて各種事業の実施に努める。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																
		決算額	2,071 千円																
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の方の協力を得ることによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																		
成果・実績	<p>遊びと学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%;">取組の名称</td> <td style="width: 25%;">放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ</td> <td style="width: 25%;">笠二っ子クラブ</td> <td style="width: 25%;">まなび（宿題）教室</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>北槇島小学校</td> <td>笠取第二小学校</td> <td>平盛小学校</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td style="text-align: center;">22日</td> <td style="text-align: center;">192日</td> <td style="text-align: center;">156日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">延べ540人</td> <td style="text-align: center;">延べ1,524人</td> <td style="text-align: center;">延べ1,959人</td> </tr> </table>			取組の名称	放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび（宿題）教室	開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校	開催日数	22日	192日	156日	参加人数	延べ540人	延べ1,524人	延べ1,959人
取組の名称	放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび（宿題）教室																
開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校																
開催日数	22日	192日	156日																
参加人数	延べ540人	延べ1,524人	延べ1,959人																
事業評価	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。																		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働

所管部局
教育部

事務事業名	地域学校協働活動推進費	所管課	教育支援課
		決算額	10,971 千円
事業内容	保護者及び幅広い地域住民などが学校運営へ参画する「学校運営協議会」と、社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を一体的に推進するコミュニティ・スクールにより、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を目指す。		
成果・実績	コミュニティ・スクール（学校運営協議会と地域学校協働活動）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部委託料（5万円）の申請数 16校 ・CSコーディネーター連絡会の実施 開催数3回 4月26日 9月19日 令和6年2月8日 ・学校運営協議会委員研修会の実施 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に係る研修会 開催数2回 6月7日：地域対象（72人参加） 6月20日：教職員対象（30人参加） 		
事業評価	宇治市立全小中学校において、コミュニティ・スクールを推進しており、今後も各校との連携・協力・支援の継続が必要である。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	教育支援課
		決算額	1,679 千円
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。		
成果・実績	子どもたちの参加意識は高く、目的をもってのびのびと主体的に活動する場面が多く見られた。また、学校・学年・地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。		
	教室・各種事業 ・実施回数 28回 ・参加者数 1,071人		
	こどもクラブ ・実施回数 126回 ・参加者数 1,511人		
			
	音楽クラブの発表		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業費	所管課	学校改革推進課										
		決算額	1,274,028 千円										
事業内容	小中一貫教育を推進するため、西小倉中学校敷地に宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校を整備する。												
成果・実績	<p>令和8年4月開校予定の(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に向けて、下記の業務を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務</td> <td>206,580千円</td> </tr> <tr> <td>校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事</td> <td>1,013,360千円</td> </tr> <tr> <td>工事車両進入仮橋設置工事</td> <td>21,399千円</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務</td> <td>7,132千円</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事</td> <td>14,100千円</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>東門から見た校舎イメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北門から見た校舎イメージ</p> </div> </div>			校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務	206,580千円	校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事	1,013,360千円	工事車両進入仮橋設置工事	21,399千円	西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務	7,132千円	西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事	14,100千円
校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務	206,580千円												
校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事	1,013,360千円												
工事車両進入仮橋設置工事	21,399千円												
西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務	7,132千円												
西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事	14,100千円												
事業評価	宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校の令和8年4月開校に向けて、(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に係る設計業務を実施した。また令和5年度から各種整備工事を開始しており、生徒の安全確保を第一としながら、着実に進める。												

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,387 千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。令和5年度は、宇治や周辺地域に残る史料から、徳川政権と宇治郷や御茶師との関係を紹介する企画展「徳川幕府と宇治」や江戸時代に刊行された地誌と共に宇治の名所を紹介する企画展「名所図でめぐる宇治十二景」などの企画展を年4回開催した。</p> <p>企画展 徳川幕府と宇治 ・5月17日～7月9日 宇治やその周辺地域に残る史料から、徳川政権と宇治、そして宇治御茶師とのつながりや支配の一端を紹介した。</p> <p>企画展 源氏ワンダーランド ・7月12日～9月10日 『源氏物語』が描かれた平安時代、貴族たちの生活様式を絵画資料等を通して、垣間見た。</p> <p>企画展 宇治と憂し ゆめかうつつか ・9月13日～11月26日 宇治の名所を紹介するとともに、江戸時代に宇治に居住していた人々の記録から当時の暮らしの一端を紹介した。</p> <p>企画展 名所図でめぐる宇治十二景 ・令和6年2月7日～4月21日 江戸時代前期に刊行された地誌『京羽二重』には、「宇治十二景」として橋姫や扇芝など、宇治川両岸の名所が掲載されている。「宇治十二景」を名所図とともに紹介した。</p>		
事業評価	<p>大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として、宇治の歴史や名所、そして『源氏物語』をはじめとする古典の魅力を紹介する企画展を実施した。連携事業によって、多くの観覧者にその魅力を発信することができた。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム講座等開催費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	633 千円
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味・関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座及び源氏物語セミナーなどでは、最新の研究成果を織り交ぜた講演により、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。</p> <p>連続講座「「私」の「光る君」へ」(全10回) ・5月～令和6年3月 参加者数 延べ1,267人 (会場を変更して実施)</p> <p>入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全9回) ・6月～令和6年2月 参加者数 延べ755人 (会場を変更して実施)</p> <p>源氏物語セミナー「紫式部たちの物語る仏教の信仰と場 法華経と念仏、そして宇治の苑池」 ・10月17日 参加者数 79人</p> <p>特別企画展関連企画「薫りにきく宇治十帖 花と香」 ・令和6年1月11日 参加者数 84人</p> <p>特別企画展関連講座鼎談「宇治十帖の5人～男二人と女三人の生きざまを考える～」 ・令和6年1月25日 参加者数 42人</p> <p>大人と子ども能楽鑑賞会「能楽玉手箱」 ・令和6年1月27日 参加者数 89人</p> <p>子ども体験型教室ワークショップ「三葉虫を調べよう！」 ・令和6年3月23日 参加者数 5人</p>		
事業評価	大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施した。幅広い世代を対象として、多彩で魅力ある講座及びワークショップを提供することができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム管理運営費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	201,594 千円
事業内容	源氏物語ミュージアム施設全体の維持管理、建物・展示物のメンテナンス業務及び受付をはじめとする入館者への対応など博物館の維持管理運営業務を行う。		
成果・実績	通常の管理運営業務に加え、空調機器改修工事を行った。		
事業評価	適切に館の維持管理、管理運営業務を行うことができた。空調機器改修工事の遅延により空調稼働が遅れたが、仮設空調機器を設置し来館者の利便を図った。今後も引き続き、館の運営及び維持管理など適切な対応に努める。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,144 千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	特別企画展に合わせて、近畿地方に近い東海地方からの誘客を図るため、JR名古屋駅地下通路にデジタルサイネージを1か月間掲出するとともに、名古屋市内の大河ドラマを視聴する45歳以上をターゲットにして、インターネット等の電子媒体にWEB広告を配信した。 また、年間を通じてインバウンド向け情報誌に広告を掲載したほか、令和5年9月～令和6年3月初旬の間、京都府内のホテルや旅館700施設の各部屋に常設される観光情報誌に、当館の広告を掲載した。		
事業評価	年間を通じて行う当館の魅力を発信する広報活動とともに、特別企画展に合わせて実施する短期集中的な広報活動を行うことによって、計画的で効果的な広報活動が実施できた。引き続き、大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機とする来館者の増加に向けて、計画的、かつ効果的な広報活動に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	源氏物語ミュージアム特別企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,090 千円
事業内容	特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施する。令和5年度は特別企画展の開催年度であり、令和6年1月から放送される大河ドラマ「光る君へ」の放送にあわせて実施する。		
成果・実績	<p>『源氏物語』を描いた屏風、画帖及び錦絵のほか、名誉館長であった瀬戸内寂聴、与謝野晶子、田辺聖子といった女性の作家や歌人による現代語訳の実物原稿などの展示を通して、宇治十帖をはじめとする『源氏物語』の世界を紹介した。</p> <p>特別企画展 このわたりに薫る君やさぶらぶ ・令和5年11月29日～令和6年2月4日</p>		
事業評価	大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施した。プロジェクトとの連携及び計画的で効果的な広報活動を通じて、宇治十帖をはじめとする『源氏物語』の魅力をより多くの観覧者に発信することができた。		



事務事業名	源氏物語ミュージアム長寿命化事業費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	990 千円
事業内容	源氏物語ミュージアムは平成10年の開館から20年以上が経過しており、適切な維持管理を図るため、長寿命化改修を実施する。		
成果・実績	経年劣化が進んでいた高圧設備電気改修について設計業務委託を実施した。		
事業評価	高圧設備電気改修の設計業務委託を実施することができた。今後も適切な維持管理を図り、施設の長寿命化に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター	
		決算額	1,649 千円	
事業内容	宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・イベントを実施し、学習の機会を提供する。			
成果・実績	学習機会の提供・充実			
		事業名	回数 参加延べ人数	
		情報社会を主体的に生きるには ～メディアリテラシーとチャットGPTを学ぶ～	2回	78人
		夏休み子ども わくわくフェア（2日間）	1回	1,098人
		小学生のための英語教室 バナナ？Banana？それって英語、それとも日本語？	1回	24人
		宇治鳳凰大学（4コース）	33回	1,657人
		宇治鳳凰大学祭	1回	181人
		源氏物語とそのゆかりの植物	2回	47人
		金融経済講座～紫式部とお札の肖像たち～	1回	158人
		シニア向けスマートフォン講座	11回	161人
		バリアフリー上映会	1回	180人
				
	情報社会を主体的に生きるには		夏休み子ども わくわくフェア (コーナー名：万華鏡を作ろう)	
			宇治鳳凰大学	
			源氏物語とそのゆかりの植物	
	学習情報提供の充実 情報紙「生涯学習情報UJI」年4回 計9,600部 発行			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,649 千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用		
	事業名	回数	参加延べ人数
	ロビー展示	40回	
	ロビー展示 ミニ講習会	6回	70人
	ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展	3回	
	ふれあいワークショップ	1回	53人
	うじ市民活動サポート事業（4事業）	13回	290人
	Zoom会議のホストステップアップ講座	1回	8人
	ファシリテーション入門講座 いつもの話し合いがすてきな場になる	3回	49人
	家庭でできるヘアカット講座	7回	58人
はじめよう！セカンドライフ	4回	40人	
成果・実績		うじ市民活動サポート事業 （私にも演奏できる！カリンバ）	
		ファシリテーション入門講座	
		おやこっくらんど	
		生涯学習の基礎づくり	
	事業名	回数	参加延べ人数
	おやこっくらんど	12回	331人
	小学生の親のための講座 ～小学校の外国語（英語）教育について～	1回	33人

事業評価	<p>情報リテラシーやデジタルスキルをテーマとした講座及びオンライン受講できる講座を工夫して実施できた。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、全事業をコロナ前と同様の手法またはブラッシュアップした形で実施し、参加者もコロナ前の水準に回復しつつある。今後も市民ニーズに応じた事業実施や社会還元の機会創出に努める。</p>
------	---

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	245千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表及び交流の場、これから何かを始めたい市民のきっかけづくりの場として、「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>宇治まなびんぐフェスタ2024 市民公募による実行員会形式で開催した。実行委員(17人)が準備及び当日運営を、当日のボランティア(6人)も出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>開催日 令和6年2月17日(土)~2月18日(日) 出展者 40団体・個人(初出展者は6団体) 参加延べ人数 913人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>実行委員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オープニングイベント</p> </div> </div>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めての開催となり、参加者数はコロナ前の令和元年度を上回った。また、オープニングイベント及び出展者のPRタイムなど、新しい実施方法に取り組めた。今後も実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者・参加者・実行委員が学び合う場の充実を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館	
		決算額	17,889 千円	
事業内容	市民等の読書活動、生涯学習、調査研究、課題解決などを支援するため、図書、雑誌、新聞、郷土資料、行政資料などの図書館資料を幅広く収集して提供し、長期的に保存すると共に、読書推進や課題解決のための講座、朗読会、おはなし会など様々な企画事業を実施する。			
成果・実績	中央図書館資料提供費	10,829千円		
	東宇治図書館資料提供費	3,530千円		
	西宇治図書館資料提供費	3,530千円		
	資料数			
	館名	購入冊数 (冊)	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)
	中央図書館	3,457	181,184	82
	東宇治図書館	1,573	62,747	50
	西宇治図書館	1,671	71,067	47
	合計	6,701	314,998	179
	購入新聞 (紙)	10	8	8
利用状況				
館名等	貸出点数 (点)	延べ貸出者数 (人)	登録者数 (人)	
中央図書館	315,159	77,601	60,405 うち市外 1,412	
東宇治図書館	145,372	38,219		
西宇治図書館	147,776	40,688		
団体貸出	4,658	-		
合計	612,965	156,508		
			市民登録率 (%)	
			32.7	
団体貸出				
13団体（地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センター、Ujiふれあい教室）に4,504冊の貸出を行った。また、12の幼稚園及び小・中学校に、154冊の学校等団体貸出を行った。				
予約図書配本サービス				
利用者の利便性向上を図るため、事前に予約された図書を、週1回、公共施設等に設置した7か所の配本所に搬送し、16,756冊の貸出を行った。				
資料の活用（リサイクル事業：年1回）				
図書館資料の有効活用を図るため、リサイクル市を開催し、除籍図書及び保存期限が経過した雑誌等を市民に提供した。				
・提供冊数 4,201冊				

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	17,889 千円
成果・実績	<p>テーマ図書展示</p> <p>季節や時事等に応じ、様々なテーマの図書展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人書 中央図書館 「時代小説を愉しむ」他45回 東宇治図書館「違いを認め合おう」他21回 西宇治図書館「気ままに出かけよう」他20回 ・児童書 中央図書館 「世界中みんな友達」他19回 東宇治図書館「ほら、はるがきた」他15回 西宇治図書館「もりのおともだち」他16回 <p>読書推進事業等</p> <p>読書活動及び生涯学習の推進のため、朗読会、講座、おはなし会などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人向け 中央図書館 読書週間記念講演会 :延べ参加者187人 「文学でたどる宇治ー和歌に登場する橋姫は 橋姫神社の橋姫?ー」他11回 東宇治図書館 読書週間記念講演会 :延べ参加者 41人 「セカンドライフと生命保険」他4回 西宇治図書館 読書推進講座 :延べ参加者111人 「弥次さん喜多さん達の見た京都」他7回 ・児童向け 中央図書館 科学実験教室「石や砂のふしぎ」他12回 :延べ参加者311人 東宇治図書館 「わくわく! コラボおはなし会 「人形劇×えほん」」他7回 :延べ参加者269人 西宇治図書館 「西宇治図書館クイズラリー」他5回 :延べ参加者659人 <p>課題解決支援事業</p> <p>地域の課題解決を支援するための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 不登校児童生徒読書活動支援事業 :延べ参加者 26人 教育支援課(Ujiふれあい教室)と共催 図書館のスマートフォン体験講座 6回 :延べ参加者 60人 東宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 :延べ参加者 23人 西宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 :延べ参加者 25人 <p>行政支援サービス</p> <p>図書館の豊富な資料等を行政団体貸出により市内各課に提供し、行政課題の解決や職員のスキルアップを支援し、ひいては市民サービスの向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 利用所属数 延べ15所属、貸出冊数196冊 		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	17,889千円

成果・実績	おはなし会（出張おはなし会を含む）			
	館名	回数	参加者数	内容
	中央図書館	34	532	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど
	東宇治図書館	29	493	
	西宇治図書館	40	343	
学校等連携				
館名	図書館見学等 （小学校・幼稚園等）		中学生の 職場体験学習等	
	学校等の数	参加者人数	学校数	人数
中央図書館	4	120	6	12
東宇治図書館	3	191	2	4
西宇治図書館	1	30	3	6
				
	中央図書館 「国立国会図書館関西館 見学バスツアー」		中央図書館 図書展示「紫式部が描いたまち宇治」	
				
	東宇治図書館 「ポップとコラボの赤ちゃん おはなし会」		西宇治図書館 「夏休み夜のドキドキおはなし会」	

事業評価	幅広い資料の収集や企画事業などの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の読書活動や生涯学習を促進することができた。今後も社会状況の変化に伴う多様化・高度化したニーズへの対応に努める。
------	---

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	電子図書館サービス事業費（学校連携事業含む）	所管課	中央図書館																																								
		決算額	13,413千円																																								
事業内容	利用者がインターネット上の電子図書館サイトにアクセスすることで、いつでもどこでも電子書籍の貸出や閲覧などができるサービスを提供する。また、学校連携事業として、宇治市立学校に在籍する小学3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる環境を整備する。																																										
成果・実績	<p>学校や家庭などでいつでも電子図書が読める環境を作り、読書意欲を喚起するとともに、読書活動や学習活動を推進することを目的として、5月に宇治市立学校に在籍する小学3年生及び中学1年生に電子図書館の学校連携専用IDカードを配付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>利用状況等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子書籍点数</td> <td></td> <td>22,570点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図書館分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td></td> <td>5,362人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td></td> <td>6,401人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸出点数</td> <td></td> <td>10,397点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・学校連携分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td></td> <td>11,274人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td></td> <td>30,611人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸出点数</td> <td></td> <td>72,929点</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right;">  <p>電子図書館サービス</p> </div>			利用状況等				電子書籍点数		22,570点		・図書館分				登録者数		5,362人		貸出人数		6,401人		貸出点数		10,397点		・学校連携分				登録者数		11,274人		貸出人数		30,611人		貸出点数		72,929点	
利用状況等																																											
電子書籍点数		22,570点																																									
・図書館分																																											
登録者数		5,362人																																									
貸出人数		6,401人																																									
貸出点数		10,397点																																									
・学校連携分																																											
登録者数		11,274人																																									
貸出人数		30,611人																																									
貸出点数		72,929点																																									
事業評価	来館せず電子書籍を読むことができる本サービスは、書籍点数も増え、登録者数も増加している。また、令和4年7月から開始した学校連携事業については、今年度においても同様に専用IDカードを配付しており、読書習慣のない小中学生が本に触れたり、家族で図書館を訪れるきっかけを提供できた。今後も電子図書館サービスの充実に努める。																																										

事務事業名	視覚障害者専用電子図書館事業費	所管課	中央図書館												
		決算額	132千円												
事業内容	市内在住の視覚障害者がスマートフォン等の音声自動読み上げ機能を使って電子書籍を楽しむ視覚障害者専用電子図書館サービスを提供する。														
成果・実績	<table border="0"> <tr> <td>利用状況等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子書籍点数</td> <td></td> <td>17,010点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td></td> <td>26人</td> <td></td> </tr> </table>			利用状況等				電子書籍点数		17,010点		登録者数		26人	
利用状況等															
電子書籍点数		17,010点													
登録者数		26人													
事業評価	電子書籍点数が増加し、知識・情報の提供ができた。今後もより多くの方に利用されるよう利用者拡大に努める。														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館展示活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)																					
		決算額	438 千円																					
事業内容	宇治市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究の成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展、常設展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。																							
成果・実績	宇治の歴史及び文化財に関し、様々な視点からテーマを設定して、展覧会を開催した。 令和5年度は、企画展を5回開催した。 企画展 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">展覧会名</th> <th style="width: 25%;">会期</th> <th style="width: 25%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の歴史資料</td> <td>5月13日～6月25日</td> <td style="text-align: center;">845人</td> </tr> <tr> <td>戦争遺品展 戦時中の暮らし</td> <td>7月8日～9月3日</td> <td style="text-align: center;">1,433人</td> </tr> <tr> <td>写真・新聞で振り返る昭和28年災害</td> <td>9月16日～11月26日</td> <td style="text-align: center;">1,286人</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち</td> <td>12月9日～令和6年2月4日 [1月8日臨時開館]</td> <td style="text-align: center;">1,252人</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治・2024</td> <td>令和6年2月17日～4月21日</td> <td style="text-align: center;">1,247人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: center;">6,063人</td> </tr> </tbody> </table>			展覧会名	会期	入館者数	お茶の歴史資料	5月13日～6月25日	845人	戦争遺品展 戦時中の暮らし	7月8日～9月3日	1,433人	写真・新聞で振り返る昭和28年災害	9月16日～11月26日	1,286人	ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち	12月9日～令和6年2月4日 [1月8日臨時開館]	1,252人	発掘ものがたり宇治・2024	令和6年2月17日～4月21日	1,247人	合計		6,063人
展覧会名	会期	入館者数																						
お茶の歴史資料	5月13日～6月25日	845人																						
戦争遺品展 戦時中の暮らし	7月8日～9月3日	1,433人																						
写真・新聞で振り返る昭和28年災害	9月16日～11月26日	1,286人																						
ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち	12月9日～令和6年2月4日 [1月8日臨時開館]	1,252人																						
発掘ものがたり宇治・2024	令和6年2月17日～4月21日	1,247人																						
合計		6,063人																						
事業評価	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、企画展を実施した。展覧会を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史及び文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施に努める。																							

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館教育普及活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)	
		決算額	40 千円	
事業内容	歴史講座等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。			
成果・実績	歴史講座を3回、展覧会関連事業を2回実施し、市民への教育普及活動に努めた。			
	歴史講座			
	講座名	講師	開催日	参加者数
	槇島にみる室町・戦国時代 - 城・館・郭とその周辺 -	博物館管理課 学芸員	令和6年1月19日	63人
	宇治の神々	京都国立博物館 名誉館員 伊東史朗氏	令和6年2月4日	61人
	「唐物」と国風文化 - 紫式部がみたもの・かいたこと -	歴史資料館 館長	令和6年3月28日	65人
			合計	189人
	展覧会関連事業 ・事業数：2回 ・参加者数：18人			
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、多様な世代の市民に向けた各講座を開催した。今後も、講座を通して、宇治の歴史と文化や博物館活動について、持続的に市民が関心を持ち、理解を深める機会を提供するよう努める。			

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,146 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、園芸教室、折り紙教室などを実施した。 ・実施回数 285回 ・参加者数 3,501人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、スポーツクラブ、お楽しみ会などを実施した。 ・実施回数 30回 ・参加者数 479人		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,084 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 体験学習、英語教室、お茶教室、工作教室などを実施した。 ・実施回数 108回 ・参加者数 1,225人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 カメレオン・パニック、ダンス教室、アウトドア教室などを実施した。 ・実施回数 18回 ・参加者数 790人		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、新規事業の取組みや事業内容を工夫するなどして、参加者の増加と事業の発展に努める。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団関連事業費	所管課	消防総務課																											
		決算額	77,026 千円																											
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図るとともに火災予防を推進し、災害に強いまちづくりに努める。																													
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">消防団員報酬</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">343人</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">14,096千円</td> </tr> <tr> <td>消防団員退職報償金</td> <td style="text-align: right;">22人</td> <td style="text-align: right;">10,446千円</td> </tr> <tr> <td>出動報酬</td> <td style="text-align: right;">延べ4,958人</td> <td style="text-align: right;">8,676千円</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ式装備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,230千円</td> </tr> <tr> <td>京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">599千円</td> </tr> <tr> <td>池尾消防団器具庫改築工事等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">20,352千円</td> </tr> <tr> <td>白川消防団器具庫改修実施設計業務委託</td> <td></td> <td style="text-align: right;">724千円</td> </tr> <tr> <td>消防団新基準活動服配備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">5,493千円</td> </tr> <tr> <td>消防団拠点施設設備救助ボート5台の更新</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,386千円</td> </tr> </table>		消防団員報酬	343人	14,096千円	消防団員退職報償金	22人	10,446千円	出動報酬	延べ4,958人	8,676千円	小型動力ポンプ式装備		2,230千円	京都府消防協会宇城久支部負担金等		599千円	池尾消防団器具庫改築工事等		20,352千円	白川消防団器具庫改修実施設計業務委託		724千円	消防団新基準活動服配備		5,493千円	消防団拠点施設設備救助ボート5台の更新		1,386千円	
消防団員報酬	343人	14,096千円																												
消防団員退職報償金	22人	10,446千円																												
出動報酬	延べ4,958人	8,676千円																												
小型動力ポンプ式装備		2,230千円																												
京都府消防協会宇城久支部負担金等		599千円																												
池尾消防団器具庫改築工事等		20,352千円																												
白川消防団器具庫改修実施設計業務委託		724千円																												
消防団新基準活動服配備		5,493千円																												
消防団拠点施設設備救助ボート5台の更新		1,386千円																												
事業評価	消防団の装備や訓練等の充実を図るとともに、火災予防活動・防火啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、今後も積極的に消防団員の確保に努めるとともに、消防団活動の活性化を図り、災害のないまちづくりを進める必要がある。																													

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																																												
		決算額	5,690 千円																																												
事業内容	全国消防長会のほか、消防庁消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: left;">研修実績（主なもの）</th> </tr> <tr> <th style="width: 30%;">研修内容</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 15%;">期間（日）</th> <th style="width: 35%;">人数（人）</th> </tr> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>117</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 警防科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 特殊災害科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 予防査察科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 危険物科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 火災調査科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救助科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 中級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消防大学校 幹部科</td> <td>消防大学校（東京都）</td> <td>33</td> <td>1</td> </tr> </table>			研修実績（主なもの）				研修内容	場所	期間（日）	人数（人）	初任教育	京都府立消防学校	117	1	専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1	専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1	専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2	幹部教育 中級幹部科	京都府立消防学校	7	1	消防大学校 幹部科	消防大学校（東京都）	33	1
研修実績（主なもの）																																															
研修内容	場所	期間（日）	人数（人）																																												
初任教育	京都府立消防学校	117	1																																												
専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1																																												
専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1																																												
専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1																																												
専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1																																												
専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1																																												
専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2																																												
幹部教育 中級幹部科	京都府立消防学校	7	1																																												
消防大学校 幹部科	消防大学校（東京都）	33	1																																												
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化している災害等に的確に対応するため、計画的な職員の知識・技能のさらなる向上に努める必要がある。																																														

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	保健・消防センター長寿命化事業費	所管課	消防総務課
		決算額	31,497千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	施設の長寿命化を図るために、早急に対処が必要となったうじ安心館2階部分の浴室改修工事を行うとともに、次年度以降の工事を見据えた実施設計を行った。		
	うじ安心館2階浴室改修工事		22,029千円
	改修設計業務委託		8,742千円
事業評価	施設長寿命化のため浴室改修工事及び実施設計を円滑に行うことができた。今後は、実施設計に基づいた改修工事を令和6年度から令和7年度にかけて実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	406 千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることにより、災害のない、安全・安心で住みよいまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本を作成配布することにより、市民への防火啓発や火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p> <p>ポスター配布数（市内事業所宛て） 500枚 防火読本配布数 2,000冊（市内小学3年生及び市民に配布） 消火薬剤補填数 10本（訓練 3本、初期消火 7本）</p>		
事業評価	防火啓発ポスター及び小学生への防火読本の作成配布などを実施することにより、火災予防への意識高揚及び火災発生防止の効果が期待できることができた。今後もより効果的な啓発等に努め、引き続き火災予防意識の高揚を図る必要がある。		

事務事業名	消防水利維持管理・消防水利拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	20,976 千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実を図る。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>消火栓維持管理 消火栓60基の修繕工事等を行った。</p> <p>消防水利新設 消火栓2基を新設した。</p> <p>消防水利修繕 防火水槽1基の修繕を行った。</p>		
事業評価	消防水利の補修、改修及び新設をすることにより、火災等災害時の対応に備えることができた。今後も引き続き消防水利等の維持管理・拡充を行い、災害対応力の充実に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	56,703 千円
事業内容	老朽化した消防車両、消防機械器具等の更新整備に伴い、災害活動時の安全管理対策及び高機能化を行う。		
成果・実績	消防活動資機材の更新整備 消防用ホース 55本 山林火災用消防水囊 5基 面体の更新整備 4基 空気呼吸器用軽量空気ポンペ 11本 災害対応特殊消防ポンプ自動車1台の更新整備 51,590千円		 <p style="text-align: center;">災害対応特殊消防ポンプ自動車</p>
事業評価	消防車両、消防機械器具などの更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な機能及び数量を精査しながら、計画的に更新を行い、消防力の充実強化に努める必要がある。		

事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																								
		決算額	3,779 千円																								
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																										
成果・実績	救急救命士の新規養成1人と、救急隊員の教育指導の役割を担う指導救命士1人、拡大処置認定救急救命士として気管挿管認定1人、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管内挿管認定3人を養成し、救急高度化の充実・強化を図った。 また、資格取得後の救急救命士については、1年間で24時間（3日間）の病院実習を行い、病院前救護に必要な医学的知識と技能の維持に努め、資質の向上を図った。 救急救命士新規養成及び救急救命士研修実績																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期間等</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7か月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>指導救命士養成研修</td> <td>救急救命九州研修所</td> <td>30日間</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>3症例</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>現任救急救命士病院実習</td> <td>協力医療機関</td> <td>3日間</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期間等	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7か月	1人	指導救命士養成研修	救急救命九州研修所	30日間	1人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	3症例	3人	現任救急救命士病院実習	協力医療機関	3日間	31人
研修名	場 所	期間等	人数																								
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7か月	1人																								
指導救命士養成研修	救急救命九州研修所	30日間	1人																								
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人																								
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	3症例	3人																								
現任救急救命士病院実習	協力医療機関	3日間	31人																								
事業評価	救急隊員の教育の質・技能を向上させることを目的に指導救命士を養成し、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も新たな時代に対応するため計画的な救急救命士の養成に努め、救命率の向上を図る必要がある。																										

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	2,876 千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行うことにより、救命率の向上を図る。		
成果・実績	<p>公共施設におけるAEDの整備・維持管理については、新たに令和5年8月1日から8年間の長期賃貸借契約を締結し、市内公共施設84施設にAEDの更新整備を行い、迅速に救命できる体制づくりを行った。また、設置AEDと同型のAEDトレーニング機材も整備し、各公共施設職員や利用者に講習を実施し、救命に関する知識と技術の習得促進に努めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">AED（自動体外式除細動器） プライバシー保護タオル付</p>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備することにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も引き続きAEDの取扱いの習得促進など、効果的・効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る必要がある。		

事務事業名	通信施設維持管理費	所管課	指揮指令課
		決算額	34,499 千円
事業内容	各種災害の受信・指令など、災害事案を管理する高機能指令システムの維持管理及び災害出動隊の通信手段である消防救急デジタル無線設備の維持管理を行う。		
成果・実績	<p>NET119緊急通報システム業務委託 726千円 登録者数 94人</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>119番通報等に係る電話通訳業務委託 330千円</p>		
事業評価	NET119緊急通報システムにより、会話に不自由な聴覚・言語機能障がい者の方が、スマートフォン等のインターネット機能を利用して、いつでも全国どこからでも119番通報できる体制の構築を図れた。また、電話通訳業務を行うことにより日本語を介しての会話が困難な市内に居住する外国人の方、外国人観光客の方からの通報や災害現場で円滑な対応が図れた。今後も多様化する119番通報に対応できる体制を整備していく必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	救急安心センター事業費	所管課	警防救急課
		決算額	2,131 千円
事業内容	京都府と府内の消防本部が共同で運営する救急安心センター事業（救急安心センターきょうと）は、共通の短縮ダイヤル#7119を使用し、医師・看護師・相談員などが救急車を呼ぶべきか、医療機関を受診すべきかなど、医療相談をはじめ、受診可能な医療機関の案内まで、判断に悩む住民（全年齢）からの相談に対して助言を行う。		
成果・実績	<p>専門家の緊急度判断支援による住民への安心の提供、また、救急車の適正利用の推進として、不急の救急要請の抑制、潜在的な重症者の早期発見・救護に繋げることができた。</p> 		
事業評価	令和5年度救急安心センターきょうと検証会議においても、不急の救急要請の抑制、潜在的な重症者の早期発見・救護に繋げる事業効果が確認されており、今後も検証結果を注視しつつ、継続して市民に周知を図る必要がある。		

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課
		決算額	36,973 千円
事業内容	救急車の更新計画に基づき、伊勢田救急出張所の高規格救急車及び積載する救急資器材の更新を行う。		
成果・実績	<p>更新計画に基づき伊勢田救急出張所に配置した。</p> <p>高規格救急自動車 20,130千円 高規格救急自動車用資器材 16,830千円</p>    <p>AED(自動体外式除細動器) 自動心臓マッサージ器</p> <p>高規格救急自動車</p>		
事業評価	救命率の向上を目指し、新たに自動心臓マッサージ器を導入、資器材についても既存の資器材に加えて感染対策物品を導入した。感染症流行下でも対応可能な体制を構築し、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も必要な設備について整備を図る。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	救急搬送体制強化事業費	所管課	警防救急課
		決算額	5,983 千円
事業内容	感染症対策をはじめとした救急医療体制の変化に即応できる体制を構築する。		
成果・実績	<p>感染症流行当初の医療用マスクや感染防止衣等の世界的な品薄による納期の延長を経験し、リユース可能な感染防止衣の導入などの対策を行い、救急活動を継続できる体制を構築できた。</p> <p>感染防止体制の充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>医療用マスク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>感染防止衣</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	<p>総務省消防庁が、最新の医学的知見及び新型コロナウイルス感染症患者への対応の経験等を踏まえ策定した「救急隊員感染防止対策マニュアル」に基づき感染防止対策を実施し、救急業務における各種感染症への感染を防止することで、勤務体制が維持できた。今後も市民の安全・安心を守るため必要な整備を図る。</p>		

事務事業名	京都府南部消防指令センター共同運用事業費	所管課	指揮指令課
		決算額	4,968 千円
事業内容	災害情報の一元管理による災害対応力の向上と大規模災害発生時の他消防本部との連携の迅速化等を目的に京都府南部消防指令センター共同運用の整備にかかる実施設計を実施する。		
成果・実績	京都府南部9消防本部で構成する京都府南部消防指令センター共同運用の整備に向けた、先進的かつ効率的な消防通信指令システムの構築に必要となる、具体的な設計業務及び整備費用の算出を行った。		
事業評価	災害情報の一元管理により複雑・多様化する災害へのより効果的、効率的な対応及び大規模災害発生時の消防相互応援協定の迅速化など、住民サービスの向上及び消防体制の充実強化に向けた取組を行うことができた。今後も市民の安全・安心を守るため消防体制の充実を図る必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	消防通信指令システム再整備事業費	所管課	指揮指令課
		決算額	240,772 千円
事業内容	各種災害の受信・指令など、災害事案を管理する消防通信指令システムの信頼性及び安全性を確保するため、部分更新を行う。		
成果・実績	平成23年度に整備した消防通信指令システムの保守対応期間が終了となったため、老朽化により保守部材の確保が困難となる機器・装置類の交換を行った。		
	 <p>指令室全景</p>	 <p>指令台</p>	
事業評価	消防通信指令システムの部分更新を行いシステムの信頼性及び安全性を確保することができた。今後も引き続き市民の安全・安心を守るため、消防通信指令システムの適正な維持管理に努める必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	その他
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	2,718 千円
事業内容	<p>円滑な議会運営のため、議会改革に取り組む。各委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議及び委員会の生中継と録画配信を行う。また、議会関連資料の閲覧や検索など、情報の共有化及び情報伝達の簡素化を図るため、タブレット端末を活用する。</p>		
成果・実績	委員会研修		31 千円
	委員会	テーマ	参加人数
	産業・ 人権環境	地域暮らしを元気にする気候変動対策	33
	広報	伝わる議会報の編集ポイント	13
	議会映像インターネット配信経費		61 千円
	録画映像アクセス数		33,154 件
	議員用タブレット端末・クラウド接続経費		1,902 千円
	議会映像ライブ配信専用機器購入経費		462 千円
事業評価	<p>開かれた議会を実現するため、本会議等のインターネット配信の活用により議会の情報を広く市民に発信することができた。また、タブレット端末を活用した議員のICT活用に関するスキル向上に取り組むなど、議会運営の活性化に努めることができた。</p> <p>委員会室のインターネット中継（ライブ配信）を複数の会議で同時に配信することができるように専用機器を設置し、市民の傍聴環境の向上等に努めた。</p> <p>今後も開かれた議会を目指し、議会改革の取組を発展させ、さらなる議会運営の推進に努める必要がある。</p>		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報 / 魅力発信

所管部局
その他

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	6,283 千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	議会だより発行経費	6,106 千円	
	<ul style="list-style-type: none"> 発行回数 年間発行部数 	<ul style="list-style-type: none"> 4 回 329,760 部 	
成果・実績	市政概要発行経費	167 千円	
	<ul style="list-style-type: none"> 発行回数 発行部数 	<ul style="list-style-type: none"> 1 回 130 部 	
事業評価	議会だよりを各戸配布し、全市民へ議会の情報を発信した。今後も市民の議会への関心を高めるため、より分かりやすい情報発信の手法について引き続き検討する必要がある。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	14 千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、啓発ポスター・標語の募集、新有権者へのパスデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>また、出前講座等の実施を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
事業評価	市民の政治意識及び投票率の向上のため、各種啓発活動に取り組んだ。今後は、特に若年層の投票率改善に向けて、主権者意識の醸成等に資する、より効果的な啓発活動を検討する必要がある。		

事務事業名	京都府議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																															
		決算額	32,807 千円																															
事業内容	任期満了に伴う京都府議会議員一般選挙を執行する。																																	
成果・実績	<p>4月9日に京都府議会議員一般選挙を執行した。</p> <p>執行状況（選挙区）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数(人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (8日間)</th> <th>アル・プザ 宇治東 (3日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>71,364</td> <td>28,253</td> <td>39.59</td> <td>5,464</td> <td>3,576</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>79,050</td> <td>31,137</td> <td>39.39</td> <td>4,641</td> <td>2,396</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150,414</td> <td>59,390</td> <td>39.48</td> <td>10,105</td> <td>5,972</td> <td>568</td> </tr> </tbody> </table>				当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数(人)			市役所 (8日間)	アル・プザ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)	男	71,364	28,253	39.59	5,464	3,576	318	女	79,050	31,137	39.39	4,641	2,396	250	合計	150,414	59,390	39.48	10,105	5,972	568
	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)					期日前投票者数(人)																										
				市役所 (8日間)	アル・プザ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)																												
男	71,364	28,253	39.59	5,464	3,576	318																												
女	79,050	31,137	39.39	4,641	2,396	250																												
合計	150,414	59,390	39.48	10,105	5,972	568																												
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																	

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	市議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																															
		決算額	74,381 千円																															
事業内容	任期満了に伴う市議会議員一般選挙を執行する。																																	
成果・実績	<p>4月23日に宇治市議会議員一般選挙を執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日 有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数(人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (6日間)</th> <th>アル・プラザ 宇治東 (3日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">71,172</td> <td style="text-align: right;">28,037</td> <td style="text-align: right;">39.39</td> <td style="text-align: right;">4,200</td> <td style="text-align: right;">2,846</td> <td style="text-align: right;">431</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">78,914</td> <td style="text-align: right;">31,517</td> <td style="text-align: right;">39.94</td> <td style="text-align: right;">5,088</td> <td style="text-align: right;">4,329</td> <td style="text-align: right;">548</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">150,086</td> <td style="text-align: right;">59,554</td> <td style="text-align: right;">39.68</td> <td style="text-align: right;">9,288</td> <td style="text-align: right;">7,175</td> <td style="text-align: right;">979</td> </tr> </tbody> </table>				当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数(人)			市役所 (6日間)	アル・プラザ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)	男	71,172	28,037	39.39	4,200	2,846	431	女	78,914	31,517	39.94	5,088	4,329	548	合計	150,086	59,554	39.68	9,288	7,175	979
	当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)					期日前投票者数(人)																										
				市役所 (6日間)	アル・プラザ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)																												
男	71,172	28,037	39.39	4,200	2,846	431																												
女	78,914	31,517	39.94	5,088	4,329	548																												
合計	150,086	59,554	39.68	9,288	7,175	979																												
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																	

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	その他
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	448 千円
事業内容	宇治市の事務の執行、管理等について法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するとともに、宇治市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、もって市民の福祉の増進と市政の信頼確保に資することを目的として、定期監査、随時監査、例月現金出納検査、決算審査などを行う。		
成果・実績	定期監査は、22課4センター4校を抽出して実施した。 随時監査は、令和3年度の定期監査において指摘事項のあった9課を抽出して実施した。 財政援助団体等監査は、2団体を抽出して実施した。 住民監査請求について監査を実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 また、参画する全国都市監査委員会の総会・研修会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の研修会に参加、受講することにより、監査能力の向上と知識の蓄積、情報収集に努めた。		
事業評価	全国都市監査委員会、近畿地区及び京都府都市監査委員会の各研修を受講することにより監査機能の充実が図られ、定期監査等の実施を通じて事務事業の指導及び監査を適正に行うことができた。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	206 千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。		
成果・実績	宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を1回開催し、職員団体登録に伴う審査及び公平委員会規則の一部改正の議決などを行った。 また、参画する全国公平委員会連合会の総会・研修会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会事務研究会に参加、受講することにより会員都市の情報の収集と知識の蓄積に努めた。		
事業評価	全国公平委員会連合会の研修会、近畿支部及び京都府公平委員会連合会の事務研究会を受講することにより、情報収集及び知識の蓄積に努め、公正な審査に期するための審査機能の向上を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	38 千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	審査申出はなく、委員会は6回開催した。 また、(一財)資産評価システム研究センターの研修(動画配信)を受講することにより、審査委員会業務の推進に努めた。		
事業評価	研修の受講により審査に必要な知識の蓄積及び情報収集に努め、審査機能の向上を図ることができた。		

令和5年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	638 千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を13回開催し、農地の権利移動や転用、非農地等に関する審議を行うとともに、農地の利用状況調査や各種証明の発行等、農地行政の適正執行に努めた。</p> <p>また、市長部局（農林茶業課）及び関係機関と連携し、地域計画の策定に向けた取組を進めるとともに、農地利用の最適化や農業者年金の加入促進、「農委だより・うじ」の発行などに取り組んだ。</p>		
事業評価	関係法令等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地に関する委員会審議や農家への啓発などに取り組むことができた。今後も円滑な委員会運営に努め、農家への啓発や農地利用の最適化の推進を図る必要がある。		



用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,476,136	2,694,806	在 庫 用 品	1,218,670	
4,523,864	6,168,957	預 金	1,645,093	
	1,597,637	未 収 金	1,597,637	
	1,266,080	未 払 金	1,266,080	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	11,727,480	小 計	11,727,480	6,000,000
		払 出 差 益	378,967	378,967
		受 取 利 息	46	46
		雑 利 益		
		雑 損 失		
379,013	379,013	一般会計繰出金		
379,013	379,013	小 計	379,013	379,013
6,379,013	12,106,493	合 計	12,106,493	6,379,013